はじめに

『**ベーシックレベル歴史総合**』にようこそ！

この講座は，学年や文系・理系を問わず，歴史総合という科目を好きになってもらい，さらに現代の社会を考える土台となる知識をつけてもらうためのものです。

みなさんが学ぶ「**社会**」は，**地理歴史科**と公民科という教科に分かれます。その地理歴史科のなかで地理総合と**歴史総合**，公民科のなかで公共という３つの科目が，**必修**となっています。

歴史総合は，世界が広くつながり，それぞれ違う国家・地域・民族・宗教などの間でもめ事も多くなった**近代**と，私たちの社会に直接つながる**現代**を，日本と世界の歴史を特に分けることなく，総合的に学んでいくものです。

歴史は覚えればオシマイの「暗記」科目と言われがちですが，深く「理解」したり自ら「思考」したりした方が楽しく，知識が定着します。この講座では，それを大きな目標として，さまざまな写真や絵画，地図や動画なども用意し，みなさんに教室という枠組みから飛び出すような体験をしてもらいますね。

僕は正直，受講後に「歴史って楽しいな」「歴史を学ぶとこういうことに気づくな」「自分だったらこうしたのにな」などなど，一人ひとりが色々な感想・気づきを持ってくれれば十分ですが，たぶん知らず知らずのうちに知識が定着していくだろうなと，秘かに期待しています。

①受講の際の「３つの約束」

A　色々なたとえ話をおり交ぜて講義をしていきます。「**耳で**」受けてください。

B　授業は重要語句の空所補充形式で進んでいきます。「**手で**」受けてください。

C　学びのある写真・絵画・図・動画などを挟みます。「**目で**」受けてください。

②板書について

チョークの色は，**テキスト部分を白，空所補充部分を黄で書いています**。少し難しめの知識をメモ的に追加する場合は赤で書いています。

③予習・復習について

予習は必要ありません。復習は，１パート（＝４ページ）ごとにテキストをざっと見直す⇒確認問題を解くというだけです。

※覚えていないのに問題を解くのですか？　とよく聞かれます。すでに覚えているなら解く必要はないですよね。解いてから覚えるのではなく，解いて，間違えて覚えるのです。

あとは講義で。　伊藤賀一

目次

＜前編＞

第0講　【近世編】大航海時代と主権国家体制の確立　4
第1講　【近世編】アジアの繁栄と近世の日本　28
第2講　【近代編】欧米の市民革命と産業革命　52
第3講　【近代編】アジア諸地域の変化と日本の開国　76
第4講　【近代編】欧米の国民国家形成　100
第5講　【近代編】近代日本の確立　124
第6講　【近代編】帝国主義の発展　148
第7講　【近代編】第一次世界大戦とロシア革命　172

＜後編＞

第8講　【近代編】民主主義的風潮　4
第9講　【現代編】国際協調体制　28
第10講　【現代編】戦間期の大衆化　52
第11講　【現代編】経済危機と第二次世界大戦　76
第12講　【現代編】戦後の国際秩序とアジアの独立　100
第13講　【現代編】冷戦の展開と世界経済　124
第14講　【現代編】冷戦の終結と社会の変容　148
第15講　【現代編】グローバル化と現代の諸課題　172

第0講 【近世編】大航海時代と主権国家体制の確立

PART1 大航海時代

Chapter1　ヨーロッパ世界の拡大

目標
ヨーロッパのアジアへの関心が高まった理由を知ろう。
ポルトガルのアジア進出のしかたを学ぼう。

1 豊かなアジアへの興味

①**国土回復運動〔レコンキスタ〕**の達成（1492年）→ポルトガルとスペイン

A　イスラーム勢力から〔　　　　　　　　〕半島を取り戻す

B　**カトリック〔旧教〕**布教の意欲

※アフリカ奥地，南～東アジア，アメリカ大陸へ。

②**アジア**文化や物産に対する関心の高まり

A　7回にわたる**十字軍**の遠征（1096～1270年）

B　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕『**世界の記述〔東方見聞録〕**』による刺激

「黄金の国」ジパングや金への興味

C　アジアの特産品である胡椒などの〔　　　　　　　〕への興味

③航海技術の進歩→遠洋航海が可能となり〔　　　　　　　　　　　〕へ

A　〔　　　　　　　〕の改良

B　快速帆船の普及

C　**新航路**開拓

旧教国**ポルトガル・スペイン**の王家による

※新教国イギリス・オランダや旧教国フランスが続く。

D　西ヨーロッパを中心に〔　　　　　〕**の一体化**が始まる

羅針盤

2 ポルトガルのアジア進出→東まわり

〔　　　　　　　　　　〕商人は，15 世紀初頭にはアフリカ西部の探検に乗り出していた。

①**「航海王子」**〔　　　　　　　　〕

15 世紀前半に探検事業を拡大

②**バルトロメウ=**〔　　　　　　　　〕

アフリカ南端の〔　　　　　　〕に到達（1488 年）

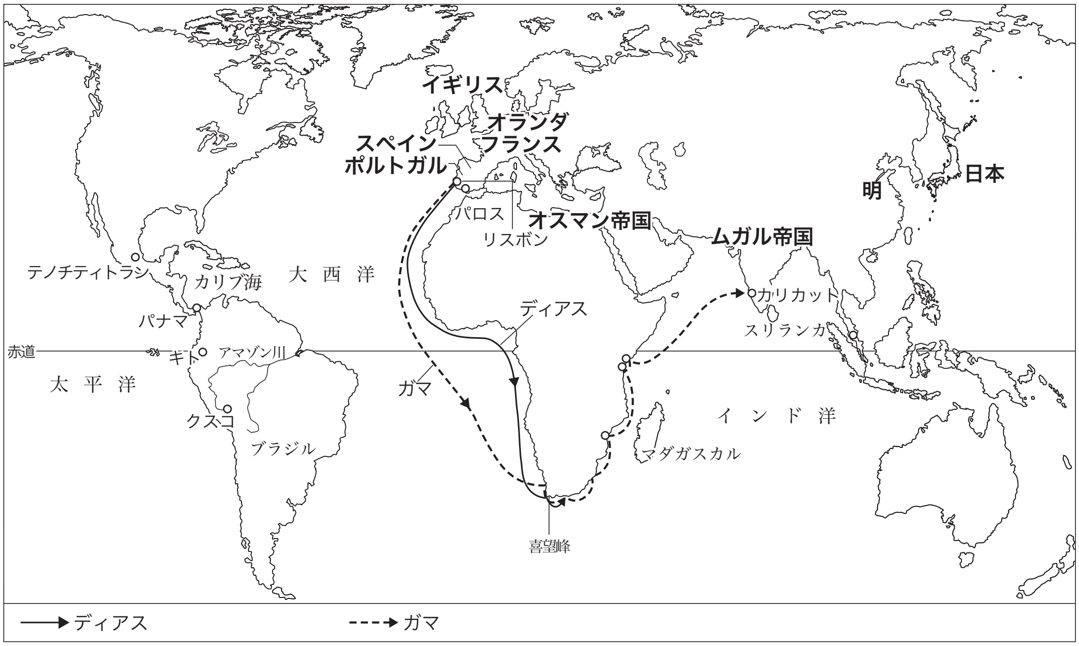
③〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕

喜望峰を経て**東まわり**でインド西岸のカリカットに到達（**1498 年**）

④首都〔　　　　　　　　〕の発展→一時的に世界商業の中心に

インド航路の開拓は国営事業として行われる

※ムスリム商人を経ない香辛料の直接取引は，ポルトガル王室に莫大な利益をもたらす。



大航海時代

まとめ
ヨーロッパのアジアへの興味はカトリック布教と金・香辛料の入手。
ポルトガルは，アフリカ南端を経由して東まわりでアジアに到達した。

Chapter2　アメリカ大陸の征服

目標

地球が球体であることを最初に証明した国を知ろう。

スペインは，ラテンアメリカをどのように植民地化したのだろう？

1　「新大陸」の発見　西まわり

①〔　　　　　　　　　　〕→ジェノヴァ生まれ

A　**スペイン**女王〔　　　　　　　　〕の命を受ける

B　**大西洋を横断**しバハマ諸島のサンサルバドル島に到達（〔　　　　　〕年）

フィレンツェの天文学者**トスカネリ**の唱えた地球球体説を信じ**西まわり**で航海

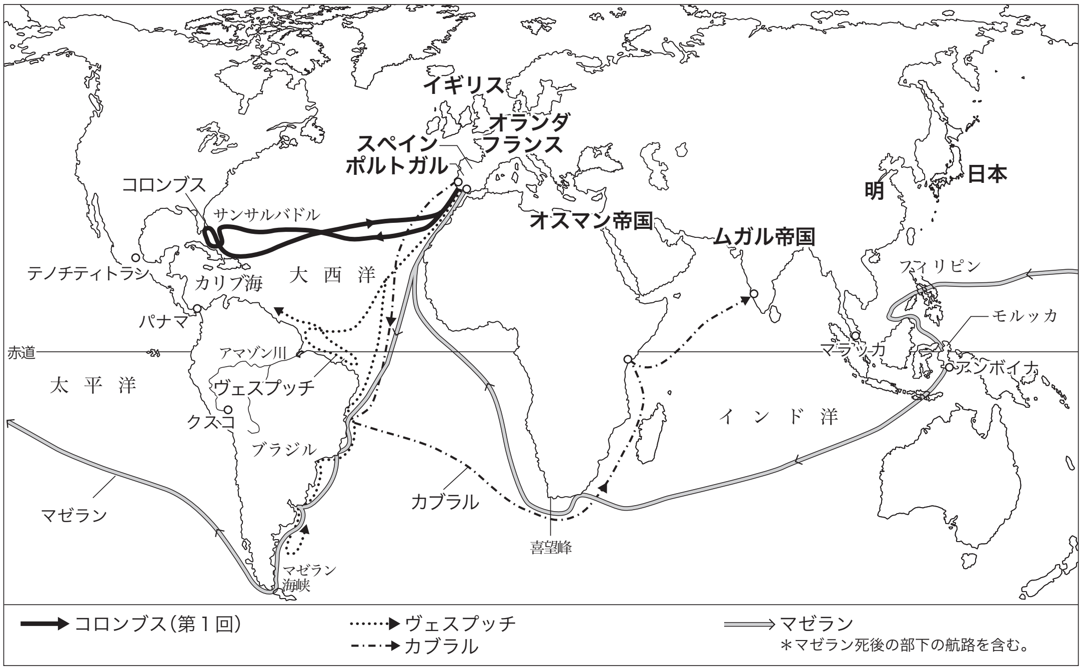
※４回にわたり中米・北米を航海・探検したが，終生アメリカ大陸を「インド〔インディアス〕」と思い込んだ。

②〔　　　　　　　　〕→ポルトガル人で〔　　　　　　　　〕に漂着しポルトガル領とする

③**アメリゴ＝ヴェスプッチ**→イタリア人

A　南アメリカ探検によりコロンブス到達以来の土地が「**新大陸**」と判明

B　彼の名から〔　　　　　　　　〕大陸と名づけられる



大航海時代

2 マゼラン船団の世界周航

①ポルトガル人〔　　　　　　　　　〕〔**マガリャンイス**〕

②〔　　　　　　　　　〕王室の命令で**西まわり**の航海に出発（1519 年）

A　南アメリカ南端の〔　　　　　　　　　　　　　〕を経て太平洋に出る

　　先にスペイン人バルボアがパナマ地峡を横断して太平洋には到達していた

B　**太平洋を横断**し〔　　　　　　　　　　　〕に到達（1521 年）

C　マゼランはセブ島で亡くなる

D　船団の１隻がスペインに帰国し〔　　　　　　　　　〕を果たす

　　地球が球形であることを証明。

3 「征服者」の登場

①**スペイン**が〔　　　　　　　　〕〔**コンキスタドール**〕を中南米に送り込む

A　〔　　　　　　　　　〕

　　〔　　　　　　　　　〕**王国**を滅ぼし**メキシコ**を征服（1521 年）

　　※首都テノチティトランを占領。

B　〔　　　　　　　〕

　　〔　　　　　　　〕**帝国**を滅ぼし**ペルー**を征服（1533 年）

　　※首都クスコを破壊し新首都リマを建設。

C　ユカタン半島の**マヤ文明**もスペイン人に滅ぼされる（16 世紀）

D　植民地に〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕**制**を導入

　　抵抗を続ける先住民をスペイン人植民者が労働力として酷使して搾取

　　※スペイン人聖職者**ラス＝カサス**は先住民の奴隷化を防ぐなど救済に努める。

　　※ 17 世紀以降はアシエンダ〔大農園〕制に移行。

E　人口の激減

　　ヨーロッパから天然痘・はしかなどの〔　　　　　　　　〕〔**感染症**〕がもたらされる

　　※のちアフリカから大量の**黒人奴隷**が労働力として持ち込まれる。

まとめ　西まわりで世界周航を果たしたスペインが地球球体説を証明した。
征服者を送り込み現地の政権を滅ぼして，エンコミエンダ制を導入した。

第０講　PART1　確認問題

1　イェルサレムを奪回するために，キリスト教勢力が行ったことは何か。

① 国土回復運動〔レコンキスタ〕　② ジハード〔聖戦〕
③ 十字軍　④ ラティフンディア

2　大航海時代に，ヨーロッパ各国が直接取引を求めた，アジアの特産品は何か。

① 小麦　② 香辛料
③ 砂糖　④ 塩

3　改良によって，大航海時代における遠洋航行を可能にしたものは何か。

① 羅針盤　② 製紙法
③ 火薬　④ 活版印刷術

4　ポルトガルでアフリカ西部などの探検事業を拡大し，「航海王子」と呼ばれた人物はだれか。

① アッバース１世　② エンリケ
③ ジョアン２世　④ マルコ＝ポーロ

5　1488年，バルトロメウ＝ディアスが到達した場所はどこか。

① カリカット　② ブラジル
③ モルッカ諸島　④ 喜望峰

6 スペイン女王イサベルが「インド」に向けて派遣した人物で，サンサルバドル島に到達した人物はだれか。

① ヴァスコ＝ダ＝ガマ　② マゼラン
③ カブラル　④ コロンブス

7 マゼラン率いる船団に，西まわりでの航海を命じた国はどこか。

① ポルトガル　② イギリス
③ スペイン　④ オランダ

8 コルテスが滅ぼした国はどこか。

① インカ帝国　② アステカ帝国
③ オスマン帝国　④ ムガル帝国

9 インカ帝国を滅ぼした人物はだれか。

① ピサロ　② コルテス
③ アメリゴ＝ヴェスプッチ　④ トスカネリ

10 植民地に導入された，先住民とその土地への支配がスペイン人植民者に委託される制度は何か。

① 三圃制　② 軍管区制〔テマ制〕
③ ヴァルナ制　④ エンコミエンダ制

PART2 2つのR

Chapter1　ルネサンス

目標
ルネサンスを支えた思想について学ぼう。
ルネサンスの限界について理解しよう。

1　ルネサンスとは

①［　　　　　　　　　　］**〔文芸復興〕**とは

A　［　　　　］**～16 世紀**に展開

［　　　　　　　　］の諸都市の発展を背景とする文化運動

※ 16 世紀にネーデルラントをはじめヨーロッパ各地に広まる。

B　**ローマ＝カトリック教会**の権威の下にあった中世文化を引き継ぐ

C　［　　　　　　　　　　　　　　］**〔人文主義〕**

現世に生きる人間性の自由・解放を求め各人の個性を尊重

※理性・感動の活動を重視し，**ビザンツ帝国**や［　　　　　　　　　　］**世界**を通じて伝えられた［　　　　　　　　］・**ローマの古典文化**を模範とする。

②権力者の保護

A　イタリア

フィレンツェの［　　　　　　　　］**家**，ミラノ公，教皇〔法王〕など

B　イギリス・フランス・スペイン

国王たち

C　貴族的性格を帯び**既存体制の批判力は弱い**

③［　　　　　　　　　　　　］→フィレンツェの政治家・思想家

イタリア統一の必要性とその方策を説く『**君主論**』で政治を宗教・道徳から切り離す

※のちマキャヴェリズム〔権謀術数主義〕という言葉が生まれる。

2 ルネサンスの文芸

①**イタリア**

ダンテ『〔　　　　〕』，ペトラルカ『叙情詩集〔カンツォニエーレ〕』，**ボッカチオ『デカメロン』**，ピコ＝デラ＝ミランドラ『人間の尊厳について』など

②イギリス

チョーサー『カンタベリ物語』，トマス＝モア『ユートピア』，

〔　　　　　　　　　　　　　〕**『ヴェニスの商人』**

『ハムレット』など

③ネーデルラント

エラスムス『愚神礼賛』など

④スペイン

セルバンテス『ドン＝キホーテ』など

アテネの学堂

3 ルネサンスの美術

①**イタリア**→遠近法の確立（写実主義へ）

A　ブラマンテによるルネサンス様式のサン＝ピエトロ大聖堂

B　〔　　　　　　　　　　　　　〕**『春』『ヴィーナスの誕生』**

C　**レオナルド＝ダ＝ヴィンチ『最後の〔　　　　〕』『モナ＝リザ』**

さまざまな分野で活躍した「**万能人〔普遍人〕**」の典型

D　〔　　　　　　　　　　　　　〕**『最後の〔　　　　〕』『ダヴィデ像』**

E　〔　　　　　　　　　　〕**『アテネの学堂』**や多数の聖母子像

②ネーデルラント→フランドル派

A　ファン＝アイク兄弟

B　ブリューゲル『農民の踊り』

③ドイツ

デューラーの絵画や版画

まとめ　ルネサンスを支えたのは，ヒューマニズム〔人文主義・人間主義〕である。
ルネサンスは権力者の保護を受けたので，体制批判がしにくかった。

Chapter2　宗教改革と対抗宗教改革

目標
16 世紀の西ヨーロッパで起こったキリスト教の変化を知ろう。
16 世紀には，宗教意識は高まったのか低下したのかどちらだろう？

1　ルターによる宗教改革の開始

①**マルティン＝**〔　　　　　　　〕による〔　　　　　　　　〕の開始（**1517 年**）
贖宥状〔免罪符〕を売り出すカトリック教会の腐敗への批判
※「ローマの牝牛」と呼ばれ教皇から搾取されていた〔　　　　　　　〕のヴィッテンベルクで『**九十五カ条の論題**』を発表。
②**教皇レオ 10 世**による破門と**神聖ローマ皇帝カール５世**からの呼び出し（1521 年）
ルターは自説を撤回せず『新約聖書』のドイツ語訳を完成
③ミュンツァーが指導するドイツ農民戦争（1524～25 年）
当初は同情的だったルターはこれを弾圧する諸侯の側につく
※ルターの教えを採用したザクセン選帝侯らの諸侯は，カトリックの権威から離れる。
④シュマルカルデン戦争（1546～47 年）
カトリック〔旧教徒〕と〔　　　　　　　　　　　　　〕**〔新教徒〕**との争い
※カール５世とシュマルカルデン同盟を結ぶ諸侯との争い。
⑤**アウクスブルクの和議**（1555 年）
その後**ルター派**はドイツから北欧にも広がる
※デンマーク，ノルウェー，スウェーデンなど。

2　カルヴァンと宗教改革の広がり

①**フランス**の〔　　　　　　　　　　〕によるジュネーヴでの宗教改革
「予定説」を説き長老主義を採用して一種の神権政治を行う
※スイスではこれに先駆け，ツヴィングリによるチューリヒでの宗教改革があった。
②**カルヴァン派**の広がり（16 世紀後半）
フランス（〔　　　　　　　　〕），ネーデルラント（ゴイセン），スコットランド（プレスビテリアン），イングランド（〔　　　　　　　　　　　〕）など
※（　）内は現地でのカルヴァン派の呼称。

③〔　　　　　　　　〕国王**ヘンリ8世**による宗教改革

首長法〔国王至上法〕によりカトリック世界から離脱（1534年）

④**エリザベス1世**による確立

統一法によりイギリス独自の教会体制が最終的に確立（1559年）

※〔　　　　　　　　　　　　〕は司教制を維持するなどカトリックに似ていたため，カルヴァン派＝ピューリタン〔清教徒〕たちはこれに反発した。

3 カトリック教会による対抗宗教改革

①〔　　　　〕**宗教改革〔反宗教改革〕**

カトリック教会による教義の明確化と内部革新による勢力の立て直し

※南ヨーロッパへのプロテスタンティズム〔新教〕の進出を阻む。

※カトリシズム〔旧教〕のほうが資金力と組織力は優れていた。

②〔　　　　　　　　　　〕**公会議**（1545～63年）→イタリアで3会期に分け開かれる

教皇の至上権再確認とカトリック教会腐敗の防止

※禁書目録を作り宗教裁判所を強化して思想統制も行う。

③〔　　　　　　　　　　〕の結成（1534年）

イグナティウス＝ロヨラが**フランシスコ＝**〔　　　　　　　　〕らとパリで結成

※教皇の許可を受けて布教と教育に力を入れ，新大陸やアジアなど〔　　　　　　　　〕も進める。

4 宗教改革・対抗宗教改革の結果

①西ヨーロッパで**宗教意識が高まった**

※人々の生活をキリスト教がより強く律するようになった。

②西ヨーロッパ各地で宗教対立や**宗教戦争**が起こる

③社会的緊張が高まり「〔　　　　　　　　〕」が盛んに行われた

魔女狩り

まとめ　宗教改革で旧教〔カトリック〕と新教〔プロテスタント〕にわかれた。
宗教改革や対抗宗教改革を通じ，16世紀には宗教意識が高まった。

第０講　PART2　確認問題

1　14～16世紀に，イタリアからヨーロッパ各地に広まった，古代ギリシアやローマの古典文化を模範とし，現世に生きる人間性の自由や解放を求め，各人の個性を尊重する文化運動は何か。

①　宗教改革　　②　ルネサンス
③　世界の一体化　　④　商業革命

2　マキャベリが著した書物はどれか。

①　『デカメロン』　　②　『君主論』
③　『愚神礼讃』　　④　『神曲』

3　『ヴェニスの商人』や『ハムレット』など，多くの戯曲を残したイギリスの作家はだれか。

①　シェークスピア　　②　ダンテ
③　トマス＝モア　　④　セルバンテス

4　14～16世紀に活躍した人物として，**あてはまらないもの**はどれか。

①　レオナルド＝ダ＝ヴィンチ　　②　ボッティチェリ
③　タキトゥス　　④　ミケランジェロ

5　ラファエロが描いた作品はどれか。

①　『アテネの学堂』　　②　『モナ＝リザ』
③　『春』　　④　『最後の審判』

6 1517年，ドイツでカトリック教会の腐敗を批判し，宗教改革を始めた人物は，だれか。

① ミュンツァー　② カール５世
③ ルター　④ カルヴァン

7 カルヴァン派は，フランスでは何と呼ばれていたか。

① ゴイセン　② プレスビテリアン
③ ピューリタン〔清教徒〕　④ ユグノー

8 イギリスで宗教改革を始め，イギリス国教会を確立した人物はだれか。

① ヘンリ８世　② エリザベス１世
③ エドワード３世　④ ヘンリ７世

9 1545～1563年，教皇の至上権を再確認し，カトリック教会の腐敗防止をはかった公会議が開かれた都市はどこか。

① エフェソス　② ニケーア
③ トリエント　④ カルケドン

10 イエズス会の結成に携わった人物はだれか。

① ツヴィングリ　② フランシスコ＝ザビエル
③ レオ10世　④ チョーサー

PART3 商業・価格革命と科学技術

Chapter1　商業革命と価格革命

目標
商業革命が，何によってもたらされたかを知ろう。
価格革命によって，何が起こったか知ろう。

1　商業革命

①〔　　　　〕**革命**とは（15 世紀後半～）

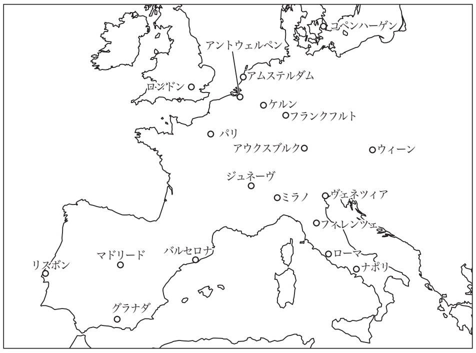
A　大航海時代に「**世界の**〔　　　　　　　〕」が進みヨーロッパの商業圏が広がる
アジア・新大陸・アフリカなどの各地が結び付き商品の種類・取引額が拡大
※特にポルトガルは香辛料・絹，スペインは銀中心。

B　遠隔地貿易の中心は地中海から**大西洋**へ移動
ヴェネツィア・ジェノヴァ・ピサなど北イタリア諸都市による東方貿易〔レヴァント貿易〕は衰退
※アムステルダム（オランダ），ロンドン（イギリス），アントウェルペン〔アントワープ〕（ベルギー）などが貿易都市として発展。

②商業革命の影響→**東西ヨーロッパの分業体制の形成**

A　**西欧諸国は東欧に比べ先進地域となる**
毛織物産業など商工業の発達が促進される

B　東欧諸国は西欧への穀物輸出地域となる
エルベ川以東のドイツ諸地域では農場領主制〔グーツヘルシャフト〕が広まる
※近世なのに農民に対する支配がかえって強化される（＝再販農奴制）。



ヨーロッパと，その主要都市

2 価格革命

①〔　　　　〕**革命**とは（16 世紀半ば～）

A　世界的商業圏の育成が〔　　　　　　　　〕**経済の発達**を促す

B　ラテンアメリカから大量の〔　　〕がヨーロッパに流入

あ　スペインがメキシコ・ペルーで銀山を開発

い　新大陸最大の**ポトシ銀山**（ボリビア）の発見（1545 年）

※先住民たちを酷使，のち黒人奴隷もアフリカから連行。

C　**ヨーロッパの物価が約 100 年間で２～３倍に上昇**

ヨーロッパの銀価格が下落したため諸物価が上昇

※銀の大量流入以外に，人口増加も大きな要因。

②価格革命の影響

A　**固定地代収入で生活する封建領主たちに打撃**

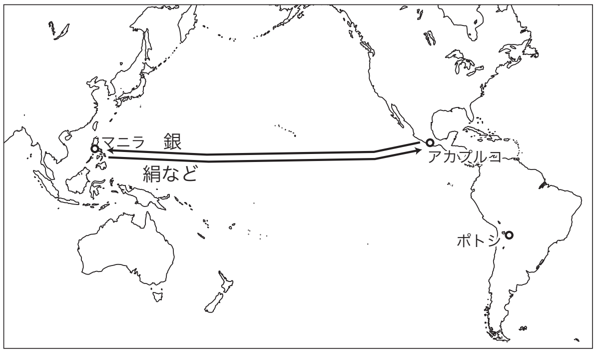
B　アウクスブルク（南ドイツ）の大富豪フッガー家や南欧の商業資本が没落

資本家的な新興地主層が代わりに台頭

C　「メキシコ銀」はスペインによりアジアにも流入

メキシコのアカプルコから太平洋を渡りフィリピンのマニラへ

※東アジアや東南アジアに流入し商工業が活発化



スペインによる太平洋地域での交易

まとめ
商業革命は，大航海時代によってもたらされた。
価格革命によって，封建領主は没落した。

Chapter2　科学と技術の進歩

目標
地動説を唱えた人々が，キリスト教についてはどう思っていたのか知ろう。
世界三大発明はなぜ「三大改良」とも言われるのだろう？

1　地動説

「太陽の周囲を地球が回っている」とする〔　　　　　〕説を唱えた思想家・学者は，古代ギリシアのプトレマイオスの**天動説**を公認していたカトリック教会の世界観に挑戦。

※キリスト教への信仰心を保ちつつ教義にとらわれず自然と向き合い，その姿を解明しようとした。

※**科学〔サイエンス〕**の出発点となり，17世紀には科学革命が起こる。

①ポーランドの〔　　　　　　　　　　　　　　〕（16世紀前半）

②イタリアの〔　　　　　　　　　　　〕（17世紀前半）→望遠鏡の改良

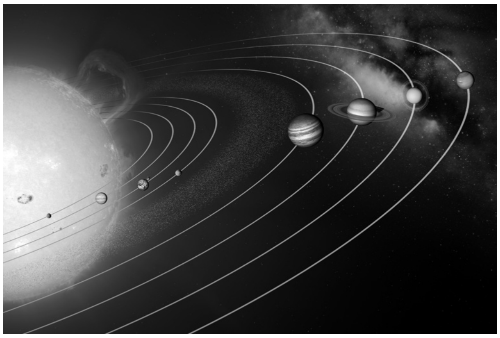
地動説を支持するがカトリック教会により宗教裁判にかけられ撤回

※退廷時「それでも地球は動く」とつぶやき，幽閉されて監視下での生活を送った。

③ドイツの**ケプラー**（17世紀前半）

惑星が楕円軌道を描いて運行する法則（＝ケプラーの法則）を発見し地動説を支持

※のちイギリスのニュートンに多大な影響を与える。



太陽系

2 世界の三大発明〔三大改良〕

①〔　　　　　　〕

宋で知られていたが 14 世紀のイタリアで改良

※大航海時代の遠洋航海を可能にする。

②〔　　　　〕

元で実戦に用いられていたがヨーロッパで鉄砲や大砲などの**火器**が発達

※「軍事革命」は従来の戦術を一変させ騎士が没落。

③**活版印刷術→**写本より迅速・安価なことから新しい思想の普及に大きく貢献

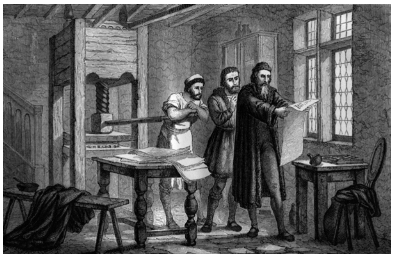
15 世紀半ばにドイツの〔　　　　　　　　　　　　〕が改良

※ 751 年のタラス河畔の戦いを機に，唐の製紙法はイスラーム社会に伝わっていた。

※その後，製紙法はイベリア半島とシチリア島を経て，13 世紀頃にヨーロッパにも伝わっていた。

羅針盤

火薬



活版印刷術

まとめ　地動説を唱えた人々もキリスト教への信仰心は保ったが，教義にとらわれず自然と向き合い，その姿を解明しようとした。
「世界三大発明」は，すべて中国が発祥でヨーロッパで改良された。

第0講　PART3　確認問題

1 大航海時代に，「世界の一体化」が進みヨーロッパの商業圏が広がったことを何というか。

① 価格革命　② 商業革命
③ 軍事革命　④ 農業革命

2 15世紀後半から，貿易都市として発展した都市として**あてはまらないもの**はどれか。

① ロンドン　② アムステルダム
③ ヴェネツィア　④ アントウェルペン

3 大航海時代以降，遠隔地貿易の中心となった地域はどこか。

① 地中海　② 太平洋
③ 北海　④ 大西洋

4 商業革命の影響で，穀物の輸出がさかんとなったエルベ川以東のドイツ諸地域で広まった制度は何か。

① 農場領主制〔グーツヘルシャフト〕　② プランテーション
③ エンコミエンダ制　④ 地丁銀制

5 ポトシなどで多く産出し，ラテンアメリカからヨーロッパへ多く流入した鉱産資源は何か。

① 金　② 銀
③ 銅　④ 鉄鉱石

6 16 世紀前半にコペルニクスが唱えたのは何か。

① 地動説　② 天動説
③ 性善説　④ 性悪説

7 17世紀前半，コペルニクスの主張を支持し，宗教裁判にかけられたイタリアの天文学者・物理学者はだれか。

① プトレマイオス　② ケプラー
③ ファン＝アイク兄弟　④ ガリレイ

8 大航海時代の遠洋航海を可能にした発明は何か。

① 製紙法　② 羅針盤
③ 活版印刷術　④ 火薬

9 火薬によって発達したものはどれか。

① 槍　② 航海技術
③ 大砲　④ 聖書

10 15 世紀半ば，活版印刷術を改良した人物はだれか。

① レオナルド＝ダ＝ヴィンチ　② ミケランジェロ
③ カルヴァン　④ グーテンベルク

PART4 主権国家体制の確立

Chapter1　主権国家体制の確立

目標
中世末期に衰えた「普遍的」権威とは何かを知ろう。
国王の支配する主権国家に必要な２要素を学ぼう。

1　主権国家

①中世的秩序の衰退→諸国は恒常的な緊張状態に

A　ルネサンスや宗教改革によりヨーロッパの中世的秩序は衰退
　14～15 世紀に動揺し始め，16 世紀には決定的に衰退し〔　　　　　〕に移行。

B　**カトリック教会（教皇）**や**神聖ローマ帝国（皇帝）**の「普遍的」権威は激しく動揺
　各地の〔　　　　　〕たちが力を強め封建領主たちの政治的独立性は減る
　※ 16 世紀には，各国が自立の傾向を強め自国の利益を求めて戦争を繰り返す。

②戦争の長期化・大規模化

A　軍事革命→小銃・大砲など火器の登場

B　〔　　　　　　　〕の登場→国家の維持と重商主義の競争のために必要

③国内の統一的支配の強化

A　封建領主である諸侯〔大貴族〕・騎士〔小貴族〕を抑え**中央集権化**を進める

B　軍事費調達のために徴税を重視

C　**官僚制〔官僚機構〕**を備えた行政組織整備の必要性

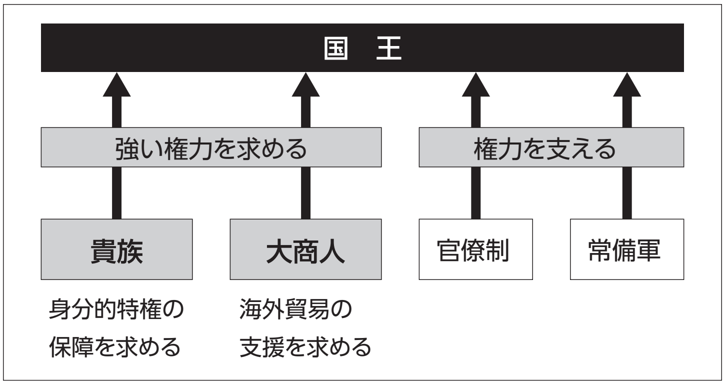
D　自国の支配領域を明確な**国境**で囲い込む

④〔　　　　　〕**国家**の登場→近代国家の原型
　主権者として**国王**などの君主が外国に対して国を代表する
　※内外の干渉を受けずに政治を行う権限である**主権**は，王家の財産として継承された。

2　主権国家の形成期

①**絶対王政**の登場→スペイン・イギリス・フランス・オーストリア・プロイセンなど
王権神授説を基礎に主権を持つ国王が中心となる強力な統治体制
※しかし，社会的権威は失っても貴族・聖職者の特権と地位は維持され，国王による国民の直接支配を妨げる。

②ブルジョワジー〔有産市民層〕の地位向上
国王が大商人・金融業者らに経済上の特権を与えて協力関係を強める
※西ヨーロッパでは，**問屋制**家内工業や工場制手工業〔マニュファクチュア〕が広まり，資本主義的生産の前段階・準備段階が進行。



主権国家形成のメカニズム

3　主権国家体制の確立

①多様な主権国家
規模・政治体制・言語・宗教・経済力・軍事力などは国家によりさまざま
※新たな税制や法律を定め言語の統一も進める

②**主権国家体制**の確立→ 1648 年の〔　　　　　　　　　　　　　　〕**条約**が画期
のちヨーロッパから全世界に広がり現在まで続く国際秩序
※国際社会の**対等な構成員**として外交使節団を派遣し合い，協力・拮抗しながら時には国際会議を開き，相互の利害を調整。

まとめ
中世の「普遍的」権威はカトリック教会の教皇と神聖ローマ帝国の皇帝。
主権国家に必要なものは常備軍と官僚制〔官僚機構〕。

Chapter2　ヨーロッパの各地の主権国家

目標
16 世紀半ばと 17 世紀前半に全盛を迎えたそれぞれの国を知ろう。
ユグノー戦争と三十年戦争に共通する性格を理解しよう。

1　スペインの全盛

1494年～**イタリア戦争**（～1559 年）
※**ハプスブルク家**と〔　　　　　　　　〕**王家**の対立。
1527年　**カール５世**による「ローマの劫略」vs フランソワ１世
※スペイン＝ハプスブルク家のカルロス１世が神聖ローマ皇帝カール５世を兼任
1556年　スペインで〔　　　　　　　　〕**２世**即位
1571年　〔　　　　　　　　〕**の海戦**でオスマン帝国を破る
1580年　フェリペ２世がポルトガル王位を兼ねる（西・葡の同君連合は 1640 年まで続く）
※スペインは「〔　　　　〕**の沈まぬ国**」として全盛を誇る

2　オランダの独立とイギリスの進出

1568年～ネーデルラント諸州がスペイン王フェリペ２世に反乱
※〔　　　　　　　　〕**独立戦争**開始。
1581年　**ネーデルラント連邦共和国**独立
1588年　**スペイン無敵艦隊〔アルマダ〕**がイギリス〔　　　　　　　　　　〕**１世**に敗れる
※オランダ独立を支援した**テューダー朝**のイギリスを攻撃し返り討ちにあう。
1600年　**イギリス**〔　　　　　　　　〕**会社**設立→アジア方面に進出
※イギリスは囲い込み〔エンクロージャー〕を経て**毛織物工業**が国民産業に。
1602年　**オランダ**〔　　　　　　　　〕**会社**設立→中継貿易を展開
1609年　オランダ独立戦争休戦でオランダが独立を勝ち取る
※〔　　　　　　　　　　　　　　〕が国際金融の中心都市となる。

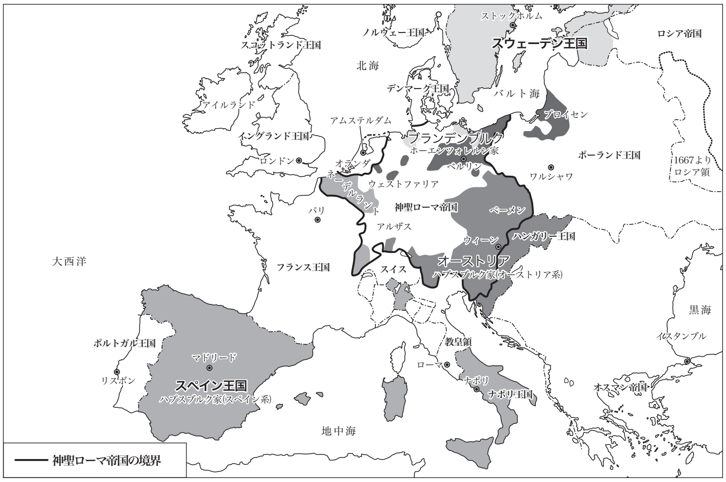
3　フランスの内乱と絶対王政

1562年～〔　　　　　　　　〕**戦争**（～98 年）
1572年　**サンバルテルミの虐殺**→多数の新教徒が殺害され戦争は激化
1598年　〔　　　　　　〕**の王令〔勅令〕**

※旧教に改宗した**ブルボン朝**初代のアンリ４世が新教徒を懐柔。

その後，**ルイ 13 世**の**宰相リシュリュー**や**ルイ 14 世**治世前期の**宰相マザラン**により王権は強化。特に 1648 年の**フロンドの乱**で貴族勢力（高等法院）が一掃される。

4　ドイツ三十年戦争



17世紀半ばのヨーロッパ

1618年～〔　　　　　　〕**戦争**（～48 年）

→宗教戦争から覇権争いへ

※ベーメン〔ボヘミア〕のプロテスタントが，カトリックのハプスブルク家による信仰強制に反抗。神聖ローマ皇帝側についた旧教国スペインや傭兵隊長**ヴァレンシュタイン**と新教国デンマークやスウェーデン国王**グスタフ＝アドルフ**が戦う。戦争末期には旧教国フランスが新教勢力と同盟して皇帝と戦うなど大混乱。

1648年　ウェストファリア条約→神聖ローマ帝国は解体され**主権国家体制**が確立

※ドイツの諸侯にほぼ完全な主権が承認され（領邦国家），

〔　　　　　　　　　　〕**家**の勢力は後退。

※スイスとオランダは正式に独立。北ドイツで**プロイセン**が急成長し，

〔　　　　　　〕ではイヴァン４世〔雷帝〕後の内紛を経て，**ロマノフ朝**が成立。

まとめ　**16 世紀半ばはスペイン，17 世紀前半はオランダが全盛を迎えた。**
ユグノー戦争と三十年戦争は，カトリックとプロテスタントの宗教戦争。

第０講　PART4　確認問題

1　近世の主権国家において，主権をもち，国を代表した人はだれか。

①　国王　②　教皇
③　国民　④　貴族

2　絶対王政の理論的根拠となった考えは何か。

①　三位一体説　②　地動説
③　王権神授説　④　単性論

3　近世の西ヨーロッパで広がった，商人が農民や職人に原材料や道具を貸し出して加工させ，代金を支払って生産物を引き取る生産様式は何か。

①　マニュファクチュア〔工場制手工業〕　②　再販農奴制
③　官僚制　④　問屋制

4　1648年に結ばれた三十年戦争の講和条約で，主権国家体制の確立につながった条約は何か。

①　トルデシリャス条約　②　ウェストファリア条約
③　カトー＝カンブレジ条約　④　ネルチンスク条約

5　フェリペ２世が，オスマン帝国を破った戦いは何か。

①　レパントの海戦　②　アルマダ海戦
③　イタリア戦争　④　シュマルカルデン戦争

6 スペインの無敵艦隊を破ったイギリス国王はだれか。

① ヘンリ８世　② フランソワ１世
③ エリザベス１世　④ カルロス１世

7 イギリスでは1600年に，オランダでは1602年に，アジア方面との貿易を行うために設立されたものは何か。

① 常備軍　② 東インド会社
③ ユトレヒト同盟　④ ヴォルムス帝国議会

8 16世紀後半，フランスで起こった宗教戦争は何か。

① フロンドの乱　② ワット＝タイラーの乱
③ フス戦争　④ ユグノー戦争

9 三十年戦争を経て，勢力が衰退した一族は何か。

① ホーエンツォレルン家　② ブルボン家
③ ハプスブルク家　④ メディチ家

10 17世紀前半，ロシアで成立した王朝は何か。

① ロマノフ朝　② テューダー朝
③ ヴァロワ朝　④ カペー朝

第 1 講 【近世編】アジアの繁栄と近世の日本
PART1 清の統一と拡大

Chapter1　明の滅亡と清の統治

目標
清の漢民族に対する統治法の特色とはどんなものか知ろう。
清の全盛期を現出した３代連続の皇帝とは？

1　清の成立と明の滅亡

①**後金**の建国→ 1616年，初代太祖〔　　　　　　　　　〕による
　女真〔女直〕（＝満州）諸部族を従えアイシン（満州語で金）を建国し明に対抗
②**清**への改称→ 1636年，２代**太宗**〔　　　　　　　　　　〕による
　1635年　内蒙古のチャハルを押さえる→のち藩部とする
　1636年　満州人・漢人・モンゴル人に推され皇帝と称する
③〔　　〕の滅亡→ 1644年，**李自成**の反乱軍に北京を占領される
　マテオ = リッチは明末に中国初の世界地図である『坤輿万国全図』を作成

2　清の統治―「清の平和」―

清の皇帝は中華皇帝と北方遊牧社会のハンを兼ねる存在に
※首都〔　　　　〕の**紫禁城**に常駐しつつ，夏は北方の離宮・猟場で過ごす。
※中央官制の要職の定員は満・漢同数とし，**朱子学**を尊重，**科挙**制度を続けるなどの懐柔策。ただし漢人男性には**辮髪〔弁髪〕**を強制するなどの威圧策も。
※モンゴル・青海・チベット・新疆は〔　　　　　〕として**理藩院**に統括されるが，藩部の習慣や宗教についてはほぼ干渉せず。特にチベット仏教〔ラマ教〕は手厚く保護。

弁髪

※軍制では漢人の**緑営**の他に，満・蒙・漢３軍編制の**八旗**を各地に駐屯させる。
①３代順治帝（位 1643～61年）
　1644年　**呉三桂**に導かれ盛京（現在の瀋陽）から**北京**に遷都
　　　　　※南方の雲南・広東・福建に３名の漢人武将を配置し藩王とする（＝三藩）。

②４代〔　　　　　　　〕（位 1661～1722年）

1661年　〔　　　　　　　〕〔国姓爺〕とその一族がオランダ人を駆逐して**台湾**を占領

※ここを拠点に清に抵抗し明の再興をはかる。

1673年～**三藩の乱**（～81年）を鎮圧

1683年　〔　　　　　〕を領土とする

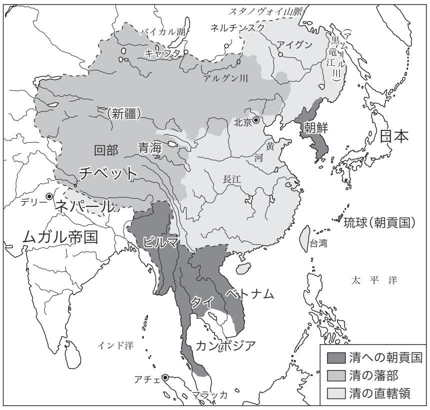
※厳しい貿易制限である〔　　　　　〕**政策**で鄭氏の財源を断ち降伏させる。

※その後は貿易開放に転じ，広州・厦門・寧波・上海に貿易を管理する海関を置き，４港での海外貿易を公認した（＝**互市貿易**）。

1689年　**ネルチンスク条約→**〔　　　　　　　〕との対等条約

1706年　〔　　　　　〕問題→ローマ教皇に反発し典礼否認派の宣教師の布教を禁止

※ヨーロッパで中国への関心が高まり，**シノワズリ**〔中国趣味〕が流行した。



清代のアジア

1717年　税制の**地丁銀制**開始

③５代〔　　　　　　　〕（位 1722～35年）

1720年　チベットに進出→藩部とする

1724年　**キリスト教の布教禁止**→宣教師はマカオに追放

※中国全図『皇輿全覧図』を作成したブーヴェ〔白進〕や円明園を設計した**カスティリオーネ**〔郎世寧〕のように，イエズス会宣教師は登用されていた。

青海に進出→藩部とする

1727年　**キャフタ条約**→未定だった西部（モンゴルとシベリア）の国境画定

1732年　**軍機処**の設置→皇帝直属の諮問機関

④６代〔　　　　　　　〕（位 1735～95年）

1757年　貿易制限令→対ヨーロッパ貿易を〔　　　　　〕１港に限定＝**公行**制

1758年　タリム盆地のジュンガルを平定→藩部とする

※翌年，藩部となった東トルキスタンと合わせ**新疆**（＝新しい領土）と称する。

1792年　イギリス使節**マカートニー**渡来（～93年）→自由貿易を要求するも不成功

まとめ　満州民族である清の漢民族支配は，懐柔策と威圧策の同時並行であった。
清の全盛期は４代康熙帝・５代雍正帝・６代乾隆帝の時代であった。

Chapter2　清と周辺諸地域

目標
清が周辺諸国との関係に求めるのは，何という体制だったかを学ぼう。
清が朝貢や貿易で集積していった金属について知ろう。

1　清と朝鮮

属国扱いの**朝鮮〔李朝〕**は 1637年以来清に**朝貢**し正式に〔　　　　　〕を受けていた

※清も明と同様に伝統的な中華帝国の〔　　　　　〕**秩序**を意識。

① 16 世紀の朝鮮→漢民族への納得の服属

　明の科挙制度のなかで高麗以来の特権階級〔　　　　　〕が官僚の大部分を占める

② 16 世紀末の朝鮮→明への恩義

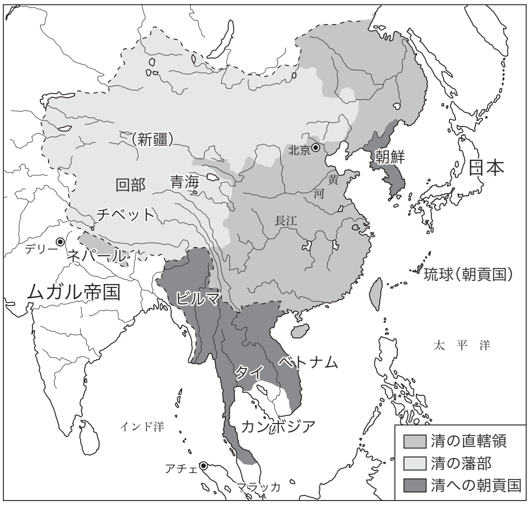
　豊臣秀吉による**文禄・慶長の役〔壬辰・丁酉倭乱〕**（1592～98年）による被害

③ 17 世紀半ばの朝鮮→満洲民族への不服の服属

　清の侵攻を受け朝貢せざるを得ない状況に

　※朝鮮こそが明を継ぐ中国文化の継承者であるという，両班による「**小中華**」の意識。

　※両班層の間では〔　　　　　〕の儀礼が清よりも厳格に守られ，**朱子学**が盛んになった。



清代のアジア

2 清と琉球

属国扱いの琉球王国は清に**朝貢**し正式に**冊封**を受けていた

※毎年進貢船を派遣し清からは冊封使が来琉する一方，**薩摩藩島津氏**の支配を受ける「**日中両属**」状態。

※日中双方の要素を含む琉球独自の文化が，王府の置かれた〔　　　　〕**城**を中心に開花。

首里城正殿

3 清とその他の諸国

18 世紀以降, 清の過密地域から, 国内の辺境地域や東南アジア各地に移民する〔　　　　〕（中国との関係を維持）や〔　　　　〕（現地人化）が増加。

※清国内の人口増加の背景には，大航海時代に流入した，荒れ地や山地でも栽培できる**トウモロコシ**や〔　　　　　　　　　　〕など中南米原産の作物の普及や，〔　　〕・陶磁器・綿織物・絹織物などの生産に加え，商業の発展があった。

※清は諸国からの**朝貢**や貿易（海禁→緩和→海禁）などで**銀**を集積。

A　インドシナ半島（ベトナム〔大越〕・タイ〔シャム〕・ビルマ）→ 18 世紀後半に属国化

B　ネパール

まとめ　清は周辺諸国との関係に，中華帝国の伝統である冊封体制を求めた。
清は朝貢や貿易を通じて，メキシコ産や日本産の銀を集積した。

第１講　PART1　確認問題

1　後金を建国した人物はだれか。

①　フビライ　　②　ヌルハチ
③　ホンタイジ　　④　ダヤン

2　1644年に，明を滅ぼした軍の指導者はだれか。

①　李自成　　②　李舜臣
③　呉三桂　　④　朱元璋

3　清において満・蒙・漢３軍編制となっていたものは何か。

①　緑営　　②　理藩院
③　軍機処　　④　八旗

4　清がロシアとの間で結んだ最初の対等な条約は何か。

①　キャフタ条約　　②　ユトレヒト条約
③　ネルチンスク条約　　④　ウェストファリア条約

5　三藩の乱を鎮圧して，中国支配を確立させた清朝４代皇帝はだれか。

①　乾隆帝　　②　康熙帝
③　雍正帝　　④　順治帝

6 5 代雍正帝と 6 代乾隆帝の時代に，円明園を設計した人物はだれか。

① ブーヴェ　② マテオ＝リッチ
③ マカートニー　④ カスティリオーネ

7 6 代乾隆帝の時代に始まった制度・政策は何か。

① 公行制　② 地丁銀制
③ 科挙制度　④ 海禁政策

8 清の時代に意識された，伝統的な中華帝国の秩序は何か。

① 華夷　② 新疆
③ シノワズリ　④ 冊封

9 朝鮮が豊臣秀吉によって攻められたできごとを何というか。

① 三藩の乱　② 白蓮教徒の乱
③ 壬辰・丁酉倭乱　④ 天理教徒の乱

10 琉球王国を支配していた藩はどこか。

① 松前藩　② 長州藩
③ 対馬藩　④ 薩摩藩

PART2 アジア諸地域の展開

Chapter1　オスマン帝国とサファヴィー朝

目標
トルコ世界を統一した帝国と最盛期のスルタンは誰かを学ぼう。
イラン世界を統一した王朝と最盛期のシャーは誰かを学ぼう。

1　トルコの展開―セルジューク朝からオスマン帝国へ―

10 世紀半ばに成立した**カラハン朝**を最初とする，〔　　　　　　　〕**人のイスラーム化**と西方への民族移動は，その後の世界史の展開に大きな影響をもたらした。

①**セルジューク朝**（1038～1194年）

トゥグリル = ベクがアッバース朝**カリフ**〔代理人〕から**スルタン**〔支配者〕の称号を授かる

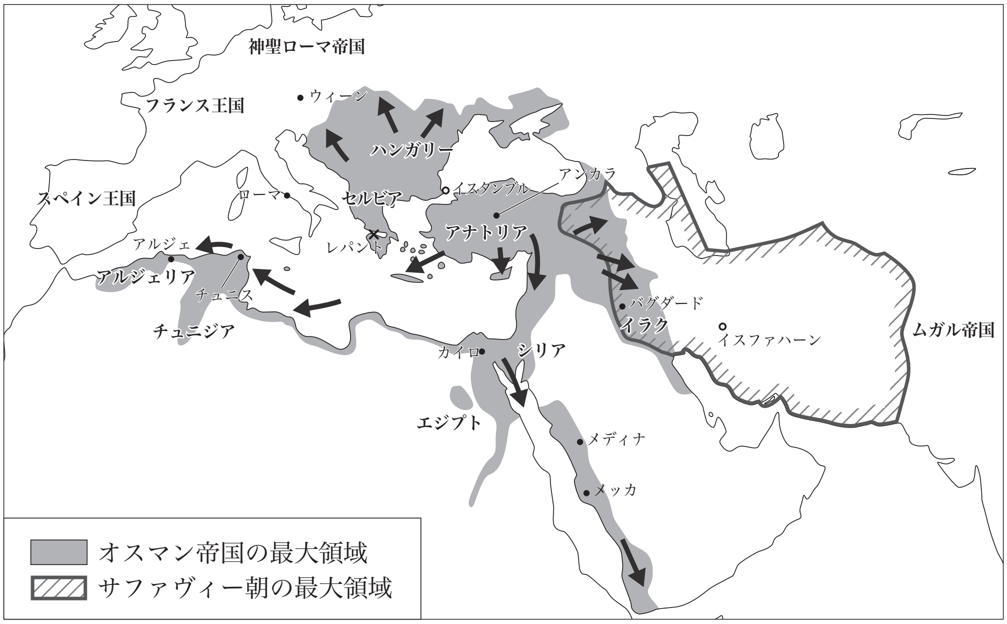
②〔　　　　　　　　　〕**帝国**（1299～1922年）→オスマン 1 世がアナトリアで建国

専制君主の〔　　　　　　　　　〕はイスラーム法に基づく政治を行う

※イスラームを支配理念として，ユダヤ・キリスト教徒に宗教共同体〔**ミッレト**〕ごとの自治を与える形で諸宗派の共存を図る。

※軍隊はティマール〔徴税権〕を保持する騎兵シパーヒーと，常備軍の**イェニチェリ**。

A　**アンカラ〔アンゴラ〕の戦い**（1402年）



オスマン帝国とサファヴィー朝

B 〔　　　　　　　　〕**帝国滅亡**（1453年）

国力を回復させた**メフメト２世**が首都**コンスタンティノープル**を陥れる

※〔　　　　　　　　　　　　〕と改称しオスマン帝国の新首都。→「文明の十字路」

C **マムルーク朝**滅亡（1517年）→セリム１世がシリアに加えエジプトも奪取

メッカ・メディナ**両聖都の保護権**を入手

※スルタンは，カリフ政治の後継者として〔　　　　　　〕**派**の頂点に。

D **第１次**〔　　　　　　　　〕**包囲**（1529年）

スレイマン１世はそれ以前に南イラク・北アフリカ・ハンガリーにも進出

E **カピチュレーション**を授ける（1569年）→のちヨーロッパ諸国優位の不平等条約に

セリム２世がフランス商人に居住と通商の自由を認める→のちイギリス・オランダも

F 〔　　　　　　　　〕**の海戦**（1571年）

セリム２世がスペインなどの連合艦隊に敗れる

2 イランの展開―ティムール朝からサファヴィー朝へ―

西チャガタイ＝ハン国出身の**ティムール**がイラン人世界とトルコ人世界を統一したことにより，イル＝ハン国で成熟を遂げたイラン＝イスラーム文化が中央アジアに伝えられ，トルコ＝イスラーム文化として発展した。

①**ティムール朝**（1370～1507年）→首都**サマルカンド**が繁栄

西トルキスタンを統一し西進してイランからイラクに至る領土を併せる

※アナトリアに攻め入り**アンカラ〔アンゴラ〕の戦い**（1402年）でオスマン帝国を破る。

②〔　　　　　　　　　　　　〕**朝**（1501～1736年）→成立当初は遊牧国家

A **イラン**の神秘教団の長イスマーイール１世が遊牧民信者を率い**タブリーズ**を占領

※指導者は古代イランの王を意味する〔　　　　　　〕の称号を用い，国内統一のため〔　　　　　　〕**派**（特に十二イマーム派）を国教とする。

B **アッバース１世**の治世（1587～1629年）が最盛期→初めてヨーロッパ諸国と交流

オスマン帝国から領土の一部を取り戻しポルトガル人からホルムズ島を奪回

※新首都は「〔　　　　　　　　　　　　　　〕**は世界の半分**」と言われるほどの繁栄をみせる。

まとめ トルコ世界を統一したオスマン帝国最盛期のスルタンは，スレイマン１世。
イラン世界を統一したサファヴィー朝最盛期のシャーは，アッバース１世。

Chapter2　ムガル帝国と東南アジア諸地域

目標
イスラーム王朝であるムガル帝国の経緯を学ぼう。
16～18 世紀の東南アジア交易の勢力図を学ぼう。

1　イスラーム王朝のムガル帝国

①初代皇帝バーブル（位 1526～30）

A　カーブルを本拠に北インドに進出

B　パーニーパットの戦い（1526年）

アフガン系のロディー朝軍に勝利を収め〔　　　　　　　〕**帝国**の基礎を築く

②３代皇帝〔　　　　　　　　　〕（位 1556～1605）→実質的建国者

A　中央集権的な統治機構を整え首都をデリーからアグラに移す

B　**人頭税〔ジズヤ〕を廃止**して**ヒンドゥー教と融和**

③５代皇帝シャー＝ジャハーン（位 1628～58）

A　デリーへ再遷都

B　〔　　　　　　　　　　　　　〕廟の建設→**インド＝イスラーム文化**の頂点

タージ・マハル廟

④６代皇帝〔　　　　　　　　　　　　　〕

（位 1658～1707）→最大領土

A　**人頭税を復活**させ**ヒンドゥー教を弾圧**

B　16 世紀前半にナーナクが開いた**シク教**も弾圧

C　西インドにマラーター王国建国（1674～1818年，ヒンドゥー勢力）

このような地方勢力が台頭し各地に独立政権が生まれる

※ 18 世紀前半，西北インドではシク教徒が反乱を起こす。

2　東南アジア交易の発展

①**ポルトガル**による〔　　　　　　　　〕**王国**占領（1511年）

もとはイスラーム勢力最大の拠点

※ 18 世紀には衰退し，インドネシアは〔　　　　　　　　〕の支配下に置かれる（＝**オランダ領東インド〔蘭印〕**）。

②**スペイン**による〔　　　　　　　　　　　〕侵略（16 世紀後半～）

ルソン島の〔　　　　　　〕を根拠地に交易と支配を行う

※マニラとスペイン領**メキシコ〔ノヴィスパン〕**の〔　　　　　　　　　　〕は，太平洋を挟み大型帆船の**ガレオン船**で結ばれた。

※マニラからは中国産の絹・陶磁器，アカプルコからは大量の〔　　　　　　　　　　〕が運ばれ，**日本銀**とともにポルトガルが拠点を置く〔　　　　　　〕などを通じ，中国に大量に流入。

③オランダ・イギリス（＝紅毛人）も東南アジア貿易に参入

ともに〔　　　　　　　　　　　　〕を設立し**香辛料**などの特産物を扱う

※**オランダ**は，17 世紀前半にはポルトガル・スペイン（＝南蛮人）を抑え込みイギリスを追放, ジャワ島の〔　　　　　　　　　　〕を拠点に東南アジア貿易の主導権を握る。

※イギリスは，1623年，モルッカ諸島で起こった〔　　　　　　　　　　〕**事件**でオランダとの競争に敗れインドに進出，のちフランスの東インド会社と競った。

④日本による出会貿易形式の〔　　　　　　〕**貿易**

豊臣秀吉が始め徳川家康が制度化→江戸幕府３代将軍家光の鎖国政策により禁止

⑤タイの〔　　　　　　　　〕**朝**（1351～1767年）が米の輸出や中継貿易で繁栄を続ける

のちビルマ最後の王朝コンバウン朝に滅ぼされる

※その後，現在まで続く**ラタナコーシン〔バンコク〕朝**が開かれる。

まとめ

ムガル帝国は実質的に３代アクバルが建国し，６代目で最大領土となった。
東南アジア交易は，ポルトガル・スペインからオランダへ主導権が移った。

第 1 講　PART2　確認問題

1 オスマン帝国における君主の称号は何か。

① スルタン　② シャー
③ ジズヤ　④ カリフ

2 オスマン帝国における常備軍を何というか。

① シパーヒー　② ミッレト
③ イェニチェリ　④ ティマール

3 オスマン帝国とティムール朝との間で，1402年に起こった戦いを何というか。

① プレヴェザの海戦　② アンカラ〔アンゴラ〕の戦い
③ レパントの海戦　④ パーニーパットの戦い

4 1453年にコンスタンティノープルを陥落させ，ビザンツ帝国を滅ぼしたオスマン帝国のスルタンはだれか。

① メフメト２世　② バヤジット１世
③ スレイマン１世　④ セリム１世

5 1501年に建てられ，成立当初は遊牧国家だった王朝はどれか。

① サファヴィー朝　② ティムール朝
③ セルジューク朝　④ マムルーク朝

6 サファヴィー朝の新首都となった都市はどこか。

① サマルカンド　② イスタンブル
③ イスファハーン　④ アナトリア

7 サファヴィー朝に関連があるできごとは何か。

① ニコポリスの戦い　② レパントの海戦
③ シーア派の国教化　④ 第 1 次ウィーン包囲

8 人頭税を復活させヒンドゥー教を弾圧したムガル帝国皇帝はだれか。

① アクバル　② シャー＝ジャハーン
③ バーブル　④ アウラングゼーブ

9 ポルトガルが 1511年に占領した王国はどこか。

① マラッカ王国　② バンテン王国
③ マタラム王国　④ アチェ王国

10 1531年にビルマに成立した王朝はどれか。

① アユタヤ朝　② タウングー朝
③ コンバウン朝　④ ラタナコーシン朝

PART3 江戸幕府の確立

Chapter1　幕藩体制

目標　天下統一から江戸幕府の成立過程を学ぼう。
幕藩体制とはどのような体制なのか？

1　江戸幕府の成立

①［　　　　　　　　　］の統一
　鉄砲とキリスト教を利用し統一を進める
　※本能寺の変で**明智光秀**に殺害される（1582年）。
②［　　　　　　　　　］の天下統一と朝鮮侵略
　A　近世身分制度の基礎確立
　　　太閤検地や刀狩令・人掃令〔身分統制令〕
　B　バテレン〔宣教師〕追放令（1587年）
　C　**文禄・慶長の役〔壬辰・丁酉倭乱〕**（1592～98年）
③［　　　　　　　　　］の江戸幕府確立
　1600年　**関ヶ原の戦い**で西軍に勝利
　1603年　征夷大将軍に就任し［　　　　　　　　　］を開く
　1615年　**大坂の役**で**豊臣秀頼**を滅ぼす

2　幕藩体制の確立

①**親藩・譜代・外様**大名に領知宛行状を発行
　軍役・お手伝普請を課し［　　　　　　　　　］を義務づける
②一国一城令・**武家諸法度**で統制（1615年～）
　武家諸法度は原則的に将軍の代替わりごとに改正
　※違反者は改易・減封・転封などの処分。
　※初代家康～３代家光までは**武断政治**により大量に牢人が発生。
　※４代家綱以降は**文治政治**に転換。

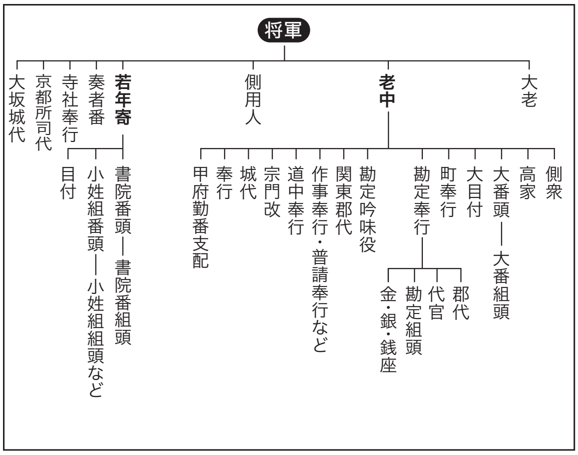
③［　　　　　　　　　］の確立

幕府の将軍と大名の藩が全国の土地と人民を直接統治

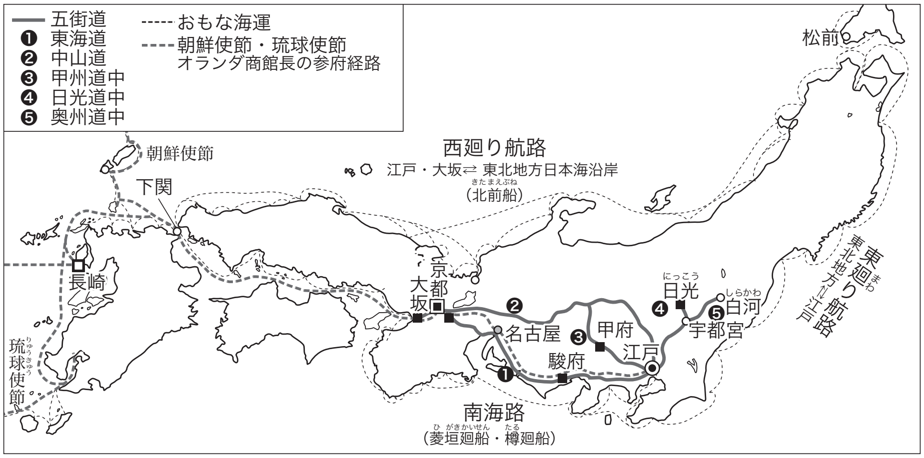
※三都と呼ばれた「将軍のお膝元」**江戸**・「天下の台所」［　　　　　］・**京都**などの重要都市を含む**幕領**のほか，旗本領・**藩**の３種類の領地がある。

※幕府は主要鉱山や主要街道も直轄し，貨幣鋳造権も独占した。

※キリスト教は禁止し，**宗門改め**を制度化（＝寺請制度・寺檀制度）。



江戸幕府の職制図



江戸時代の交通

まとめ　豊臣秀吉が統一した天下を徳川家康が引き継ぎ，江戸幕府が成立した。強大な権力を持つ幕府の将軍と藩の大名が，全ての土地と人民を直接支配する体制を幕藩体制という。

Chapter2　鎖国体制（北海道と琉球王国含む）

目標
鎖国体制が完成するまで行われていた貿易について知ろう。
鎖国体制下でも開かれていた「四つの口」とは？

1　朱印船貿易

①〔　　　　　　〕**貿易**→主に東南アジアで中国船との出会貿易を行う
　将軍が海外渡航を許可する**朱印状**を交付
　※日本の銀と中国の生糸〔白糸〕などを交易。
②**日本町〔日本人町〕**→全８カ所
　山田長政がシャムのアユタヤで日本町の長となる
③ 1635年に日本人の海外渡航および帰国が全面禁止となり終了

2　鎖国体制の確立

①目的→キリスト教禁止の徹底と**幕府による貿易利潤の独占**（実際は……）
②経過→〔　　　　〕**・対馬・薩摩・松前**という「**四つの口**」のみが残る
　1600年　オランダ船リーフデ号が豊後国に漂着　※オランダ人・イギリス人の来日。
　1612年　幕領に禁教令。翌年，全国に禁教令
　1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定
　1623年　アンボイナ事件→**イギリスが自ら退去**
　1624年　**スペイン船来航禁止**
　1635年　日本人の海外渡航および帰国を全面禁止
　1637年～島原・天草一揆（～38年）
　1639年　〔　　　　　　　　　〕**船**来航禁止
　1641年　平戸のオランダ商館を**長崎**の〔　　　　〕に移す

3　鎖国体制

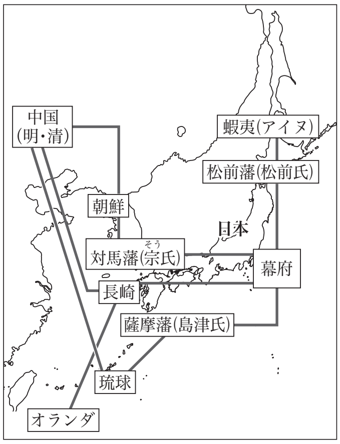
①**中国**（明から〔　　〕へ）→長崎奉行を通じ唐船風説書を提出。
　1689年以降は**長崎**郊外の〔　　　　　　　〕に中国商人が居住
　※日本は銀・金・銅・海産物などを輸出，生糸などを輸入。
　※朝鮮を通じて対馬藩，琉球を通じて薩摩藩とも貿易関係があった。

②オランダ

バタヴィアに本店のある東インド会社の**オランダ商館**が**長崎**の**出島**で交易

※**オランダ商館長〔カピタン〕**が，長崎奉行を通じ**オランダ風説書**を提出。

※日本は銀・金・銅・有田焼〔伊万里焼〕・樟脳〔カンフル〕などを輸出し，生糸・各種織物・砂糖などを輸入。



日本からみた外交秩序

③**朝鮮**→〔　　　　〕**藩**宗氏が仲立ちし貿易を独占

1609年に朝鮮と宗氏が己酉約条〔慶長条約〕を結び貿易再開

※釜山に**倭館**を設置。日本は銀・銅などを輸出し，中国産生糸や朝鮮人参などを輸入。

※将軍の代替わりごとに**朝鮮**〔　　　　　　〕が来日。

④**琉球王国**→〔　　　　〕**藩**島津氏が仲立ちし貿易を独占

1609年に島津家久が国王尚寧を服属させ**日中両属**とする

※王府は**首里城**で港は〔　　　　〕。以前は“万国の津梁”として**中継貿易**で栄えていた。

※三線〔蛇皮線〕を伴奏に伝統歌謡**おもろ**が発達。

琉球の紅型

※砂糖が特産品。蝦夷地の昆布や俵物は琉球経由で中国に輸出。

※将軍の代替わりごとに**慶賀使**，国王の代替わりごとに〔　　　　　　〕が来日。

⑤**蝦夷地**→〔　　　　〕**藩**松前氏がアイヌとの交易独占権を認められる

商場知行制のち**場所請負制**に転換

※文字を持たず口承の**ユーカラ**が発達。イオマンテ〔熊送り〕など独自の風習あり。

※日本の米・酒・たばこ・塩・漆器と，アイヌの**蝦夷錦**・ラッコなどの毛皮・鮭・鰊・昆布などを交換。アイヌは樺太を介してアムール川下流域（山丹）とも交易していた。

※ 1669年には〔　　　　　　　　　　　　〕の戦いを平定。

アイヌの蝦夷錦

まとめ　鎖国体制が確立する以前は，東南アジア各地で朱印船貿易が行われた。
長崎・対馬・薩摩・松前の４カ所は，鎖国体制下でも海外と繋がっていた。

第 1 講　PART3　確認問題

1 徳川家康が豊臣秀頼を滅ぼした戦いは何か。

① 慶長の役　② 大坂の役
③ 文永の役　④ 文禄の役

2 江戸幕府における大名の処分のうち，領地を没収することを何というか。

① 減封　② 転封
③ 普請　④ 改易

3 それまでの武断政治から文治政治に転換した江戸幕府 4 代将軍はだれか。

① 徳川秀忠　② 徳川家綱
③ 徳川吉宗　④ 徳川綱吉

4 江戸時代の三都の一つで，「天下の台所」と呼ばれた都市はどれか。

① 江戸　② 京都
③ 大坂　④ 奈良

5 五街道のうち，江戸～草津間を結ぶ街道はどれか。

① 中山道　② 日光道中
③ 奥州道中　④ 甲州道中

6 老中を補佐し，旗本・御家人の監察を主な任務とする幕府の職制は何か。

① 若年寄　② 大老
③ 大目付　④ 勘定奉行

7 江戸時代初期に行われていた貿易は何か。

① 勘合貿易　② 南蛮貿易
③ 中継貿易　④ 朱印船貿易

8 鎖国体制が完成したできごとは何か。

① アンボイナ事件　② スペイン船来航禁止
③ 日本人の海外渡航と帰国の全面禁止　④ ポルトガル船来航禁止

9 琉球王国が将軍の代替わりごとに幕府に派遣した使節を何というか。

① 慶賀使　② 冊封使
③ 通信使　④ 謝恩使

10 1669年に蝦夷地のアイヌが松前藩と対立して起こった戦いは何か。

① クナシリ・メナシの戦い　② 安藤氏の乱
③ シャクシャインの戦い　④ コマシャインの戦い

PART4 列強の接近

Chapter1　ロシアの発展と拡大

目標
ロシア帝国成立の過程を学ぼう。
ロマノフ朝発展の過程を学ぼう。

1　ロシアの経緯

①ノヴゴロド国（9～15 世紀）

　スウェーデン系ノルマン人リューリクが建てたロシアの起源？

②**キエフ公国**（9～13 世紀）→ギリシア正教を国教化

　ウラディミル 1 世が全盛期

③モンゴルによる支配「〔　　　　　　　　　〕**のくびき**」（13～15 世紀後半）

　約 240年間キプチャク = ハン国が支配

④〔　　　　　　　　　〕**大公国**（14 世紀前半～16 世紀）→**ロシア正教会**も確立

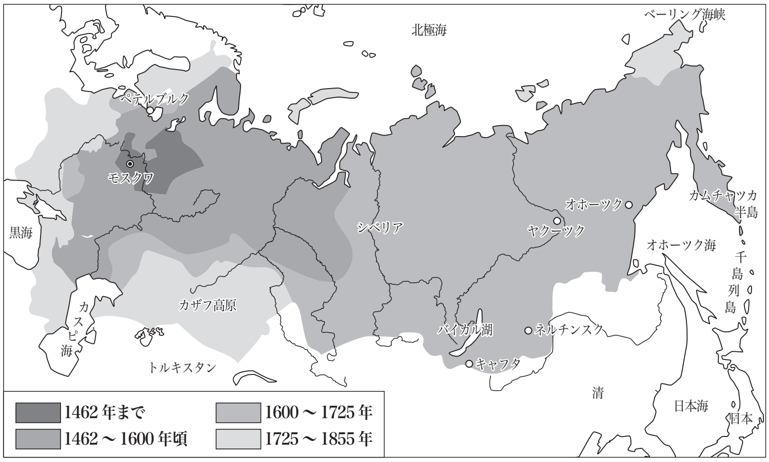
　A　**イヴァン3世**が東北ロシアを統一しモンゴルの支配から自立

　　初めて〔　　　　　　　　　〕**〔皇帝〕**の称号を用いた**ロシア帝国**の皇帝

　B　**イヴァン4世〔雷帝〕**がツァーリの称号を正式に採用しアジアへの進出開始

　　あ　南ロシアに進出して恐怖政治を展開し農奴制を強化

　　い　コサックの首長**イェルマーク**に占領させたシベリアの一部も領土に編入



ロシアの領土拡大

2 ロマノフ朝の成立と発展

①**ミハイル＝ロマノフ**が〔　　　　　　　〕**朝**創設（1613年）

②ステンカ＝ラージンの農民反乱（1670～71年）

③〔　　　　　　　　　　　　〕**〔大帝〕**の改革→西欧文化の輸入と大国化

A　清と〔　　　　　　　　　　〕**条約**を締結（1689年）
退位後に**キャフタ条約**へと発展（1727年）

B　カムチャツカ領有（1707年）
退位後にベーリングがカムチャツカ探検（1725～30年）

C　**北方戦争**でスウェーデンを破る（1700～21年）
デンマーク・ポーランド・プロイセンと結びカール12世を攻める
※バルト海の覇者となり，沿岸の「ヨーロッパの窓」**ペテルブルク**に遷都。

D　南下してオスマン帝国を圧迫し黒海北部のアゾフ海に進出

3 ロマノフ朝の拡大

エカチェリーナ２世

①女帝〔　　　　　　　　　　　　　〕の政策→初期は啓蒙専制君主

A　プガチョフの農民反乱後は貴族と妥協して農奴制を強化

B　オスマン帝国から**クリミア半島**を奪う

C　オホーツク海まで進出し日本に〔　　　　　　　　　〕を派遣

②三次にわたる〔　　　　　　　　　　〕**分割**

A　第一次（1772年）→プロイセン・オーストリア・ロシア三国による

B　第二次（1793年）→プロイセン・ロシア二国による

C　**コシューシコ**の抵抗（1794年）

D　第三次（1795年）→プロイセン・オーストリア・ロシア三国による
ポーランド王国は消滅し第一次世界大戦終結まで外国支配が行われる

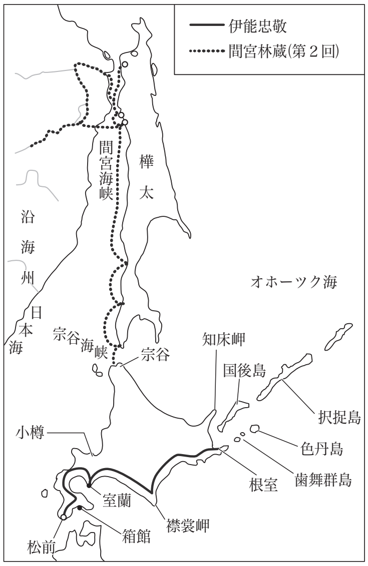
まとめ
モンゴルの支配から脱出したモスクワ大公国を経て，ロマノフ朝が成立。
ピョートル１世，エカチェリーナ２世の時にロシア帝国は領土を拡大。

Chapter2　列強の接近と幕府の動揺

目標
江戸幕府が異国船打払令を出す原因となった国とは？
幕府の列強対応のターニングポイントとなった出来事を知ろう。

1　ロシアの接近と幕府の対応

1715年　**海舶互市新例**〔長崎新令・正徳新令〕で清・オランダとの貿易額を制限
　※「正徳の治」中の侍講**新井白石**による金・銀流出対策。
1739年　ロシアの探検船が各地に来航→「元文の黒船」
　※「享保の改革」中の**８代将軍徳川吉宗**は対応せず。
1778年　ロシア船が根室（翌年は厚岸）に来航し通商を要求→松前藩が拒否
1785年　老中**田沼意次**が〔　　　　　　　　〕を千島探検に派遣
1792年　ロシア使節〔　　　　　　　　　　〕が**根室**に来航し通商を要求
　※**エカチェリーナ２世**が，漂流民**大黒屋光太夫**らも送り届けさせる。
　※「寛政の改革」中の老中**松平定信**は拒否するが，信牌を与える。
1798年　**近藤重蔵・最上徳内**らを南千島探検に派遣
1799年　幕府が東蝦夷地を直轄
1804年　ロシア使節〔　　　　　　　　〕が**長崎**に来航し通商を要求
　※アレクサンドル１世が，漂流民津太夫らも送り届けさせる。
　※「大御所政治」中の**11代将軍徳川家斉**は拒否。
1806年　**文化の撫恤令**〔薪水給与令〕→翌年撤回
1807年　幕府が西蝦夷地も直轄
1808年　**間宮林蔵**らが〔　　　　〕を探検し島であることを発見
1811年～**ゴローウニン事件**（～13年）
　→高田屋嘉兵衛の活躍で日露関係は収拾
1821年　幕府が全蝦夷地を松前藩に還付
　※この年に〔　　　　　　　　〕らの
　『**大日本沿海輿地全図**』も完成。



北方探査図

2　イギリスの接近と幕府の対応

1808年　〔　　　　　　　　　　　〕**号事件**

　　　※**イギリス軍艦**がオランダ商船を追い**長崎**に乱入。

1825年　〔　　　　　　　　　　　　　〕**〔無二念打払令〕**

1828年　**シーボルト事件**

1837年　〔　　　　　　　　〕**号事件**

　　　※**アメリカ**の商船を２カ所で打ち払う。

1839年　**蛮社の獄**

　　　※幕府の外交政策を批判した，尚歯会〔蛮学社中〕のメンバーを処罰。

1840年～〔　　　　　　〕**戦争で清が**〔　　　　　　　　　〕**に敗れる**（～42年）

1842年　〔　　　　〕**の薪水給与令**

　　　※「天保の改革」中の老中**水野忠邦**が異国船打払令を撤回。

3　列強の開国要求と幕府の対応

1844年　オランダ国王ウィレム２世が開国を勧告

1846年　アメリカ東インド艦隊司令長官**ビッドル**が浦賀に来航し通商を要求

　　　※アメリカは**捕鯨船・対清貿易船**

　　　　寄港地として日本の開国を切望。

1853年　**アメリカ東インド艦隊司令長官**の

　　　〔　　　　　　〕が黒船４隻で**浦賀**に来航

　　　※フィルモア大統領の国書を提出。

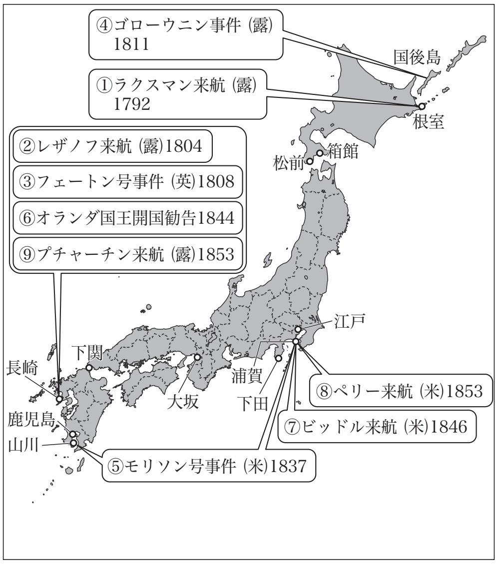
　　　　ロシア極東艦隊司令長官の

　　　　〔　　　　　　　　　　〕が

　　　　長崎に来航

　　　※開国と国境画定を要求するが，

　　　　本国で**クリミア戦争**が始まる。



列強の接近とその場所

まとめ
江戸幕府が異国船打払令を出したきっかけは，イギリスの横暴だった。
アヘン戦争で清がイギリスに敗れたことが，幕府の列強対応の転換点。

第１講　PART4　確認問題

1　ウラディミル１世が全盛期を創出した国はどこか。

①　モスクワ大公国　②　キエフ公国
③　ノヴゴロド国　④　キプチャク＝ハン国

2　ツァーリの称号を正式に採用し，アジアへの進出を開始したモスクワ大帝国の皇帝はだれか。

①　イヴァン３世　②　イヴァン４世
③　ピョートル１世　④　ウラディミル１世

3　ピョートル１世〔大帝〕が 1689年に清との間で結んだ条約は何か。

①　キャフタ条約　②　フベルトゥスブルク条約
③　ニスタットの和約　④　ネルチンスク条約

4　ピョートル１世〔大帝〕がスウェーデンを破った戦いは何か。

①　七年戦争　②　ファルツ戦争
③　北方戦争　④　三十年戦争

5　三次にわたってポーランド分割を行ったロマノフ朝の皇帝はだれか。

①　ピョートル１世　②　カール12世
③　エカチェリーナ２世　④　ヨーゼフ２世

6 ロシア使節のラクスマンが根室に来航し通商を要求した際，拒否した人物はだれか。

① 田沼意次　② 徳川家斉
③ 松平定信　④ 新井白石

7 1808年，樺太を探索し島であることを発見した人物はだれか。

① 間宮林蔵　② 最上徳内
③ 大黒屋光太夫　④ 近藤重蔵

8 1808年，イギリス軍艦がオランダ商船を追って長崎に乱入した事件は何か。

① モリソン号事件　② ゴローウニン事件
③ シーボルト事件　④ フェートン号事件

9 1842年に出された，日本に来航する外国船に関する法令を何というか。

① 異国船打払令　② 天保の薪水給与令
③ 海舶互市新例　④ 無二念打払令

10 1846年に浦賀に来航したアメリカ東インド艦隊司令長官はだれか。

① ビッドル　② レザノフ
③ ペリー　④ シーボルト

第2講 【近代編】欧米の市民革命と産業革命
PART1 ヨーロッパ諸国の海外進出

Chapter1　アジア諸国への進出

目標　東南アジア市場を握った国の移り変わりを知ろう。
アンボイナ事件の歴史的意義は何だろう。

1　ポルトガル・スペインのアジア市場進出

①〔　　　　　　　　　　〕の進出

A　インドの**ゴア**を占領（1510年）→ヨーロッパとアジアをつなぐ**ムスリム商人**に対抗

B　スリランカ・マラッカ・モルッカ諸島を支配下に置く→**香辛料**・香料が中心

C　**中国**の〔　　　　　　〕に居住権を得る（1557年）

D　日本とも生糸と銀を交換する**南蛮貿易**を行い 1639年まで通商関係を保つ

E　スペインに併合される（1580～1640年）

②〔　　　　　　　　〕の進出

フェリペ２世時代に**フィリピン**の〔　　　　　　〕を根拠地に交易と支配を展開

※**メキシコ〔ノヴィスパン〕**の**アカプルコ**と，**ガレオン船**により太平洋を挟み結ぶ。マニラからは中国産の絹と陶磁器，アカプルコからは〔　　　　　　　　〕**銀**が運ばれた。

1581年　オランダ独立宣言→スペインから独立

2　オランダのアジア市場進出

①**オランダ**〔　　　　　　　　　　　　〕〔VOC〕の設立（1602年）

→初の株式会社

ジャワ島の**バタヴィア**を根拠地に**香辛料**・陶磁器貿易の実権を握る。

②〔　　　　　　　　　　〕**事件**（1623年）→モルッカ諸島におけるイギリス商館員殺害

アンボイナ事件

オランダがイギリスの勢力を東南アジアから排除。

※**長崎の出島**で鎖国下の日本と交易を継続，一時期ゼーランディア城を拠点に**台湾**も占領。

③南アフリカに**ケープ植民地**を築く（1652年）→アジアへの中継地

3　イギリスのアジア市場進出

①**イギリス**〔　　　　　　　　　　　　〕の設立（1600年）→エリザベス１世

②**アンボイナ事件**（1623年）

これ以後は日本・東南アジアから撤退し，〔　　　　　　〕**経営**に力を注ぐ。

③ムガル帝国下のインド経営

マドラス・ボンベイ・**カルカッタ**（現在のチェンナイ・ムンバイ・コルカタ）を拠点に，盛んな通商活動を展開。

④３次にわたる**イギリス＝オランダ〔英蘭〕戦争**（1652～74年）で優勢

東アジアの拠点たる台湾も失ったオランダを逆転し，17世紀末には世界貿易の主役に。

⑤〔　　　　　　　　　　〕**の戦い**（1757年）

東インド会社の傭兵軍を率いたクライヴが，フランス・インド地方政権の連合軍を破る。

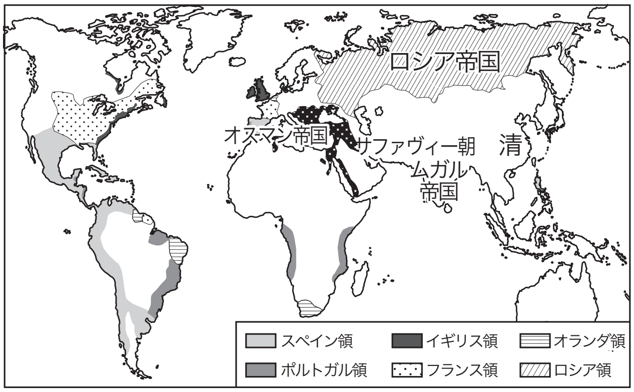
4　フランスのアジア市場進出

①〔　　　　　　　　〕**東インド会社**の設立（17世紀初め）

②東インド会社の再建（1664年）

ルイ14世に仕えたコルベールが，重商主義政策の一環でインドに進出。

※シャンデルナゴル・**ポンディシェリ**を拠点に，イギリスに対抗。



17 世紀半ば植民地

③インド総督デュプレクスの活躍

一時期はイギリスを苦境に陥れたが，1654年に本国に送還。

④**プラッシーの戦い**（1757年）

フランス・インド地方政権の連合軍が，イギリス東インド会社に敗れる。

まとめ

東南アジアで栄えた国はポルトガル→スペイン→オランダの順に移り変わった。

アンボイナ事件でイギリスは東南アジアから撤退し，インド経営に力を入れた。

Chapter2　南北アメリカへの進出と奴隷制

目標
南北アメリカ大陸で黒人奴隷が必要とされた理由２つを知ろう。
大西洋三角貿易によって起こった，経済の変化を理解しよう。

1　南北アメリカ大陸の植民地争奪

①**ポルトガル**

〔　　　　　　　　〕を領土とする。

②〔　　　　　　　　〕

ブラジルを除く**ラテンアメリカの大半を植民地化**し，金・**銀**を独占。

③〔　　　　　　　　〕

1621年，**西インド会社**を設立し，アフリカ西岸とアメリカとの通商に乗り出す。

※北アメリカ東岸にニューネーデルラント植民地を領有し，中心都市として**ニューアムステルダム**（現在のニューヨーク）を建設。

④〔　　　　　　　　〕

17世紀初め，北アメリカ東岸に最初の植民地ヴァージニアを設ける。その後，多くのピューリタン（例：1620年，〔　　　　　　　　〕**号**のピルグリム＝ファーザーズ〔巡礼始祖〕）が本国での迫害を逃れて移住し，ニューイングランド植民地が形成された。

※ 18世紀前半までにイギリスの **13 植民地**が南北に並んだ。

⑤〔　　　　　　　　〕

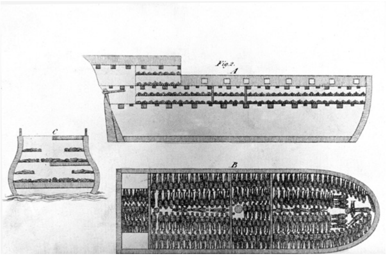
17世紀初め以来ケベックを中心に**カナダ**に進出。17世紀後半のルイ 14世時代には広大な〔　　　　　　　　〕を領有。

⑥**フレンチ＝インディアン戦争**（1754～63年）→英仏の植民地戦争

イギリスがフランスを破り，1763年の**パリ条約**でカナダとミシシッピ川以東のルイジアナ，フロリダ，西インド諸島の一部及びアフリカのセネガルを獲得。

※フランスはミシシッピ川以西のルイジアナをスペインに譲渡し，アメリカから撤退。

2　奴隷制と大西洋三角貿易


奴隷船

①西欧諸国による大西洋ルートの〔　　　　　〕**貿易**開始（16世紀）

ラテンアメリカでは，スペイン人が持ち込んだ〔　　　　　〕と過酷な労働により，**先住民の人口が激減**したことから**奴隷**を必要としていた。

②アフリカ西岸からの〔　　　　　〕**奴隷**の激増（17〜19世紀）→ 1200 万人以上

綿花・タバコ・〔　　　　〕などの**プランテーション〔大農園〕**が盛んになったため。

③〔　　　　　　　　　　〕**貿易**→ヨーロッパ人の消費生活を大きく変える

A　**西欧**の**旧式武器**や東インド会社から得た**綿織物〔キャラコ〕**をアフリカに

B　**アフリカ**の人々を**奴隷**としてアメリカ大陸・西インド諸島に

C　**アメリカ大陸・西インド諸島**から**綿花**・タバコ・コーヒー・**砂糖**をヨーロッパに

④巨大な**国際分業システム**の登場

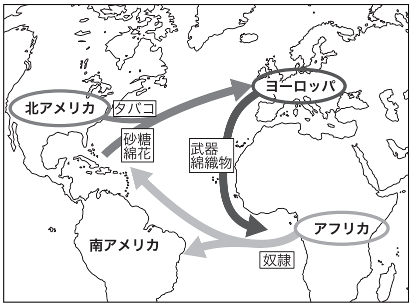
A　先進地域としての**西欧**

B　製品輸出先・奴隷供給地としての**アフリカ**

C　奴隷の供給を受けて西欧向けの農産物生産を行う**アメリカ**

※経済の**モノカルチャー**化が進展。

18世紀イギリス富裕層の暮らし



18世紀の大西洋三角貿易

まとめ

南北アメリカ大陸では，先住民の激減とプランテーションの発達により黒人奴隷が必要とされた。

大西洋三角貿易により西欧・アフリカ・アメリカの国際分業が成立した。

第 2 講　PART1　確認問題

1 ポルトガルが1510年に占領した都市はどこか。

① インドのゴア　② ジャワ島のバタヴィア
③ 南アフリカのケープ　④ フィリピンのマニラ

2 スペインがフェリペ 2 世時代に根拠地とした都市はどこか。

① ジャワ島のバタヴィア　② フィリピンのマニラ
③ インドのゴア　④ インドのカルカッタ

3 オランダが東インド会社を設立した後，根拠地とした都市はどこか。

① インドのカルカッタ　② フィリピンのマニラ
③ インドのゴア　④ ジャワ島のバタヴィア

4 1623年，インドネシア東部のモルッカ諸島でイギリス商館員が殺害されたできごとを何というか。

① アンボイナ事件　② ヴァンデーの反乱
③ プラッシーの戦い　④ サンバルテルミの虐殺

5 1757年，東インド会社の傭兵軍を率いたクライヴが，フランス・インド地方政権の連合軍を破った戦いを何というか。

① プラッシーの戦い　② カーナティック戦争
③ マラーター戦争　④ 七年戦争

6 フランスがインドに進出し，拠点とした都市はどこか。

① マドラス　② ゴア
③ ポンディシェリ　④ カルカッタ

7 ブラジルを植民地とした国はどこか。

① スペイン　② フランス
③ ポルトガル　④ オランダ

8 フランスがルイ14世時代に領有したのはどこか。

① ニューネーデルラント　② ルイジアナ
③ ニューイングランド　④ ヴァージニア

9 フレンチ＝インディアン戦争の講和として1763年に締結された条約を何というか。

① ユトレヒト条約　② パリ条約
③ ネルチンスク条約　④ ラシュタット条約

10 大西洋三角貿易で，アフリカにもたらされたのは何か。

① 砂糖　② 綿花
③ 綿織物〔キャラコ〕　④ 奴隷

PART2 西ヨーロッパの繁栄

Chapter1　イギリス革命と議会政治の確立

目標　イギリスの政治制度の変遷を学ぼう。
世界初の市民革命を起こし立憲君主政を確立した国を知ろう。

1　イギリス革命

①イギリス王ジェームズ１世の王権神授説
専制君主政に対し，市民層やピューリタンの不満高まる。

②**権利の請願**（1628年）
これに反対したチャールズ１世は，翌年に議会を解散し，以後 11年間議会を開かず。

③**イギリス革命**（1640～60年）の開始
1642年には**王党派**と**議会派**の間に内戦が勃発。まもなく議会派は長老派と**独立派**に分裂。
ピューリタン〔清教徒〕革命とも呼ぶ**初の市民革命**が始まる。

④〔　　　　　　　　　　〕による〔　　　　〕**政**成立（1649年）
独立派のクロムウェルは, 1643年に鉄騎隊を編制して王党派を攻撃, 議会派を勝利に導く。
その後，穏健的な長老派を追放し，チャールズ１世を**処刑**した。

A　急進的な水平派・真正水平派も弾圧
B　アイルランドに続きスコットランドも征服
C　航海法の制定（1651年）→中継貿易で繁栄していたオランダに打撃
D　第１次イギリス＝オランダ戦争（1652～54年）
その後３次まで続きイギリスの優位に終わる
E　クロムウェルが終身の護国卿となる（1653年）
厳格な軍事独裁体制を敷くが 1658年に亡くなる

クロムウェル

2　イギリス議会政治の確立

①チャールズ２世による**王政復古**（1660年）→議会を尊重する約束で即位
のち専制的な姿勢でカトリックの擁護を試みて議会と対立。

②官吏を国教徒に限定する審査法を制定（1673年）

③国王による恣意的な逮捕・投獄を禁じる人身保護法を制定（1679年）

④二大政党成立（1670年代末頃）

A　トーリ党（のち保守党）→国王の権威を重んずる

B　ホイッグ党（のち自由党）→議会の権利を主張する

⑤〔　　　　〕**革命**（1688～89年）→世界初の議会主権に基づく**立憲君主政**の確立

A　ジェームズ２世がカトリックと絶対王政の復活を図る

B　両党派がオランダ総督ウィレム３世を招く（1688年）

ジェームズ２世の長女メアリの夫

C　議会が「権利の宣言」をまとめウィレム・メアリ夫妻が受け入れる

D　ウィリアム３世とメアリ２世としてともに王位に就き共同統治（1689年）

議会が「権利の宣言」を「〔　　　　　　　　　　〕」として発布

⑥**大ブリテン王国**の成立（1707年）

メアリ２世の妹であるアン女王の治世中，イングランドとスコットランドが合併。

⑦ジョージ１世によるハノーヴァー朝の創始（1714年）

アンの死後，遠縁にあたるドイツのハノーヴァー選帝侯が国王に迎えられる。

⑧ホイッグ党の〔　　　　　　　　　　〕を首相に**責任内閣制**がスタート（1721年）

「国王は君臨すれども統治せず」

⑨大ブリテン＝アイルランド連合王国の成立（1801年）

ジョージ３世のときアイルランドを併合。

1660年ころのイギリス

まとめ　イギリスは，専制君主政→共和政→立憲君主政と変化した。
世界で初めて市民革命を起こし立憲君主政を確立したのはイギリスである。

Chapter2　フランスとプロイセン・オーストリアの動向

目標　ルイ 14 世時代のフランスが財政難を招いた要因について学ぼう。
プロイセンやオーストリアで展開された啓蒙専制主義の特徴を知ろう。

1　フランスの絶対王政

①**フランス**の「太陽王」〔　　　　　　　　　〕の親政→宰相マザランの死後

A　財務総監コルベールの重商主義政策→東インド会社を再建

B　〔　　　　　　　　　　　　〕**宮殿**の建造

C　「朕は国家なり」→王権による中央集権化は漸進的

②対外戦争の連続

A　南ネーデルラント継承戦争（1667～68年）

B　オランダ戦争（1672～78年）

C　ファルツ戦争（1688～97年）

D　スペイン継承戦争（1701～13年）→ユトレヒト条約で終結

あ　西・仏は合同しない条件でブルボン家のスペイン王位継承を各国が承認

い　オーストリアの背後にいたイギリスが実質的な勝利者

③莫大な宮廷費と戦費→国民の不満

A　多額の税負担

B　ナントの王令の廃止（1685年）→ユグノーの商工業者が大量に亡命

C　ルイ15世の即位（1715年）→ルイ14世の曾孫だが指導力に欠けた

ヴェルサイユ宮殿

ルイ 14 世

2　プロイセン・オーストリアの啓蒙専制主義

①〔　　　　　　　　　　　〕の成長→「上からの近代化」を進める

A　フリードリヒ＝ヴィルヘルム１世

B　**フリードリヒ２世（大王）**→「君主は国家第一の僕」

バイエルン公・フランスとともにイギリスが支援するオーストリアと戦い，**シュレジエン**を獲得（オーストリア継承戦争，1740～48年）

C　**啓蒙専制主義**

〔　　　　　　　　〕と呼ばれる領主層を支柱とする非近代的性格の強い統治

②〔　　　　　　　　　　　　〕の成長→「上からの近代化」を進める

A　**マリア＝テレジア**

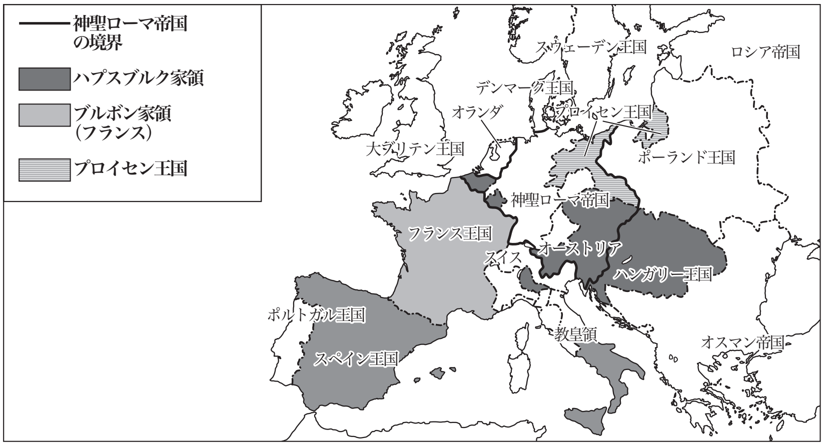
イギリスとともにバイエルン公・フランスが支援するプロイセンと戦い，シュレジエンを失う（オーストリア継承戦争，1740～48年）

B　ヨーゼフ２世の**啓蒙専制主義**

中央集権主義的な改革は特権を守ろうとする貴族や地域社会から強い抵抗を受ける

※画一的すぎて各地の民族感情の反発を招く。

マリア＝テレジア



18世紀半ばのヨーロッパ

まとめ
ルイ14世時代のフランスは，対外戦争の連続で財政難を招いた。
啓蒙専制主義は，民衆ではなく君主が「上からの改革」するのが特徴。

第 2 講　PART2　確認問題

1 国王の専制政治を批判し，1628年にイギリスの議会で可決されたものは何か。

① 権利の章典　② 権利の請願
③ 大憲章　④ 権利の宣言

2 クロムウェルが処刑したイギリス国王はだれか。

① ジェームズ 1 世　② ジェームズ 2 世
③ チャールズ 1 世　④ チャールズ 2 世

3 クロムウェルの死後，イギリス国王として迎え入れられたのはだれか。

① チャールズ 1 世　② チャールズ 2 世
③ ジョージ 1 世　④ ウィリアム 3 世

4 1714年にジョージ 1 世が創始した王朝を何というか。

① ステュアート朝　② プランタジネット朝
③ テューダー朝　④ ハノーヴァー朝

5 フランスでルイ14世時代に活躍した財務総監はだれか。

① ウォルポール　② コルベール
③ グラッドストン　④ ディズレーリ

6 ルイ14世がパリ郊外に建造した宮殿は何か。

① アルハンブラ宮殿　② サンスーシ宮殿
③ ヴェルサイユ宮殿　④ ポタラ宮殿

7 スペイン継承戦争の講和条約として結ばれた条約は何か。

① アミアンの和約　② パリ条約
③ ユトレヒト条約　④ ウェストファリア条約

8 オーストリア継承戦争でシュレジエンを獲得したプロイセン国王はだれか。

① ヴィルヘルム 1 世　② ヴィルヘルム 2 世
③ フリードリヒ 2 世　④ フリードリヒ = ヴィルヘルム 1 世

9 プロイセンの啓蒙専制主義を支えた領主層を何というか。

① ユンカー　② ジェントリ
③ ヨーマン　④ プランター

10 オーストリアのマリア = テレジアと関連するものはどれか。

① 啓蒙専制主義　② ナントの王令廃止
③ 航海法　④ 外交革命

PART3 科学革命と産業革命

Chapter1　科学革命と啓蒙思想

目標
科学革命と啓蒙思想の特徴を知ろう。
西欧の「生活革命」が，市民社会に与えた影響を理解しよう。

1　科学革命

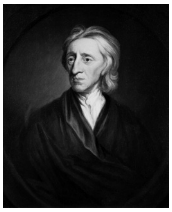
① 17世紀のヨーロッパ＝〔　　　　　〕**革命**の時代
　近代的合理主義の思想や学問が本格的に確立され，自然界の研究が進歩。

②自然科学
　ガリレイ（伊），ケプラー（独），〔　　　　　　　　　　〕**（英）**ら。

ニュートン

③近代哲学
　A　フランシス＝ベーコン（英）のイギリス経験論→帰納法による
　B　デカルト（仏）の大陸合理論→演繹法による
　C　カント（独）のドイツ観念論→のちヘーゲルが弁証法により完成

④自然法思想
　A　**グロティウス（蘭）**『海洋自由論』『**戦争と平和の法**』→自然法の父・国際法の祖
　B　〔　　　　　　　　〕**（英）『リヴァイアサン』→社会契約説**
　C　〔　　　　　　〕**（英）『統治二論〔市民政府二論〕』→社会契約説**


ロック

2　啓蒙思想

①〔　　　　〕**思想**（18世紀）
　科学革命後，合理的な知を重んじて社会の偏見，特にフランスのアンシャン＝レジーム〔旧体制〕を「暗闇」として批判。
　→プロイセン・オーストリア・ロシアで**啓蒙専制主義**を生む。
　A　〔　　　　　　　　　　　　　　〕**（仏）『法の精神』**→三権分立
　B　**ヴォルテール（仏）『哲学書簡』**→カトリック教会を批判し寛容の精神を説く
　C　〔　　　　　　〕**（仏）**→『人間不平等起源論』『**社会契約論**』**→社会契約説**
　　他の啓蒙思想家と違い文明化の害悪を指摘→「自然に帰れ」
　D　ディドロとダランベール（仏）→『百科全書』の編纂を行った**百科全書派**

②経済思想の発達

A　**ケネー**とテュルゴー（仏）の**重農主義**

国家規制の強い重商主義を批判し自由放任を主張

B　〔　　　　　　　　　　　　　〕（英）の**古典派経済学**→自由主義的

『**諸国民の富〔国富論〕**』で分業と市場経済の基礎理論を展開

3　成長する市民

①「〔　　　　〕**革命**」→市民層も貴族層を模倣

タバコ・**コーヒー**・**紅茶**・**砂糖**などの消費

②啓蒙思想の普及場所→文学やジャーナリズムの発展を支え**世論**を形成

ロンドンの〔　　　　　　　　〕**ハウス**やクラブ，パリの**カフェ**など。

※貴族の館で開かれる**サロン**。

③ 18世紀前半のイギリス小説

デフォー『ロビンソン＝クルーソー』，スウィフト『ガリバー旅行記』など。

※文学や政治論を掲載する新聞・雑誌も多数刊行された。

ロンドンのコーヒーハウス

サロン

まとめ

合理的な知を重んじて，旧来の社会の偏見や体制を批判した。

「生活革命」により，文芸やジャーナリズムが発展し，世論が形成された。

Chapter2　産業革命

目標
資本主義とはどのようなしくみだろう？
資本主義の矛盾が表面化してきた時に生まれた思想とは？

1　イギリスで産業革命が起こった理由

①イギリスの広大な市場→ 17世紀にオランダ，18世紀にフランスとの競争に勝利

資本の蓄積があり，豊かな国内市場と広大な海外市場を有するイギリスで，**18世紀後半**に世界初の〔　　　　〕**革命**が起こった。

※ 19 世紀前半，ナポレオンの没落に伴いイギリスが機械輸出を解禁すると，フランス・**ベルギー**・アメリカ・ドイツの順に波及し，ロシアや日本は 19世紀末まで遅れた。

②イギリスの**農業革命**と労働者の創出

18 世紀前半からの第 2 次**囲い込み〔エンクロージャー〕**で得た大規模な農地を，先進技術や農法を持つ農業資本家に貸し出す（＝**農業革命**）。

※土地を失った農民が地方の農業労働者や都市の工場労働者となる。

③イギリスの豊富な資源と**技術革新**→「**世界**の〔　　　　〕」に

石炭・鉄などの資源に恵まれ，17世紀以来の科学革命と並行して技術も進歩していた。

※石炭の利用は「**エネルギー革命**」とも呼ばれる。

2　綿工業における産業革命

①産業革命＝**工場制機械工業〔機械製大工業〕化**

②**綿工業**分野・マンチェスターを中心に技術革新が始まる

従来，イギリスの主要産業は毛織物であったが，インドから綿布〔キャラコ〕や原料の綿花が大量に流入。のち機械化により, イギリスが綿糸や綿布を大量生産するようになった。

1733年　**ジョン＝ケイ**が〔　　　　　　〕を発明→綿織物業の急拡大により綿糸が不足

1769年　〔　　　　　　〕が動力源として〔　　　　　　　　〕を改良

※ 18 世紀初め，ニューコメンが蒸気力によるポンプを発明していた。

1779年　クロンプトンが**ミュール紡績機**を発明→紡績業が発達し綿糸の大量生産が始まる

1785年　カートライトが**力織機**を発明→再び綿織物業が急拡大

※綿工業の躍進により機械工業・鉄鋼業・石炭業なども発展。

3　交通革命

①産業革命に伴う交通機関改良の必要性→**交通革命**

大量の原料・燃料・製品を，できるだけ早く安く輸送する必要が生まれた。

②**フルトン（米）**による〔　　　　　　　〕の試作（1807年）

18 世紀後半には国内の交通網として**運河**が整備され，また，海外へも航路が広がった。

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕**（英）**による**蒸気機関車**の製作（1814年）

1825年に実用化され，30年にはマンチェスター・リヴァプール間の旅客**鉄道**が開通。

4　産業革命による社会の変化

ロコモーション号

①イギリスは農業社会から**産業社会**へ

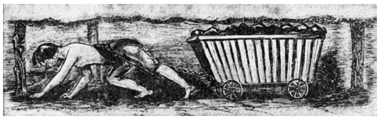
②機械製工場の出現と家内工業・手工業の没落

労働者が機械を打ちこわす**ラダイト運動**も，19世紀前半に起こる。

③**産業資本家**の台頭と**賃金労働者**の増加により〔　　　　　〕**主義**体制が確立

④都市への人口集中と都市問題

首都のロンドン，工業都市のマンチェスター・バーミンガム，商業都市のリヴァプールなど。労働者の集まる街区には不衛生な〔　　　　　　　〕が形成される。

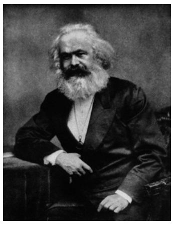

炭鉱で働く子ども

⑤労働者の厳しい環境→のち**工場法**が制定される

女性や子どもまでが工場や鉱山で働かされる。

⑥格差が広がり**労働問題・社会問題**が発生

『**共産党宣言**』を著した〔　　　　　　　　　〕・**エンゲルス（独）**らの〔　　　　〕**主義**など新しい思想の登場。


マルクス

まとめ

生産手段を有している資本家が，有していない労働者を使用して生産する制度を資本主義制度という。
資本主義の矛盾を革命によって解決しようとする社会主義思想が現れた。

第 2 講　PART3　確認問題

1 万有引力の法則を唱えた科学者はだれか。

① ケプラー　② ボイル
③ ガリレイ　④ ニュートン

2 『戦争と平和の法』を著し，「国際法の祖」と呼ばれた人物はだれか。

① ホッブズ　② グロティウス
③ カント　④ ヴォルテール

3 社会契約説を唱えたホッブズの著書は何か。

① 『リヴァイアサン』　② 『統治二論〔市民政府二論〕』
③ 『法の精神』　④ 『社会契約論』

4 カトリック教会を批判し，『哲学書簡』を著した人物はだれか。

① ヴォルテール　② グロティウス
③ モンテスキュー　④ デカルト

5 『諸国民の富〔国富論〕』を著し，古典派経済学を確立した人物はだれか。

① ケネー　② ダランベール
③ テュルゴー　④ アダム＝スミス

6 世界で初めて産業革命を開始した国はどこか。

① アメリカ　② フランス
③ ドイツ　④ イギリス

7 クロンプトンが発明したのは何か。

① 力織機　② 飛び杼
③ ミュール紡績機　④ 蒸気機関

8 蒸気機関車を製作した人物はだれか。

① カートライト　② フルトン
③ ジョン＝ケイ　④ スティーヴンソン

9 イギリスで商業都市として発展した都市はどこか。

① ロンドン　② リヴァプール
③ バーミンガム　④ マンチェスター

10 『共産党宣言』を著した社会主義者はだれか。

① マルクス　② ホッブズ
③ アダム＝スミス　④ ヴォルテール

PART4 アメリカ独立革命とフランス革命

Chapter1　アメリカ独立革命

目標
アメリカ独立の大きな転機となった言葉を知ろう。
アメリカ合衆国の誕生が西欧に与えた大きな衝撃とは何だろう？

1　イギリスの北アメリカ植民地

①北アメリカの**13植民地**→ 17世紀以来一定の自治が認められてきた

しかし，イギリス本国は〔　　　　　〕**主義**政策によって本国の商業を保護するため，植民地の自由な貿易や工業の発展を抑えようとする。

② 1756～63年の**フレンチ＝インディアン戦争**（本国では**七年戦争**）後

それまで決着のつかなかった英仏関係は，〔　　　　　　　　　〕が優位を確定させた。

A　植民地人の居住地域をアパラチア山脈以東の地域に限定

B　２つの戦争による財政赤字を軽減するため**課税の強化**などを図る

③〔　　　　　　　〕の制定（1765年）→前年には砂糖法も出ていた

植民地人は「〔　　　　　〕**なくして課税なし**」のスローガンを掲げ抵抗。

④〔　　　　　〕の制定（1773年）

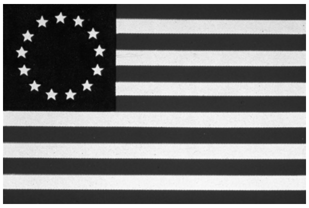
植民地人が〔　　　　　　　　　　　　　　〕**事件**を起こす。

※イギリス本国はボストン港閉鎖などを強行。

独立戦争時の13植民地

ボストン茶会事件

2 アメリカ合衆国の独立


独立当時の国旗

1774年 〔　　　〕**会議**で本国に自治の尊重を要求

1775年 **アメリカ独立戦争**開始→〔　　　　　　　　〕が総司令官

※レキシントンの戦いで開戦。

※フランス・スペイン・オランダが植民地に味方し，ロシア・スウェーデンが武装中立同盟で抵抗したことから，イギリス本国は孤立。

1776年 フィラデルフィアで〔　　　　〕**宣言**（７月４日）→ロック（英）の影響

※〔　　　　　　　　　　〕らが起草。〔　　　　　　　　　　　　〕は『**コモン＝センス**〔常識〕』で独立を「常識」と宣言。

1781年 ヨークタウンの戦いで植民地が勝利

1783年 イギリス本国が〔　　　　〕**条約**で**アメリカ合衆国**の独立を承認

※ミシシッピ川以東の広大な領地が割譲された。

3 合衆国憲法の制定

①**合衆国憲法**（1787年）→ロック（英）の影響・**初の近代憲法**

A 人民主権を基礎とした〔　　　　〕**政**を採用

B 各州の権力と中央政府の権力が分立する**連邦主義**を採用

C 厳格な〔　　　　　　　〕を採用→大統領・連邦議会（上院と下院）・最高裁判所

②連邦政府の発足（1789年）

「建国の父」〔　　　　　　　　　〕が**初代大統領**に就任。

※**連邦派**のハミルトンが財務長官，**反連邦派**のジェファソンが国務長官。

③首都**ワシントンD.C.〔コロンビア特別区〕**の建設（1800年）

アメリカ合衆国の誕生は，絶対王政が多く残存するヨーロッパに衝撃を与えた。

※しかし，黒人奴隷制や先住民への虐殺など負の側面も大きかった。

まとめ
アメリカ独立のスローガンは「代表なくして課税なし」であった。
アメリカの独立は，広大な土地で共和政が成立するという衝撃を，いまだ絶対王政が多く残る西欧に強く与えた。

Chapter2　フランス革命とナポレオン

目標　フランス革命を終わらせた人物とその属性とは？
18世紀後半〜19世紀前半のフランスの政治形態の変遷を学ぼう。

1　フランス革命

①フランス革命の構造→**旧制度〔アンシャン＝レジーム〕**を覆す＋資本主義制度への反対

A　身分制度→異なる社会層による革命が複雑に絡み合う

あ　**第一身分**→聖職者，**第二身分**→**貴族**が特権階級

い　**第三身分**→平民（人口の９割以上，**ブルジョワ〔有産市民〕・農民・都市民衆**）

B　啓蒙思想の広まり→シェイエスの小冊子『第三身分とは何か』

アンシャン＝レジーム

②立憲君主政の成立

1789年　国王〔　　　　　　　　〕がヴェルサイユで〔　　　　　　〕を開く（５月）
第三身分の議員が〔　　　　〕**議会**であると宣言（６月）→右翼と左翼
憲法制定まで議会を解散しないことを誓う（＝**球戯場〔テニスコート〕の誓い**）
〔　　　　　　　　　　　　　　〕襲撃（７月 14 日）
ラ＝ファイエットが起草した〔　　　　　　　　〕を採択（８月 26 日）

1790年　国民議会が種々の改革を行う→ 1799年にはメートル法を採用

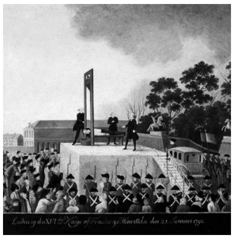
1791年　ヴァレンヌ逃亡事件→ルイ 16世と王妃がオーストリアに逃亡を図り失敗。

③戦争と共和政

1791年　**立法議会**→立憲君主派と穏健共和派のジロンド派が対立

1792年　ジロンド派が政権を握りオーストリアに宣戦
国民公会が成立し**第一共和政**がスタート→**徴兵制**も導入

1793年　ルイ 16世と王妃マリー＝アントワネットの処刑
第一回対仏大同盟（〜97年）→英・普・墺・西・蘭
ロベスピエール・公安委員会を中心とするジャコバン派による**恐怖政治**
※女性の権利を求めた**オランプ＝ド＝グージュ**も処刑。


ルイ 16 世の処刑

1794年　**テルミドール９日のクーデタ**→ジャコバン派のロベスピエール処刑

1795年　〔　　　　〕**政府**の樹立

2　英雄ナポレオン

ナポレオン

コルシカ島出身の陸軍軍人**ナポレオン＝ボナパルト**が台頭

1796年　イタリア派遣軍司令官としてオーストリア軍を破る

1798年　エジプト遠征

1799年　第２回対仏大同盟（～1802年）→英・墺・露・土・葡

ブリュメール18日のクーデタ→フランス革命終了により「**国民国家**」成立

※総裁政府を倒し３人の**統領政府**を立て第一統領として独裁権を握る。

1802年　アミアンの和約でイギリスと講和→同年，終身統領となる

1804年　民法典**ナポレオン法典**公布，**皇帝ナポレオン１世**として**第一帝政**開始

1805年　第３回対仏大同盟→英・墺・露・スウェーデン

トラファルガーの海戦→イギリス海軍の**ネルソン**提督がフランス海軍を破る

アウステルリッツの戦い〔三帝会戦〕でナポレオンが勝利

1806年　**ライン同盟**の結成→神聖ローマ帝国消滅

〔　　　　　　　　　〕→ベルリンで発布し諸国にイギリスとの通商を禁じる

1807年　プロイセン・ロシア連合軍を破りティルジット条約を結ぶ→ワルシャワ大公国

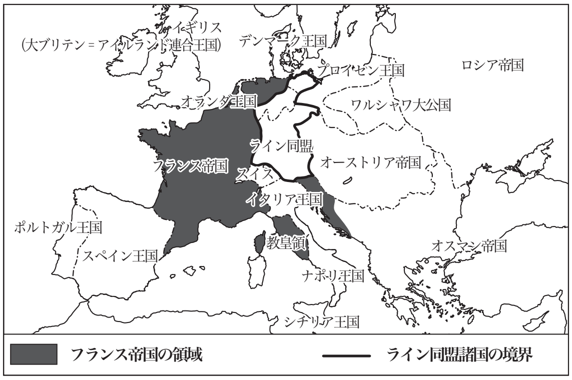
1808年　スペイン反乱

1812年　〔　　　　　　〕**遠征**に失敗

→**解放戦争**の開始

1813年　第４回対仏大同盟（～14年）

ライプツィヒの戦い〔諸国民戦争〕でナポレオンが敗れる



ナポレオン時代のヨーロッパ

1814年　パリ陥落→ナポレオンは退位してエルバ島へ

ルイ18世（16世の弟）が王位に就きブルボン朝が復活→**復古王政**

1815年　ナポレオンのパリ入城→**ワーテルローの戦い**でナポレオンが大敗

南大西洋のセントヘレナ島に流され第一帝政終結（＝百日天下）

まとめ

フランス革命を終わらせたのは，軍人のナポレオンだった。

フランスは，絶対王政→第一共和政→第一帝政→復古王政と展開した。

第２講　PART4　確認問題

1　1754～63年，ヨーロッパの七年戦争と同時に展開された北アメリカの植民地での戦争を何というか。

①　ファルツ戦争　②　フレンチ＝インディアン戦争
③　ヨークタウンの戦い　④　レキシントンの戦い

2　北アメリカの植民地の人々が「代表なくして課税なし」というスローガンを掲げた背景は何か。

①　審査法の制定　②　印紙法の制定
③　航海法の制定　④　茶法の制定

3　アメリカの独立宣言を起草した人物はだれか。

①　ロック　②　トマス＝ペイン
③　ワシントン　④　ジェファソン

4　イギリス本国がアメリカ合衆国の独立を承認した条約を何というか。

①　ユトレヒト条約　②　パリ条約
③　アミアンの和約　④　ティルジット条約

5　アメリカ合衆国の初代大統領に就任した人物はだれか。

①　ジェファソン　②　ワシントン
③　トマス＝ペイン　④　ハミルトン

6 フランスの旧制度の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 第一身分ー有産市民　② 第一身分ー都市民衆
③ 第二身分ー貴族　④ 第三身分ー聖職者

7 三部会を離脱した第三身分が結成したものは何か。

① 国民議会　② 総裁政府
③ 国民公会　④ 立法議会

8 ジャコバン派の中心となり，恐怖政治を行った人物はだれか。

① ラ = ファイエット　② オランプ = ド = グージュ
③ ロベスピエール　④ シェイエス

9 1805年，イギリス海軍のネルソン提督がフランス海軍を破った海戦を何というか。

① レパントの海戦　② プレヴェザの海戦
③ アルマダ海戦　④ トラファルガーの海戦

10 1815年，ナポレオンが大敗し，南大西洋に流される契機となった戦いを何というか。

① ワーテルローの戦い　② アウステルリッツの戦い
③ プラッシーの戦い　④ ライプツィヒの戦い

第３講　【近代編】アジア諸地域の変化と日本の開国

PART1 西アジアの変化

Chapter1　オスマン帝国の動揺

目標
オスマン帝国の領土が縮小から後退に移るきっかけを知ろう。
オスマン帝国の近代化について理解しよう。

1　オスマン帝国支配の動揺

諸民族の自立とヨーロッパ列強の進出により帝国の領土は縮小の一途をたどる

①**第二次ウィーン包囲の失敗**（1683年）

これを契機に領土は拡大から縮小へ

②カルロヴィッツ条約（1699年）

ハンガリー・トランシルヴァニアなどをオーストリアに割譲しヨーロッパから後退

③ロシアのエカチェリーナ２世に**クリミア半島**を奪われる（18世紀後半）

④〔　　　　　　　　〕**独立戦争**（1821～29年）→ロンドン会議でギリシア独立（1830年）

2　オスマン帝国の改革

①**イェニチェリ軍団の解散**（1826年）

バルカン半島征服後にキリスト教徒の子弟をデウシルメ制で集めて編制した歩兵軍団

②**アブデュルメジト１世**による〔　　　　　　　　　　　　〕**〔恩恵改革〕**（1839～76年）

司法・行政・財政・軍事にわたる大規模な西欧化改革・再編成を**ギュルハネ勅令**で宣言

※法治主義に基づく近代国家となり，宗教の別を問わない法的な平等も認められる（＝**オスマン主義**）。

③〔　　　　　　　　〕**戦争**（1853～56年）→タンジマートの成果

イギリス・フランスに支援され南下してきた〔　　　　　　〕を破る

※ 1856年の**パリ条約**で終戦し黒海は中立化される。

※ギリシア独立戦争を含む数々の「**東方問題**」により，ウィーン体制の国際秩序は完全に崩壊。

④ボスニア・ヘルツェゴビナの農民反乱（1875年）

⑤ブルガリアの独立運動（1876年）→武力で鎮圧

⑥〔　　　　　　　　〕**憲法〔オスマン帝国憲法〕**の発布（1876年）

「新オスマン人」の大宰相**ミドハト＝パシャ**が起草した**アジア初の近代憲法**。

※しかし，**アブデュルハミト２世**がロシア＝トルコ〔露土〕戦争を口実に憲法を停止し，議会も閉鎖し，スルタンの専制政治が復活（1878年）。

⑦〔　　　　　　　　　　　　〕**〔露土〕**戦争（1877～78年）

前年までのボスニア・ヘルツェゴビナとブルガリアでの蜂起を受けて対立

※オスマン帝国が敗れ，**サン＝ステファノ講和条約**が締結される（1878年）。

※ドイツのビスマルクが開いた**ベルリン会議**で列強の利害が調整されてロシアは抑え込まれ，新たに〔　　　　　　　　〕**条約**が締結される（1878年）。

※ルーマニア・セルビア・モンテネグロが独立し，〔　　　　　　　　　　〕はオスマン帝国内の自治国とされる。イギリスはキプロスの，オーストリアはボスニア・ヘルツェゴビナの占領と行政権を認められるなど，**オスマン帝国はヨーロッパの領土を大幅に失った**。

ベルリン条約後のバルカン半島

まとめ
第二次ウィーン包囲の失敗がオスマン帝国の領土縮小の契機となった。
西欧化改革やアジア初の近代憲法が作られたが，オスマン帝国の衰退は止まらなかった。

Chapter2　イスラーム圏の変化

目標
ムスリム全体への危機感から，アフガーニーが唱えた考えを知ろう。
エジプトの近代化の結果について理解しよう。

1　アラブ民族の目覚め

①**アラビア半島**の〔　　　　　　　　　　〕**王国**（1744年頃〜1818年，1823〜89年）

イブン゠アブドゥル゠ワッハーブがイスラーム改革を唱える（＝**ワッハーブ運動**）

※イラン人やトルコ人がもたらした神秘主義〔スーフィズム〕と聖者崇拝を非難し，『クルアーン』とムハンマドの言行に従えと説く。これが現代まで続くアラブ人の思想の根幹。

※中央アラビアの豪族サウード家と結び建国。のちリヤドを首都とする。

②**シリア**におけるアラビア語・アラブ文化の復興運動（19世紀初め）

19世紀末以降に展開するアラブ民族運動への道を切り開く

③**イラン**の〔　　　　　　　　　　〕**朝**（1796〜1925年）→テヘランが首都

列強の進出を許し，ムスリム全体の危機を感じた〔　　　　　　　　　　〕は，19世紀後半に**パン゠イスラーム主義**を唱え，イスラーム諸国に広がる専制と無知を批判した。

1828年　**トルコマンチャーイ条約**でロシアに治外法権を認める

※関税自主権を失いアルメニア・アゼルバイジャンも割譲

1848年　バーブ教徒の武装蜂起

1890年　タバコ専売利権がイギリス人に譲渡される

1891年〜〔　　　　　　　　　　〕**運動**（〜92年）

※政府はイギリスへの譲渡を全面撤回するが，賠償金の支払いに苦しみ列強への従属化が進む。

1905年〜**〔立憲〕革命**（11年）→議会開設・憲法制定

※日露戦争における日本の勝利の影響が強い。

アフガーニー

④**アフガニスタン**の情勢

A　19世紀に入るとアフガン王国がカージャール朝の侵攻を受ける

ロシアの中央アジア経由での南進を恐れるイギリスがこれに介入

※アフガニスタンのイランからの独立を認めさせる。

B　第一次アフガン戦争（1838〜42年）・第二次アフガン戦争（1878〜80年）

イギリスがアフガンに侵攻して保護国化し英領インドとの境界を定める

2　エジプトの近代化と外国の介入

①エジプトの展開

1798年　**フランス**の〔　　　　　　　　　　　〕によるオスマン帝国属領**エジプト遠征**（〜99年）

1801年　イギリス・オスマン帝国連合軍が駐留フランス軍を破りオスマン帝国によるエジプトの主権回復

オスマン帝国が部隊長〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を派遣

②ムハンマド＝アリー朝の成立（1805年）

ムハンマド＝アリー

A　フランスの援助による急速な近代化改革で財政難に

B　オスマン帝国の求めに応じ出兵し一時ワッハーブ朝を滅ぼす（1818年）

③**エジプト＝トルコ戦争**→ムハンマド＝アリーがシリアを要求しオスマン帝国と戦い財政難に

A　第一次（1831〜33年）・第二次（1839〜40年）

オスマン帝国に圧勝したエジプトにイギリスとロシアは危機感を覚えた

B　ロンドン条約（1840年）→シリアからは撤退させられる

オスマン帝国スルタンの宗主権の下でエジプト・スーダン総督の地位を世襲

④フランスのレセップスにより〔　　　　　　　〕**運河**完成（1869年）

地中海と紅海を結びアメリカの大陸横断鉄道とともに世界の交通網を大きく変える

⑤エジプトが**イギリス・フランスの財務管理下**に置かれる（1870年代）

急速な近代化・戦争・スエズ運河建設などで莫大な債務を抱えたことが原因

⑥**イギリスのディズレーリ首相**によるエジプト干渉

ユダヤ系財閥ロスチャイルド家の資金力を利用し**スエズ運河会社の株を買収**（1875年）

⑦〔　　　　　　　　　　　〕の蜂起（1881〜82年）→イギリスが鎮圧し保護下に置く

「**エジプト人のためのエジプト**」がスローガン

※ウラービーはセイロン島に流されるが，ウラービー運動はその後のエジプト民族運動の原点となる（日本の東海散士〔柴四朗〕は彼に会い『佳人之奇遇』を著した）。

※日本とオスマン帝国は**エルトゥールル号事件**（1890年）でも大きな接点がある。

まとめ　アフガーニーは「パン＝イスラーム主義」を唱え，専制と無知を批判した。エジプトは急な近代化の結果，財政難でイギリス・フランスの保護下に置かれた。

第３講 PART1 確認問題

1 オスマン帝国が1826年に解散させた軍団を何というか。

① マムルーク ② シパーヒー
③ アーヤーン ④ イェニチェリ

2 タンジマート〔恩恵改革〕を行った人物はだれか。

① アブデュルメジト１世 ② マフムト２世
③ アブデュルハミト２世 ④ セリム３世

3 クリミア戦争の講和条約を何というか。

① パリ条約 ② サン＝ステファノ講和条約
③ ベルリン条約 ④ カルロヴィッツ条約

4 オスマン帝国が，南下政策を再開したロシアに敗れた戦いを何というか。

① クリミア戦争 ② カーナティック戦争
③ 露土戦争 ④ アロー戦争

5 ベルリン条約締結後，オスマン帝国内の自治国とされた国はどこか。

① セルビア ② モンテネグロ
③ ブルガリア ④ ルーマニア

6 アラビア半島に18世紀中ごろに建てられた王国を何というか。

① マタラム王国　② ワッハーブ王国
③ ジョホール王国　④ ヒジャーズ王国

7 18世紀末にイランを統一した王朝を何というか。

① ザンド朝　② アフシャール朝
③ サファヴィー朝　④ カージャール朝

8 1828年，ロシアがカージャール朝に締結させた不平等条約を何というか。

① ロンドン条約　② トルコマンチャーイ条約
③ パリ条約　④ サン＝ステファノ講和条約

9 オスマン帝国から部隊長としてエジプトに派遣され，1805年にエジプト総督となり自立した人物は誰か。

① レセップス　② イブン＝アブドゥル＝ワッハーブ
③ アフガーニー　④ ムハンマド＝アリー

10 英仏の支配に反発し，「エジプト人のためのエジプト」をスローガンとして蜂起した人物はだれか。

① ムハンマド＝アリー　② ディズレーリ
③ ミドハト＝パシャ　④ ウラービー

PART2 南アジア・東南アジアの変化

Chapter1　南アジアの植民地化

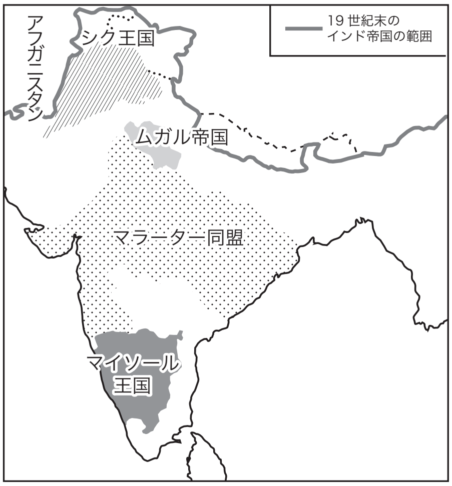
目標
インド大反乱が起こった最大の背景を理解しよう。
インドの統治主体の変遷を知ろう。

1　インドの植民地化

インドでヨーロッパ勢力が扱った主力商品は〔　　　　　〕で，その購入のため金・銀を大量に，〔　　　　　　〕**帝国**に持ち込んだことで，農産物の現物分配が経済の基本だったインド社会に，大きな変化をもたらした。

①〔　　　　　　　　　〕**東インド会社→**マドラスや**カルカッタ**などに商館を置く
フランスを２度破り，1763年にはパリ条約を締結し勢力を確定。
A　**カーナティック戦争**（1744～61年）→インド南部
B　〔　　　　　　　　　　〕**の戦い**（1757年）→ベンガル地方

②インド植民地化の完成
19世紀半ばまでに，イギリス東インド会社がインド全域を制圧し植民地化を完成。
※支配地域の一部を藩王国として外交権を奪う形で間接統治。他の地域は直接統治。
A　東部
→ベンガル・ビハール両地域の徴税権を獲得（1765年）
B　南部
→４次にわたるマイソール戦争に勝利（1767～99年）
C　西部
→３次にわたるマラーター戦争に勝利（1775～1818年）
D　西北部
→２次にわたるシク戦争に勝利（1845～49年）



植民地支配前の有力なインド勢力と，イギリスの植民地支配の範囲

③東インド会社による地税の徴収方法

制度の変更や高率の現金税導入によりインド経済は大混乱。

A　ザミンダーリー制→仲介者に私的土地所有権を与える

B　ライヤットワーリー制→仲介者を排除して農民の土地保有権を与える

④イギリス製綿糸・綿布の大量流入→**インドの伝統的な手工業による綿織物業を破壊**

インドは綿花・藍などの原材料を輸出し，イギリスから工業製品を大量に輸入する立場へと転落。

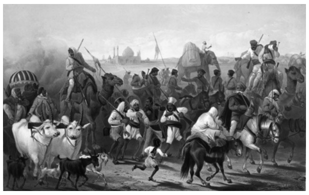
⑤イギリス本国の東インド会社締め付け→東インド会社は統治者へと変貌

A　特許状改定でインドとの貿易独占廃止（1813年）

B　さらなる特許状改定で茶の取引と中国貿易の独占権廃止（1833年）

C　商業活動そのものが停止される（1834年）

2　インド大反乱とインド帝国の成立


シパーヒーの乱

①**東インド会社の傭兵**〔　　　　　　　　　　〕による**インド大反乱**（1857～59年）

北インド中心に広範囲で発生。背景には西欧キリスト教式の植民地支配への反感があった。伝統社会を破壊された，**ヒンドゥー教徒・イスラーム教徒**のインド人が反乱。

②**ムガル帝国の滅亡**（1858年）

③**東インド会社の解散**（1858年）→イギリス本国がインド統治に乗り出す

A　本国にはインド省と担当大臣を設置

B　インドではイギリス人の総督と参事会が政庁を統轄

ヴィクトリア女王

④〔　　　　　　　　　　〕**女王**が**インド皇帝**に即位（1877年）

総督が副王を兼任する〔　　　　　　　　　　〕が成立（1877～1947年）

⑤インド大反乱の反省から「分割統治」へと転換

官吏や弁護士などのインド人エリートも登場

まとめ

東インド会社によるインドの伝統社会の破壊が，インド大反乱の背景。
インドはムガル帝国→イギリス東インド会社→イギリス女王が皇帝となったインド帝国へと統治主体が移動した。

Chapter2　東南アジアの植民地化

目標
東南アジアの地域と，そこに進出した国の組み合わせを知ろう。
東南アジア地域で唯一植民地化を回避した国と，その理由を知ろう。

1　東南アジア各地の植民地化

①**ジャワ→**〔　　　　　　　　〕が進出し**バタヴィア**に政庁を置く

A　18世紀半ばにオランダがマタラム王国を滅ぼす

B　イギリス＝オランダ協定（1824年）
イギリスがマラッカ海峡以北をオランダがインドネシアを領有

C　ジャワ戦争を鎮圧（1825～30年）→**オランダ領東インド〔蘭印〕**
東インド総督が戦後に〔　　　　　　　　　　　〕を導入
※コーヒー・サトウキビ・藍などで莫大な利益をあげる。

②**マレー半島・北ボルネオ・ビルマ→**〔　　　　　　　　〕が進出

A　マレー半島の**ペナン・マラッカ・シンガポール**を**海峡植民地**とする（1826年）

B　**マレー連合州**を結成させ北ボルネオを併せる（1895年）
中国・インドからの移民を使いプランテーション〔大農園〕で**錫・ゴム**の生産を拡大

C　３次にわたる**ビルマ戦争**に勝利（1824～86年）
コンバウン朝（1752～1885年）を滅ぼしビルマをインド帝国に併合

③**フィリピン→**〔　　　　　　　　〕が進出

A　住民をカトリックに強制改宗

B　〔　　　　　　〕を正式に開港（1834年）→フィリピンが世界市場に組み込まれる
私企業のプランテーション〔大農園〕におけるサトウキビ・マニラ麻・タバコなどの商品作物生産が広がる

④**ベトナム・カンボジア・ラオス→**〔　　　　　　　　〕が進出

A　西山の乱が起こり南北統一が図られる（1771年）

B　**阮福暎**が西山政権を倒しベトナムを統一し〔　　　　〕を建てる（1802～1945年）
〔　　　　　　　　〕**人宣教師ピニョー**が本国から連れてきた義勇兵が活躍
※タイ・ラオスなどの援助も受けた。

C　阮福暎が清により**越南国〔阮朝〕**の国王に封ぜられる（1804年）
ユエを首都に清の制度を導入して行政制度を整備

D　仏越戦争（1858～62年）
　サイゴン条約を結びフランスが進出
E　フランスが南部を襲う（1867年，その後も領土拡大をはかる）
　劉永福が〔　　　　　　〕を組織して北部を根拠地に抵抗（1873～85年）
F　フランスが北部・中部に進出し支配下に置く（1883年，ユエ条約）
　清はベトナムへの宗主権を主張して派兵
G　〔　　　　　〕戦争（1884～85年）
　フランスが清に勝利し**天津条約**でベトナムを保護国化する
H　**フランス領インドシナ連邦〔仏印〕**の成立（1887年）
　1863年以来保護国としていた〔　　　　　　　　　　〕と併せる
　※ 1899年には**ラオス**も編入した。

2　タイ〔シャム〕の情勢

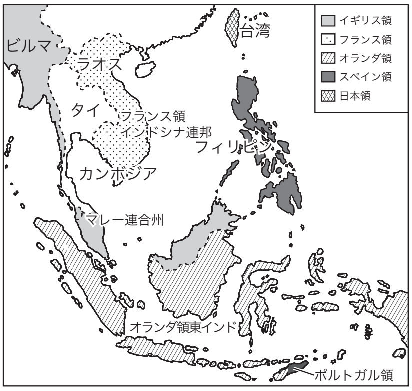
東南アジア地域で，**タイ〔シャム〕**のみはヨーロッパ勢力からの**独立を維持**した。

①**ラタナコーシン朝**〔チャクリ朝〕の創始（1782年）
バンコクに首都を置き，現在の王家につながる。

チュラロンコン王

②**ラーマ４世**がヨーロッパ諸国に対する閉鎖的な政策を転換
　イギリスとのボーリング条約（1855年）などで自由貿易の原則が確認されると，次々に列強と外交関係が結ばれた。
※その結果，**米**の商品化が進み，デルタ地帯の水田開発が進んだ。

③**ラーマ５世**
〔　　　　　　　　　　　　　〕が英仏の勢力均衡策を巧みに利用
　外国留学の奨励や外国人専門家を招き**近代化に成功**し植民地化を回避。また，近隣の植民地を視察して見聞を広め，近代的な統治機構を確立した（＝**チャクリ改革**）。



東南アジアの植民地化

まとめ
オランダがインドネシア，スペインがフィリピンに進出した。
タイのチュラロンコン王が，近代化政策に成功し独立を維持した。

第３講　PART2　確認問題

1 1744年にインド南部で起こり，イギリスがフランスに勝利した戦いを何というか。

① マイソール戦争　② カーナティック戦争
③ マラーター戦争　④ プラッシーの戦い

2 東インド会社による地税の徴収方法の一つで，仲介者に私的土地所有権を与える方法を何というか。

① ディーワーニー　② シオニズム
③ ザミンダーリー制　④ ライヤットワーリー制

3 インド大反乱を起こした東インド会社の傭兵を何というか。

① シパーヒー　② ワッハーブ
③ ディーワーニー　④ クライヴ

4 1877年にインド皇帝に即位した人物はだれか。

① ジョージ３世　② エリザベス１世
③ ヴィクトリア女王　④ ナポレオン３世

5 インドネシアのジャワに進出した国はどこか。

① イギリス　② フランス
③ スペイン　④ オランダ

6 イギリスがビルマ戦争で破った王朝を何というか。

① アユタヤ朝　② コンバウン朝
③ タウングー朝　④ ラタナコーシン朝

7 スペインが進出した国はどこか。

① カンボジア　② 北ボルネオ
③ フィリピン　④ インドネシア

8 フランス人宣教師ピニョーなどの援助を受けて，ベトナムを統一した人物はだれか。

① 李鴻章　② 林則徐
③ 阮福暎　④ 劉永福

9 清仏戦争の講和条約を何というか。

① 天津条約　② 北京条約
③ 南京条約　④ 望厦条約

10 タイのラーマ５世と関連のあるものはどれか。

① ボーリング条約締結　② サイゴン条約締結
③ 強制栽培制度導入　④ チャクリ改革実行

PART3 清の動揺と列強の進出

Chapter1　清の動揺と列強の進出

目標　イギリス側からみたアヘン戦争前の清の態度はどういうものか考えよう。
アジア三角貿易において，その流れが重要な金属について理解しよう。

1　清の動揺とヨーロッパの進出

①**白蓮教徒の乱**（1796～1804年）
　爆発的な人口増加・耕地不足を背景に四川などの辺境地域で起きる

②ロシアによるラクスマン派遣（1792年）
　エカチェリーナ２世が極東での貿易拡大をはかる

乾隆帝とマカートニー

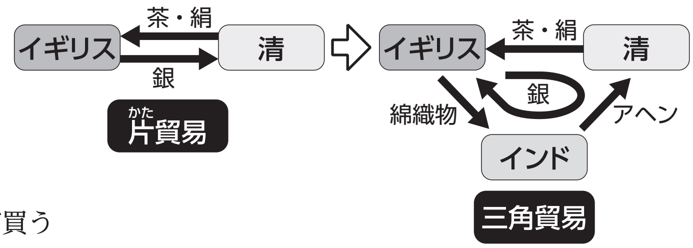
③**イギリス**による〔　　　　　　　　　　　　〕派遣（1792年，清へ）
　〔　　　　　〕の**公行**以外との取引を目指し他港の開港など自由貿易を要求。
　※６代**乾隆帝**は貿易を恩恵とみる「中華」の立場を崩さず拒否。

④**イギリス**による**アマースト**派遣（1816年，清へ）

2　アヘン戦争

①**イギリス・中国〔清〕・インド〔ムガル帝国〕**のアジア**三角貿易**（18世紀後半～）
　イギリスは中国から**茶**や絹織物を輸入して〔　　〕を輸出する片貿易を行い，銀が大量に流出して貿易赤字が続いていた（紅茶を飲む習慣が定着していたため）。

　A　イギリスの**綿織物**をインドが買う
　B　イギリス東インド会社のインド産〔　　　　　　〕を中国が買う
　C　中国の**茶**をイギリスが買う



貿易の変化の図

②清でアヘンの吸引が広がり密貿易が増え大量に銀流出
　〔　　　　　　〕が**広州**でアヘンを没収・廃棄，イギリスにアヘン貿易禁止を迫る。

③〔　　　　　　〕戦争（1840～42年）

A　イギリスが自由貿易の実現を口実に海軍を派遣

B　イギリスが清を破り〔　　　　〕**条約**を締結（1842年）

あ　〔　　　　〕**島**の割譲

い　**上海**・寧波・福州・厦門・広州の**５港**を開港

う　**賠償金**（没収アヘンの補償・軍事賠償）の支払い

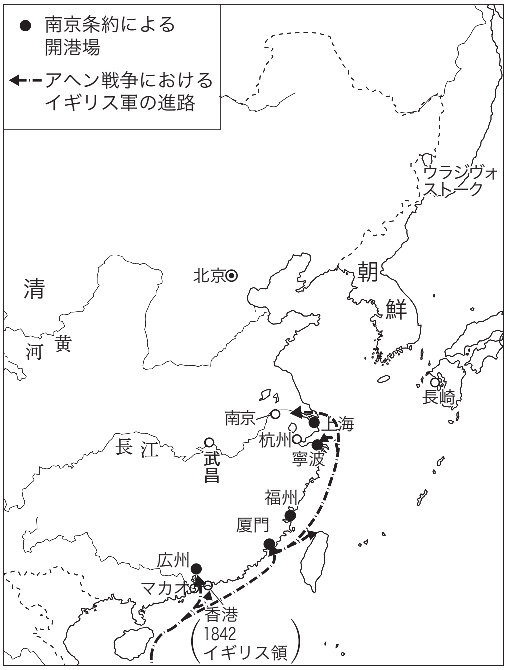
え　**公行の廃止**

④イギリスと五港〔五口〕通商章程・虎門寨追加を締結（1843年）

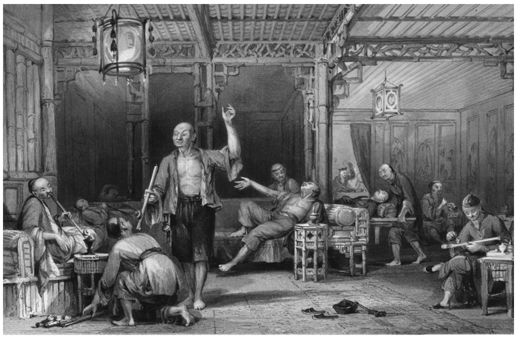
片務的**領事裁判権〔治外法権〕・協定関税〔関税自主権の喪失〕・片務的〔　　　　　〕待遇**という〔　　　　　〕**条約**だった。

⑤アメリカと望厦条約・フランスと黄埔条約を締結（1844年）

⑥イギリスが最初の**租界**を上海に設置（1845年）



アヘン戦争前後の東アジア



アヘン窟

まとめ　東インド会社はあくまでも対等な貿易相手なのに，清は朝貢使節扱いした。
イギリスから中国に流れる銀が，三角貿易で戻ってくるようになった。

Chapter2　清の激動

目標
清の領土に具体的に進出してきた列強３国を知ろう。
太平天国の乱の，中国史における新規性を理解しよう。

1　アロー戦争〔第２次アヘン戦争〕とロシアの東方進出

①［　　　　　　］**戦争〔第２次アヘン戦争〕**（1856～60年）→英仏が清を破る

1856年　**アロー号事件**を契機に**英・仏**が**清**と開戦→広州を占領し天津に迫る

1858年　**天津条約**※

1859年　英・仏が再出兵し北京を占領→円明園の離宮で略奪・破壊を行う

1860年　**北京条約**※

※天津条約・北京条約：**公使**の北京駐在，天津など11港の開港，外国人の内地での旅行の自由，キリスト教布教の自由などを認め，**イギリス**に〔　　　　〕**半島南部を割譲**。

②**ロシア**の東方進出→19世紀半ばに東シベリア総督ムラヴィヨフが中国への圧力を強化

1858年　**アイグン条約**→黒竜江以北を領有

1860年　**北京条約**→アロー戦争調停の見返りで**沿海州**を獲得。
〔　　　　　　　　　　　　〕**港**を開き太平洋進出の根拠地とする。

1881年　**イリ条約**→イリ事件後に清との国境を有利に取り決める。

2　中国国内の激動

①アヘン戦争後の**結社**の結成→19世紀半ばに反乱を起こす
華北の捻軍，西北・雲南のイスラーム教徒や貴州のミャオ族

②［　　　　　　　　］（1851～64年）

［　　　　　　］が広東でキリスト教の伝道に接し，自らをキリストの弟と称し**拝上帝会**という宗教結社を創ったことが始まり。広西で挙兵し太平天国となる。

※儒教を攻撃。民間信仰の神々の偶像も破壊。**中国史上初の社会改革を目指した農民反乱**。

A　**南京**を占領し首都として〔　　　　〕と改称（1853年）→のち内部争いで混乱

B　**天朝田畝制度**（＝土地の均分）を打ち出す

C　「**滅満興漢**」を掲げて清朝の打倒を目指す

D　男女平等・辮髪の禁止

E　アヘン吸飲・纏足など悪習の撤廃

③太平天国の敗北（1864年）→漢人官僚が勢力を伸ばす契機となる

A　**郷勇**の活躍→漢人官僚が郷里で組織した義勇軍

〔　　　　　〕の**湘軍**や〔　　　　　〕の**淮軍**

B　**常勝軍**が清軍に協力

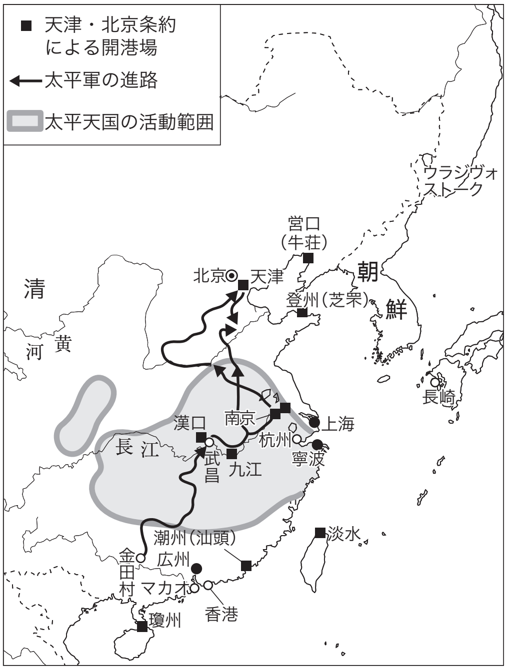
ウォード（米）や**ゴードン（英）**の率いる列強の義勇軍

李鴻章

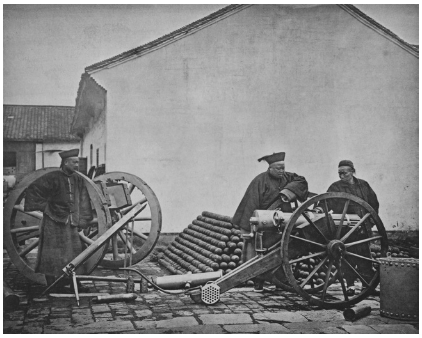
④**同治の中興**→実権は同治帝よりも母の**西太后**らにあった

「**中体西用**」の立場から，富国強兵を目指し〔　　　　〕**運動**が行われる。

※曾国藩・李鴻章・左宗棠らが中心。1861年に朝貢関係にない国との外交や技術導入を担当する**総理各国事務衙門**〔総理衙門〕を置いたほかは，伝統的な体制の維持・安定を目指し，国家や社会の制度の大きな変革は目指さない。同時期の日本の近代化に比べれば遅れていた。



アロー戦争前後の東アジア



南京の武器製造工場

まとめ　アヘン戦争後，清にはイギリス・フランス・ロシアが進出した。
太平天国の乱は，社会改革を目指した中国史上初の農民反乱だった。

第3講　PART3　確認問題

1　イギリスが清に派遣した外交官はだれか。

① ウォード　② ゴードン
③ ラクスマン　④ マカートニー

2　アジア三角貿易において，インドが輸入していたものはどれか。

① 綿織物　② 絹織物
③ アヘン　④ 茶

3　広州に派遣され，アヘンの密輸を取り締まった清の高官はだれか。

① 林則徐　② 阮福暎
③ 李鴻章　④ 洪秀全

4　アヘン戦争の結果，イギリスと清との間で結ばれた条約を何というか。

① 北京条約　② 南京条約
③ 黄埔条約　④ 天津条約

5　アロー戦争後に結ばれた北京条約の内容として正しいのはどれか。

① 上海など５港の開港　② 公行の廃止
③ 天津など11港の開港　④ 香港島の割譲

6 1858年に清とロシアの間で結ばれた黒竜江以北をロシアが領有するという，国境に関する条約を何というか。

① イリ条約　② アイグン条約
③ キャフタ条約　④ ネルチンスク条約

7 太平天国が打ち出した政策のうち，土地の均分をうたったものは何か。

① 均田制　② 人民公社
③ 屯田制　④ 天朝田畝制度

8 太平天国が掲げたスローガンは何か。

① 扶清滅洋　② 尊王攘夷
③ 滅満興漢　④ 中体西用

9 太平天国を打倒した郷勇のうち，淮軍を組織した人物はだれか。

① 曾国藩　② 全琫準
③ 李鴻章　④ 左宗棠

10 1861年に清が外交事務を行うために設置した機関を何というか。

① 総理各国事務衙門　② 礼部
③ 理藩院　④ 軍機処

PART4 日本の開国と江戸幕府の滅亡

Chapter1　日本の開国

目標
日米和親条約の不平等条項を理解しよう。
日米通商条約の不平等条項を理解しよう。

1　開国と和親条約の締結

1853年　**アメリカ**東インド艦隊司令長官〔　　　　　　〕浦賀に来航
※アメリカは「捕鯨船の**鯨油**」「対清貿易」がキーワード。
ロシア極東艦隊司令長官**プチャーチン**が長崎に来航
※ロシアは「ラッコの**毛皮**」がキーワード。
江戸湾品川沖に**台場**を築造→近代化改革スタート

ペリー

1854年　〔　　　　　　　　〕**条約→老中首座**〔　　　　　　　　〕
※アメリカに対し**片務的最恵国待遇**を認める**不平等条約**。
※同年，**琉米修好条約**も締結（アメリカは補給基地として期待）。
日露和親条約
※**択捉島以南を日本領，得撫島以北をロシア領**とし樺太は両国人雑居の地。
1855年　長崎に海軍伝習所を設置

2　通商条約の締結と開国の影響

1856年　洋学所を**蕃書調所**と改称・江戸に講武所を設置
伊豆国韮山に**反射炉**を建設→韮山代官江川太郎左衛門による
アメリカ総領事〔　　　　　　〕着任
→**老中首座堀田正睦**と交渉
※アロー戦争〔第２次アヘン戦争〕（1856～60年）が背景。
※朝廷の〔　　　　〕**天皇**は勅許を出さず。

反射炉

1858年　〔　　　　　　　　　　　　〕**条約→大老井伊直弼**が無勅許調印
※アメリカに対し**領事裁判権〔治外法権〕**と**協定関税〔関税自主権の喪失〕**を認める**不平等条約**。
※開港場に**居留地**を設置し一般外国人の国内旅行を禁止。

※オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも同様の不平等条約を締結（＝**安政の五カ国条約**）。

1859年　**横浜・長崎・箱館**で貿易開始

※**横浜**で〔　　　　　　　　　〕に〔　　　　　〕・**茶**・蚕卵紙を輸出することが中心。

※日本の輸入品は**毛織物・綿織物**・武器・艦船・綿糸など。

※浮世絵などの文化財が海外に紹介され，**ジャポニスム〔日本趣味〕**が起こる。

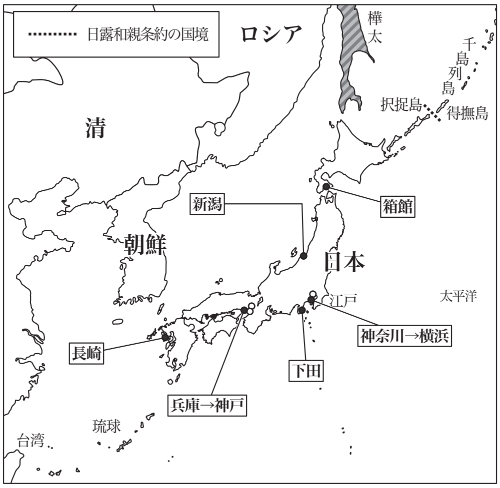
1860年　通商条約批准のためポーハタン号・咸臨丸が渡米

※アメリカは南北戦争（1861～65年）のため貿易は後退。

五品江戸廻送令→雑穀・水油・蠟・呉服・生糸

金銀比価の相違から金が大量に海外に流出→万延貨幣改鋳

1862年　**生麦事件**→薩摩藩の行列を横切ったイギリス人が殺傷される



開港した港

まとめ　日米和親条約では，片務的最恵国待遇という不平等条項があった。
日米通商条約では，領事裁判権の承認と協定関税という不平等条項があった。

Chapter2　江戸幕府の滅亡

目標
尊王攘夷運動の経過を理解しよう。
新政府成立の流れをおさえよう。

1　江戸幕府の動揺と公武合体運動

①**安政の大獄**（1858～59年）→違勅調印の反対者などを幕府が処罰

②〔　　　　　　　　　　　　〕（1860年）→**大老井伊直弼**が尊王攘夷派に殺害される

全国に衝撃，幕府の権威は失墜し独裁体制が崩壊。

③幕府主導の**公武合体**の挫折

A　〔　　　　　〕降嫁（1861～62年）→ **14 代将軍徳川家茂**と**孝明天皇**の妹宮が結婚

B　坂下門外の変（1862年）→**老中安藤信正**が尊攘派に襲撃される

④雄藩主導の**公武合体**＝**薩摩藩島津久光**が主導した文久の改革（1862年）

A　将軍後見職→一橋慶喜

B　政事総裁職→松平慶永（越前藩主）

C　京都守護職→松平容保（会津藩主）

D　参勤交代制の緩和と妻子人質制の廃止など

2　尊王攘夷運動の激化と挫折

1862年　**長州藩**尊攘派の京都制圧

1863年　14 代将軍家茂の上洛

長州藩外国船砲撃事件〔下関事件〕・**薩英戦争**

八月十八日の政変・天誅組の変・生野の変

1864年　池田屋事件　※新選組が活躍。

禁門〔蛤御門〕の変　※長州藩は朝敵の汚名を着せられる。

四国艦隊下関砲撃事件〔下関戦争〕・第１次長州征討

※**尊王攘夷運動**は完全に挫折。

3　江戸幕府の滅亡

1865年　条約勅許

※**イギリス公使パークス**が薩長，**フランス公使ロッシュ**が幕府を後見。

1866年　〔　　　　　〕**同盟**・第 2 次長州征討

15 代将軍徳川〔　　　　　〕就任・孝明天皇病死

ええじゃないか

1867年　**「ええじゃないか」**発生

討幕の密勅→公家の**岩倉具視**が薩長と結び暗躍

〔　　　　　　　　〕

※前土佐藩主山内豊信の建白で，15 代慶喜が**明治天皇**に政権を返上

土佐藩の〔　　　　　　　　〕・中岡慎太郎暗殺

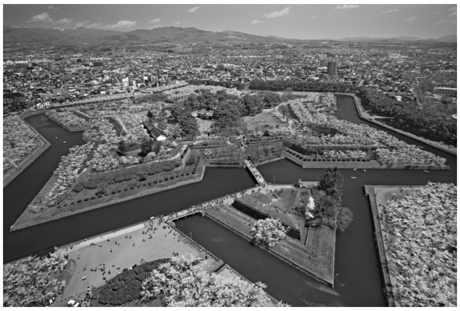
〔　　　　　　　　〕**の大号令**・小御所会議で**新政府**成立

1868年　〔　　　　　〕**戦争**（～69年）

※**鳥羽・伏見の戦い**で始まり**江戸無血開城**や会津戦争へ。

※最後は新政府軍が**五稜郭の戦い**で榎本武揚率いる旧幕府軍を破る。

大政奉還



五稜郭

まとめ

尊王攘夷運動は長州藩が主導したが，挫折した。

大政奉還により，幕府から朝廷に政権が返上されて新政府が成立した。

第３講　PART4　確認問題

1 1853年，長崎に来航したロシア極東艦隊司令長官はだれか。

① ラクスマン　② プチャーチン
③ ペリー　④ レザノフ

2 日米和親条約を締結したときの江戸幕府の老中首座はだれか。

① 阿部正弘　② 井伊直弼
③ 堀田正睦　④ 安藤信正

3 1859年に貿易が開始された後，横浜からイギリスへの輸出品の中心となったものは何か。

① 毛織物　② 綿織物
③ 綿糸　④ 生糸

4 1862年に起こった，薩摩藩の行列を横切ったイギリス人が殺傷された事件を何というか。

① 東禅寺事件　② 生麦事件
③ ヒュースケン暗殺事件　④ 池田屋事件

5 坂下門外の変で襲撃された老中はだれか。

① 堀田正睦　② 安藤信正
③ 阿部正弘　④ 井伊直弼

6 公武合体の立場から，文久の改革を推し進めたのはだれか。

① 松平慶永　② 松平容保
③ 島津久光　④ 一橋慶喜

7 長州藩の急進派が，薩摩・会津・桑名の藩兵と武力衝突した事件は何か。

① 天誅組の変　② 八月十八日の政変
③ 生野の変　④ 禁門〔蛤御門〕の変

8 雄藩連合政権に期待して薩長に接近したイギリス公使はだれか。

① パークス　② アーネスト＝サトウ
③ オールコック　④ ロッシュ

9 薩長討幕派と結んで王政復古に尽力した公家はだれか。

① 岩倉具視　② 木戸孝允
③ 山内豊信　④ 大久保利通

10 戊辰戦争において，最初に始まったできごとはなにか。

① 会津戦争　② 江戸無血開城
③ 五稜郭の戦い　④ 鳥羽・伏見の戦い

第４講　【近代編】欧米の国民国家形成
PART1 ウィーン体制の成立と動揺

Chapter1　ウィーン体制の成立

目標
ウィーン会議の目的を知ろう。
ウィーン体制下で最強となった２国について学ぼう。

1　ウィーン会議

①〔　　　　　　　　　〕**会議**（1814～15年）

フランス革命とナポレオン戦争の戦後処理のため，オスマン帝国を除く全ヨーロッパの支配者が参加する国際会議を〔　　　　　　　　　　　　　〕のウィーンで開催。

A　目標

列強間の合意・協調に基づく国際秩序の再建（領主制廃止などは維持）

B　議長

オーストリア外相（のち宰相）〔　　　　　　　　　　　　　〕

C　参加国

大小 143 の王国・公国が参加し，何とか妥協

※「**会議は踊る，されど進まず**」

会議は踊る

②内容

フランスのタレーラン外相らが，フランス革命前の王朝と旧制度の復活をめざす**正統主義**を主張。しかし現実には列強諸国の意向が優先され，無視されることが多かった。

A　**フランス・スペイン**とイタリアのナポリで**ブルボン王家**が復活

B　**ロシア**は皇帝がポーランド国王を兼任し，フィンランドを得る

C　スウェーデンがフィンランドなどを失い，ノルウェーを得る

D　**イギリス**が旧オランダ領**スリランカ**・〔　　　　　　〕**植民地**とマルタ島を領有

E　**オランダ**が旧オーストリア領**南ネーデルラント〔ベルギー〕**を併合

F　**オーストリア**が**北イタリア**〔ヴェネツィア・ロンバルディア〕を獲得

G　プロイセンが東西に領土を拡大

H　**ドイツ連邦**の組織→ドイツ統一はならず

I　**スイス**が 22 州の連邦による〔　　　　　　　　〕**国**となる

2　ウィーン会議の結果

①〔　　　　　　　　　　〕の確立

フランス革命とナポレオン体制下にヨーロッパに広まった〔　　　　　〕**主義**と**ナショナリズム**〔国民主義･民族主義〕は何とか抑えられ，ヨーロッパの政治的現状維持をめざす，メッテルニヒらの正統主義（＝復古主義・保守主義）が優位となった。

②列強体制の定着→ 19 世紀半ばの一時期を除き 20 世紀初めまで列強の協議によって勢力均衡と平和を維持。

A 〔　　　　　　〕 →陸軍国

あ　1815年に皇帝**アレクサンドル１世**が〔　　　　　〕**同盟**を提唱
　　イギリス・ローマ教皇・オスマン帝国を除くヨーロッパ諸国が参加

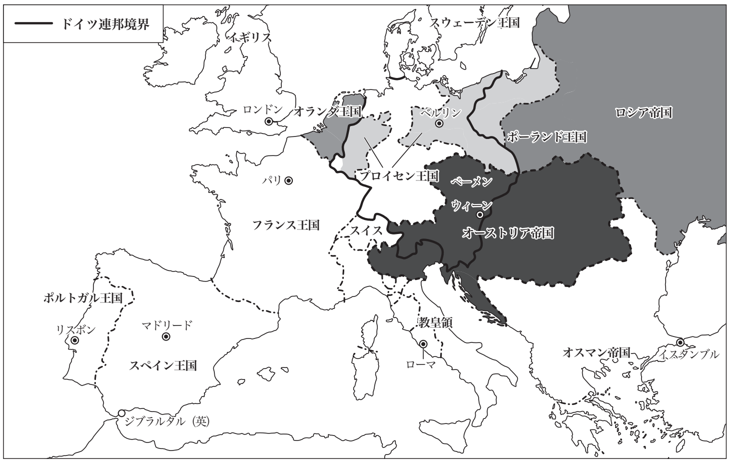
い　1815年に**イギリス・プロイセン・オーストリア**と**四国同盟**を結ぶ

う　1818年に**フランス**が加わり五国同盟に

B 〔　　　　　　　　〕→海軍国

あ　貿易を展開し，世界一の経済力を誇る

い　19 世紀の世界は**パクス＝ブリタニカ**〔イギリスの平和〕



ウィーン体制下のヨーロッパ

まとめ　ウィーン会議の目的は，フランス革命とナポレオン戦争の戦後処理だった。
ウィーン体制下では，陸軍国ロシアと海軍国イギリスが最強となった。

Chapter2　ウィーン体制の動揺

目標
ウィーン体制下で台頭してきた新たな考えを知ろう。
ウィーン体制下の，フランスの動向をおさえよう。

1　ウィーン体制の動揺

①自由主義的改革を求める動き→鎮圧される

A　ドイツの学生組合〔ブルシェンシャフト〕による改革要求

B　スペインの立憲革命やイタリアの秘密結社カルボナリの蜂起

C　ロシアの**デカブリスト〔十二月党員〕の乱**（1825年）

D　オスマン帝国からの**ギリシア独立運動**（1829年に成功）

E　ラテンアメリカでの独立運動

②列強の足並みの乱れ

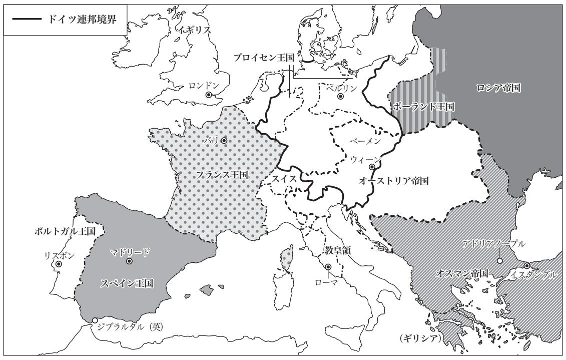
オーストリアのメッテルニヒ宰相は，一連の独立運動に反対したが干渉はできなかった。それに対し，例えばイギリスのカニング外相は独立運動を支持し，ウィーン体制の抑圧的な現状維持政策から距離を置き始める。

2　七月革命

①「復古王政」下のフランス情勢

ルイ 18 世を継いだ**シャルル 10 世**が，厳しい制限選挙制を採用する立憲君主政，貴族・聖職者を重視する反動政治を展開。

※ 1830年，国民の不満をそらすためアルジェリア遠征を実行するが，選挙で反政府派が圧勝すると未招集のまま議会を解散。



ウィーン体制下のヨーロッパ

②**フランス**〔　　　　　〕**革命**（**1830年**）→立憲君主政の確立

自由主義･ロマン主義が発展した**ナショナリズム〔国民主義･民族主義〕**の勢力が，ウィーン体制下の復古主義・保守主義を倒す。

A　ラ＝ファイエットらが主導する革命が起こりシャルル 10 世は亡命

B　オルレアン家の〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕による**七月王政**が成立

③七月革命の影響

列国は，ウィーン体制下のメッテルニヒの反自由主義・反民族主義的な政治姿勢に協調しなくなった。

1830年　ドイツ反乱→鎮圧されるが西部諸国は立憲君主政に

　　　　ポーランド反乱→翌年ニコライ 1 世のロシアが鎮圧

　　　　ベルギー〔南ネーデルラント〕がオランダから独立し翌年立憲君主政の王国に

1831年　イタリア反乱→北イタリア諸国の独立運動をオーストリア軍が鎮圧

　　　　マッツィーニの「**青年イタリア**」結成

1832年　イギリスの第 1 回選挙法改正

『民衆を導く自由の女神』（ドラクロワ）

まとめ

ウィーン体制下でナショナリズム〔国民主義・民族主義〕が台頭した。
復古主義的な復古王政が，フランス七月革命により倒された。

第 4 講　PART1　確認問題

1 ウィーン会議の議長として，各国の利害関係を調整した人物はだれか。

① タレーラン　② ビスマルク
③ カニング　④ メッテルニヒ

2 ウィーン会議で，フランスのタレーラン外相らが主張した考えを何というか。

① 民族主義　② 正統主義
③ 国民主義　④ 自由主義

3 ウィーン会議でイギリスがオランダから獲得したのはどこか。

① ノルウェー　② フィンランド
③ 北イタリア　④ スリランカ

4 南ネーデルラント〔ベルギー〕を併合した国はどこか。

① ロシア　② スウェーデン
③ オランダ　④ オーストリア

5 神聖同盟を提唱したロシアの皇帝はだれか。

① アレクサンドル 1 世　② アレクサンドル 2 世
③ ニコライ 1 世　④ ニコライ 2 世

6 ウィーン体制を支えた四国同盟に1818年に加わった国はどこか。

① イギリス　② フランス
③ オーストリア　④ プロイセン

7 ロシアで起こった青年将校による自由主義的改革を要求する運動を何というか。

① プガチョフの乱　② ステンカ＝ラージンの乱
③ ナロードニキ運動　④ デカブリスト〔十二月党員〕の乱

8 ウィーン体制下の復古主義・保守主義を倒したのは何という勢力か。

① ロマン主義　② 正統主義
③ ナショナリズム　④ 社会主義

9 フランス七月革命の結果，国王はだれからだれに変わったか。

① ルイ18世→ルイ＝フィリップ　② ルイ18世→シャルル10世
③ シャルル10世→ルイ＝フィリップ　④ シャルル10世→ルイ18世

10 フランス七月革命の影響下，ベルギーは1830年にどの国から独立したか。

① イタリア　② ドイツ
③ オランダ　④ ポーランド

PART2 イギリス・フランスの展開

Chapter1　イギリスの展開

目標
19世紀，大英帝国絶頂期の王を知ろう。
イギリスで社会主義思想を大成したドイツ人２名をおさえよう。

1　イギリスの自由主義的改革

①自由主義的政治改革

1824年　団結禁止法の廃止→労働組合の結成が可能に

1828年　審査法の廃止→国教徒以外でも公職就任が可能に

1829年　カトリック教徒解放法→オコンネルらアイルランド人の努力

1832年　**第１回選挙法改正**→都市の産業資本家・中産階級などに参政権が拡大

1837年～〔　　　　　　　　　　　　　　　〕運動（～50年代）

※男子普通選挙など６カ条からなる**人民憲章**を掲げた政治運動。39年・42年・48年に議会請願運動が組織されるが，あまり成果なし。

②**自由貿易政策**→重商主義を撤回

1834年　東インド会社の中国貿易独占権の廃止

1839年　反穀物法同盟結成→コブデンやブライト

1846年　〔　　　　　　〕**の廃止**→安価な穀物の輸入が可能に

1849年　**航海法の廃止**→イギリス・原産国の船以外でも輸送が可能に

2　社会主義思想の成立

①イギリスの〔　　　　　　　　〕**運動**（1811～17年）

手工業者・工場労働者たちが機械工業化に抵抗した**機械打ちこわし運動**。

②**工場法**の制定（1833年）

工場に対する国家の監督権を認め，実効力を有した。

③**空想的社会主義**→資本主義社会を批判

A　サン＝シモン（仏）→「搾取のない産業社会」を理想とする

B　**ロバート＝オーウェン（英）**→「ニューハーモニー村」という共同体建設に失敗

C　フーリエ（仏）→「ファランジュ」という共同社会を理想とする

D　プルードン（仏）→無政府主義〔アナーキズム〕

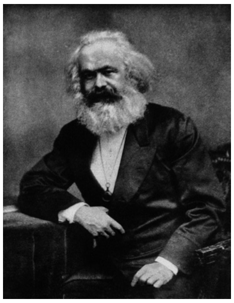
E　ルイ＝ブラン（仏）→生産の国家統制を主張

④**科学的社会主義→マルクス主義〔共産主義〕**

〔　　　　　　　　〕**・エンゲルス（独）**は共に

〔　　　　　　　　〕に亡命し社会革命を促す。資本主義体制の没落は歴史の必然と唱え，『**共産党宣言**』などを著す。

※「全世界のプロレタリア，団結せよ！」



マルクス

3　ヴィクトリア朝のイギリス

「**世界の**〔　　　　〕」「**世界の銀行**」たるイギリスに君臨する〔　　　　　　　　　　〕**女王**の治世は「**パクス＝ブリタニカ**〔イギリスの平和〕」と呼ばれた（在位 1837～1901年）。

※ロンドン旧市街の**シティ**を中心とした，**世界市場**における**国際分業体制**〔近代世界システム〕が成立した時代。

ヴィクトリア女王

①**ロンドン**〔　　　　　　　　　　〕（1851年）

②**議会制民主主義**の発展

A〔　　　　　　〕（もとトーリ党）のディズレーリ内閣

B〔　　　　　　〕（もとホイッグ党）のグラッドストン内閣

③さらなる選挙法の改正→選挙権の拡大

A　第２回選挙法改正（1867年）→都市労働者が選挙権を獲得

B　第３回選挙法改正（1884年）→農業労働者が選挙権を獲得

④教育法（1870年）→初等教育の公的整備始まる

⑤労働組合法（1871年）→労働組合の法的地位が認められる

⑥自由党分裂（1886年）

ジョゼフ＝チェンバレンがグラッドストン内閣のアイルランド自治法案に反対。

万国博覧会のメイン会場

まとめ

19世紀大英帝国絶頂期の王は，ヴィクトリア女王だった。
社会主義思想を大成したのは，マルクスとエンゲルスだった。

Chapter2　フランスの展開

目標　「1848年革命」の歴史的な意義は何か学ぼう。
この後，長くドイツとフランス対立の象徴となった地域をおさえよう。

1　1848年革命

産業革命により人々は古い社会的規制から徐々に解放されていったが，新たな産業社会は未成熟で「大衆貧困」と呼ばれるように格差が広がった。

①**フランス**〔　　　　　〕**革命**（1848年）→臨時政府による**第二共和政**の確立

A　七月王政下の抑圧的な政治

中小資本家・民衆が多額納税者のみに認められていた選挙権拡大を求める

B　革命の発生→国王ルイ＝フィリップが亡命

あ　**社会主義者**・労働者の代表も加えた臨時政府が樹立される

い　**世界史上初の男子普通選挙制**となる

② **1848年革命**の波及→「**諸国民の**〔　　〕」となり**ウィーン体制は崩壊**

1848年はヨーロッパの大転換点。産業革命で後発だった国々(フランス・プロイセンなど)でも資本主義が確立・展開し，労働運動・社会主義運動が各国で強まった。

A　オーストリア・プロイセンの**ドイツ三月革命**

あ　ウィーンの蜂起で宰相〔　　　　　　　　　　　　〕がロンドンに亡命

い　ベルリンの蜂起でプロイセン国王が譲歩して自由主義的内閣が成立

B　〔　　　　　　　　　　　　　　〕**国民議会**（1848～49年）

統一ドイツ達成と憲法制定のため自由主義者たちが結集

③王権・保守派の巻き返し→資本家は旧支配層と結び国家と産業の発展をめざす

A　フランス**第二帝政**の成立

あ　第二共和政の挫折（1848年）

※パリの労働者が六月蜂起を起こして臨時政府に鎮圧されるが，大統領選挙で**ルイ＝ナポレオン**が当選。のち「1851年クーデタ」を起こし独裁権を握る

い　国民投票が行われ，皇帝**ナポレオン**〔　　〕**世**と称す（1852年，**第二帝政**）

ナポレオン３世

B　プロイセン国王が保守的な内容の欽定憲法を一方的に発布（1850年）

C　オーストリアでも革命運動・民族運動は武力により鎮圧

50年代には議会も無力化され「新絶対主義」が成立

④ 1848年革命の特色と結果→西欧と東欧の方向性の分岐点に

A　西欧では自由主義・民主主義が主な目標に

B　東欧ではナショナリズム〔国民主義・民族主義〕が主な目標に

2　フランス第二帝政と第三共和政

第二帝政は，農民・資本家・労働者など，それぞれ利害を異にする勢力に支えられていた。

①ナポレオン３世の政策→国民各層の支持を巧妙に得る伯父譲りのボナパルティズム

A　国威を高めるため２度のパリ万国博覧会を開催（1855・67年）

パリの都市改造（大通りの貫通・上下水道の整備）など斬新な社会政策を実施

B　英仏通商条約を結び，自由貿易の名の下に国内産業を育成（1860年）

C　国民の人気を維持するため**積極的な対外政策**を展開

クリミア戦争（1853～56年）・アロー戦争（1856～60年）・**インドシナ出兵**（1858～67年）・イタリア統一戦争（1859年）などを行うがメキシコ出兵（1861～67年）は失敗

※幕末の江戸幕府に接近し，レセップスの**スエズ運河建設**にも協力的（1869年）。

②第二帝政の崩壊

A　**プロイセン＝フランス戦争〔普仏戦争〕**（1870～71年）

あ　ナポレオン３世がスダンで捕虜となり，パリで蜂起が起こり帝政崩壊（1870年）

い　抵抗を続けたティエールらの国防政府もプロイセン軍に降伏（1871年）

う　パリ民衆が**アルザス・ロレーヌ割譲**など屈辱的な講和条約に反対して蜂起

※独自に**パリ＝コミューン**を樹立（＝世界初の労働者などの民衆による**自治政府**）。

B　２カ月後にヴェルサイユの臨時政府が「血の週間」でパリのコミューン政府を鎮圧

〔　　　　　　　　　　〕の憲法が制定される（1875年）

まとめ　1848年革命でウィーン体制が崩壊し，東西ヨーロッパの分岐点となった。
アルザス・ロレーヌ地方は，長くフランス・ドイツの対立の象徴となった。

第４講　PART2　確認問題

1　1830年代後半から起こった，人民憲章を掲げた政治運動を何というか。

①　ラダイト運動　　②　チャーティスト運動
③　タンジマート　　④　ナロードニキ運動

2　産業革命の進展によって生活を脅かされた手工業者・工場労働者たちが1810年代に行った運動を何というか。

①　チャーティスト運動　　②　タンジマート
③　ナロードニキ運動　　④　ラダイト運動

3　「ニューハーモニー村」という共同体を建設しようとしたが，失敗した人物はだれか。

①　ロバート＝オーウェン　　②　プルードン
③　ルイ＝ブラン　　④　サン＝シモン

4　エンゲルスとともに科学的社会主義を唱え，『共産党宣言』を著した人物はだれか。

①　フーリエ　　②　サン＝シモン
③　マルクス　　④　プルードン

5　19世紀半ばから，「パクス＝ブリタニカ」と呼ばれた，イギリスの繁栄の絶頂期に君臨した女王はだれか。

①　エリザベス１世　　②　エリザベス２世
③　アン女王　　④　ヴィクトリア女王

6 19世紀後半に内閣を組織した保守党の党首はだれか。

① ディズレーリ　② ジョゼフ＝チェンバレン
③ カニング　④ グラッドストン

7 内閣提出のアイルランド自治法案に反対した自由党所属の政治家はだれか。

① グラッドストン　② ジョゼフ＝チェンバレン
③ ディズレーリ　④ カニング

8 1848年革命でウィーン体制が崩壊し，ヨーロッパの大転換点となったことを，諸国民の何というか。

① 春　② 夏
③ 秋　④ 冬

9 1848年のウィーンの蜂起でロンドンに亡命したのはだれか。

① メッテルニヒ　② グラッドストン
③ ディズレーリ　④ ルイ＝ブラン

10 フランス第二帝政崩壊のきっかけとなった，ナポレオン３世がスダンで捕虜となったのはどれか。

① インドシナ出兵　② アロー戦争
③ クリミア戦争　④ プロイセン＝フランス戦争〔普仏戦争〕

PART3 ヨーロッパの再編

Chapter1　イタリア・ドイツの統一

目標
イタリア統一の特色をおさえよう。
ドイツ統一の特色をおさえよう。

1　イタリアの統一→官民一体型の統一運動

カヴール

　分裂が続いていたイタリアでは，1848年の二月革命時，サルデーニャ王国がオーストリア軍と戦い敗北した。翌 49年，亡命先のマルセイユで**「青年イタリア」**を主導してきた**マッツィーニ**を中心にローマ共和国が建設されたが，フランス軍の攻撃により崩壊した。

1849年　**ヴィットーリオ＝エマヌエーレ２世**が**サルデーニャ王国**の王位に就く

※のち自由主義者の〔　　　　　　　　　〕が首相となりクリミア戦争（1853～56年）に参戦，英・仏の歓心を買う。

1859年　前年にフランスと密約を結びオーストリアと開戦しロンバルディアを獲得

※いわゆる「**イタリア統一戦争**」。イギリスは中立。

1860年　サヴォイアとニースをフランスに譲ることで中部イタリアを併合

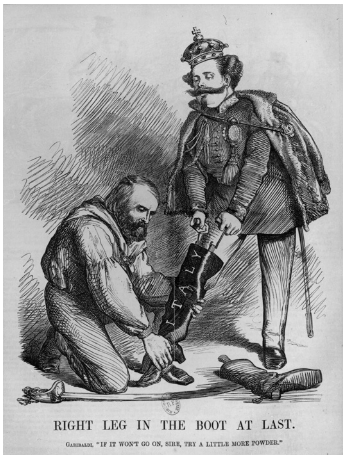
※この年,「青年イタリア」出身の〔　　　　　　　　　　　　　　〕が「千人隊〔赤シャツ隊〕」を率いて両シチリア王国を占領し，サルデーニャ王に譲る。

1861年　**イタリア王国**が成立し**ヴィットーリオ＝エマヌエーレ２世**が王となる

1866年　プロイセンと同盟しオーストリアからヴェネツィアを奪い併合

1870年　フランス軍の撤退に乗じローマ教皇領を占領し統一が実現

※トリエステ・南チロルなどはオーストリア領に留まり「〔　　　　　　　〕**のイタリア**」と呼ばれる。また, ヴァチカンの教皇庁に籠るローマ教皇は対立を続けた。



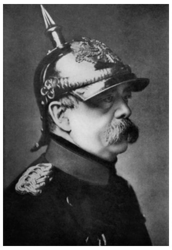
サルデーニャ王に長靴を履かせるガリバルディ

2　ドイツの統一→国家主導型の統一運動

1848年　ドイツ三月革命・フランクフルト国民議会（～49年）

1862年　プロイセン王〔　　　　　　　　　〕**1世**が**ビスマルク**を首相とする

　※「〔　　　　　〕**政策**」として議会の反対を押し切り軍隊を拡張。



ビスマルク

1866年　**プロイセン＝オーストリア〔普墺〕戦争**

1867年　プロイセンを盟主とする北ドイツ連邦が結成される

　※オーストリアは**オーストリア＝ハンガリー帝国**に再編。

1870年　**プロイセン＝フランス〔普仏〕戦争**（～71年）

　※フランスは**アルザス・ロレーヌ**をドイツに譲り，莫大な賠償金を課せられた。

1871年　〔　　　　　　　〕**帝国**が成立しプロイセン王**ヴィルヘルム1世**が**ドイツ皇帝**を兼ねる

　※皇帝にのみ責任を負う帝国**宰相**には「**鉄血宰相**」〔　　　　　　　　　　　　〕が就任。

　手始めにカトリック教徒の抑圧策である「〔　　　　　　　　　〕」を開始。

1873年　ドイツ・オーストリア・ロシアの三帝同盟→1881年に新たな三帝同盟に

1875年　社会主義労働者党が成立　※のち**社会民主党**と改称（1890年）

1878年　**ベルリン会議**で列国の利害を調停

　※ロシアとオスマン帝国間のサン＝ステファノ条約（露土戦争の講和条約）は破棄され，〔　　　　　　　　　〕**条約**でロシアの拡大を抑える。

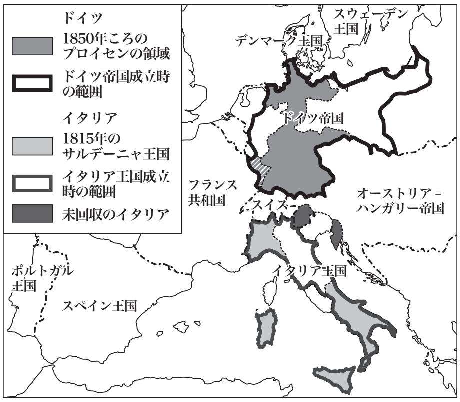
　社会主義者鎮圧法を制定

　※他方では**社会保険制度**を整備していたので「〔　　　　　　　　　　　　〕**の政策**」と呼ばれる。

1882年　**ドイツ・オーストリア・**〔　　　　　　　　　〕の〔　　　　　　　　　〕締結

1887年　三帝同盟が消滅しドイツ・ロシア間で再保障条約を結ぶ

　※ドイツの安全をはかる複雑な同盟網である，**ビスマルク外交**の典型。



1870年ころのイタリア・ドイツ

まとめ　イタリアは一体性を欠いた南北の複数の国家が強引に統一されていた。
ドイツは，ビスマルクを首相とするプロイセンの力で統一が進んだ。

Chapter2　ロシア・北欧諸国の展開

目標　ユーラシア大陸におけるロシアの政策とその影響をおさえよう。
19 世紀の北欧諸国に共通する特徴を考えてみよう。

1　ロシアの動向

ロシアは冬でも凍らない軍港＝〔　　　　　　〕の獲得と**地中海**への出口を求め，黒海・バルカン半島への〔　　　　〕**政策**推進を図った。

①ギリシア独立戦争（1821～29年）→〔　　　　〕**政策**１

ロシアはイギリス・フランスとともにギリシアを支援し，オスマン帝国に勝利。

②**デカブリスト〔十二月党員〕の乱**（1825年）

ニコライ１世の即位日に，青年将校たちが改革を求める蜂起を起こし鎮圧される。

③第一次・第二次エジプト＝トルコ戦争（1831～33，39～40年）→南下政策２

ロシアはオスマン帝国を支援し南下政策を進めるが，ロンドン条約で阻止される。

④ 1848年革命→反革命の擁護者「**ヨーロッパの**〔　　　　〕」

オーストリアを支援し，コシュートの指導するハンガリーの民族運動を制圧。ニコライ１世は，ロシアの立場が国際的に有利になった機会を利用し，さらなる南下政策推進をはかる。

⑤〔　　　　　　　　〕**戦争**（1853～56年）→南下政策３

ギリシア正教徒の保護を口実にロシアが〔　　　　　　　　〕帝国と開戦。**イギリス・フランス**とサルデーニャ王国は，ロシアの南下を阻止するためオスマン帝国を支援。極東地域でも戦闘が起こり，日本に開国を求めるプチャーチンの行動は抑えられた。

※イギリスの〔　　　　　　　　　　　　　　　〕らは，敵味方の区別なく看護した。

⑥〔　　　　〕**条約**（1856年）→ロシアが敗れたクリミア戦争の講和条約

A　黒海の中立化と各国の商船への開放

B　ダーダネルス・ボスフォラス両海峡の軍艦航行禁止

⑦クリミア戦争後の情勢→〔　　　　　　　〕**体制**の完全崩壊

列強の共同行動の維持が困難になり，1870年代には各国家が比較的自由に行動，戦争・紛争が多発した。

ナイティンゲール

※先進国イギリス・フランスに対するロシアの敗戦を見て危機感を抱いた各地の後進国も「**上からの近代化**」を強引に進めることになった。

⑧**アレクサンドル２世**による〔　　　　　　　　　　〕**令**(1861年)

農奴に人格的自由を認めたが，領主である地主貴族へ多額の買戻金を支払う必要があり，個人ではなく農村共同体〔**ミール**〕に引き渡されることが多いなど，地主本意の改革だった。

農奴解放令を告げるアレクサンドル２世

⑨**ロシア＝トルコ〔露土〕戦争**（1877～78年）→南下政策４

ロシアが黒海の制海権とバルカン半島の支配権をめぐる戦いでオスマン帝国に勝利。サン＝ステファノ条約が締結され，ついに南下政策が成功したかに見えたが，ドイツの宰相**ビスマルク**が開いた〔　　　　　　　〕**会議**でベルリン条約が採択され，ロシアは抑えられた。

※ロシアは中央アジアや東アジアにも矛先を向け南下政策を展開，ユーラシア大陸をまたぐイギリスとの「**グレート＝ゲーム**」状態となった。

⑩皇帝〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の暗殺（1881年）→改革の挫折

1870年代，急進的な都市の知識人〔インテリゲンツィア〕は，「ヴ＝ナロード〔人民のなかへ〕」の標語を掲げ〔　　　　　　　　　　　〕〔人民主義者〕と呼ばれていた。

※しかし，官憲の弾圧と農民の無関心により挫折。失望したナロードニキの一部は，**テロリズム**〔暴力主義〕にはしり政府転覆を図った。そもそもロシアは多民族国家で，他国のような「国民国家」建設は難しかった。

2　北欧諸国の動向

①〔　　　　　　　　　　　〕→ 17 世紀前半，国王グスタフ＝アドルフの治世が全盛期

北ドイツの領土をプロイセンに奪われ，**フィンランド**も 1809年にロシアに割譲していたが，19 世紀初めに憲法が制定され，やがて責任内閣制が確立した。

②**ノルウェー**

ウィーン会議（1814～15年）の結果スウェーデン領となったが，独自の憲法を持ち，1905年の国民投票により平和的に独立した。

③**デンマーク**

1864年，プロイセン・オーストリアとの戦争に敗れてシュレスヴィヒ・ホルシュタインを失ったが，以後，農業・牧畜を主とする中立な小国となった。

まとめ　ロシアは不凍港を求め南下政策を推進し，イギリスと対立した。
北欧の三国は穏健な立憲君主制で，国内の改革に集中できる環境があった。

第 4 講　PART3　確認問題

1 マッツィーニがイタリアの独立と統一をめざして結成した組織を何というか。

① 青年イタリア　② カルボナリ
③ 千人隊　④ デカブリスト

2 クリミア戦争に参戦した，サルデーニャ王国の首相はだれか。

① ガリバルディ　② カヴール
③ ビスマルク　④ マッツィーニ

3 1859年のイタリア統一戦争で，サルデーニャ王国がオーストリアから獲得したのはどこか。

① ヴェネツィア　② ロンバルディア
③ ニース　④ トリエステ

4 1870年から始まったプロイセン＝フランス〔普仏〕戦争の結果，ドイツが獲得したのはどこか。

① 南チロル　② サヴォイア
③ ロンバルディア　④ アルザス・ロレーヌ

5 1878年，ビスマルクの調停によって成立した条約を何というか。

① 三帝同盟　② サン＝ステファノ条約
③ ベルリン条約　④ 再保障条約

6 デカブリスト〔十二月党員〕の乱はだれの即位日に起こったか。

① ニコライ1世　② ニコライ2世
③ アレクサンドル1世　④ アレクサンドル2世

7 ギリシア正教徒の保護を口実に，ロシアが1853年に開始した戦争を何というか。

① ロシア＝トルコ戦争　② ギリシア独立戦争
③ エジプト＝トルコ戦争　④ クリミア戦争

8 クリミア戦争の講和条約を何というか。

① ベルリン条約　② パリ条約
③ イリ条約　④ サン＝ステファノ条約

9 アレクサンドル2世が治めていた時代のできごとはどれか。

① 1848年革命　② デカブリスト〔十二月党員〕の乱
③ 農奴解放令　④ エジプト＝トルコ戦争

10 ロシアで，社会主義改革の実現をめざす急進的な都市の知識人は何と呼ばれたか。

① ミール　② ツァーリズム
③ ユンカー　④ ナロードニキ

PART4 アメリカ大陸の発展

Chapter1　アメリカ合衆国の発展

目標　アメリカ南北戦争で発生した，現在まで続く支持政党の対立を知ろう。
奴隷制廃止はアメリカにどのような影響を与えたか考えよう。

1　アメリカ合衆国の領土拡大

①第３代大統領**ジェファソン**

1803年　フランスからミシシッピ川以西の**ルイジアナ**買収

②第４代大統領マディソン

1812年　**アメリカ＝イギリス戦争**（～14年）→アメリカ合衆国の工業化が進む

③第５代大統領〔　　　　　　　　〕→以後**モンロー主義**はアメリカの基本政策となる

1819年　スペインから**フロリダ**買収

1823年　**モンロー宣言〔教書〕**→南北アメリカ大陸とヨーロッパの**相互不干渉**を表明

④第７代大統領**ジャクソン**→白人社会の民主化「ジャクソニアン＝デモクラシー」

初の西部出身大統領として「〔　　　　〕**運動**」を推進。**ホイッグ党**に対し南部を基盤とする〔　　　　　〕の結成を促進。

1830年　強制移住法→**先住民〔インディアン〕**はミシシッピ川以西に強制移住

※チェロキー族「**涙の旅路**」などが有名。特定の保留地に隔離。

⑤第 11 代大統領ポーク→「**明白な天命**」説の流布

1846年　**アメリカ＝メキシコ戦争**（～48年）

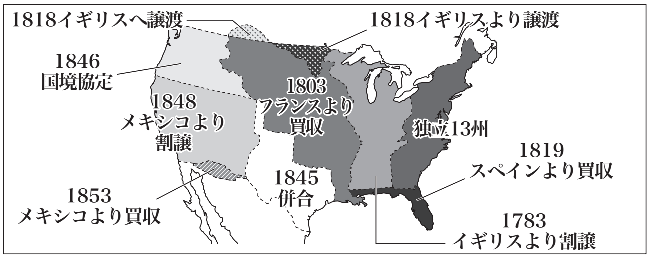
1848年　**カリフォルニア**・ニューメキシコ獲得

カリフォルニアで**金鉱**発見

1849年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕が起こる→中国人移民「**苦力**」も到来

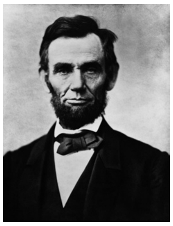
⑥第 13 代大統領フィルモア

1852年　アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーが日本に向けて出発（翌年到着）



アメリカの拡張

2　南北戦争とアメリカの大国化


リンカン

ストウ

①〔　　　　〕**戦争**（1861～65年）→60万人超の戦死者

A　原因→プランテーション農業の南部と工業化した北部の対立

あ　**奴隷制存続・州権主義・自由貿易**を要求する

〔　　〕**部→リー将軍**

アメリカ連合国をつくりジェファソン＝デヴィスを大統領に（1861年）

※**イギリスに輸出**する〔　　　　〕栽培に**黒人奴隷**の労働力を必要としていた。

い　**奴隷制廃止・連邦主義・保護貿易**を主張する〔　　〕**部→グラント将軍**

前年の選挙に勝利した**共和党**の〔　　　　　　〕が大統領に（1861年）

B　リンカンの〔　　　　　　〕**宣言**（1863年）

女性作家〔　　　　　〕は『**アンクル＝トムの小屋**』を著し奴隷制を批判

C　**ゲティスバーグの戦い**で北軍が勝利（1863年）

リンカン大統領の**ゲティスバーグ演説「人民の，人民による，人民のための政治」**

②アメリカの大国化→南部中心の民主党と北部中心の共和党

A　奴隷制の廃止→連邦憲法の修正は各州法で骨抜きとなり「**人種主義**」が台頭

あ　黒人の大半は**シェアクロッパー〔分益小作人〕**として貧しい生活を送る

い　一部の白人は**クー＝クラックス＝クラン〔ＫＫＫ〕**などの秘密結社を組織

B　**ホームステッド法**（1862年）による西部開拓の進展

あ　1869年に最初の〔　　　　　　〕**鉄道**完成→アイルランド・中国移民を投入

い　1890年の国勢調査で〔　　　　　　　　〕の消滅を宣言

C　ロシアから〔　　　　　　〕を買収（1867年）

D　アメリカが**世界一の工業国**に（19世紀末）

あ　南北戦争後に石炭・石油・鉄鋼など**重工業**が躍進→**第二次産業革命**

い　東欧や南欧からの〔　　　　〕の労働力が躍進を支える

う　ポピュリズムと呼ばれる農民運動の高まり

え　労働運動が高まりアメリカ労働総同盟（ＡＦＬ）結成（1886年）

まとめ
アメリカの南部は民主党，北部は共和党の支持者が多かった。
アメリカの奴隷制廃止は，かえって人種主義の台頭を促してしまった。

Chapter2　ラテンアメリカの独立

目標　ラテンアメリカ諸国の独立達成に影響があった，アメリカの姿勢を知ろう。
ラテンアメリカ諸国でサッカーが盛んな理由を考えてみよう。

1　ハイチ革命（1791～1804年）

18 世紀後半のアメリカ独立革命・フランス革命の影響は，
〔　　　　　　　　　　〕（＝中南米）諸国にも広がった。

①〔　　　　　〕**革命**の成功（1804年，〔　　　　　　〕から独立）

A　17 世紀末にスペイン領エスパニョーラ島西部がフランス領サン = ドマングとなる

B　18 世紀にサトウキビ栽培が拡大し，黒人奴隷が増加

C　1791年から黒人の**トゥサン = ルヴェルチュール**を指導者に奴隷解放運動開始

D　1804年にナポレオンが派遣したフランス軍を破り，**史上初の黒人共和国**が成立

②ハイチ革命の影響

A　イギリスで奴隷貿易廃止（1807年）

B　イギリス植民地で奴隷制廃止（1833年）

※アメリカ合衆国・ブラジルなど，奴隷制を維持していた国に大きな衝撃を与える。

2　ラテンアメリカ諸国の独立

ラテンアメリカ諸国の独立は，大西洋を隔てながらもヨーロッパ列強の
〔　　　　　　〕**体制**に動揺を与えた。アメリカ合衆国は，〔　　　　　　　〕**宣言〔教書〕**（1823年）で南北アメリカ大陸とヨーロッパの〔　　　　　　　　〕を提唱。

※独立後は欧米に原料・食糧を輸出，工業製品を輸入する自由貿易政策を採用。単一の一次産品に頼る〔　　　　　　　　　　〕**経済**となり，工業化は大幅に遅れる。

①中米諸国の独立（19 世紀前半以降）

1821年　**メキシコ**など大量の中米諸国が独立

※メキシコでは 1810年にイダルゴが蜂起。

②南米諸国の独立（19 世紀前半）

アルゼンチン出身のサン = マルティンや，ベネズエラ出身の
〔　　　　　　　　　　〕が活躍。

1811年　パラグアイ

シモン = ボリバル

1816年　アルゼンチン

1818年　チリ

1819年　大コロンビアの独立→ 1830年にベネズエラとエクアドルが分離

1821年　ペルー

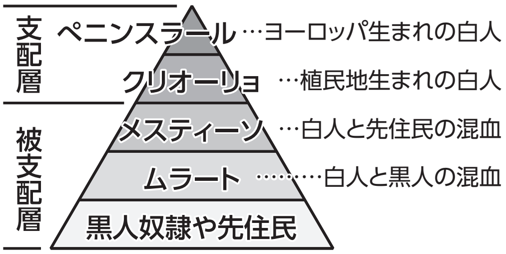
1822年　**ブラジル**

※**ポルトガル**皇太子が帝位に就き「ブラジル帝国」として独立。1889年から共和国。

1825年　ボリビア

※シモン＝ボリバルの名前を採用。

1828年　ウルグアイ



ラテンアメリカの社会階層

③ラテンアメリカ諸国の住人

貧富の差が大きく，多人種・他民族国家が多い。

A　ペニンスラール→本国からの派遣白人

B　〔　　　　　　　　　　〕→植民地生まれの白人

※イダルゴ，サン＝マルティン，シモン＝ボリバルら。

C　〔　　　　　　　　　　〕→先住民と白人の混血

D　**インディオ**→先住民

E　**ムラート**→白人と黒人の混血

F　先住民と黒人の混血

G　黒人→アフリカからの黒人奴隷

※トゥサン＝ルヴェルチュールら。

ラテンアメリカ諸国の独立

まとめ

アメリカ合衆国は，1823年のモンロー宣言で南北アメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉を提唱し，ラテンアメリカの独立に大きな影響があった。ラテンアメリカでは，貧富の差が激しく多人種・他民族国家が多いこともあり，手軽にできる上昇手段であるサッカーが盛んになった。

第４講　PART4　確認問題

1　反連邦派を率いてアメリカ合衆国第３代大統領になった人物はだれか。

①　マディソン　　②　モンロー
③　ジャクソン　　④　ジェファソン

2　ジャクソン大統領を支持した，南部を基盤とする政党を何というか。

①　民主党　　②　共和党
③　トーリ党　　④　ホイッグ党

3　ポーク大統領と関連のあるものはどれか。

①　アメリカ＝メキシコ戦争　　②　強制移住法
③　アメリカ＝イギリス戦争　　④　ミズーリ協定

4　アメリカ＝メキシコ戦争によって，1848年にアメリカ合衆国が獲得したのはどこか。

①　テキサス　　②　ルイジアナ
③　オレゴン　　④　カリフォルニア

5　『アンクル＝トムの小屋』を著し，奴隷制を批判した作家はだれか。

①　デュナン　　②　ストウ
③　ナイティンゲール　　④　キング牧師

6 南北戦争で北部の将軍として活躍した人物はだれか。

① ホイットニー　② グラント
③ ジェファソン = デヴィス　④ リー

7 1862年に出され，南北戦争後に西部開拓を進展させる要因となったものは何か。

① 奴隷解放宣言　② ホームステッド法
③ 強制移住法　④ ミズーリ協定

8 1804年，史上初の黒人共和国としてフランスから独立した国はどこか。

① コロンビア　② ペルー
③ ボリビア　④ ハイチ

9 ベネズエラ出身の，ラテンアメリカ独立運動の指導者はだれか。

① サン = マルティン　② トゥサン = ルヴェルチュール
③ シモン = ボリバル　④ イダルゴ

10 ラテンアメリカ諸国の住人のうち，植民地生まれの白人を何というか。

① ムラート　② クリオーリョ
③ インディオ　④ メスティーソ

第5講 【近代編】近代日本の確立
PART1 明治維新

Chapter1 明治維新の諸政策と文明開化

目標
明治維新はどの政策をもって実質的に完了したのか考えてみよう。
文明開化の中で，子どもたちにとってもっとも大きく変わった点は何だろう。

1 明治維新の諸政策

①**明治維新**の基本方針→元号〔年号〕は**一世一元の制**に

「〔　　　　〕**強兵**」「**殖産**〔　　　　〕」による「不平等条約の改正」が国家目標。

A 〔　　　　　　〕**の誓文**（1868年）→〔　　　　〕天皇が京都御所で発する

B 〔　　　　〕**の掲示**（1868年）

C **政体書**（1868年）

D 〔　　　　〕**遷都**（1869年）

五榜の掲示

②**中央集権**体制の確立

A **版籍奉還**（1869年）→旧大名は**知藩事**に

B 〔　　　　　　　　〕（1871年）→中央から**府知事・県令**を派遣

C 薩長〔　　　　〕政府

あ　公家→〔　　　　　　　　〕・三条実美ら

い　**薩摩**→〔　　　　　　　　　　〕・**西郷隆盛**ら

う　**長州**→〔　　　　　　　　〕・伊藤博文・井上馨・山県有朋ら

大久保利通

③軍制の整備

A **徴兵告諭**（1872年）→「**国民皆兵**」を目指す

B 〔　　　　　　〕（1873年）→反対一揆＝血税一揆も起こる

④**四民平等**→“士農工商”の身分制度を解体

A 身分の撤廃→反対一揆も起こる

皇族・〔　　　　〕**・士族・平民**に分ける

B **戸籍法**（1871年）→翌年，初の近代的全国戸籍「壬申戸籍」を作成

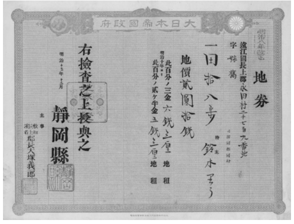
C **屯田兵**の設置（1874年）→士族授産（「士族の商法」に失敗する人間も）

D 廃刀令・**秩禄処分**（1876年）

⑤**地租改正**→反対一揆も起こる

A　地価を定め**地券**〔壬申地券〕を発行（1872年）

B　**地租改正条例**（1873年）→地主が地価の３％を定額金納



地券

⑥近代的貨幣・金融制度の整備

A　〔　　　　〕**条例**（1871年）

B　〔　　　　　　　　〕**条例**（1872年）

渋沢栄一が中心となった民間銀行→国立銀行条例改正（1876年）

C　**政商**の成長→**岩崎弥太郎**・五代友厚・古河市兵衛ら

渋沢栄一

2　文明開化

①〔　　　　　　　　〕→都市部を中心とする生活文化の洋風化

A　東京～横浜間に電信開通（1869年）

B　官営**郵便制度**の発足（1871年）→前島密の建議に基づく

C　新橋～横浜間に〔　　　　〕開通（1872年，イギリスの援助）

当時の１円切手
(前島密)

②教育制度の整備と西洋思想の流入

A　**学制**の公布（1872年，**義務教育**の方針）→反対一揆も起こる

B　**太陽暦**の採用（1872年12月３日を1873年１月１日に）

C　啓蒙思想団体**明六社**の結成（1873年）→社長は森有礼

あ〔　　　　　　　　〕『**学問のすゝめ**』『西洋事情』『文明論之概略』

い　中村正直『西国立志編』

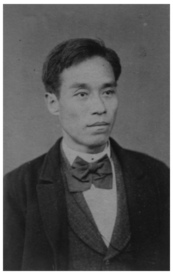
D　〔　　　　　　　　　　〕信仰を黙認（1873年）

神仏分離令（1868年）以来の神道国教化をあきらめる

E　教育令（1879年）

F　**学校令**（1886年）

G　〔　　　　〕**勅語**の発布（1890年）→天皇の神格化が進む


福沢諭吉

まとめ　廃藩置県をもって明治維新は実質的に完了した。
文明開化の風潮の中で，子どもたちには義務教育が導入された。

Chapter2　明治前期の国際関係

目標
明治前期の日本の，欧米と東アジアに対する態度の違いを学ぼう。
日本の，明治時代における国境画定の動きを知ろう。

1　岩倉使節団

岩倉使節団

①〔　　　　〕**使節団**（1871～73年）の目的

A　条約改正の予備交渉

B　欧米諸国の制度・文物の視察

※日本にも**お雇い外国人**が大量に来日していた。富岡製糸場のブリューナ（仏），札幌農学校のクラーク（米）らが有名。

②使節団のメンバー

A　大使　→右大臣〔　　　　　　　　〕**（公家）**

B　副使　→**大久保利通（薩摩），木戸孝允・伊藤博文（長州）**，山口尚芳（肥前）

C　留学生→「東洋のルソー」**中江兆民**や女子留学生〔　　　　　　　　〕ら

津田梅子

③結果と影響

A　欧米視察は一定の成果をあげるが条約改正の予備交渉は失敗

B　使節団と留守政府の対立が起こり明治六年の政変〔征韓論争〕となる

2　清との関係と琉球

1871年　〔　　　　　　　　　　　　〕→**初の対等条約**

琉球漂流民殺害事件→台湾で琉球民が殺害される

1872年　琉球藩の設置→**尚泰**を藩王とし華族に列する

1874年　〔　　　　〕**出兵**〔征台の役〕→西郷従道が出兵

1879年　**沖縄県**を設置し〔　　　　〕**処分**を完了

1884年～**清仏戦争**で清がフランスに敗れベトナムの宗主権を失う（～85年）

1885年　日清が朝鮮をめぐり一触即発状態に→〔　　　　〕条約

3　朝鮮との関係

1873年　**征韓論**

※〔　　　　　　　　〕・**板垣退助**・江藤新平らが下野（＝**明治六年の政変**）

1875年　**江華島事件**

1876年　〔　　　　　　　　　　〕→日本優位の不平等条約で清の宗主権を否定

1882年　**壬午軍乱**→閔妃一族らが主導権を握る

1884年　**甲申事変**→金玉均ら開化派〔独立党〕がクーデタに失敗

1885年　〔　　　　〕**条約**→一触即発となった日本と清が締結

西郷隆盛

4　国境の画定

1869年　蝦夷地を〔　　　　　　〕と改称し**開拓使**を設置

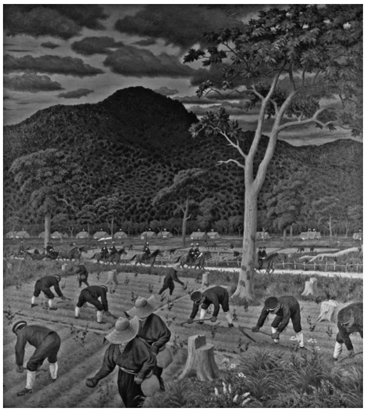
1874年　**屯田兵**の設置（～1904年）

1875年　樺太・千島交換条約→ロシアに樺太領有を認め日本は千島列島全てを領有

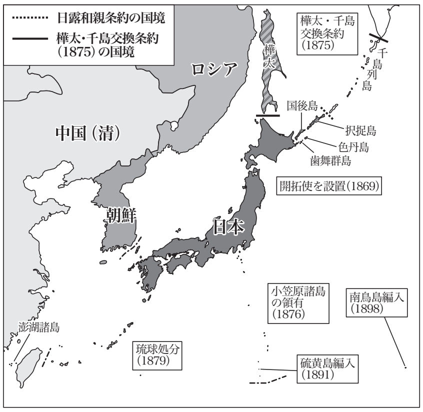
※〔　　　　　　〕に対してはのち**北海道旧土人保護法**を制定（1899年）。

1876年　〔　　　　　　〕**諸島**の領有→内務省のち東京府が管轄

※**尖閣諸島**（沖縄県）・**竹島**（島根県）は無人島であったが，日本人漁民の進出がみられたことから，それぞれ日清・日露戦争中に日本の領土に編入された。



屯田兵



日本の国境画定

まとめ

明治前期，日本は欧米を見上げ，東アジアを見下ろしていた。

明治時代，蝦夷地・琉球を北海道・沖縄県として行政区分に組み込んだ。

第 5 講　PART1　確認問題

1　1868年に明治天皇が京都御所で発した，明治政府の基本方針を何というか。

① 五榜の掲示　② 徴兵告諭
③ 政体書　④ 五箇条の誓文

2　薩長藩閥政府における長州藩出身者はだれか。

① 大久保利通　② 三条実美
③ 木戸孝允　④ 西郷隆盛

3　国立銀行条例に基づき，最初の国立銀行の創設にあたった人物はだれか。

① 前島密　② 岩崎弥太郎
③ 五代友厚　④ 渋沢栄一

4　啓蒙思想団体である明六社の社長となったのはだれか。

① 森有礼　② 中村正直
③ 前島密　④ 福沢諭吉

5　お雇い外国人として来日し，富岡製糸場で指導した技師はだれか。

① モース　② ブリューナ
③ クラーク　④ ベルツ

6 岩倉使節団に参加した留学生で，「東洋のルソー」と呼ばれたのはだれか。

① 大久保利通　② 津田梅子
③ 中江兆民　④ 山口尚芳

7 1871年に結ばれた，日本にとって初の対等条約は何か。

① 日朝修好条規　② 天津条約
③ 日清修好条規　④ 樺太・千島交換条約

8 征韓論を主張し，明治六年の政変で下野した土佐藩出身の人物はだれか。

① 板垣退助　② 大久保利通
③ 西郷隆盛　④ 伊藤博文

9 金玉均ら開化派〔独立党〕がクーデタを起こしたものの，失敗したできごとを何というか。

① 甲申事変　② 甲午農民戦争
③ 壬午軍乱　④ 江華島事件

10 1876年に日本が領有したのはどこか。

① 竹島　② 小笠原諸島
③ 尖閣諸島　④ 北海道

PART2 立憲国家の確立

Chapter1　自由民権運動

目標
自由民権運動開始の背景を理解しよう。
自由民権運動の展開の過程を押さえよう。

1　新政府への抵抗

①**不平士族の反乱**→徴兵令などの不満が背景

1874年　1873年の**征韓論**の敗北と**明治六年の政変**→西郷隆盛（薩摩）・江藤新平（肥前）らが下野
佐賀の乱→江藤新平ら

1876年　廃刀令・秩禄処分

1877年　〔　　　　　　　　　〕→**西郷隆盛**による最大・最後の反乱

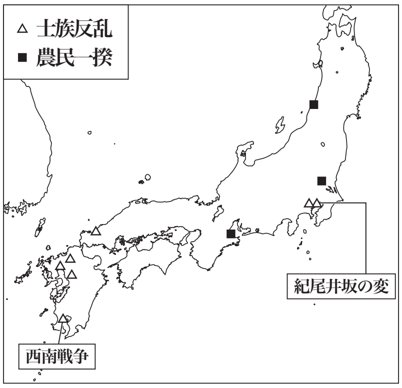
1878年　紀尾井坂の変→大久保利通が暗殺される

②農民の抵抗→**農民一揆**の発生

A　学制反対一揆・身分解放令反対一揆

B　**徴兵令反対一揆〔血税一揆〕**

C　**地租改正反対一揆**（1876年に高揚）



士族反乱と農民一揆の発生地

2　自由民権運動

①〔　　　　　　　　　〕運動＝議会開設運動の開始（段階＝士族民権）

1873年　征韓論の敗北と**明治六年の政変→板垣退助**（土佐）・江藤新平（肥前）らが下野

1874年　愛国公党を設立→**民撰議院設立の建白書**を太政官左院に提出
高知で政社の〔　　　　　　　〕を設立→板垣退助・片岡健吉ら

1875年　**大阪会議**（大久保利通・板垣退助・木戸孝允）
※板垣・木戸の参議復帰，**漸次立憲政体樹立の詔**，元老院・大審院・地方官会議の設置が決定。
大阪で政社の連合**愛国社**を結成→**讒謗律・新聞紙条例**による弾圧

板垣退助

②自由民権運動の拡大（段階＝豪農〔豪商〕民権）

1878年　**地方三新法**（郡区町村編制法・府県会規則・地方税規則）

1880年　東京で愛国社が〔　　　　　　　　　　　　〕に発展

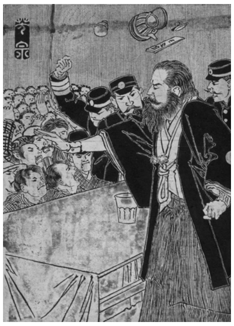
→**集会条例**による弾圧

1881年　**開拓使官有物払下げ事件**→開拓長官**黒田清隆（薩摩）**と五代友厚の関西貿易社

明治十四年の政変→伊藤博文（長州）らが〔　　　　　　　　〕**（肥前）**を罷免。

〔　　　　　　　　〕**の勅諭→** 1890年の帝国議会開設を公約

※**私擬憲法**の作成（五日市憲法・植木枝盛の東洋大日本国国按など），**民権論**・天賦人権思想の高揚（**中江兆民**・楠瀬喜多・岸田俊子・景山英子ら），**政党**（**板垣退助**の〔　　　　　　〕・**大隈重信**の〔　　　　　　　　　〕・福地源一郎の立憲帝政党など）の結成。



演説会

大隈重信

③**松方財政**と民権運動の激化（段階＝貧農民権）

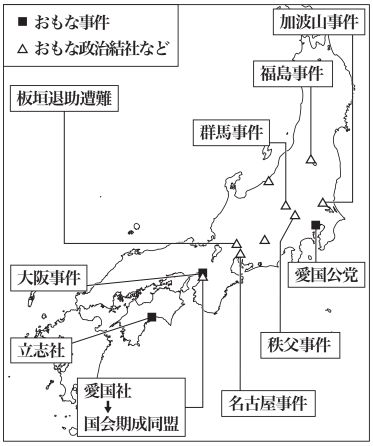
1881年　大蔵卿のち蔵相の**松方正義（薩摩）**による**デフレ〔緊縮〕財政**

1882年　岐阜事件→板垣退助遭難「板垣死すとも自由は死せず」

福島事件（福島県，初の**激化事件**）

1884年　加波山事件（茨城県）→自由党解党

〔　　　　　　　　〕**（埼玉県**，最大の激化事件）



おもな政治結社と事件の発生地

1885年　**大阪事件**（大阪府）→大井憲太郎らの朝鮮渡航未遂

④民権派の再結集と政府の弾圧

1886年～**大同団結運動**（はじめ星亨のち後藤象二郎が主導）

※井上馨外相による**鹿鳴館外交への反発**。

1887年　〔　　　　　　　　〕**建白運動→**〔　　　　　　　　〕による弾圧

1889年　大日本帝国憲法発布

まとめ

自由民権運動の背景に，不平士族・農民による藩閥政府への不満があった。
自由民権運動は，士族民権→豪農民権→貧農民権→激化→衰退と展開した。

Chapter2　大日本帝国憲法の制定

目標
日本が立憲君主体制の模範とした国を知ろう。
初期議会の争点の推移を理解しよう。

1　立憲国家の成立

伊藤博文

①アジア唯一の立憲国家の成立

1882年　〔　　　　　　　〕が憲法調査のためヨーロッパへ出発

※ベルリン大学のグナイスト，ウィーン大学のシュタインに**プロイセン〔ドイツ〕流憲法**理論を学ぶ。

1884年　**華族令**の制定→将来の貴族院開設の土台

1885年　〔　　　〕**制度**の創設→太政官３院制（正院・左院・右院）の廃止

※初代**内閣総理大臣〔首相〕**は〔　　　　　　　〕(長州)。首相は「同輩中の首席」に過ぎず，国務大臣は個々に天皇を輔弼。

※**宮中・府中の別**を明確にするため，内大臣府と宮内省は内閣の外に置く。

1886年～憲法の起草

※〔　　　　　　　〕･**井上毅**･伊東巳代治･金子堅太郎らが，ドイツ人顧問**ロエスレル**の助言を得て極秘で進める。

明治天皇

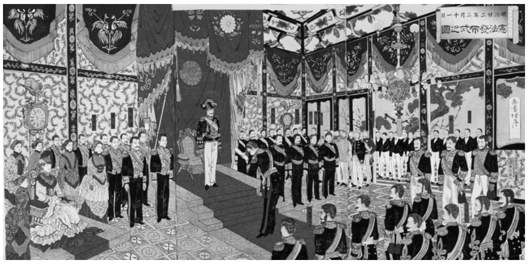
1888年　**市制・町村制**

〔　　　　　〕の設置→天皇の最高諮問機関「憲法の番人」

1889年　〔　　　　　　　　　　　〕発布（２月11日）→黒田清隆内閣

※**プロイセン〔ドイツ〕憲法**を模範とした，天皇主権の**欽定憲法**。天皇は広範な**天皇大権**を有し，**臣民**の人権は法律により制限される。

皇室典範の制定


憲法発布式典

1890年　**府県制・郡制**→憲法に地方自治の規定はない

②諸法典の編纂

憲法に加え，**刑法・刑事訴訟法・民事訴訟法・民法・商法**が編纂され「六法」が揃う。

※お雇い外国人の**ボアソナード（仏）**・ロエスレル（独）が助言。それぞれ**民法典論争**・商法典論争が起こり，日本人の手で修正される。

2　初期議会

①〔　　　　　　　　　〕の開設→対等の**二院制**・天皇の**協賛**機関

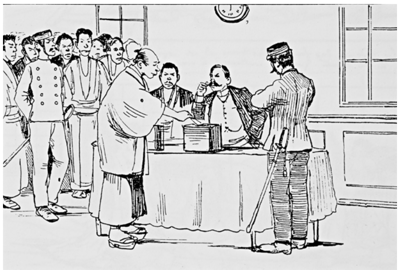
A　〔　　　　　　〕→公選（衆議院議員選挙法）

直接国税 15 円以上を納める 25 歳以上の男子に選挙権（全人口の**約 1.1％**）

B　〔　　　　　　〕→皇族･華族･勅任（貴族院令）

②〔　　　　〕**主義**演説（1889年２月12日，黒田清隆首相）

政府は政党に左右されず独自の政策を立案・推進するという姿勢。



第一回衆議院議員総選挙

③**第一回衆議院議員総選挙**（1890年，第一次山県有朋内閣）

民党（立憲自由党のち**自由党・立憲改進党**）が**吏党**を圧倒。

※全 300 議席中，自由党 130・立憲改進党 41 議席。

④初期議会の第一～第四議会（1890～92年，争点は〔　　　　〕問題）

政府 vs 自由党・立憲改進党の民党連合

A　**第一次山県有朋内閣**

「主権線・利益線」論に民党が「民力休養」「政費節減」を主張し抵抗

B　**第一次松方正義内閣**

樺山資紀海相の「蛮勇演説」で解散し選挙干渉を行う

C　**第二次伊藤博文内閣〔元勲内閣〕**

明治天皇の建艦詔書で予算成立

⑤初期議会の第五～第六議会（1893～94年，争点は〔　　　　　　　〕問題）

第二次伊藤博文内閣・自由党 vs 立憲改進党を中心とする**対外硬派連合〔硬六派〕**

まとめ　日本が立憲君主制の模範とした国はプロイセン〔ドイツ〕だった。
初期議会の対立構造は，予算問題から条約改正問題へと推移した。

第 5 講　PART2　確認問題

1　1874年に江藤新平らが起こした士族反乱を何というか。

①　佐賀の乱　　②　秋月の乱
③　萩の乱　　④　神風連〔敬神党〕の乱

2　1873～74年に起こった，血税一揆とも呼ばれる農民一揆を何というか。

①　学制反対一揆　　②　身分解放令反対一揆
③　徴兵令反対一揆　　④　地租改正反対一揆

3　1875年，板垣退助と木戸孝允が参議に復帰することになったできごとはどれか。

①　大阪会議　　②　民撰議院設立の建白書提出
③　開拓使官有物払下げ事件　　④　明治十四年の政変

4　開拓使官有物払下げ事件に関与した人物はだれか。

①　松方正義　　②　板垣退助
③　黒田清隆　　④　伊藤博文

5　自由党を結成したのはだれか。

①　板垣退助　　②　星亨
③　中江兆民　　④　大隈重信

6 1882年に大隈重信が結成した政党を何というか。

① 立憲自由党　② 立志社
③ 立憲帝政党　④ 立憲改進党

7 デフレ〔緊縮〕財政を実施した蔵相はだれか。

① 五代友厚　② 松方正義
③ 黒田清隆　④ 伊藤博文

8 伊藤博文にプロイセン〔ドイツ〕流憲法理論を教授したウィーン大学の教授はだれか。

① シュタイン　② ロエスレル
③ ボアソナード　④ グナイスト

9 大日本帝国憲法起草の助言のほか, 民法や商法などの制定に関与した法学者はだれか。

① ボアソナード　② グナイスト
③ ロエスレル　④ モッセ

10 第一回衆議院議員総選挙が実施されたときの内閣総理大臣はだれか。

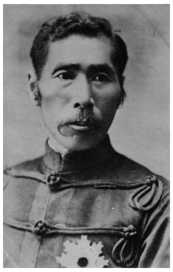
① 黒田清隆　② 井上毅
③ 伊藤博文　④ 山県有朋

PART3 日清戦争と北清事変

Chapter1　日清戦争と三国干渉

目標　日清戦争が起こった原因を理解しよう。
日清戦争の影響をおさえよう。

1　対アジア国内世論の動向


山県有朋

①日本人のアジア観の変化→民権派からもアジア蔑視・国権的風潮強まる

A　壬午軍乱・甲申事変による朝鮮における日本情勢の悪化

B　アヘン戦争・アロー戦争・清仏戦争における清の３連敗

C　東アジア世界で近代化において一歩先んじたという優越感

②経過

1885年　**福沢諭吉**の〔　　　　　　　　〕→「脱亜入欧」を主張する国権論

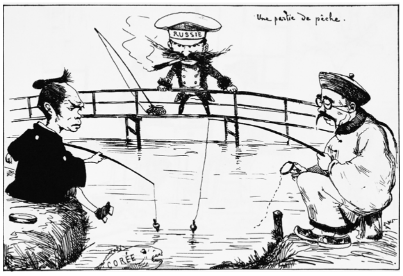
大阪事件→大井憲太郎・景山英子ら旧自由党による朝鮮改革計画

1889年～防穀令事件（～93年）

1890年　第一議会における**山県有朋首相**の「**主権線（国境）・利益線（朝鮮）**」演説

※政府は軍備拡大予算案を議会に提出し民党を切り崩す。

2　日清戦争



漁夫の利

①〔　　　　　〕**戦争（1894～95年）**の背景

A　朝鮮支配をめぐる日清両国の対立

B　近代化を経た東アジアの盟主争い

②開戦→直前に**日英通商航海条約**締結により日本が法権回復

A　〔　　　　　　　　　　　　　〕〔**東学党の乱**〕（1894年１月）

B　日本軍が王宮を占領して**閔妃**政権に代わる**大院君**政権を立て清軍排除の依頼を受ける

C　豊島沖の海戦（７月25日）→日清双方が宣戦布告（８月１日）

③経過→大本営を東京に設置し開戦後に広島に移転

A　陸軍→遼東半島完全占領

B　海軍→**黄海の海戦**などにより清の北洋艦隊全滅

④結果→〔　　　　〕**条約〔日清講和条約〕**（1895年）で講和

A　調印

日本全権＝**伊藤博文**首相・〔　　　　　　〕外相　清国全権＝〔　　　　　〕

B　内容

あ　**清は朝鮮の独立を承認**（＝宗主権を放棄）

い　清は〔　　　　〕**半島**及び〔　　　　〕・**澎湖諸島**を日本に割譲

う　清は**賠償金２億両〔約３億 1000 万円〕**を日本に支払う

え　清は新たに沙市・重慶・蘇州・杭州の４港を開市・開港

日清戦争における日本軍の進路

C　影響→**日本が朝鮮市場を確保**し大陸進出の第一歩を踏み出す

あ　賠償金により金本位制が確立（1897年，貨幣法）

い　**尖閣諸島を含む琉球の帰属問題が解決**

う　日清通商航海条約の締結（1896年）→日本優位の不平等条約

3　三国干渉と台湾経営

①日本に対する〔　　　　〕**干渉（1895年）**の内容と背景

下関条約締結直後に**ロシア・フランス・ドイツ**の３国が遼東半島の清国返還を要求

A　ロシア→**満洲への南下政策に日本の遼東半島領有は脅威となるため**

B　フランス→露仏同盟を結ぶロシアに同調

C　ドイツ→ロシアの関心をヨーロッパから逸らし中国進出の足場を得る

②三国干渉の経過と結果

A　日本は**還付金 3000 万両（約 4500 万円）**を代償にやむなく受諾

B　日本国民の反ロシア意識が高揚し**ナショナリズム〔国家主義〕**が高揚

C　「**臥薪嘗胆**」をスローガンに挙国一致の戦後経営にあたる

③**台湾・澎湖諸島**の**植民地**支配

〔　　　　　　　　〕を設置し初代総督に樺山資紀を任命→台湾征服戦争を武力で鎮圧

※はじめ軍政のち民政を実施。土地調査事業を行い台湾銀行や台北帝国大学を設置。

まとめ　朝鮮支配と東アジアの盟主の座をかけ日清戦争が起こった。
日清戦争の結果，日本は大陸進出の足掛かりを得た。

Chapter2　北清事変と日英同盟

目標
日清戦争後，藩閥勢力と政党勢力が妥協した背景を理解しよう。
イギリスが「光栄ある孤立」を捨て，日英同盟を結んだ目的を知ろう。

1　藩閥と政党の妥協

①第二次伊藤博文内閣〔元勲内閣〕（1892～96年）
日清戦争後に自由党の板垣退助が内務大臣として入閣。立憲改進党の大隈重信は対外硬派連合〔硬六派〕のうち五派を統合して**進歩党**を結成し自由党に対抗。

②第二次松方正義内閣〔松隈内閣〕（1896～98年）
進歩党の大隈重信が外務大臣として入閣するが，地租増徴に反対して辞任。

大隈重信

③第三次伊藤博文内閣（1898年）
地租増徴に反対した自由党と進歩党が合同,〔　　　　　　　〕を結成する。

④**第一次大隈重信内閣〔隈板内閣〕**（1898年，**憲政党**）→約４カ月で瓦解
首相兼外相に大隈，内相に板垣を擁する**初の政党内閣**。
※尾崎行雄文相の共和演説事件による辞任を契機に旧自由党と旧進歩党が決裂。それぞれ**憲政党**（星亨・尾崎行雄ら）と**憲政本党**（大隈重信・犬養毅ら）を結成。

⑤**第二次山県有朋内閣**（1898～1900年）
憲政党と提携し地租増徴を達成した後，文官任用令改正・**治安警察法**・衆議院議員選挙法改正（直接国税 10 円）・**軍部大臣現役武官制**を実施。
※憲政党が伊藤博文の勢力と接近し，1900年に〔　　　　　　　　　　　〕を結成。

⑥第四次伊藤博文内閣（1900～01年）→立憲政友会系の中間内閣
内閣退陣後，伊藤や山県は憲法に規定のない**元老**に退く。

2　列強の中国分割

「眠れる獅子」清の３連敗が，**租借**権を利用した列強の**帝国主義**的進出につながる。

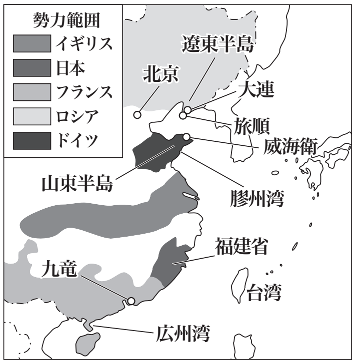
①日本→福建省の他国への不割譲（1898年）
②〔　　　　　　　〕→**山東半島の膠州湾**の 99年租借（1898年）
③〔　　　　　　　〕→**遼東半島の旅順・大連**の 25年租借（1898年）
1897年に国号を**大韓帝国〔韓国〕**と変えた朝鮮にも大きな影響力を持つ

④**イギリス**→九竜半島の 99年・山東半島の威海衛の 25年租借（1898年）

⑤**フランス**→広州湾の 99年租借（1899年）

⑥［　　　　　　　］→国務長官**ジョン＝ヘイ**の**門戸開放宣言**（1899～1900年）

中国の**門戸開放・機会均等・領土保全**（＝極東三原則）を提案し，モンロー主義を転換。



列強の中国分割

3　北清事変と日英同盟

①［　　　　］**事変**〔**義和団事件**〕（1900～01年）

A　［　　　　　］の蜂起（1899年）→「**扶清滅洋**」を唱え山東省で蜂起

B　清の**西太后**政権が**８カ国連合軍**と戦う

日・露・仏・独・墺・伊・英・米

C　［　　　　　　　　　］〔**辛丑和約**〕の締結（1901年）

賠償金支払いと公使館守備隊の北京駐留を列国に承認

８カ国連合軍

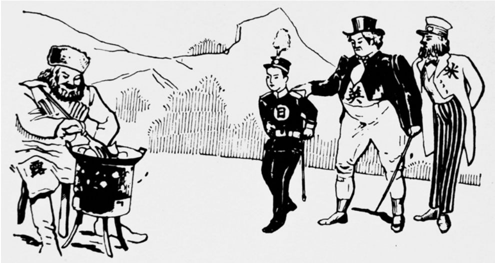
②［　　　　　　　］（1902年～）→のち 1905年・1911年に改正

A　**ロシアの南下政策**と日英の利害対立

B　日本政府内部の意見対立

日露協商論〔満韓交換論〕と**日英同盟論**〔対露開戦論〕

C　**第一次日英同盟協約**の締結→イギリスは「光栄ある孤立」を放棄



日英同盟の風刺画

あ　**極東**における日英両国の利益保護の協同行動（地域限定・期間５年）

い　利益保護のための他国との戦争における他の１国の厳正中立

う　他の第３国参戦の際の協同戦闘の義務（＝防御同盟）

まとめ　日清戦争後は日露戦争を控えていたため，藩閥と政党の妥協が進んだ。
ロシアの南下政策に対抗するため，イギリスは日本と地域限定・期間限定の防御同盟を結んだ。

第 5 講　PART3　確認問題

1 脱亜論を唱えた人物はだれか。

① 大井憲太郎　② 福沢諭吉
③ 中江兆民　④ 景山英子

2 日清戦争の直接の原因となった反乱を何というか。

① 壬午軍乱　② 甲午農民戦争
③ 甲申事変　④ 北清事変

3 下関条約において日本が得たのはどれか。

① 南樺太　② 旅順租借権
③ 澎湖諸島　④ カムチャツカ漁業権

4 ロシアの関心をヨーロッパから逸らし中国進出の足場を得ることを目的として三国干渉を行った国はどこか。

① ロシア　② ドイツ
③ イタリア　④ フランス

5 三国干渉後，日本が掲げたスローガンは何か。

① 扶清滅洋　② 滅満興漢
③ 臥薪嘗胆　④ 殖産興業

6 立憲改進党の大隈重信が，対外硬派連合〔硬六派〕のうち五派を統合して 1896年に結成した政党を何というか。

① 進歩党　② 立憲政友会
③ 憲政党　④ 憲政本党

7 初の政党内閣を組織した内閣はどれか。

① 第二次松方正義内閣　② 第三次伊藤博文内閣
③ 第一次大隈重信内閣　④ 第二次山県有朋内閣

8 日清戦争後の中国分割で，山東半島の威海衛と九竜半島の租借権を得た国はどこか。

① ロシア　② ドイツ
③ イギリス　④ フランス

9 北清事変後に結ばれた条約を何というか。

① 日朝修好条規　② 日露和親条約
③ 天津条約　④ 北京議定書〔辛丑和約〕

10 満韓交換論とも呼ばれる考え方はどれか。

① 日露協商論　② 日英同盟論
③ 脱亜論　④ 対露開戦論

PART4 富国強兵・殖産興業・脱亜入欧

Chapter1　日本の産業革命＝殖産興業

目標
第一次・第二次産業革命の違いは何だろう？
資本主義の負の要素に対する動きを知ろう。

1　第一次産業革命（日清戦争前後）

松方正義

①**企業勃興**（1886～89年ごろ）→松方デフレの不況脱出

鉄道･紡績を中心に**株式会社設立ブーム**が起こるが 1890年恐慌で挫折。

②**軽工業**の発達→**第一次産業革命**（蒸気力が動力）

A　〔　　　　〕**業→綿糸**を生産

あ　手紡から**ガラ紡**へ（**臥雲辰致**が発明，1877年の第一回**内国勧業博覧会**で受賞）

い　欧米の機械紡績技術（イギリスのミュール紡績機・アメリカのリング紡績機）

う　**大阪紡績会社**（1882年設立・1883年開業，**渋沢栄一**ら）

1890年　綿糸生産量が輸入量を上回る

1897年　綿糸輸出量が輸入量を上回る

B　〔　　　　〕**業→生糸**を生産

幕末以来欧米向け輸出産業として発達した**日本の最大の外貨獲得手段**

※ 1894年に〔　　　　〕**製糸**の生産量が**座繰製糸**の生産量を上回る。

③鉄道の発達

A　民営〔　　　　　　　　〕**会社**（1881年，日本初の私鉄会社）

B　官営　**東海道線**（1889年，東京～神戸間）

④海運の発達

1885年　〔　　　　　　　　〕**会社**設立（郵便汽船三菱会社と共同運輸会社が合併）

1893年　ボンベイ〔インド〕航路開設

1896年　航海奨励法・造船奨励法

⑤重工業の勃興→ 1897年**金本位制**スタート（欧米から借り入れしやすくなる）

日清戦争の賠償金の一部で**官営**〔　　　　〕**製鉄所**設立（1897年）→操業開始（1901年）

※中国の**大冶鉄山**から鉄鉱石を輸入，石炭は福岡県の**筑豊炭田**を利用。

2　第二次産業革命（日露戦争前後）

①綿織物業の躍進→アジア向け

1897年　〔　　　　　　　　〕が蒸気力による**初の国産自動力織機**を考案

1909年　綿織物の輸出額が輸入額を超える

②生糸輸出の伸長→アメリカ向け

1909年　生糸輸出量が清を抜いて世界最大となる

③**重工業**の発達→**第二次産業革命**（〔　　　　〕**発電**も本格化）

A　**三井**〔　　　　〕**炭鉱**（福岡県・熊本県）・**三菱高島炭鉱**（長崎県）

B　日本製鋼所（北海道室蘭市の民間企業）・芝浦製作所（東京府の電気機械企業）

C　**三菱長崎造船所**（長崎県）・川崎造船所（兵庫県）

D　池貝鉄工所（東京府）がアメリカ式旋盤の国産化に成功

④鉄道の発達→鉄道国有法（1906年，第一次西園寺公望内閣）

⑤〔　　　　〕の形成→**政商**が成長し**持株会社**を中心に結合した巨大コンツェルン

〔　　　　〕**・三菱・**〔　　　　〕**・安田**・古河・浅野・川崎・大倉など

3　社会運動の発生

1908年に〔　　　　〕**詔書**が出され，1909年には**地方改良運動**がスタート。

①**農民運動**→**小作農**が**小作争議**を起こし〔　　　　〕**地主**と対立

②**労働運動**→**労働者**が**労働争議**を起こし**資本家**と対立

A　**高野房太郎・片山潜**による〔　　　　　　　　　　　〕結成（1897年）

B　〔　　　　　〕（1911年制定，16年施行）→都市には**スラム**〔貧民窟〕が存在

③**社会主義運動**→ 1900年制定の〔　　　　　　　〕**法**で取り締まる

1901年　〔　　　　　　　　〕→初の社会主義政党（非合法）

1906年　**日本社会党**→初の合法的社会主義政党

1910年　〔　　　　〕**事件**→翌 11年に無政府主義者**幸徳秋水**らが処刑される

④その他→〔　　　　　　　〕**鉱毒事件**（**田中正造**らが告発した**初の公害事件**）

田中正造

まとめ

第一次産業革命で軽工業，第二次産業革命で重工業が発展した。
資本主義の負の要素を是正するために，数々の社会運動が起こった。

Chapter2　条約改正＝脱亜入欧

目標
明治政府最大の国家目標を理解しよう。
条約改正が達成できた最大の要因は何か考えてみよう。

1　条約改正の目的と成功の要因

鹿鳴館

①［　　　　　　　　］の目的→「脱亜入欧」

A　**最恵国待遇の相互平等化**

B　**治外法権〔領事裁判権〕の撤廃**→法権回復

C　**関税自主権の回復〔協定関税制の撤廃〕**→税権回復

②条約改正の成功要因

A　近代産業の発達による国力の充実→「富国強兵」「殖産興業」

B　**日清・日露戦争の勝利による国際的地位の向上**

C　欧米同様の法典の整備

2　条約改正の経緯

①［　　　　　　　　］（1872～73年，右大臣・公家）→使節団での予備交渉に失敗

②**寺島宗則**（1876～79年，外務卿・薩摩）

国別交渉による税権回復をめざす。

※アメリカの同意を得たものの，イギリス・ドイツらの反対で失敗。

③［　　　　　　］（1882～87年，外務卿のち外務大臣・長州）

一括交渉による法権回復・税権の一部回復をめざし極端な**欧化政策**（＝［　　　　　　］外交）を展開するも，［　　　　　　　　　　　　　］**事件**（1886年）を契機に三大事件建白運動（1887年）が起こって失敗。

※改正の代償として，**外国人判事の任用・外国人の内地雑居・欧米同様の法典整備〔法典予約〕**を秘密裡に容認したことが暴露される。

④**大隈重信**（1888～89年，外務大臣・肥前）

国別秘密交渉による法権回復と税権の一部回復をめざす。**外国人判事の任用を大審院に限る**こと以外は井上案を踏襲し，メキシコ・アメリカ・ドイツ・ロシアの同意を得たが，爆弾テロに遭い失敗。

ノルマントン号

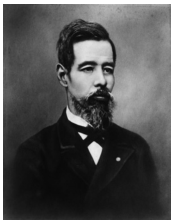
⑤**青木周蔵**（1889～91年，外務大臣・長州）

国別秘密交渉による法権回復と税権の一部回復，最恵国待遇の相互平等化をめざす。外国人判事を任用せず外国人の内地雑居はほぼ認め，イギリスがほぼ同意を示すが**大津事件**で辞職（1891年）。

⑥榎本武揚（1891～92年，外務大臣・幕臣）

過去に樺太・千島交換条約締結（1875年）などロシアとのパイプがあったことから，日露関係の改善に努める。

⑦［　　　　　　　　］（1892～94年，外務大臣・紀伊）



陸奥宗光

法権回復と税権の一部回復，最恵国待遇の相互平等化をめざす。青木案を踏襲し，駐英公使となった青木の活躍で**イギリスの同意を得る**。

※第五・六議会では対外硬派連合〔硬六派〕が政府の内地雑居案を軟弱外交と非難，現行条約励行を唱え対立。

※日清戦争直前，イギリスと**日英通商航海条約**を締結（**1894年**，第二次伊藤博文内閣）し，**法権回復**と最恵国待遇の相互平等化を達成。有効期限12年，５年後の1899年より発効。代償として外国人の内地雑居を認める。

⑧［　　　　　　　　　　］（1908～11年，外務大臣・飫肥）

小村寿太郎

税権の完全回復をめざしつつ日清・日露戦争に連勝。列国の反対が少なくなった状態で新条約満期を迎える。

※アメリカと**改正日米通商航海条約**（**1911年**，第二次桂太郎内閣）を締結し，**税権回復**＝条約改正を完全に達成。

まとめ　明治政府最大の国家目標は，江戸幕府が締結した不平等条約の改正。
改正達成の最大要因は，日清・日露戦争勝利による国際的地位の向上。

第５講　PART4　確認問題

1　ガラ紡と呼ばれる紡績機を発明した人物はだれか。

①　豊田佐吉　　②　高野房太郎
③　臥雲辰致　　④　渋沢栄一

2　1880年代の企業勃興の契機となった，渋沢栄一によって設立された会社はどれか。

①　日本鉄道会社　　②　八幡製鉄所
③　富岡製糸場　　④　大阪紡績会社

3　岩崎弥太郎が創立した商会を基盤とする財閥はどれか。

①　住友財閥　　②　三井財閥
③　三菱財閥　　④　安田財閥

4　労働組合期成会を結成した人物の組合せとして正しいのはどれか。

①　高野房太郎・片山潜　　②　高野房太郎・田中正造
③　片山潜・田中正造　　④　片山潜・臥雲辰致

5　大逆事件で起訴され，処刑された人物はだれか。

①　幸徳秋水　　②　片山潜
③　田中正造　　④　高野房太郎

6 寺島宗則がすすめた条約改正に同意した国はどこか。

① イギリス　② フランス
③ ドイツ　④ アメリカ

7 井上馨に関連あるのはどれか。

① 岩倉使節団　② 最恵国待遇の相互平等化
③ 鹿鳴館外交　④ 国別交渉による税権回復

8 大津事件で辞職した外務大臣はだれか。

① 青木周蔵　② 井上馨
③ 榎本武揚　④ 大隈重信

9 日清戦争直前の 1894 年に結ばれ，法権回復が盛り込まれた条約は何か。

① 日英通商航海条約　② 日英同盟
③ 改正日米通商航海条約　④ 日米和親条約

10 日露戦争後に税権回復に成功した外務大臣はだれか。

① 陸奥宗光　② 青木周蔵
③ 大隈重信　④ 小村寿太郎

第６講　【近代編】帝国主義の発展

PART1 第二次産業革命と帝国主義

Chapter1　第二次産業革命と帝国主義の成立

目標　第一次産業革命とは異なる，第二次産業革命の特徴を知ろう。
帝国主義がどのようなものか理解しよう。

1　第二次産業革命

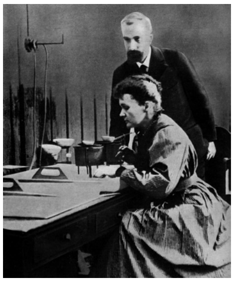
①**第一次産業革命**（18世紀後半～）→中小企業でも可能

A　**石炭**を原料とした**蒸気力**が動力源

B　繊維（綿・絹）などの**軽工業中心**

② 19世紀後半は「科学の世紀」として発明が進む

A　**レントゲン**（独）のＸ線や**キュリー夫妻**（仏・ポーランド）のラジウム放射線



キュリー夫妻

B　［　　　　　　　　　］（米）の蓄音機・白熱電球・映写機

C　［　　　　　　　　］（スウェーデン）のダイナマイト

D　**ベル**（米）の電話

E　**ダイムラー**（独）の自動車

F　**ディーゼル**（独）のディーゼル機関

③**第二次産業革命**（1870年代～）

大企業〔産業資本〕が大銀行〔銀行資本〕と結びつき, 巨大な**金融資本**として市場を支配。特に**アメリカ・ドイツ**を中心に，**カルテル**〔企業連合〕・**トラスト**〔企業合併〕・**コンツェルン**〔企業統合〕が形成されて巨大な［　　　　］も登場し［　　　　］**資本主義**化が進む。

A　［　　　　］を原料とした［　　　　］が動力源
発電機・ガソリンエンジン・ディーゼルエンジンの開発

B　［　　　　　］**工業**中心
鉄鋼・アルミニウム・電気機械などの**重工業**＋肥料・染料などの**化学工業**

④急速な工業化の影響

A　工場労働者数を増大させ都市化が進展

B　農業や中小工場が圧迫され人々の生活基盤や環境が激変

C　伝統的経済基盤を破壊された人々が〔　　　　　〕となり国を離れる

19 世紀後半以降はヨーロッパからアメリカへの移民が急増→「移民の時代」

2　帝国主義の成立

①〔　　　　　〕**主義**（1870年代～）

欧米列強や日本が採用した，〔　　　　　　　〕や勢力圏を広げる対外膨張主義で，その政策を**世界政策**と呼ぶ。

A　産業革命による資本主義の発展→**資本輸出**が活発に

資源供給地・輸出市場として植民地・占領地の重要性の見直しが進む

※ 1870年代からの長期的な不況（＝低成長時代）の影響もあった。

B　新たな植民地獲得の動き（＝帝国主義）→「白人の責務」？

ヨーロッパ近代文明および白人の**人種的優越意識**が背景→文明と野蛮

あ　ヨーロッパにおける交通・情報手段の発達と軍事力の圧倒的優勢

い　大衆の不満を外にそらす対外膨張策

う　国民的統合を強化し**排他的ナショナリズム**を鼓舞する必要性

え　移民の増加も植民地必要論の口実となった

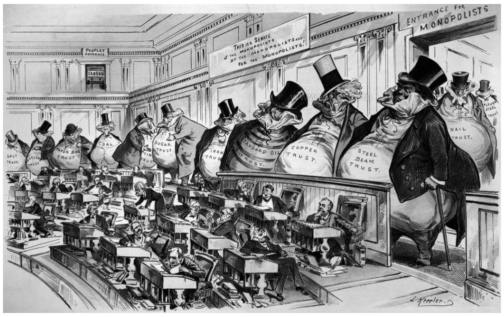
C　列強がアジア・太平洋・アフリカへ殺到→列強間の格差も拡大

あ　イギリス・フランスは第一次産業革命時から上位国

い　アメリカ・ドイツは第二次産業革命時から工業力で英仏を抜く

う　オーストリア・ロシアは多民族国家として民族運動に直面

え　イタリア・日本は工業化が遅れた下位国



独占資本主義を描いた風刺画

まとめ　第二次産業革命では，動力は石油・電力で，重化学工業が中心となった。
帝国主義は，西欧列強や日本が採った対外膨張主義のことをいう。

Chapter2　列強の帝国主義と国内情勢

目標　イギリスやフランスを脅かした存在について考えよう。
第１・第２インターナショナルには，どんな人が集まったのだろう？

1　欧米の帝国主義

ドイツが**再配分〔再分割〕**を要求。列強の帝国主義的対立は，第一次世界大戦を誘発。
※大戦前のヨーロッパの十数年間は，「ベルエポック〔素晴らしき時代〕」と呼ばれた。

①〔　　　　　　　　〕→世界一の海運国として各地で**自由貿易**を推進

国外では，**自治領**のカナダ・オーストラリア・ニュージーランド・南アフリカ，直接支配のインド･ビルマなど植民地を拡大。〔　　　　　　　　　　　〕**首相**は〔　　　　　　〕**運河**会社の株を買収，のちグラッドストン首相がエジプトを保護国とした。

※植民相**ジョゼフ＝チェンバレン**は,ケープ植民地首相〔　　　　　　　　　　　　　〕を支援して**南アフリカ〔ブール〕戦争**を起こした（1899～1902年)。

1906年　フェビアン協会が発展し〔　　　　〕**党**となる
※バーナード＝ショー・ウェッブ夫妻を中心とした社会民主主義が政党に結実。

1914年　**アイルランド自治法**が制定されるが実施延期
※独立を主張するシン＝フェイン党が，イースター蜂起を起こし鎮圧される。

②**フランス**→第三共和政の下で工業力はアメリカ・ドイツ・イギリスに及ばず

国外では，**銀行の資本力**を武器に 1880年代から植民地拡大政策を実行し，インドシナ半島やアフリカなどに植民地を形成。

※ビスマルク体制下でフランスは国際的に孤立していたが，1890年代以降，〔　　　　〕**同盟**（1891〔94〕年)・**英仏協商**（1904年）を締結し，ドイツに対抗した。

1887年～ブーランジェ事件（～89年）→元陸相のクーデタ未遂
1894年～**ドレフュス事件**（～99年）→ユダヤ系大尉をドイツのスパイ容疑で逮捕
1905年　フランス**社会党**の結成

ヴィルヘルム２世

③**ドイツ**→〔　　　　　　　　　　　〕**２世**が宰相ビスマルクを辞職させ親政開始

「〔　　　　〕**政策**」の名の下に強引な帝国主義政策を推進，海軍を大拡張しイギリスと対抗。国外のドイツ人を統合して大帝国建設を目指す，パン＝ゲルマン主義を提唱。

1912年　**社会民主党**が帝国議会第一党となる

※党内に**ベルンシュタイン**ら修正主義〔社会民主主義〕も現れる。

④**ロシア→**東アジア・バルカン半島への〔　　　　　〕**政策**を推進

1890年代，露仏同盟を結ぶフランスからの資本導入により資本主義が発展。国内市場が狭いこともあり，〔　　　　　　　　　　　〕建設などの国家事業により開発を進める。

1898年　**ロシア社会民主労働党**結成

※ 1903年，レーニンらのボリシェヴィキとプレハーノフらのメンシェヴィキに分裂。

1904年　日露戦争（～05年）→敗戦によりツァーリズム動揺

1905年　血の日曜日事件→首都サンクトペテルブルグにおける**第一次ロシア革命**の発端

※労働者の自治組織**ソヴィエト**〔評議会〕も各地で結成，海軍で戦艦ポチョムキンの反乱も起こった。

※〔　　　　　　　　〕**2世**が十月宣言を発し，憲法発布と国会〔ドゥーマ〕開設を約束，自由主義者ウィッテを首相に登用するも，再び専制を強化。

⑤〔　　　　　　　〕→ 19 世紀末に世界一の工業国となる

A　共和党第 25 代大統領〔　　　　　　　　　　　〕→モンロー主義を放棄

1898年に**アメリカ＝スペイン〔米西〕戦争**で勝利し中国には翌年に**門戸開放宣言**

※〔　　　　　　　　　　〕**・グアム**・プエルトリコを獲得し，キューバを保護国化。

※リリウオカラニ女王も退位させ，1898年に〔　　　　　　〕**王国**も併合。

B　共和党第 26 代大統領**セオドア＝ローズヴェルト→**「**棍棒外交**」でカリブ海政策を推進

C　共和党第 27 代大統領**タフト→**「〔　　　　　〕**外交**」で中米・中国への投資を推進

D　民主党第 28 代大統領**ウィルソン→**「**宣教師外交**」で**パナマ運河**の管理権を握る

2　国際的諸運動の進展

①**赤十字条約**の締結（1864年）→スイスの〔　　　　　　　　〕が発案

②**第１インターナショナル**の結成（1864～76年，**ロンドン**）→マルクスが指導者

③**第２インターナショナル**の結成（1889年，〔　　　　　〕）→ドイツ社会民主党が中心

④**国際オリンピック大会**の開始（1896年，**アテネ**）→さまざまな**近代スポーツ**が登場

まとめ　ドイツが急成長し，再分割を要求してイギリス・フランスに対抗した。
第１・第２インターナショナルには，欧州の社会主義者が集まった。

第 6 講 PART1 確認問題

1 第二次産業革命で，動力源となった燃料と発達した工業の種類の組合せとして正しいのはどれか。

① 石油－軽工業 ② 石油－重工業
③ 石炭－軽工業 ④ 石炭－重工業

2 19 世紀後半に，ラジウム放射線を発見したのはだれか。

① ベル ② エディソン
③ レントゲン ④ キュリー夫妻

3 19世紀後半に，蓄音機・白熱電球・映写機を発明したのはだれか。

① エディソン ② ノーベル
③ ディーゼル ④ ダイムラー

4 第二次産業革命で形成された，企業合併と呼ばれる独占の一形態を何というか。

① カルテル ② コングロマリット
③ トラスト ④ コンツェルン

5 第一次産業革命の動力源はどれか。

① 水と水力 ② 石炭と蒸気力
③ 石油と電力 ④ ウランと原子力

6 欧米列強や日本が採用した，植民地や勢力圏を広げる対外膨張主義を何というか。

① 共産主義　② 帝国主義
③ 軍国主義　④ 重商主義

7 スエズ運河会社の株を買収したイギリスの首相はだれか。

① ディズレーリ　② ジョゼフ＝チェンバレン
③ グラッドストン　④ セシル＝ローズ

8 1894年にスパイ容疑で逮捕された，フランスのユダヤ系大尉はだれか。

① ベルンシュタイン　② ドレフュス
③ ゾラ　④ ブーランジェ

9 「棍棒外交」でカリブ海政策を推進したアメリカの大統領はだれか。

① タフト　② マッキンリー
③ ウィルソン　④ セオドア＝ローズヴェルト

10 1889年にパリで結成された国際的な社会主義運動組織はどれか。

① 第１インターナショナル　② 第２インターナショナル
③ 第３インターナショナル　④ コミンフォルム

PART2 世界の分割と列強の対立

Chapter1　世界の分割

目標
アフリカの国境線が直線的な理由を考えよう。
アメリカ，イギリスが太平洋地域で獲得した地域をおさえよう。

1　「暗黒大陸」アフリカの植民地化

ビスマルクによる**ベルリン＝コンゴ会議**（1884～85年）で，「ある地域を植民地にする国は，その地域でのヨーロッパ人の安全と商業活動を保障できなければならない」という，**アフリカ分割**の原則が定められる。→**ベルギー国王**の所有地として**コンゴ自由国**設立を承認
※植民地化には，**植民地の境界を画定**し，現地に行政･治安機構を作る必要があるとされた。
※殺到した列強に対し，現地の人々は，地域の自立や固有の文化を守ろうとして抵抗，**エチオピア**と〔　　　　　　　〕のみ独立を保つ。

①**イギリス**→アフリカ〔　　　　〕**政策**

A　**リヴィングストン**や〔　　　　　　　　　〕が「暗黒大陸」アフリカを探検

B　**ウラービー運動**を制圧して**エジプト**を保護国化

C　**マフディーの反乱**を制圧して〔　　　　　　　〕を征服→総督ゴードンは戦死

D　ケープ植民地首相**セシル＝ローズ**の指導で侵攻政策。その後，トランスヴァール・オレンジ両国を併合
※ダイヤモンドと金を求め，**南アフリカ戦争〔ブール戦争〕**（1899～1902年）に勝利。

E　**ケープタウン･**〔　　　　　　〕**･カルカッタ**を結ぶ〔　　　　〕**政策**を推進

セシル＝ローズの風刺画

②**フランス**→アフリカ〔　　　　〕**政策**

A　アルジェリアを拠点に東の**チュニジア**を保護国化（1881年）

B　サハラ砂漠地域を抑えて**ジブチ**・マダガスカルとの連結を図る

C　イギリスと〔　　　　　　　　　〕**事件**を起こすがフランスが譲歩（1898年）
※のち**英仏協商**（1904年）を締結。イギリスのエジプト，フランスのモロッコにおける支配的地位を相互に承認し，ドイツに対抗。

③**ドイツ**

A　第１次モロッコ事件（1905年）→イギリスがフランスを支援し失敗

B　第２次モロッコ事件（1911年）→翌年，**モロッコはフランスの保護国に**

④**イタリア**

A　〔　　　　　　　　　　〕に侵入するも**アドワの戦い**に敗れ後退（1896年）

B　**イタリア＝トルコ戦争**（1911～12年）→オスマン帝国からリビアを奪う

2　太平洋地域の分割

もとスペイン・ポルトガル・オランダ，18 世紀にイギリス，19 世紀にフランス・ドイツ・アメリカが進出。→オーストラリア大陸と**ポリネシア・メラネシア・ミクロネシア**諸国

①**イギリス**

先住民**アボリジニー**の暮らす〔　　　　　　　　　　〕，先住民〔　　　　　〕の暮らす**ニュージーランド**，ソロモン・フィジー・トンガ諸島なども獲得。

②**フランス**

タヒチ・ニューカレドニアや赤道以南の諸島を獲得。

③**ドイツ**

1880年代，ビスマルク諸島やカロリン・マリアナ・マーシャル・パラオ諸島を獲得。

④〔　　　　　　　　〕

1898年の**米西戦争**に勝利し**フィリピン**・〔　　　　　　〕を獲得。同年，**リリウオカラニ女王**の〔　　　　　　〕**王国**も併合。

3　ラテンアメリカの情勢

①中米では**アメリカ**の経済的影響大→ 1889年以来**パン＝アメリカ会議**を定期的に開催

②南米では〔　　　　　　　　〕の経済的影響が大きい。

③**ブラジル**は 1889年に帝政廃止となり共和政に移行→前年に奴隷制廃止

④**メキシコ**はディアス大統領の下で鉱山開発などによる近代化が進む

自由主義者マデロが呼びかけ 1910年に〔　　　　　　　　〕**革命**が起こり，のち農民指導者**サパタ**や**ビリャ**が参加しディアスを追放。1917年に民主的な憲法を制定。

まとめ　列強が分割したためアフリカの国境線は直線的なものが多い。
アメリカはハワイ・グアム・フィリピン，イギリスはオーストラリア・ニュージーランドを獲得した。

Chapter2　列強の対立

目標
三国同盟と三国協商，それぞれの中心国をおさえよう。
二大勢力の間での，平和維持体制の特徴を理解しよう。

1　三国同盟

①〔　　　　〕**政策**

ドイツは〔　　　　　　　　〕**・ビザンティウム〔イスタンブル〕・バグダード**をバクダード鉄道で結ぶ政策により，**イギリス**の〔　　　　〕**政策**に対抗。

②同盟国の実態

ドイツ・オーストリアは，フランスによるチュニジアの保護国化（1881年）に不満を持つ**イタリア**を誘い，1882年に〔　　　　　　　　〕を締結していた。

※しかし，トリエステ・南チロルなど「**未回収のイタリア**」をめぐりイタリアは〔　　　　　　　　　〕と対立しフランスに接近したので，実態は二国同盟であった。

2　三国協商

①**露仏同盟**（1891・94年）

ドイツがロシアとの**再保障条約**更新を見送ったため，ロシアが反発してフランスに接近。

②〔　　　　〕**協商**（1904年）→2国でドイツの挑戦に備える

イギリスは「**光栄ある孤立**」を捨て，東アジアでも**日英同盟**（1902年）を締結していた。

③〔　　　　〕**協商**（1907年）

ロシアが**日露戦争**（1904〜05年）に敗れ，〔　　　　　　　　〕**半島**への南下政策に切り替えたことで，ドイツ・オーストリアと衝突しイギリスに接近。

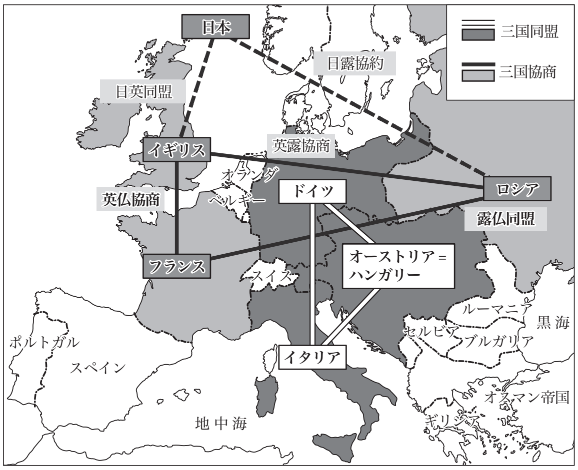
※これにより，**イギリス・フランス・ロシア**の〔　　　　　　　　〕が成立した。

3　列強の二極分化

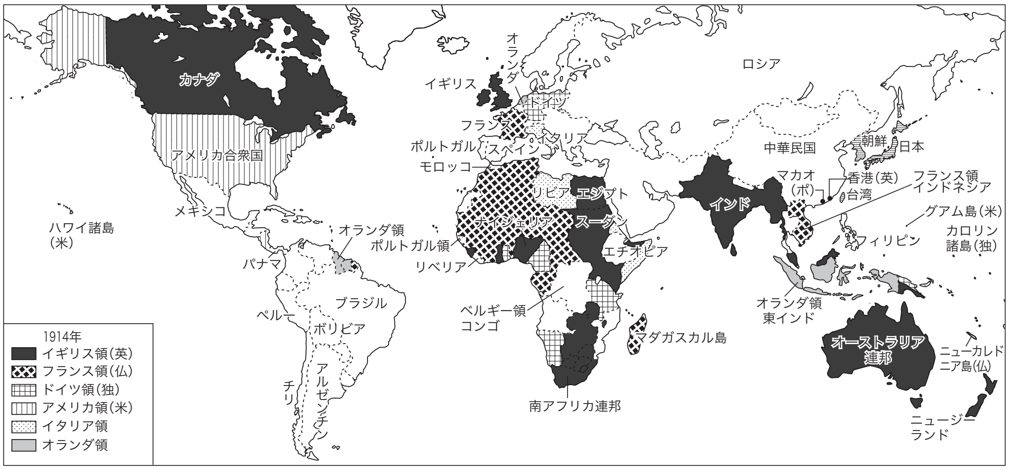
列強は，ドイツとイギリスを中心とする二つの陣営に分かれ，1910年以降，軍備拡大を競い合い一触即発状態となった。→「［　　　　　　　　］**方式**」による平和維持

※ドイツ･オーストリアでは**ヴィルヘルム２世**の「**世界政策**」「**パン＝ゲルマン主義**」が浸透。

※イギリスでは，［　　　　　　　　　　　］の「生物進化論」の影響で弱肉強食・優勝劣敗・適者生存を説く**スペンサー**の「**社会進化論**」が浸透，ロシアではバルカン半島での「**パン＝［　　　　　　］主義**」が浸透。



1890年以降のヨーロッパの国際関係



列強による世界分割

まとめ　三国同盟はドイツ，三国協商はイギリスがそれぞれ中心国だった。
互いに軍備拡大してつり合いをとる，勢力均衡方式による平和維持が成立していた。

第 6 講　PART2　確認問題

1 アフリカ分割の原則に基づき，ベルギー国王が所有地としたのはどこか。

① エジプト　② チュニジア
③ リベリア　④ コンゴ

2 「暗黒大陸」とも呼ばれたアフリカを探検したイギリス人はだれか。

① セシル＝ローズ　② ディアス
③ サパタ　④ リヴィングストン

3 エジプトを保護国化した国はどこか。

① イギリス　② フランス
③ ドイツ　④ イタリア

4 フランスが行った政策はどれか。

① アフリカ横断政策　② アフリカ縦断政策
③ 3B 政策　④ 3C 政策

5 アフリカ分割競争のなかでイギリスとフランスが衝突したできごとを何というか。

① モロッコ事件　② アドワの戦い
③ ファショダ事件　④ 南アフリカ戦争〔ブール戦争〕

6 1880年代にエリトリアを獲得したが，1896年にアドワの戦いに敗れエチオピアから後退した国はどこか。

① ドイツ　② イタリア
③ イギリス　④ フランス

7 太平洋地域の分割で，パラオ諸島を獲得した国はどこか。

① アメリカ　② イギリス
③ フランス　④ ドイツ

8 米西戦争に勝利したアメリカが獲得したのはどこか。

① フィリピン　② トンガ諸島
③ ニューカレドニア　④ マーシャル諸島

9 三国同盟を結んだ国の組合せとして正しいのはどれか。

① ドイツ・オーストリア・ロシア　② ドイツ・オーストリア・イタリア
③ イギリス・フランス・ロシア　④ イギリス・フランス・イタリア

10 イギリスで浸透した社会進化論を説いた人物はだれか。

① フセイン　② スペンサー
③ ダーウィン　④ ヴィルヘルム２世

PART3 中国分割の危機と義和団戦争

Chapter1　中国分割の危機＝華夷秩序の解体

目標
列強の中国分割にブレーキがかかった理由を知ろう。
日清戦争敗戦後，19 世紀末の清の改革がどうなったかおさえよう。

1　列強の中国分割＝東アジアの帝国主義時代

分割される中国の風刺画

日清戦争における「**眠れる獅子**」清の敗北が刺激となる。清が列強に借款する代償として〔　　　　〕**地**・鉄道敷設権・鉱山採掘権を譲渡するという，**資本輸出**の形式をとった。

①**日本**（租借権なし）
　福建省の他国への不割譲を確約（1898年）
　※三国干渉で遼東半島は返還したが，台湾・澎湖諸島は植民地化（1895年）。

②〔　　　　　　〕→日清戦争後の三国干渉に参加
　膠州湾（山東半島）の 99年租借（1898年）
　※**山東地方**に勢力を持つ。

③〔　　　　　　〕→日清戦争後の三国干渉に参加
　旅順・大連（遼東半島南部）の 25年租借（1898年）
　※**東清鉄道**の敷設権も得て（1896年），**東北地方〔満州〕**に勢力を持つ。

④**イギリス**
　九竜半島北部の 99年・**威海衛（山東半島先端）**の 25年租借（1898年）
　※〔　　　　〕流域と広東東部に勢力を持つ。

⑤**フランス**→日清戦争後の三国干渉に参加
　広州湾の 99年租借（1899年）
　※広東西部と広西地方に勢力を持つ。

⑥〔　　　　　　　　〕→マッキンリー大統領がモンロー主義を放棄
　国務長官ジョン＝ヘイの〔　　　　　　　　〕**宣言**（1899年）
　※「**門戸開放・機会均等**（1899年）・〔　　　　　　　　〕（1900年）」＝極東三原則を提唱し，他の列強による**中国分割**の動きを牽制。

2　清の改革と保守派の抵抗

西太后

①〔　　　　　　　　　〕（1898年）→第 11 代〔　　　　〕**帝**を説得

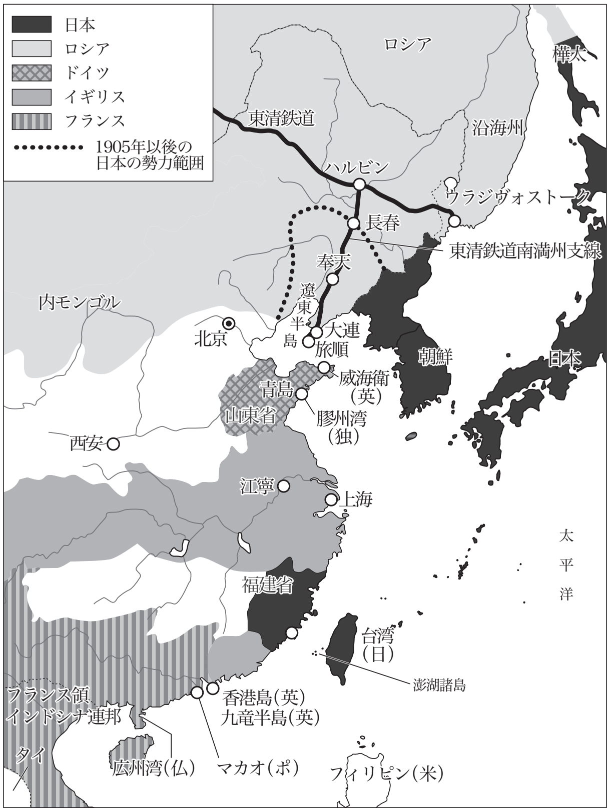
〔　　　　　〕・**梁啓超**ら公羊学派による，日本の明治維新にならい立憲君主制を樹立しようとした根本的な制度改革。

※イギリスから伝わった社会進化論の影響を受け，1895年から「**変法（自強）運動**」として展開されていた。

②**戊戌の政変**（1898年）

第 9 代咸豊帝の妻，第 10 代同治帝の母である〔　　　　　〕や袁世凱を中心とする保守派によるクーデタ。

※光緒帝は幽閉され，康有為・梁啓超らは 3 カ月で失脚して日本に亡命。



東アジアにおける列強の勢力圏

まとめ

アメリカが，門戸開放宣言により列強の中国分割を牽制した。

西太后ら保守派が，変法という改革にストップをかけた。

Chapter2　義和団戦争と日英同盟

目標
義和団戦争の北京議定書の要点をおさえよう。
第一次日英同盟協約の，軍事同盟としての特徴を知ろう。

1　義和団戦争〔北清事変〕

激化する列強の帝国主義的進出＝中国分割の進行に対し，中国各地で仇教運動（＝反キリスト教運動）などの排外運動が高揚。

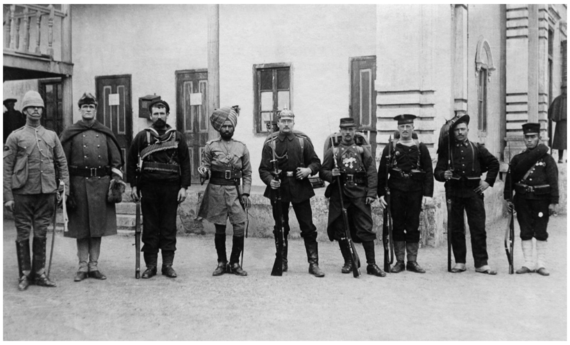
①**義和団戦争〔北清事変〕**（1900～01年）

A　**義和団**とは？
　山東省の農村の自警団組織を基盤とする宗教的武術集団

B　「　　　　　　　　」を唱え鉄道やキリスト教の教会を破壊
　首都の北京に乱入し列国公使館を包囲

C　**西太后**ら清の保守排外派が義和団を利用して列国に宣戦布告
　列国は在留外国人の保護を名目に**8カ国連合軍**で共同出兵
　※「極東の憲兵」と評価された〔　　　　〕と**ロシア**が主力。他にイギリス（イギリス領インドも）・フランス・ドイツ・オーストリア・イタリア・アメリカが出兵。

②〔　　　　〕**議定書〔辛丑和約〕**（1901年）→義和団戦争の講和条約
　清は巨額の賠償金支払い，公使館所在区域の治外法権，公使館守備隊としての**外国軍隊の北京駐屯**を認める。



北京に出兵した８カ国連合軍

2　日英同盟

①極東における**ロシアの南下政策**→日本・イギリスの利益と衝突

義和団戦争〔北進事変〕後もロシア軍が鎮圧の名目で**東北地方〔満州〕**を占領。

※東清鉄道を延伸し，遼東半島の旅順・大連を軍事基地化。

②日本の対応→政府内部の意見対立

A　**日露協商論〔満韓交換論〕**→伊藤博文ら

B　**日英同盟論〔対露開戦論〕**→山県有朋ら（世論もこちらが優勢）

③イギリスの対応→ロシアの南下政策を阻止

「**光栄ある**〔　　　　　〕」を放棄，日本と地域・期間限定の同盟を締結してロシアに対抗。

④**第一次日英同盟協約**の内容→期限５年の防御同盟

A　**清・韓国（＝極東）**における日英両国の利益保護の協働行動

B　利益保護のための**他国との戦争における他の１国の厳正中立**

C　**他の第３国参戦の際の協働戦闘の義務**

⑤日英同盟の意義

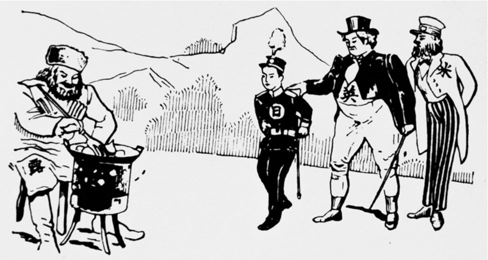
A　極東におけるロシアの南下政策への牽制

イギリスは「極東の憲兵」として日本を利用できる

B　日本が国際政局に登場

日本は列強相互の対立を利用しつつ対外膨張を図る

列強クラブの仲間入り



日英同盟の風刺画

まとめ

北京議定書では，外国軍隊の北京駐屯権が認められた。

第一次日英同盟協約は，極東限定，期間５年の防御同盟だった。

第6講　PART3　確認問題

1　日清戦争後，ドイツが租借権を獲得したのはどこか。

①　九竜半島北部　②　広州湾
③　膠州湾（山東半島）　④　旅順・大連（遼東半島南部）

2　日露戦争後，威海衛（山東半島先端）の25年租借権を獲得した国はどこか。

①　ロシア　②　フランス
③　イギリス　④　ドイツ

3　アメリカの国務長官ジョン＝ヘイが提唱したのはどれか。

①　門戸解放　②　棍棒外交
③　モンロー主義　④　宣教師外交

4　戊戌の変法を行った清朝の皇帝はだれか。

①　乾隆帝　②　康熙帝
③　咸豊帝　④　光緒帝

5　戊戌の政変の中心となった保守派の人物はだれか。

①　康有為　②　梁啓超
③　孫文　④　西太后

6 義和団戦争〔北清事変〕を起こした義和団のスローガンはどれか。

① 中体西用　② 扶清滅洋
③ 滅満興漢　④ 尊王攘夷

7 義和団戦争〔北清事変〕に共同出兵した国々のうち，主力となった国の組合せとして正しいのはどれか。

① ドイツ・オランダ　② スペイン・ロシア
③ 日本・ロシア　④ 日本・フランス

8 北京議定書〔辛丑和約〕で清が承認したこととして正しいのはどれか。

① 外国軍隊の北京駐屯　② 朝鮮の独立
③ 台湾の割譲　④ 遼東半島の割譲

9 日英同盟論〔対露開戦論〕を唱えたのはだれか。

① 伊藤博文　② 井上馨
③ 山県有朋　④ 内村鑑三

10 第一次日英同盟協約の内容として正しいのはどれか。

① 軍事的援助義務　② 清・韓国における権益の相互承認
③ アメリカの適用除外　④ 適用地域のインドへの拡大

PART4 日露戦争と日韓併合

Chapter1　日露戦争

目標　国内で日露戦争に反対する人には，どのような人がいたか考えてみよう。
日露戦争の日本の勝利がアジアに与えた影響について学ぼう。

1　日露開戦時の国内世論の動向

①**主戦論**→次第に多数となる

七博士意見書や対露同志会，徳富蘇峰の『国民新聞』や黒岩涙香の『万朝報』など。

②反戦・非戦・厭戦論

A　**幸徳秋水・堺利彦**→〔　　　　〕**主義者**の立場から反戦論を展開→『平民新聞』

B　**内村鑑三**→〔　　　　　　　〕**教徒**の立場から非戦論を展開

C　〔　　　　　　　　　　〕→厭戦詩『**君死にたまふことなかれ**』を発表

2　日露戦争

①〔　　　　〕**戦争（1904～05年）**の背景

A　日本の大陸進出政策とロシアの南下政策の対立

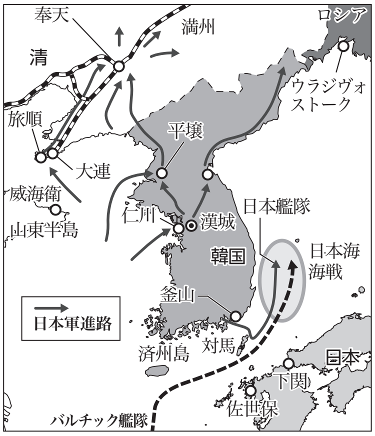
B　日本国内における主戦論の高まり

②開戦

1904年２月，日本軍が仁川沖と旅順港のロシア艦隊を奇襲。

③経過

ロシアの満洲占領に反対するアメリカ・イギリスの経済的支援を得る。また，韓国に上陸して韓国を制圧し，日韓議定書を締結して韓国内での軍事行動を認めさせた。



日露戦争関係図

A　陸軍

あ　遼東半島の**旅順**占領（1905年，前年に**乃木希典**が二〇三高地を攻略）

い　奉天会戦に辛勝（1905年）

B　海軍

〔　　　　　　〕**海戦**に大勝（1905年，**東郷平八郎**がバルチック艦隊を撃破）

C　日本が〔　　　　　　　　　〕大統領**セオドア＝ローズヴェルト**に調停を依頼

あ　日本　→外債・内債・増税で集めた戦費の欠乏

い　ロシア→**血の日曜日事件**を契機とする**第一次ロシア革命**の発生

④結果→〔　　　　　　　　　　〕**条約**（1905年）で講和

A　調印

日本全権＝〔　　　　　　　　　　〕外相　ロシア全権＝〔　　　　　　　　〕

B　内容

あ　ロシアは〔　　　　〕に対する日本の指導・監督権を全面的に承認

い　ロシアは**旅順・大連**の租借権，**長春以南の鉄道**とその付属利権を譲渡

う　ロシアは**北緯50度以南のサハリン〔樺太〕**と付属の諸島を割譲

え　ロシアは沿海州・カムチャツカの漁業権を譲渡

C　国内の反応→**賠償金は取れず**

条約に対する不満から**日比谷焼打ち事件**が起こり東京に**戒厳令**が出される

D　影響→**日本の国際的地位が向上**し韓国・満州へ進出

あ　日英同盟を維持しつつ日本は**日露協約**を締結（1907年）

い　日英同盟を維持しつつイギリスは英露協商を締結（1907年）

E　世界への影響→白人不敗神話を打ち破り衝撃を与え**アジアの民族運動を刺激**

あ　〔　　　　　　〕では国民会議派がカルカッタ４綱領を採択→ネルーにも影響

※英貨排斥，**スワデーシ〔国産品愛用〕**，**スワラージ〔自治獲得〕**，民族教育。

※親英派のムスリムは全インド＝ムスリム連盟を結成し，インドが分裂。

い　**ベトナム**では**ファン＝ボイ＝チャウ**を中心に**ドンズー〔東遊〕運動**を組織

※しかし日本は〔　　　　〕**協約**（1907年）締結後，留学生を弾圧。

う　**イラン**では**立憲革命**が起こる（1905年～）

え　**オスマン帝国**では〔　　　　　　　　　〕**革命**が起こる（1908年）

お　**インドネシア**では**サレカット＝イスラーム**〔イスラーム同盟〕結成（1912年）

まとめ　日露戦争に反対した人には，社会主義者・キリスト教徒・女性もいた。
日露戦争における日本の勝利は，アジアの民族運動を刺激した。

Chapter2　日露戦争後の東アジア

目標
韓国併合までの流れを理解しよう。
辛亥革命によって中国に起こった変化を知ろう。

1　日本による韓国併合

伊藤博文と韓国の皇太子

1894年　日清戦争（～1895年）
1895年　下関条約・三国干渉
　閔妃殺害事件→日本公使らが宮中に乱入し王妃を殺害
1897年　朝鮮が国号を**大韓帝国〔韓国〕**と改める→国王**高宗**が皇帝となる
1904年　日露戦争（～1905年）
　日韓議定書
　第一次日韓協約→日本の財政・外交顧問を設置
1905年　桂・タフト協定→米のフィリピン支配を認める代わりに韓国保護国化を承認
　第二次日英同盟協約→英のインド支配を認める代わりに韓国保護国化を承認
　ポーツマス条約→露は日本の韓国に対する指導・監督権を全面承認
　第二次日韓協約〔日韓保護条約〕→外交権を剥奪し**保護国化**
　※漢城に〔　　　　　　〕を設置，**伊藤博文**が初代韓国統監となる。
1907年　〔　　　　　　〕**密使事件**
　※皇帝高宗が第２回万国平和会議に密使を送り，国際世論に窮状を訴えるものの無視される。
　第三次日韓協約→その後，皇帝を退位させ内政権を掌握
　※秘密協定により韓国軍隊を解散，反日の〔　　　　　〕**運動**が高まる。

安重根

1909年　**伊藤博文暗殺事件**→ハルビン駅頭で〔　　　　　　〕に撃たれる
1910年　**韓国併合条約**→日本全権は寺内正毅
　※韓国を植民地化し**朝鮮**と改称，首都漢城も〔　　　　　〕と改称。
　※京城に〔　　　　　　　　　〕を設置，**寺内正毅**が初代朝鮮総督となる。
　※半官半民の**東洋拓殖会社〔東拓〕**が植民地経営を推進。

2　清の滅亡と中華民国の建国

1894年　「中国革命の父」〔　　　　　〕が**華僑**を中心にハワイで**興中会**を組織

1900年　義和団事件〔北清事変〕（～1901年）

孫文

1905年　孫文が東京で**中国同盟会**を組織→**民族・民権**・〔　　　　　〕の**三民主義**を掲げる

科挙の廃止→「〔　　　　　〕**新政**」開始

1906年　日本が**関東都督府**と半官半民の国策会社**南満州鉄道株式会社**〔**満鉄**〕を設置

袁世凱

1908年　憲法大綱の発表と国会開設公約→「光緒新政」の一環

1911年　列強に借金を重ねる**鉄道国有化に反対**の**四川暴動**起こる

湖北省の**武昌蜂起**を契機に〔　　　　　〕**革命**開始（～12年）

1912年　**南京**で共和政の〔　　　　　　　　　〕建国を宣言→孫文が**臨時大総統**に

北京で**宣統帝**〔**溥儀**〕が退位し**北洋軍**の〔　　　　　　　〕が臨時大総統となる

1913年　チベットでダライ＝ラマ 13 世が独立を主張

第二革命に失敗し議会政党**国民党**（もと中国同盟会）が解散に追い込まれる

1914年　孫文らが秘密結社**中華革命党**（もと国民党）を組織

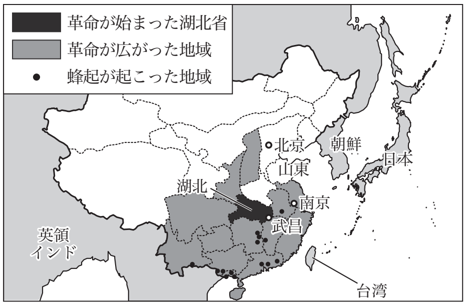
1915年　日本による二十一カ条の要求→袁世凱が帝政復活を目指すが第三革命で挫折

1916年　袁世凱が病死→列強の支援を受けた〔　　　　　〕が各地に分立

1919年　孫文らが〔　　　　　　　　　　〕（もと中華革命党）を組織

1921年　〔　　　　　　　　　　　　　〕を中心に外蒙古が独立を達成

1924年　**モンゴル人民共和国**が成立→ソ連に次ぐ**史上２番目の社会主義国**



辛亥革命が広がった地域

まとめ　日本は日露戦争後，３度にわたる日韓協約をへて，韓国を併合した。
1912 年，清朝が倒れ皇帝政治が終わりアジア初の共和国が成立した。

第 6 講　PART4　確認問題

1　キリスト教徒の立場から非戦論を展開した人物はだれか。

① 内村鑑三　② 徳富蘇峰
③ 幸徳秋水　④ 堺利彦

2　厭戦詩『君死にたまふことなかれ』を発表した人物はだれか。

① 徳富蘇峰　② 樋口一葉
③ 与謝野晶子　④ 黒岩涙香

3　日露戦争で，遼東半島の旅順を占領した人物はだれか。

① 乃木希典　② 幸徳秋水
③ 東郷平八郎　④ 秋山真之

4　日露戦争の講和条約であるポーツマス条約を仲介した人物はだれか。

① ウィッテ　② セオドア＝ローズヴェルト
③ ジョン＝ヘイ　④ ロバノフ

5　インド諸語で，「国産品愛用」を意味するものはどれか。

① スワラージ　② スワデーシ
③ イェニチェリ　④ タンジマート

6 1905年に立憲革命が起こったのはどこの国か。

① オスマン帝国　② ベトナム
③ インドネシア　④ イラン

7 第一次日韓協約の内容として正しいのはどれか。

① 韓国に日本の財政・外交顧問を設置　② 韓国を植民地化し朝鮮と改称
③ 韓国の内政権を掌握　④ 外交権を剥奪し韓国を保護国化

8 孫文が唱えた三民主義に**あてはまらない**のはどれか。

① 民権主義　② 民族主義
③ 民生主義　④ 民主主義

9 宣統帝〔溥儀〕を退位させ，中華民国の臨時大総統となったのはだれか。

① 蔣介石　② 孫文
③ 袁世凱　④ 毛沢東

10 1914年に孫文らが組織した秘密結社を何というか。

① 中国共産党　② 中国同盟会
③ 国民党　④ 中華革命党

第7講　【近代編】第一次世界大戦とロシア革命

PART1 アジア各地の民族運動とバルカン半島の危機

Chapter1　南・東南・西アジアの民族運動

目標　中国など東アジア以外でも起こったアジアの民族運動の地域をおさえよう。
アジアで日本・中国・モンゴル・タイとともに独立を保った国はどこだろう。

1　インドの民族運動

1885年　**インド**〔　　　　　　　　〕の結成→インド人エリートの諮問機関

1905年　〔　　　　　　　　〕**分割令**

※ヒンドゥー（西）・イスラーム（東）両教徒の分断が目的。

1906年　インド国民会議カルカッタ大会

※英貨排斥・スワデーシ〔国産品愛用〕・〔　　　　　　　　〕**〔自治獲得〕・民族教育**の４綱領を決議。

※**ティラク**らの急進派が主導権を握り，国民会議が政治組織の

〔　　　　　　　　〕へと変貌→反英的

〔　　　　　　　　　　　　〕**連盟**結成→親英的

※ 1877年のインド帝国成立後，社会は急速に西欧化し，伝統的なインド文化復興の機運が高まったことで，イスラーム教徒との間に亀裂が生じていた。

1911年　**ベンガル分割令を撤回**

首都を反英運動の中心**カルカッタ**からムガル帝国の旧都〔　　　　　　〕に移す

2　東南アジア・西アジアの民族運動

①〔　　　　　　　　　　〕の民族運動→**オランダ**が進出

オランダで衰退し続けるインドネシアの社会状況に批判的な世論が形成され，植民地政策の根本的見直しが始まる。

※ 20 世紀初めに「倫理政策」がスタート，高等教育を受けた貴族の子弟を中心に民族的意識が高まる。

1911年　〔　　　　　　　　　　〕**同盟〔サレカット＝イスラーム〕**結成

※のち民族独立や社会主義を掲げるが，オランダ植民地政府の弾圧により崩壊。

②〔　　　　　　　　　　〕の民族運動→**スペイン**のち〔　　　　　　　　〕が進出

フィリピンやスペインで高等教育を受けた新世代が，19 世紀後半から，スペイン支配への批判や民族意識を高める啓蒙活動を開始。

1892年　フィリピン民族同盟の結成

※指導者は〔　　　　　　　　　　　　〕。

1896年　**フィリピン革命**開始→フィリピン共和国を樹立（1899年）

※アメリカが介入し，〔　　　　　　　　　〕を中心とする革命軍は，日本に武器援助を求めるなどして運動を進めた。

ファン＝ボイ＝チャウ

1898年　**アメリカ＝スペイン戦争〔米西戦争〕**

※勝利したアメリカが，フィリピン・グアムの領有権を得る。

1899年　**フィリピン＝アメリカ戦争**（～1902年）

※勝利したアメリカが，本格的な植民地統治を開始。

③**ベトナム**の民族運動→〔　　　　　　　〕が進出

1904年　**ファン＝ボイ＝チャウ**を中心に立憲君主制を目指す独立運動を組織

※近代化に成功した日本にならう〔　　　　　　　〕**〔東遊〕運動**も組織された。

1907年　日仏協約締結　日本への留学生は，日仏両国当局の弾圧にあい国外退去となる

1912年　ベトナム光復会の結成　国民党の助力を得つつ広東で結成

④西アジアの民族運動

1905年　**イラン**における〔　　　　〕**革命**（～11年）

※**アフガーニー**の影響で，19 世紀末から民族意識が高まっていた。

※最後は分割をはかるイギリス・ロシアが介入し，ロシア軍が国民議会を閉鎖。

1908年　**オスマン帝国**における〔　　　　　　　　　〕**革命**

※西欧的自由主義を主張する青年知識人･将校「青年トルコ人」が，スルタンの専制政治に反対する「統一と進歩団」を結成。**ミドハト憲法**を復活させ，立憲君主制を実現。

※やがて民族主義〔トルコ＝ナショナリズム〕の傾向を強め，諸民族を抑圧した。

青年トルコ人

まとめ　南・東南・西アジアでも民族運動が起こった。
オスマン帝国は，イギリスやロシアの介入を受けたが独立を保っていた。

Chapter2　バルカン半島の危機

目標
スラヴ系諸民族の団結により，独立を目指した運動を知ろう。
列強とスラヴ諸国が結び付いたバルカン半島に付いた，あだ名を知ろう。

1　ベルリン条約後のバルカン半島

①〔　　　　　　　　　〕**主義**

〔　　　　　　　〕**半島**のスラヴ系諸民族の団結・連帯により，〔　　　　　　　〕**帝国**からの独立と民族統一を目指す思想・運動。

1875年　ボスニア・ヘルツェゴヴィナで農民反乱が発生

1876年　ブルガリアで独立を求める蜂起が発生

1877年　**ロシア＝トルコ〔露土〕戦争**（～78年）

※ロシアが黒海の制海権とバルカン半島の支配権をめぐりオスマン帝国と戦い勝利。

1878年　サン＝ステファノ講和条約

※ロシアがブルガリアを保護国化することを認めさせるが，オーストリア・イギリスは反対。

ベルリン会議による〔　　　　　　　〕**条約**

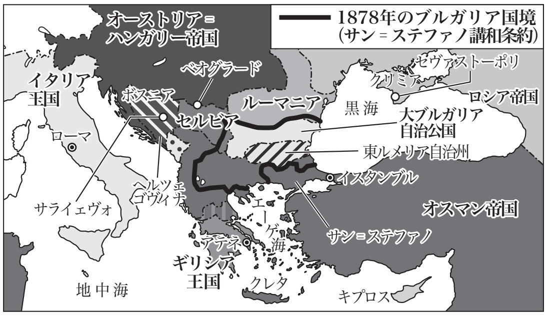
※ドイツの宰相ビスマルクが列国の利害を調停。サン＝ステファノ条約は破棄となりロシアの南下政策は抑えられる。

②ベルリン条約後のバルカン半島

A　ルーマニア，**セルビア**，モンテネグロの独立が承認される

B　**ブルガリア**はオスマン帝国内の自治国に

C　**ボスニア・ヘルツェゴヴィナ**の占領・行政権は〔　　　　　　　　　　〕に



ベルリン条約時

2 第一次世界大戦前のバルカン半島

列強が三国同盟（独・墺・伊）と三国協商（英・露・仏）に二極分化すると，利害が交錯するバルカン半島やオスマン帝国の動向が大きく注目されるようになった。

①〔　　　　　　　　　　　〕による**ボスニア・ヘルツェゴヴィナ併合**（1908年）

青年トルコ革命が契機。同年，**ブルガリア**も混乱に乗じオスマン帝国からの独立を宣言し，翌年国際的に承認される。

※オーストリアは，国内のスラヴ系諸民族の分離・自治運動が激化することを恐れ，特に**セルビア**の台頭を抑え込もうとした。

②〔　　　　　　〕の後押しによる〔　　　　　　　　〕**同盟結成**（1912年）

セルビア，**ブルガリア**，モンテネグロ，ギリシアの４国がオーストリアに対抗する名目で結成。さらにオスマン帝国からのバルカン半島解放を目指す。

③**第一次バルカン戦争**（1912～13年）

北アフリカのオスマン帝国領をめぐるイタリア＝トルコ戦争（1911～12年，イタリアが勝利）に乗じ，バルカン同盟４国がオスマン帝国に宣戦して勝利。

④**第二次バルカン戦争**（1913年）

ロンドン条約でオスマン帝国から獲得した領土の分配をめぐり，ブルガリアと他の３国（セルビア，モンテネグロ，ギリシア）が戦い，**ブルガリアが敗れる**。

※敗戦によりブルガリアが三国同盟（特に独・墺）に接近，三国協商（特に露）に接近しているセルビアと対立を深め，一触即発のバルカン半島は「**ヨーロッパの**〔　　　　　　〕」と呼ばれる。

バルカン諸国間の対立

まとめ　バルカン半島で民族統一と自立を目指す，パン＝スラヴ主義が展開した。
第一次世界大戦前のバルカン半島は，「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれた。

第７講 PART1 確認問題

1 ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の分断を目的とするイギリスの施策は何か。

① ローラット法発布　② インド統治法発布
③ ベンガル分割令発布　④ シズヤの復活

2 インド国民会議カルカッタ大会で採択された４綱領のうち，スワラージにあたるのはどれか。

① 国産品愛用　② 自治獲得
③ 民族教育　④ 英貨排斥

3 親英的なインドのイスラーム教徒が 1906年に結成した組織はどれか。

① イスラーム同盟　② ワフド党
③ ワッハーブ派　④ 全インド＝ムスリム連盟

4 1892年に結成されたフィリピン民族同盟の指導者はだれか。

① ホセ＝リサール　② アフガーニー
③ アギナルド　④ ファン＝ボイ＝チャウ

5 ベトナムに進出した国はどこか。

① アメリカ　② フランス
③ オランダ　④ スペイン

6 ファン＝ボイ＝チャウの提唱で開始された，近代化に成功した日本にならおうとする運動を何というか。

① 洋務運動　② 五・四運動
③ 不服従運動　④ ドンズー運動

7 パン＝イスラーム主義を説き，西アジアの民族運動に多大な影響をおよぼしたのはだれか。

① ガザーリー　② アフガーニー
③ ウラービー　④ タバリー

8 オスマン帝国で，ミドハト憲法復活を求めて革命を起こした組織を何というか。

① 青年トルコ人　② バース党
③ ワフド党　④ 国民会議派

9 ベルリン条約後のバルカン半島において，オーストリアが占領・行政権を獲得した国はどこか。

① ルーマニア　② ボスニア・ヘルツェゴヴィナ
③ ブルガリア　④ セルビア

10 第二次バルカン戦争で敗れた国はどこか。

① セルビア　② ギリシア
③ モンテネグロ　④ ブルガリア

PART2 第一次世界大戦

Chapter1　第一次世界大戦の開始

目標
第一次世界大戦開戦の直接のきっかけを知ろう。
第一次世界大戦で初めて投入された新兵器とその影響を考えてみよう。

1　第一次世界大戦の勃発

①〔　　　　　　　　　　　〕**事件**（1914年６月）

ボスニアの州都サライェヴォで，〔　　　　　　　　　　　〕**帝位継承者夫妻**が〔　　　　　　　〕**人**の民族主義者に暗殺される。

※ドイツの支持を得たオーストリアがセルビアに宣戦すると，ロシアがセルビアの保護を表明。

②〔　　　　　　　　　　　　　　〕**の開戦**（1914年７～８月）

ドイツ軍の中立国ベルギーへの侵入で開戦。ドイツ・オーストリアなどの**同盟国**側と，イギリス・ロシア・フランスなどの**協商国〔連合国〕**側に分かれて戦う。

A　同盟国側

ドイツ・オーストリアに加えオスマン帝国とブルガリアが参戦。

B　協商国〔連合国〕側

イギリス・ロシア・フランスに加え，オーストリアとの対立を理由に三国同盟から離れた〔　　　　　　　〕，日英同盟や日仏協約のある**日本**，のち日本に二十一カ条の要求を突き付けられた中華民国，1917年には〔　　　　　　　〕も参戦。

③主要参戦国における挙国一致体制の確立

反戦を掲げた国際的労働者組織である第２インターナショナルは事実上解体。

※ドイツ・イギリス・フランスなど国内の社会主義政党が自国政府を支持したため解体。社会主義者の中にも植民地統治を認めたり，自国の利害を優先したりする傾向は，開戦前から強まっていた。

2　第一次世界大戦の拡大

開戦前には予期しない長期戦・物量戦となり，海軍力に勝る協商国〔連合国〕は，海上封鎖によりドイツと海外との貿易を断ち，ドイツ側も**潜水艦**（Uボート）でイギリス・フランスの通商路を攻撃した。

①**タンネンベルクの戦い**（1914年８月）

ドイツがロシア軍を破り，ロシア領内に侵攻。

②東部戦線の状況

ロシア領の広さや冬の厳しい寒さのため決着の見通し立たず。

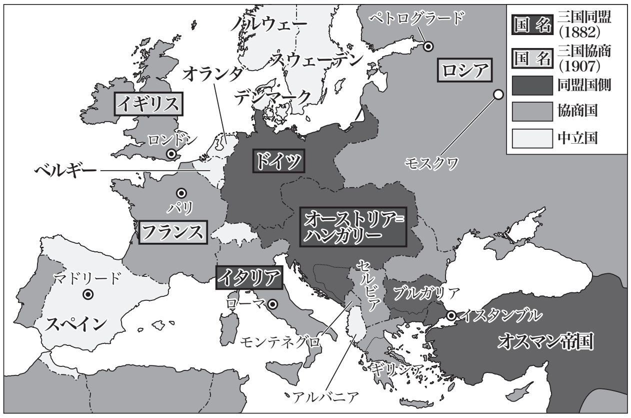
③**マルヌの戦い**（1914年９月）

ドイツが北フランスに侵攻するも阻止される。

④西部戦線の状況

塹壕に立てこもり，**戦車・航空機**・毒ガスなどの**新兵器**を投入しながら一進一退の攻防を続け，戦死者が増えていった。

戦車



第一次世界大戦中のヨーロッパ

まとめ　1914年，オーストリア帝位継承者夫妻がセルビア人の民族主義者に暗殺されたサライェヴォ事件が第一次世界大戦開戦のきっかけとなった。
戦車・航空機・毒ガスなどの新兵器が投入され，戦死者を増やした。

Chapter2　第一次世界大戦の展開と結果

目標
イギリスの「三枚舌外交」の，現在まで続く影響を理解しよう。
第一次世界大戦の結果，注目を集めた２大国がどこか考えよう。

1　第一次世界大戦の展開

①各種の**秘密条約**

同盟国・協商国〔連合国〕ともに，中立国や各地の民族運動を味方に引き入れるため，戦後の敵側領土・植民地の分配や民族の自治・独立を約束。

A　ロンドン秘密条約（1915年）

イタリアにオーストリアからの「未回収のイタリア」などの領土譲渡を約束し，協商国〔連合国〕側で参戦させる。

B　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕**協定**（1915年）

イギリスが〔　　　　　　〕**人**国家独立を認め，オスマン帝国に反乱させる。

C　**サイクス・ピコ協定**（1916年）

英・仏・露が戦後のオスマン帝国領の扱いを定める。

※フセイン・マクマホン協定と矛盾。

D　〔　　　　　　　　　〕**宣言**（1917年）

イギリスが〔　　　　　　〕**人**国家独立に好意的対応を約束し，財政援助を期待。

※フセイン・マクマホン協定，サイクス・ピコ協定と矛盾。

E　インド自治の約束（1917年）

イギリスがインド義勇軍の戦争協力を得るため約束するが，果たされず。

②〔　　　　〕**戦体制**

A　独・墺・露は軍需工業中心の厳しい国民生活統制を実施

B　植民地の多い英・仏はゆるやか

C　ヨーロッパから離れた日・米にはほぼ影響なし

2 第一次世界大戦の終結と結果

①ドイツの攻勢失敗（1918年３月以降）

ソヴィエト＝ロシアと単独講和を結び西部戦線に集中するが失敗。

②［　　　　　　］**革命**と休戦協定（1918年11 月）→キール軍港の蜂起が契機

皇帝がオランダに亡命，国内の諸君主は退位し，ドイツは共和国となる。

※それ以前にブルガリア・オスマン帝国は降伏，オーストリアは休戦協定を結んでいた。

③第一次世界大戦の結果

A　古い政治体制の動揺

国民多数の合意に基づく政治が主流となる

B　自由主義的な社会・経済政策の動揺

国家が強い力で社会政策を指導し経済に介入

C　ソヴィエト＝ロシア（社会主義）やアメリカ（自由主義）への期待

新たな戦後の国際秩序の理念を提唱

D　近代科学や技術への信頼や［　　　　　　　　　］**中心主義**が動揺

日本を除くアジアやアフリカ諸国の自立への自覚と期待が高まる

ドイツ革命

まとめ

イギリスの「三枚舌外交」はアラブ人・ユダヤ人の対立（パレスチナ問題など）につながっている。

第一次世界大戦後の欧米では，社会主義のソヴィエトと自由主義のアメリカに注目が集まった。

第 7 講　PART2　確認問題

1　1914年にサライェヴォ事件を起こしたのは，どこの国の民族主義者か。

①　オーストリア　②　ブルガリア
③　モンテネグロ　④　セルビア

2　第一次世界大戦に，同盟国側で参戦した国はどこか。

①　ドイツ　②　フランス
③　イギリス　④　日本

3　第一次世界大戦に，協商国〔連合国〕側で参戦した国はどこか。

①　オーストリア　②　ドイツ
③　ブルガリア　④　ロシア

4　三国同盟から離れて，第一次世界大戦に協商国として参戦した国はどこか。

①　アメリカ　②　日本
③　イタリア　④　オスマン帝国

5　1914年8 月に起こった，ドイツがロシア軍を破った戦いはどれか。

①　ライプツィヒの戦い　②　タンネンベルクの戦い
③　マルヌの戦い　④　スターリングラードの戦い

6 1914年9 月に起こった，フランスがドイツ軍の侵攻を阻止した戦いはどれか。

① マルヌの戦い　② タンネンベルクの戦い
③ ソンムの戦い　④ ヴァルミーの戦い

7 第一次世界大戦で使用された**新兵器でないもの**はどれか。

① 水素爆弾　② 航空機
③ 毒ガス　④ 戦車

8 第一次世界大戦中，秘密外交が展開されたが，イギリスがアラブ人国家の独立を認めたのはどれか。

① バルフォア宣言　② サイクス・ピコ協定
③ ロンドン秘密条約　④ フセイン・マクマホン協定

9 第一次世界大戦中，秘密外交が展開されたが，イギリス・ロシア・フランス間で結ばれたオスマン帝国領分割に関するものはどれか。

① サイクス・ピコ協定　② バルフォア宣言
③ ロンドン秘密条約　④ フセイン・マクマホン協定

10 第一次世界大戦中，総力戦体制がとられ，軍需工業中心の厳しい国民生活統制を実施した国はどこか。

① イギリス　② アメリカ
③ オーストリア　④ フランス

PART3 ロシア革命とソ連

Chapter1　ロシア革命

目標
1917年の二度のロシア革命の違いを区別できるようになろう。
レーニンが指導したボリシェビキについて理解しよう。

1　二月〔三月〕革命

ロシアは1914年の開戦以来，東部戦線で敗戦を重ね，各都市への食料・燃料供給が低下した。しかし，皇帝・政府は十分な対策を執らなかった。

※国民や支配地域の住民の間では，戦争継続に反対する動きが広がっていた。

①［　　　　　　　　　　］〔評議会〕の活躍（1917年３月〔ロシア暦２月〕）

→労働者・兵士たち

首都**ペトログラード**（開戦後にペテルブルクから改称）における「パンと平和」を求める民衆のデモ・ストライキに兵士も加わり蜂起。

※「戦争反対」「専制打倒」も唱え，革命の動きが拡大した。

②［　　　　　　　　］の樹立（1917年３月〔ロシア暦２月〕）

→国会〔ドゥーマ〕の議員たち

［　　　　　　　　］**２世**は退位し，**ロマノフ朝は消滅して帝政は崩壊**した。立憲民主党など自由主義各党の議員は，社会革命党などの支持を受けて臨時政府を樹立（＝**二月〔三月〕革命**）。

※ニコライ２世は，翌年家族とともに処刑される。

ニコライ２世一家

2 十月〔十一月〕革命

ブルジョワジー主体の臨時政府（＝自由主義）は英・仏との関係を重視して戦争を継続。プロレタリアート主体のソヴィエト（＝社会主義）のメンバーも入閣していた。労働者・兵士ソヴィエトも存続したため，都市では不安定な二重権力状態が続いた。

※農村では土地を求める農民革命，ウクライナやフィンランドでは民族革命が進行した。

①〔　　　　　　　　〕の四月テーゼ（1917年４月）

亡命先のスイスから〔　　　　　　　　　　　　〕（＝ロシア社会民主労働党左派）の指導者レーニンが帰国，臨時政府を否定して社会主義革命を進める方針を示した。

※７月には，首相に就任した社会革命党の**ケレンスキー**や，〔　　　　　　　　　　　　〕（＝ロシア社会民主労働党右派）との対立を深める。

②レーニンや**トロツキー**らによる「〔　　　　　〕**に関する布告**」（1917年11 月〔ロシア暦10 月〕）

勢力を拡大したボリシェビキが武装蜂起して臨時政府を倒し，**全ロシア＝ソヴィエト会議**で新政権成立を宣言（＝**十月〔十一月〕革命**）。全交戦国に無併合・無償金・民族自決による講和を呼びかけた。

※農民革命を認める「**土地に関する布告**」も採択。社会革命党は左右に分裂した。

演説するレーニン

まとめ　ロシアでは，二月革命で帝政が崩壊し，十月革命で社会主義政権が成立した。ボリシェビキは，労働者・兵士を指導する精鋭の革命家が集まる，ロシア社会民主労働党左派で，「多数派」という意味。

Chapter2　ソ連の成立

目標
連合国が反革命運動を支援して対ソ干渉戦争を行った目的を理解しよう。
ソヴィエト政府が行った２つの経済政策と，その背景をおさえよう。

1　ソヴィエトの動き

①**ブレスト＝リトフスク条約**（1918年３月）

優勢な軍事力を誇る〔　　　　　　〕との休戦後，不利な条件でも講和条約を締結するが，のち同盟国と協商国〔連合国〕の休戦後に破棄となった。

②**ロシア共産党**の誕生と首都の移転（1918年３月）

ボリシェビキは〔　　　　　　〕と改称され，首都はペトログラードから〔　　　　　　　　〕に移された。

※１月の憲法制定会議を武力で鎮圧したことで，1918年後半にソヴィエト体制は事実上**共産党一党支配**となる。

※地主からの土地の無償没収，資本家から工業・銀行・貿易を取り上げ国家管理とすることなどが実行された。

③**コミンテルン〔第３インターナショナル〕**の創設（1919年３月）→モスクワにて

レーニンやトロツキーは，ロシアで社会主義体制を維持していくには，先進資本主義国での同時革命（＝**世界革命**）が不可欠と考えた。

※しかし，ドイツやハンガリー（オーストリアから分離）など敗戦国での革命は長続きせず，アジアの民族運動への支援も中国を除き失敗し，1943年に解散。

④**対ソ干渉戦争**（1918～22年）

革命後，旧帝政派の軍人や反共産党の政党は，各地に反革命政権を樹立し反革命軍〔白軍〕を組織。米・英・仏・日などもこれらを援助し，〔　　　　　　　　〕**出兵**も実行した。

⑤〔　　　　　　　　　　　　〕の実施

ソヴィエト政府は**赤軍**を組織し，チェカ〔非常委員会〕を設置して反革命運動を取り締まる一方で，農民から強制的に穀物を徴発して都市住民や兵士に配給した。

※その結果，1920年には国内の反革命政権はほぼ制圧され，外国軍も撤退を始めた。

2　ソ連の成立

戦時共産主義の実施は，農業・工業生産の混乱・低下をもたらし多数の餓死者を出すなど深刻な事態を招いたので，1921年初めには労働者・兵士の一部からも共産党一党支配への反抗が見られるようになった。

①**新経済政策**〔　　　　　〕の実施（1921年）

穀物徴発を停止して国有化をゆるめ，余剰生産物の自由販売と中小企業の私的営業を許した。

※共産党一党支配や大企業・銀行・貿易の国家管理は変更しなかったが，27年に生産は戦前の水準に回復した。

②**ソヴィエト社会主義共和国連邦**〔　　　　　〕の成立（1922年）

A　ロシア・ウクライナ・ベラルーシ〔白ロシア〕・ザカフカースの４共和国が連合

B　1924年にソ連憲法公布（～36年）

C　1922年にドイツとラパロ条約を締結し国際的孤立を避ける

D　1924年にイギリス・フランス・イタリアがソ連を承認

※日本も 25年に**日ソ基本条約**を締結するが，アメリカは 33年まで承認しなかった。

革命の発生とソ連の範囲

まとめ　連合国は，社会主義革命の自国への波及を防ぐため対ソ干渉戦争を行った。厳しい国家管理を行う戦時共産主義は反発が大きく，少しゆるめた新経済政策〔ネップ〕に移行し経済を落ち着かせた。

第７講　PART3　確認問題

1 1917年３月，ロシア革命が起こった当時のロシアの首都はどこか。

① モスクワ　② ペトログラード
③ レニングラード　④ ペテルブルク

2 1917年のロシア革命で退位した，ロマノフ朝最後の皇帝はだれか。

① アレクサンドル２世　② フリードリヒ２世
③ エカチェリーナ２世　④ ニコライ２世

3 1917年にスイスから帰国した，ボリシェビキの指導者はだれか。

① スターリン　② トロツキー
③ レーニン　④ プレハーノフ

4 1917年７月に臨時政府首相となったのはだれか。

① ケレンスキー　② ウィッテ
③ プレハーノフ　④ プガチョフ

5 レーニンとともに，「平和に関する布告」を発表したのはだれか。

① プレハーノフ　② スターリン
③ ケレンスキー　④ トロツキー

6 ボリシェビキ勢力が臨時政府を倒して権力を握った革命はどれか。

① 二月革命　② 三月革命
③ 七月革命　④ 十月革命

7 ソヴィエト政権が，1918年３月にドイツと結んだ条約はどれか。

① キャフタ条約　② ブレスト＝リトフスク条約
③ トリアノン条約　④ 独ソ不可侵条約

8 ロシア共産党の誕生後，首都となった都市はどこか。

① ペテルブルク　② レニングラード
③ ペトログラード　④ モスクワ

9 1919年に創設された，世界革命推進を目指す組織を何というか。

① コミンテルン　② コメコン
③ コミンフォルム　④ ワルシャワ条約機構

10 1922年に成立したソヴィエト社会主義共和国連邦で，連合した４つの共和国に**含まれない国**はどこか。

① リトアニア　② ベラルーシ〔白ロシア〕
③ ザカフカース　④ ウクライナ

PART4 日本と第一次世界大戦

Chapter1　日本の中国進出

目標
日本が第一次世界大戦に参戦した名目は何か考えてみよう。
日本が第一次世界大戦に参戦した実情を理解しよう。

1　日本の第一次世界大戦参戦（1914年）

①参戦の理由→元老井上馨いわく「大正新時代の天佑」

A　名目〔　　　　　　　　　　〕を結ぶイギリスの援護

※日露協約・日仏協約もあった。

B　実情　**大陸における権益拡大**を図る

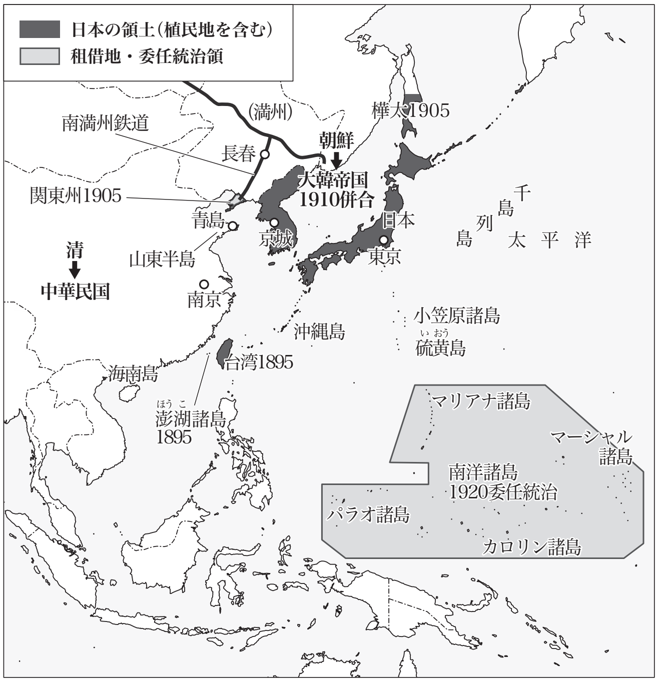
※各国との貿易拡大により「〔　　　　　〕**景気**」となる。

②参戦と経過

1914年８月，〔　　　　　　　〕に宣戦布告（第二次**大隈重信内閣**，加藤高明外相）。

A　陸軍〔　　　　〕**半島**の膠州湾（中心都市＝**青島**）を占領

B　海軍　赤道以北の**ドイツ領南洋諸島**の一部（**サイパン・パラオ**など）を占領



ヴェルサイユ体制下の日本の領域

2　二十一カ条の要求と列強との調整

袁世凱

①目的　〔　　　　　　　〕政権の中国における権益拡大

②内容　1915年，５号〔　　　　〕**カ条**を突き付ける

第１号　**山東省のドイツ権益接収の承認**

第２号　**旅順・大連・南満州鉄道**・安奉鉄道の**租借期限を 99年延長**

南満州・東部内蒙古の権益の承認

第３号　**漢冶萍公司の日中共同経営**

第４号　中国沿岸の他国への不割譲

第５号　中華民国政府への**日本人**〔　　　　　〕採用

警察の日中合同，福建省の開発について，日本との協議を必要とすることなど

※あくまでも希望・秘密条項だが**非難が強く大部分を削除**。

③影響　中国は受け入れた５月９日を**国恥記念日**とする

④調整　〔　　　　　　　　　〕とは**石井・ランシング協定**（1917年）を締結

※ロシアは革命が起こりソヴィエト政権が日露協約を破棄。

3　西原借款（1917～18年）

①目的　北方軍閥の〔　　　　　　　〕政権を援助し中国での支配権伸長を図る

②経過　〔　　　　　　　　　〕首相が私設秘書**西原亀三**を通じ無担保で巨額の**借款**を与える

③結果　中国を 1917年に第一次世界大戦へ参戦させるが段祺瑞が３年後に失脚

④影響　列強や中国民衆から内戦激化の原因を作ったとして激しい非難を浴びる

段祺瑞

まとめ　日本が第一次世界大戦に参戦した名目は，日英同盟だった。
日本が第一次世界大戦に参戦した実情は，大陸への進出だった。

Chapter2　日本のシベリア進出

目標
日露戦争後の日本が外交の２本柱としていた条約をおさえよう。
日本がシベリアからなかなか撤兵しなかった理由を考えてみよう。

1　日本から見たロシアの動き

①〔　　　　　　　　〕→日露戦争（1904～05年）後に接近

A　第一次日露協約（1907年）
日本が南満洲・大韓帝国〔韓国〕，ロシアが北満州・外蒙古を勢力範囲とする。

B　第二次日露協約（1910年）
自国の満州における特殊利益擁護のための自由行動を相互に承認，第三国＝アメリカの満州進出を阻止するための共同行動を約束。

C　第三次日露協約（1912年）
前年の辛亥革命を契機に浮上した外蒙古独立問題に対応し，内蒙古における両国利益範囲の東（日本）西（ロシア）分割を約束。

D　**第四次日露協約**（1916年）
条約範囲を全中国に拡大，第三国＝アメリカ・イギリスの中国支配を防ぎ，極東での相互の特殊利益擁護を約束。

②〔　　　　　　〕**革命**（1917年）
ソヴィエト政権が誕生し，旧ロシア帝国が締結した秘密協定をすべて公表・破棄。

2 シベリア出兵〔対ソ干渉戦争〕（1918～22年）

①目的

A　ロシア革命で誕生した社会主義のソヴィエト政権への干渉

B　東部シベリア・北満州への勢力拡大

②出兵（1918年）

チェコスロバキアを創設しようとするチェコの武装集団や旧ロシア国民救出を名目に，〔　　　　　　　　〕**内閣**がアメリカ・イギリス・フランスらとの**共同出兵**を決定。

※日本ではこれに伴い米価が高騰し，米騒動が起きる。

③経過

1920年には列国は**シベリア出兵〔対ソ干渉戦争〕**から手を引くが日本は駐留を続け，抗日パルチザンに襲われる**尼港〔ニコライエフスク〕事件**が起こるなど，形勢は悪化。

※同年，日本は〔　　　　　　〕を占領し，列国に領土的野心を疑われ非難が高まった。

④撤兵（1922年）

多大な戦費と兵力７万 2000 人をつぎ込み，約 3000 人の死者と２万人以上の負傷者を出し，〔　　　　　　　　　　〕**会議終了後**に加藤友三郎内閣が撤兵を完了。

⑤影響

第一次世界大戦後の国際平和体制の下で，列国の日本への警戒心が強まる。

1922年当時のソ連

まとめ

日露戦争後の日本外交の２本柱は日英同盟と日露協約であった。
日本は多大な戦費や兵力をつぎ込んでいたので，何の成果もあげないままシベリアから撤兵することをためらっていた。

第７講　PART4　確認問題

1 1914年，ドイツに宣戦布告して第一次世界大戦に参戦した内閣はどれか。

① 第一次山本権兵衛内閣　② 第二次大隈重信内閣
③ 第二次西園寺公望内閣　④ 第三次桂太郎内閣

2 第一次世界大戦で陸軍が占領した山東半島の中心都市はどこか。

① 長春　② 旅順
③ 大連　④ 青島

3 日本は二十一カ条の要求を中華民国の何政権に対して出したか。

① 蔣介石　② 袁世凱
③ 段祺瑞　④ 孫文

4 二十一カ条の要求の内容に**あてはまらない**のはどれか。

① 日本軍の中国への駐留　② 漢冶萍公司の日中共同経営
③ 南満州鉄道の租借期限延長　④ 山東省のドイツ権益接収の承認

5 1917年に日本とアメリカが結んだ協定を何というか。

① フセイン・マクマホン協定　② サイクス・ピコ協定
③ 石井・ランシング協定　④ 桂・タフト協定

6 私設秘書西原亀三を派遣し，中国に無担保で巨額の借款を与えた首相はだれか。

① 寺内正毅　② 原敬
③ 大隈重信　④ 高橋是清

7 アメリカ・イギリスの中国支配を防ぎ，極東での日露共同戦線結成を約束した同盟はどれか。

① 第一次日露協約　② 第二次日露協約
③ 第三次日露協約　④ 第四次日露協約

8 シベリア出兵を行った首相はだれか。

① 高橋是清　② 原敬
③ 大隈重信　④ 寺内正毅

9 シベリアの尼港で，日本軍がロシアの抗日パルチザンに襲撃された事件はどれか。

① ノモンハン事件　② ニコライエフスク事件
③ サライェヴォ事件　④ アムリットサール事件

10 1920年に日本が占領したのはどこか。

① 北樺太　② 南樺太
③ 旅順　④ 大連

はじめに

『ベーシックレベル歴史総合』にようこそ！

この講座は，学年や文系・理系を問わず，歴史総合という科目を好きになってもらい，さらに現代の社会を考える土台となる知識をつけてもらうためのものです。

みなさんが学ぶ「**社会**」は，**地理歴史科**と公民科という教科に分かれます。その地理歴史科のなかで地理総合と**歴史総合**，公民科のなかで公共という３つの科目が，**必修**となっています。

歴史総合は，世界が広くつながり，それぞれ違う国家・地域・民族・宗教などの間でもめ事も多くなった**近代**と，私たちの社会に直接つながる**現代**を，日本と世界の歴史を特に分けることなく，総合的に学んでいくものです。

歴史は覚えればオシマイの「暗記」科目と言われがちですが，深く「理解」したり自ら「思考」したりした方が楽しく，知識が定着します。この講座では，それを大きな目標として，さまざまな写真や絵画，地図や動画なども用意し，みなさんに教室という枠組みから飛び出すような体験をしてもらいますね。

僕は正直，受講後に「歴史って楽しいな」「歴史を学ぶとこういうことに気づくな」「自分だったらこうしたのにな」などなど，一人ひとりが色々な感想・気づきを持ってくれれば十分ですが，たぶん知らず知らずのうちに知識が定着していくだろうなと，秘かに期待しています。

①受講の際の「３つの約束」

A　色々なたとえ話をおり交ぜて講義をしていきます。「**耳で**」受けてください。

B　授業は重要語句の空所補充形式で進んでいきます。「**手で**」受けてください。

C　学びのある写真・絵画・図・動画などを挟みます。「**目で**」受けてください。

②板書について

チョークの色は，**テキスト部分を白，空所補充部分を黄で書いています**。少し難しめの知識をメモ的に追加する場合は赤で書いています。

③予習・復習について

予習は必要ありません。復習は，１パート（＝４ページ）ごとにテキストをざっと見直す⇒確認問題を解くというだけです。

※覚えていないのに問題を解くのですか？　とよく聞かれます。すでに覚えているなら解く必要はないですよね。解いてから覚えるのではなく，解いて，間違えて覚えるのです。

あとは講義で。　　伊藤賀一

目次

＜後編＞

第8講　【近代編】民主主義的風潮 ---------- 4
第9講　【現代編】国際協調体制 ---------- 28
第10講　【現代編】戦間期の大衆化 ---------- 52
第11講　【現代編】経済危機と第二次世界大戦 ---------- 76
第12講　【現代編】戦後の国際秩序とアジアの独立 ---------- 100
第13講　【現代編】冷戦の展開と世界経済 ---------- 124
第14講　【現代編】冷戦の終結と社会の変容 ---------- 148
第15講　【現代編】グローバル化と現代の諸課題 ---------- 172

＜前編＞

第0講　【近世編】大航海時代と主権国家体制の確立 ---------- 4
第1講　【近世編】アジアの繁栄と近世の日本 ---------- 28
第2講　【近代編】欧米の市民革命と産業革命 ---------- 52
第3講　【近代編】アジア諸地域の変化と日本の開国 ---------- 76
第4講　【近代編】欧米の国民国家形成 ---------- 100
第5講　【近代編】近代日本の確立 ---------- 124
第6講　【近代編】帝国主義の発展 ---------- 148
第7講　【近代編】第一次世界大戦とロシア革命 ---------- 172

第８講　【近代編】民主主義的風潮
PART1 東アジアの民族運動

Chapter1　第一次世界大戦と中国

目標
東アジアで社会運動・民族運動が活発化した２つの要因を理解しよう。
朝鮮の三・一運動と中国の五・四運動の違いをおさえよう。

1　第一次世界大戦と東アジア

①第一次世界大戦による**ヨーロッパ勢力の後退**

空前の好景気により，日本や中国では都市労働者や学生が増加，ある程度自由な言論も見られ，社会運動・民族運動が活発化した。

②中国の〔　　　　　〕**革命**→新文化運動の一環

A　〔　　　　　　　〕が雑誌**『新青年』**を創刊

※「民主と科学」をスローガンに西欧文化を紹介し，儒教道徳を批判。李大釗とともにマルクス主義〔共産主義〕の研究も行う。

B　**胡適**の〔　　　　　〕**文学**→口語文学

C　〔　　　　　〕の『狂人日記』『阿Q正伝』→中国人の暗黒面を描く

※儒教道徳に縛られて現実を見ようとしない，国民性の改造を急務と考えていた。

魯迅

2　東アジアの民族運動

①**朝鮮**の〔　　　　　　　〕**運動〔万歳事件〕**（1919年）→〔　　　　　〕**運動**

ロシア革命（1917年）や第一次世界大戦後の民族自決の潮流に呼応し，排日運動が〔　　　　　〕（現在のソウル）から広がる。**朝鮮総督府**は，警察・憲兵・軍隊を動員し厳しく鎮圧。

※４月には，独立運動諸団体を統合した大韓民国臨時政府が，中国の上海で結成された。

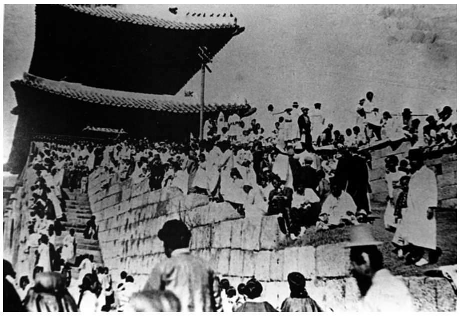
※以後，日本は朝鮮総督の資格者を現役武官から文官にまで拡大，憲兵警察も廃止するなど植民地統治方針の改善を試み，武断政治から**文化政治**という同化政策に転換。

②**中国**の〔　　　　　　　〕**運動**（1919年）**→愛国運動**

日本に対し，日本が二十一カ条の要求（1915年）で得た権益の直接還付を求める学生・商人・労働者の反日運動が首都の〔　　　　　〕から広がる。

※中華民国政府は，高まる反帝国主義運動の中で〔　　　　　　　　　　　　　　〕**条約の調印を拒否**せざるを得なかった。

※のちワシントン会議（1921～22年）の場を借りて山東懸案解決条約が結ばれ，**日本が山東半島の旧ドイツ権益を中国に返還**することになった。また，九カ国条約では中国の主権尊重と領土保全も約束された。


三・一運動

五・四運動

まとめ

第一次世界大戦によるヨーロッパ勢力の後退と，戦後の民主主義的風潮が，東アジアの社会運動・民族運動を活発化させた。
朝鮮の三・一運動は独立運動で，中国の五・四運動は愛国運動である。

Chapter2　中国の統一運動

目標
1920～30年代の中国の二大勢力をそれぞれおさえよう。
日本がなぜ北伐を阻止しようとしていたのか，その理由を考えよう。

1　中国国民党と国民政府の成立

①**中国**〔　　　　　　〕の結成（1919年）
1913年，袁世凱政権に対する第二革命失敗後，国民党の解散を受け〔　　　　〕が亡命先の東京で結成した秘密結社「中華革命党」を改称。のちソ連の援助を受け入れて顧問を招く。

②カラハン宣言（1919・20年）
ソヴィエト＝ロシアの外務人民委員代理が，旧ロシア政府が有していた一切の帝国主義的特権の放棄を宣言。

③**第一次**〔　　　　　　　　〕（1924年）
孫文が，国民党の近代化を図るとともに，共産党員が個人資格で入党することを認めた。
※孫文は「連ソ・容共・扶助工農」を掲げ，軍閥・帝国主義を打倒する路線を進めたが翌25年に病死，国民党内の左右対立が激しくなる。

④〔　　　　　　　　〕**運動**（1925年5月30日）
上海の在華紡（日本人が経営する紡績工場）での労働争議を契機に起こった，反帝国主義運動。

⑤孫文の後を継いだ蔣介石による**国民政府**の樹立（1925年）→広州にて

2　北伐

①〔　　　　〕の開始（1926年）→28年まで
国民党右派の〔　　　　　　〕率いる**国民革命軍**〔北伐軍〕が，北京政府を動かしていた**張作霖**らの軍閥制圧による中国統一を目指して北上。翌27年には上海・南京を占領。

蔣介石

②上海クーデタ〔四・一二クーデタ〕（1927年4月12日）
共産党の弾圧により国共合作が崩れ（＝国共分裂），北伐は一時中断。
〔　　　　〕に〔　　　　　　　　〕を建てた蔣介石が主席に就任した。

③北伐再開（1928年）

蔣介石は，上海を中心に中国の経済界を支配していた**浙江財閥**と結び，アメリカ・イギリスの支援の下に中国統一政権の樹立を目指した。

※日本は前年から３次にわたる山東出兵を実行し，妨害をはかる。

④**張作霖爆殺事件**と北伐完了（1928年）

日本の**関東軍**が，支援していた奉天軍閥の張作霖が北伐軍に敗れ北京から満州〔東北〕に引き上げる途中，もはや利用価値なしとして爆殺。

※関東軍は，混乱に乗じて満州占領を図るも失敗。張作霖の子の〔　　　　　　〕が北伐軍に合流し，統一は一応完了。満州にも国民党の青天白日旗が掲げられる。

3　中国共産党と中華ソヴィエト共和国臨時政府の成立

①**中国**〔　　　　　　〕の結成（1921年）

コミンテルン〔第３インターナショナル〕の支援により,〔　　　　　　〕を指導者に結成。

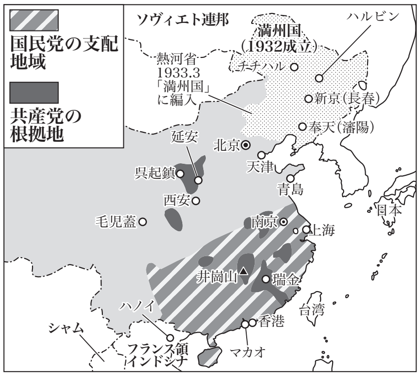
②孫文による第一次国共合作（1924年）

③蔣介石の上海クーデタによる国共分裂（1927年）

共産党は,のち数回の蜂起を試みたが失敗。農村でソヴィエト政権をつくる方針に転換し，〔　　　　　　〕率いる**紅軍**が井崗山で築いた根拠地は次第に広がった。

④**中華ソヴィエト共和国臨時政府**の成立（1931年）

江西省の**瑞金**で成立し，毛沢東を主席とした。南京の国民政府は包囲戦を繰り返したが，これを消滅させることはできず。



1920年～30年代の中国

まとめ　1920～30年代の中国の二大勢力は，国民党と共産党であった。
日本は満州進出を考えていたので中国の統一は避けたかった。

第 8 講　PART1　確認問題

1 中国で，雑誌『新青年』を創刊し，儒教道徳を批判したのはだれか。

① 陳独秀　② 李大釗
③ 魯迅　④ 胡適

2 『狂人日記』『阿Q正伝』を著し，中国人の暗黒面を描いたのはだれか。

① 胡適　② 魯迅
③ 陳独秀　④ 李大釗

3 1919年に朝鮮全土で起こった独立運動を何というか。

① 義兵闘争　② 第二次国共合作
③ 三・一運動　④ 五・四運動

4 1919年に北京から広がった，中国の愛国運動を何というか。

① 三・一運動　② 五・四運動
③ 第二次国共合作　④ 義兵闘争

5 中華民国政府が調印を拒否せざるを得なかった条約はどれか。

① ロカルノ条約　② ヴェルサイユ条約
③ サン・ステファノ条約　④ サン = ジェルマン条約

6 1919年に中国で結成された政党はどれか。

① 中国共産党　② 中華革命党
③ 中国同盟会　④ 中国国民党

7 1925年に上海で在華紡での労働争議を契機に起こった運動はどれか。

① 三・一運動　② 五・四運動
③ 五・三〇運動　④ 義兵運動

8 北伐を開始した国民革命軍を率いたのはだれか。

① 陳独秀　② 孫文
③ 張作霖　④ 蔣介石

9 満州〔東北〕を支配した奉天軍閥の首領で, 1928年に関東軍に爆殺されたのはだれか。

① 張学良　② 張作霖
③ 陳独秀　④ 毛沢東

10 中華ソヴィエト共和国臨時政府が成立した都市はどこか。

① 瑞金　② 南京
③ 北京　④ 上海

PART2 南アジア・東南アジアの民族運動

Chapter1　インドの民族運動

目標
第一次世界大戦後，インドの民族運動が盛り上がった理由を考えよう。
インド国内の二大派閥と，対立の背景を理解しよう。

1　第一次世界大戦後のインドの民族運動

① 1919年**インド統治法**（1919年）

イギリスは，第一次世界大戦中に約束したインド自治を州行政の一部しか認めず。同時に強圧的な**ローラット法**を制定し，民衆の反発を受けた。

②〔　　　　　　　　　〕の登場→ 1920年の**国民会議派**大会で**非協力運動**を提示

〔　　　　　　〕・**不服従**運動「サティヤーグラハ〔真理の把握〕」を掲げた，インド独立の父。「**マハトマ**〔偉大なる魂〕」の尊称がある。

※ 1922年にインド民衆による警察官殺害事件が発生し，運動はいったん中止に。

※運動方針や宗教的な対立からムスリムは反国民会議派・親イギリス路線に。

ガンディーの塩の行進

2 インドの民族運動の発展

①憲政改革調査委員会〔サイモン委員会〕の設置（1927年）

インド人が含まれておらず，民族運動が再燃。

②〔　　　　　　〕の登場

1929年，ネルーら国民会議派内の急進派が完全独立〔プールナ＝スワラージ〕を決議。

穏健派のガンディーを呼び戻し，1930年にイギリスの専売打破のため「**塩の行進**」を実施。

③英印円卓会議（1930～32年）

ロンドンに３回にわたりインドの諸勢力を招集したが，第１回と第３回は国民会議派がボイコットしたうえ，全般的に紛糾して成果は上がらず，民族運動が本格化した。

④ **1935年インド統治法**（1935年）

州政治のみインド人に移譲し，中央の行政・財政・防衛・外交はイギリスが掌握し続けた。

⑤**全インド＝ムスリム連盟**による〔　　　　　　　　　　〕建設目標決議（1940年）

ジンナーが指導者として運動を牽引。

ネルー

ジンナー

まとめ

自治を認める約束をイギリスが守らず，インドの民族運動が高揚した。

ヒンドゥー教徒たちの国民会議派とイスラーム教徒たちの全インド＝ムスリム連盟は，宗教上の問題もあり対立を深めた。

Chapter2　東南アジアの民族運動

目標
アジアで民族運動を指導した人の特徴を考えてみよう。
東南アジアで唯一独立を維持していたタイの変化について知ろう。

1　第一次世界大戦後の東南アジア支配地の民族運動

①〔　　　　　　　　　　〕の民族運動

A　〔　　　　　　　　〕が支配＝**蘭印**

B　インドネシア共産党の結成（1920年）
　　アジア初の共産党だが弾圧により壊滅

C　**インドネシア国民党**の結成（1927年）
　　〔　　　　　　　　〕を党首とする
　　※翌年，統一祖国・民族・言語を目指す宣言を行う。

スカルノ

②〔　　　　　　　　　〕の民族運動

A　〔　　　　　　　　〕が**ベトナム**・カンボジア・ラオスを支配＝**仏印**

B　ベトナム青年革命同志会の結成（1925年）
　　フランス渡航歴のある〔　　　　　　　　　　　　　　〕が中心

C　ベトナム共産党に発展（1930年）
　　同年に**インドシナ共産党**と改称

③〔　　　　　　〕（現在のミャンマー）の民族運動

A　〔　　　　　　　　〕が支配

B　1920年代から民族運動がスタート
　　あ　僧侶による啓蒙運動
　　い　急進的民族主義者たちのタキン党が台頭

④〔　　　　　　　　　　〕の民族運動

A　**スペイン**を破った〔　　　　　　　　〕が支配

B　議会の開設（1907年）

政治面ではフィリピン人への権限移譲が進む

※経済面ではアメリカに大きく依存していたので，農民たちは反乱を繰り返した。

C　アメリカ議会でフィリピン独立法の制定（1934年）

アメリカが 10年後の独立を約束

※翌 35年に独立準備政府が発足。

2　第一次世界大戦後の東南アジア独立維持地域の民族運動

①〔　　　　〕の民族運動

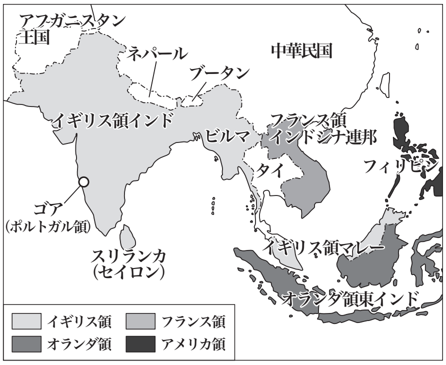
A　**独立を維持**

B　立憲革命（1932年）

専制的な王制から立憲君主制へ

②その他→なし

※シンガポールを含む海峡植民地や**マレー連合州**も**イギリス**の支配を受けていたので，タイだけが独立を維持していた。



第一次世界大戦後の南・東南アジアの地図

まとめ
宗主国へ渡航歴のある人たちが，アジアの民族運動を指導した。
タイでは立憲革命が起こり，専制的な王制から立憲君主制へと移行した。

第 8 講　PART2　確認問題

1 1919年，イギリスがインドの反英運動弾圧のために発布した法律はどれか。

① ローラット法　② ベンガル分割令
③ インド統治法　④ ワグナー法

2 1920年の国民会議派大会で非協力運動を提示したのはだれか。

① ネルー　② ジンナー
③ ティラク　④ ガンディー

3 ガンディーの尊称はどれか。

① プールナ＝スワラージ　② サティヤーグラハ
③ アタテュルク　④ マハトマ

4 1929年に完全独立を決議した，国民会議派内の急進派の指導者はだれか。

① ガンディー　② ジンナー
③ ネルー　④ ティラク

5 1930年代に展開されたインド民族運動と**関係のないもの**はどれか。

① 「塩の行進」の実施　② 全インド＝ムスリム連盟の結成
③ 英印円卓会議の開催　④ 新しいインド統治法の成立

6 全インド＝ムスリム連盟を指導し，パキスタン建設運動を牽引したのはだれか。

① ネルー　② ガンディー
③ ティラク　④ ジンナー

7 1927年，インドネシアで結成されたインドネシア国民党の党首となったのはだれか。

① ホー＝チ＝ミン　② スハルト
③ スカルノ　④ シハヌーク

8 第一次世界大戦後，ベトナムを支配していた国はどこか。

① イギリス　② フランス
③ オランダ　④ アメリカ

9 ベトナム青年革命同志会の中心となったのはだれか。

① スカルノ　② スハルト
③ シハヌーク　④ ホー＝チ＝ミン

10 東南アジアで唯一独立を維持した国はどこか。

① インドネシア　② フィリピン
③ タイ　④ マレー連合州

PART3 イスラーム諸国の民族運動

Chapter1　トルコ革命

目標
トルコ革命の一番のキーワードをおさえよう。
第一次世界大戦後の不平等条約の改正について知ろう。

1　オスマン帝国の敗戦

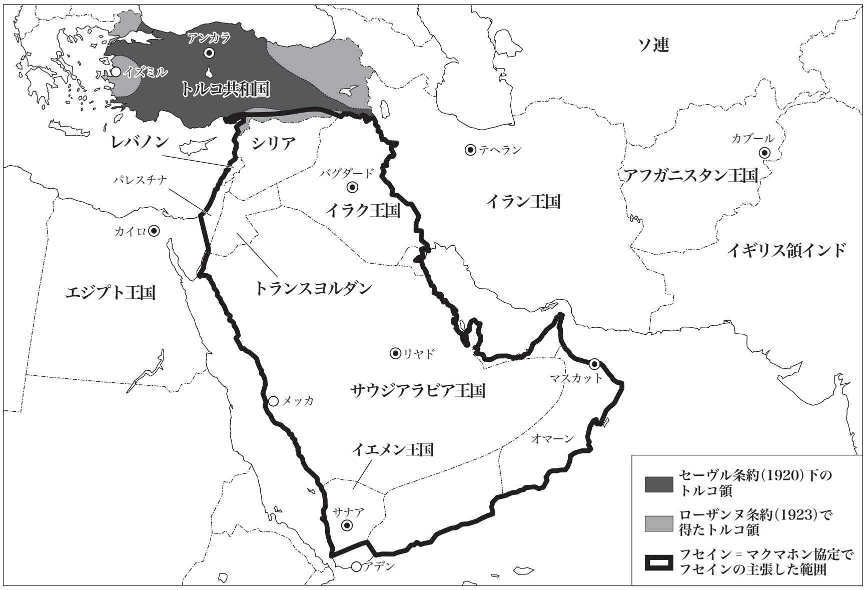
オスマン帝国は，ドイツ・オーストリア・ブルガリアとともに，敗北した同盟国側だった。

①**サイクス＝ピコ協定**（1916年）

イギリス・フランス・ロシアが第一次世界大戦後のオスマン帝国領の扱い（パレスチナの国際管理など）を定めた秘密協定。国土分割の危機に直面。

②〔　　　　　　　　〕**条約**（1920年）

パリ近郊で締結された，協商国〔連合国〕とオスマン帝国の講和条約。



第一次世界大戦後の西アジア

2 トルコ革命（1919〜23年）

〔　　　　　　　　　　　〕の過程で，1300年ごろから続いた**オスマン帝国**が 1922年に滅亡した。

①ギリシア軍によるエーゲ海沿岸地域の占領（1919年）

軍人の**ムスタファ = ケマル**（のちのケマル = アタテュルク）が抵抗運動を主導し，トルコ大国民議会を組織。1922年にはギリシア軍を撃退してイズミルを回復。

※同年にスルタン制，24年にカリフ制も廃止。

②**ローザンヌ条約**（1923年）→セーヴル条約は破棄

連合国との間に新たな国境を定めて不平等条約を撤廃

※治外法権を撤廃し関税自主権を回復した。

③〔　　　　　　〕**共和国**の成立（1923年）→首都アンカラ

ケマル = アタテュルク〔アタテュルク＝父なるトルコ人〕が初代大統領となり，**政教分離**・太陽暦〔グレゴリオ暦〕の採用・女性解放などに加え，アラビア文字に代えて〔　　　　　　〕**字**を採用する「文字改革」も行い，近代化を推進。

※トルコの歴史とトルコ語の教育を通じて**ナショナリズム〔国家主義・民族主義〕**を育成。

④トルコ共和国憲法の制定（1924年）

ケマル = アタテュルク

まとめ　トルコ革命は，ヨーロッパにならった「近代化」を推進した。
セーヴル条約を破棄して結ばれたローザンヌ条約では，治外法権が撤廃され関税自主権を回復した。

Chapter2　他のイスラーム諸国の動向

目標
アラブ諸国が統一できない大きな宗教・宗派上の理由を理解しよう。
現在に至る「パレスチナ問題」の背景を理解しよう。

1　イスラーム諸国の民族運動

①〔　　　　　　　　　　　　　〕の独立（1919年）→もと**イギリス**の保護国
　第三次アフガン戦争の結果，立憲君主制による完全独立を果たした。
②〔　　　　　　　　〕**王国**の成立（1922年）→もと**イギリス**の保護国
　第一次世界大戦後，**ワフド党**を中心に独立運動を展開。
　※イギリスが保護権を放棄したが，〔　　　　　　〕**運河**支配などの特権は留保していた。
　※ 1936年に同盟条約を締結，エジプトが主権を認められたが，スエズ運河地帯駐屯権は残るなど，完全独立ではなかった。
③**イラン〔ペルシア〕**で**パフレヴィー朝**が成立（1925年）
　→大戦中イギリス・ロシアの介入
　弱体化していたカージャール朝で，**レザー＝ハーン**（のちレザー＝シャー）がクーデタにより実権を握り，自らシャー〔国王〕を称するが，石油利権は引き続きイギリスが有した。
　※国名も他称のペルシアから自称のイランに改め，ナショナリズムを鼓舞。
④〔　　　　　　　　　　　　　〕**王国**の成立（1932年）→イギリスの介入
　イブン＝サウードがイギリスの援助を得て独立。さらにヒジャーズ王国のフセインを破り，アラビア半島の大部分を統一した。
⑤**イラク王国**が独立（1932年）→もとイギリスの委任統治領
⑥**レバノン**がシリアから分離し独立（1943年）→もとフランスの委任統治領
⑦シリアが独立（1946年）→もとフランスの委任統治領
⑧トランスヨルダンが王国として独立（1946年）→もとイギリスの委任統治領

2　パレスチナ問題の発生

地中海東岸の南部地域である〔　　　　　　　　〕地方は，現在に至るまで「**パレスチナ問題**」と呼ばれる民族紛争・宗教紛争が続いている。

※イギリスの「三枚舌外交」の結果，第一次世界大戦後は**イギリスの委任統治領**になったことが契機。

①**フセイン＝マクマホン協定**（1915年）

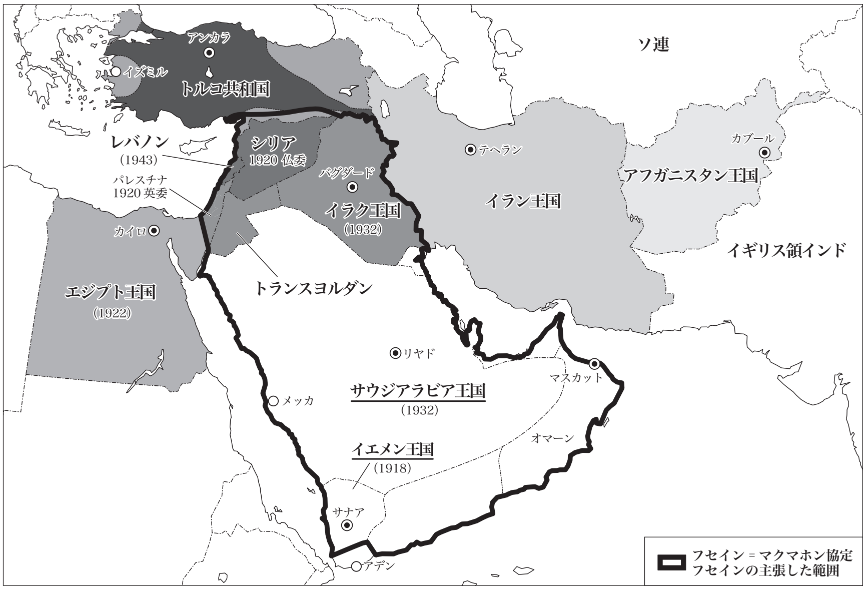
〔　　　　　〕**人**の独立支援を約束。

②サイクス＝ピコ協定（1916年）

パレスチナの国際管理を取り決めた英・仏・露の秘密協定。

③**バルフォア宣言**（1917年）

〔　　　　　〕**人**のパレスチナ復帰運動〔シオニズム〕支援を約束。



第一次世界大戦後の西アジア

まとめ　**イスラーム教には反目し合うスンナ派とシーア派があることからも，アラブ人の統一は難しい。**
第一次世界大戦期のイギリスの「三枚舌外交」がパレスチナ問題の発端となった。

第８講　PART3　確認問題

1　1916年に締結された，第一次世界大戦後のオスマン帝国領の扱いについて定めたものはどれか。

①　ロンドン秘密条約　　②　バルフォア宣言
③　サイクス＝ピコ協定　　④　フセイン＝マクマホン協定

2　1920年に，協商国〔連合国〕とオスマン帝国が結んだ講和条約はどれか。

①　セーヴル条約　　②　トリアノン条約
③　ヌイイ条約　　④　ローザンヌ条約

3　1923年に，協商国〔連合国〕とトルコ共和国が結んだ条約はどれか。

①　ロカルノ条約　　②　トルコマンチャーイ条約
③　ローザンヌ条約　　④　トリアノン条約

4　トルコ共和国の初代大統領となったのはだれか。

①　スカルノ　　②　ケマル＝アタテュルク
③　ネルー　　④　ホー＝チ＝ミン

5　トルコ共和国で実施されたのはどれか。

①　祭政一致の原則　　②　ナショナリズムの育成
③　太陰暦の採用　　④　アラビア文字の採用

6 もとイギリスの保護国で，ワフド党を中心に独立運動が展開され，1922年に王国が成立した国はどこか。

① サウジアラビア　② レバノン
③ アフガニスタン　④ エジプト

7 クーデタでカージャール朝を倒し，イラン〔ペルシア〕の実権を握ったのはだれか。

① レザー＝ハーン　② ケマル＝アタテュルク
③ イブン＝サウード　④ ホメイニ

8 1932年にサウジアラビア王国を建国し，初代国王となったのはだれか。

① イブン＝サウード　② レザー＝ハーン
③ フセイン　④ ケマル＝アタテュルク

9 もとフランス委任統治領で，1943年にシリアから分離独立した国はどこか。

① イラク王国　② アフガニスタン
③ レバノン　④ トランスヨルダン王国

10 ユダヤ人のパレスチナ復帰運動〔シオニズム〕支援を約束したのはどれか。

① サイクス＝ピコ協定　② フセイン＝マクマホン協定
③ ロンドン秘密条約　④ バルフォア宣言

PART4 アフリカの民族運動と東欧・バルカン地域の動揺

Chapter1　アフリカの民族運動

目標　アフリカと欧米における黒人たちの運動が結合した時期を知ろう。
最終的にアフリカの多くが独立した時期を知ろう。

1　アフリカにおける民族運動

アフリカは 20 世紀初頭までに，ほぼ全ての領域がヨーロッパの〔　　　　　　〕とされていた。

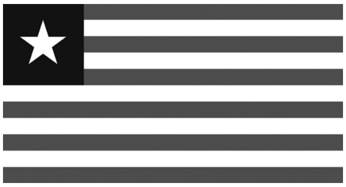
①〔　　　　　　　　〕**民族会議**〔ANC〕創設（1912年，南アフリカ）
人種差別撤廃を目指す運動が始まる。

②第一次世界大戦後に世界的潮流の中で民族運動が広がる

③植民地化されていなかった２国

A　〔　　　　　　　　　　〕**帝国**
1895～96年のイタリアによるエチオピア侵入は，横断政策を推進中のフランスの支援により失敗していた
※エチオピアが列強諸国の対立を上手く利用して独立を保った。

B　**リベリア共和国**
アメリカ合衆国の解放奴隷を中心に，ギニア湾岸の西部地域で1847年に独立
※アフリカで唯一の黒人共和国。


リベリア国旗

2　欧米におけるパン = アフリカ主義運動

①**パン = アフリカ会議**の開催（1900年）
ロンドンで，欧米の植民地主義への抗議と〔　　　　〕**差別反対**を訴える。

②第一次世界大戦後のパン = アフリカ会議（1919年）
パリで，アフリカの植民地における漸進的・段階的自治の推進などを決議。

3 第二次世界大戦後のアフリカ諸国の独立

①戦後のアフリカ諸国の独立

A リビア（1951年）→イタリアから

B モロッコ・チュニジア（1956年）→フランスから

C **ガーナ**（1957年）→イギリスから

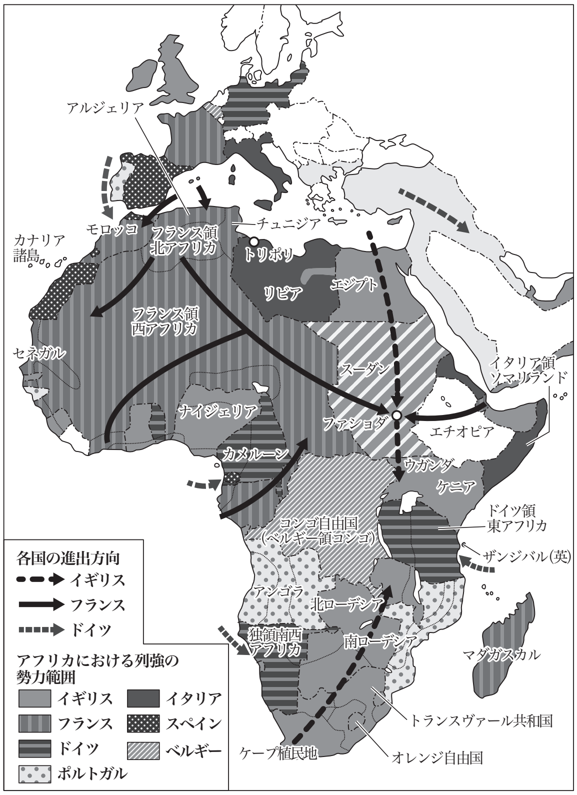
エンクルマを中心に初の自力独立の黒人共和国

D 17 カ国「〔 〕**の年**」（〔 〕**年**）

E アルジェリア（1962年）→フランスから

②アフリカ統一機構〔ＯＡＵ〕の結成（1963年）

③**アフリカ連合〔ＡＵ〕**の結成（2002年）



アフリカ分割

まとめ
アフリカの民族運動と欧米のパン＝アフリカニズムの結合は，第二次世界大戦後を待たなければならなかった。
多くのアフリカ諸国の独立は，1950 ～ 60年代に果たされた。

Chapter2　東欧諸国の独立とバルカン地域の動揺

目標
オーストリア = ハンガリー帝国の解体についておさえよう。
セルビアなど南スラブ系民族の動向を知ろう。

1　東欧諸国の動揺

第一次世界大戦中・後，東ヨーロッパと北ヨーロッパでは，旧オーストリア = ハンガリー帝国と旧ロシア帝国領から独立した，多くの新興国が成立した。

※ハンガリー・**チェコスロヴァキア**とフィンランド・ポーランド・エストニア・ラトヴィア・リトアニア。

※しかし，経済的な苦境から，1920年代には過激な民族主義や強権政治で国民を統合しようとする国が増えた。

①［　　　　　　　　　　］

オーストリア = ハンガリー帝国は 1918年に解体。

A　ハンガリー革命（1918～19年）
　ハンガリーでロシア革命に影響を受けた革命がいったん成功

B　ハンガリー・ルーマニア戦争（1918～19年）
　共産党政権「ハンガリー = ソヴィエト共和国」がルーマニアに倒される

C　ハンガリー王国の成立を宣言（1920年）→ルーマニアは撤退
　しかし国王は空位のまま強権的な権威主義体制が続いた

D　**トリアノン条約**（1920年）
　ハンガリーと協商国〔連合国〕との講和条約。

②［　　　　　　　　　　］

A　ポーランド = ソヴィエト戦争（1920～21年）
　ウクライナに侵攻しソヴィエト = ロシアと戦い領土を拡大
　※ウクライナの一部とベラルーシの一部を得る。

B　ピウスツキが実権掌握（1926年）
　議会政治が混乱し独立運動の指導者がクーデタを起こす

2 バルカン地域の動揺

第一次世界大戦後，バルカン地域でも新興国が成立した。

①**ヌイイ条約**（1919年）

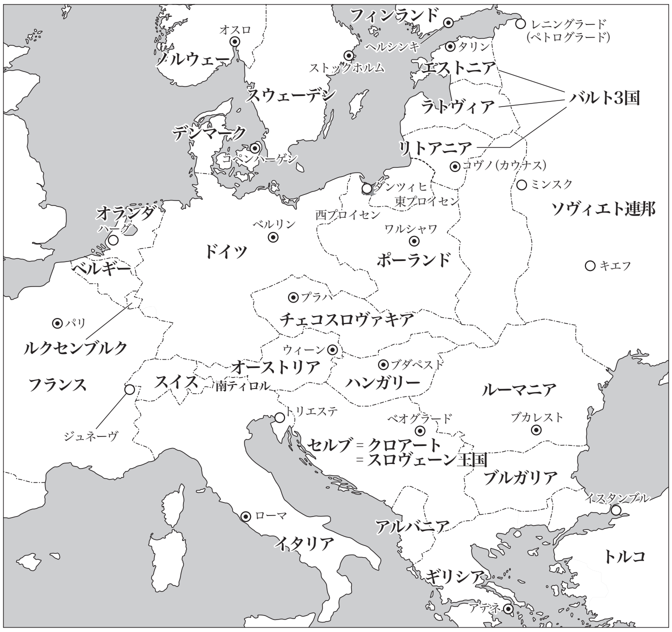
同盟国側だった［　　　　　　　　　　］と協商国〔連合国〕との講和条約。

※領土をルーマニアに返還。セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国とギリシアにも領土を割譲。

②フィウメ併合（1924年）

イタリアのムッソリーニが，セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国と協定を結び併合。

③セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国が**ユーゴスラヴィア**と改称（1929年）



第一次世界大戦後のヨーロッパ

まとめ　オーストリア＝ハンガリー帝国からハンガリーが独立し共和国となった。
セルビア・クロアチア・スロヴェニアは，セルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国としてまとまり，のちユーゴスラヴィアと改称した。

第 8 講 PART4 確認問題

1 1912年に南アフリカで創設され，人種差別撤廃を目指す運動を展開した組織はどれか。

① アフリカ民族会議 ② アフリカ諸国首脳会議
③ アフリカ統一機構 ④ パン＝アフリカ会議

2 欧米の植民地主義への抗議と人種差別反対を訴え，1900年にロンドンで初めて開催された会議はどれか。

① アフリカ統一機構 ② アフリカ諸国首脳会議
③ パン＝アフリカ会議 ④ アフリカ民族会議

3 アメリカ合衆国の解放奴隷を中心に，1847年に独立した国はどこか。

① アルジェリア ② リビア
③ リベリア共和国 ④ エチオピア帝国

4 初の自力独立の黒人共和国として，1957年にイギリスから独立した国はどこか。

① ガーナ ② モロッコ
③ リビア ④ チュニジア

5 ガーナで独立運動の中心となったのはだれか。

① ピウスツキ ② セク＝トゥーレ
③ ルムンバ ④ エンクルマ

6 アフリカ連合の略称はどれか。

① EU　② AU
③ OAU　④ OAS

7 ハンガリーと協商国〔連合国〕が 1920年に結んだ講和条約はどれか。

① ローザンヌ条約　② サン = ジェルマン条約
③ セーヴル条約　④ トリアノン条約

8 第一次世界大戦中・後に成立した新興国に**あてはまらない国**はどこか。

① チェコスロヴァキア　② リトアニア
③ エストニア　④ アルバニア

9 協商国〔連合国〕とヌイイ条約を結んだ国はどこか。

① オーストリア　② ブルガリア
③ オスマン帝国　④ トルコ

10 1929年, セルブ = クロアート = スロヴェーン王国は改称され, 何という国になったか。

① ウクライナ　② チェコスロヴァキア
③ フィウメ　④ ユーゴスラヴィア

第９講　【現代編】国際協調体制
PART1 第一次世界大戦後の国際協調

Chapter1　ヴェルサイユ体制

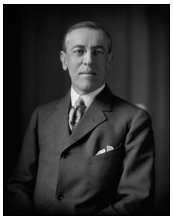
目標
第一次世界大戦の講和の基礎となった原則を知ろう。
ヨーロッパにおける戦後の新国際秩序を理解しよう。

1　パリ講和会議

①〔　　　　　　　〕(1918年１月)

前年に参戦した**アメリカ大統領**〔　　　　　　　　〕(民主党) が発表。ロシア革命の社会主義に対抗しようとした。

※**秘密外交の廃止**，海洋の自由，関税障壁の廃止，〔　　　　　〕**縮小**，**ヨーロッパ諸国民の**〔　　　　　　〕，植民地問題の公正な解決，**国際平和機構の設立**など。


ウィルソン

②第一次世界大戦終結 (1918年11月)

③〔　　　〕**講和会議** (1919年) 連合国代表が集まる

イギリスやフランスは植民地などの既得権益を手放さず，ドイツなどの敗戦国に厳しい態度を示す。

※民族自決の適用はオーストリア・オスマン帝国・旧ロシア下の諸民族に限定され，ドイツの植民地・租借地が列強に分配されたことは，アジア・アフリカの人々を失望させた。

A　**アメリカ大統領　ウィルソン**→イギリス・フランスを抑制

B　**イギリス首相　ロイド＝ジョージ**→フランスを抑制
　　イラク・トランスヨルダン・パレスチナを委任統治

C　**フランス首相**〔　　　　　　　　　〕→ドイツを厳しく制裁
　　シリアを委任統治

D　日本代表　西園寺公望
　　サイパン・パラオを委任統治

E　イタリア
　　「未回収のイタリア」のうち南チロル・トリエステの譲渡を受けたがフィウメは国際連盟の管理下に置かれる

2　ヴェルサイユ条約とヴェルサイユ体制

①〔　　　　　　　　　　〕**条約**（1919年６月）→**ドイツ**と連合国の講和条約。

A　ドイツはすべての〔　　　　　　〕を失う

B　〔　　　　　　　　〕・**ロレーヌ**をフランスに返還

C　ポーランドなど周辺国に国境地域を割譲

D　**ラインラント**（＝ライン川両岸地域）の非武装化

E　軍事制限

あ　徴兵制の廃止

い　陸海軍の制限

う　戦車・軍用機・潜水艦保有の禁止

F　巨額の〔　　　　〕**金**支払い→ 1921年に 1320 億金マルクと決定

②**サン＝ジェルマン条約**（1919年９月）→〔　　　　　　　　　　〕の講和条約

③**ヌイイ条約**（1919年11 月）→**ブルガリア**の講和条約

④**トリアノン条約**（1920年６月）→〔　　　　　　　　　〕の講和条約

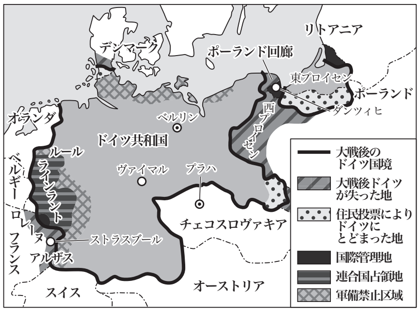
⑤**セーヴル条約**（1920年８月）→**オスマン帝国**の講和条約

⑥〔　　　　　　　　　　〕**体制**→ヨーロッパにおける「ドイツ封じ込め」

パリ講和会議で決定した，国際連盟設置を含む**ヨーロッパの新国際秩序・国際平和体制**。

※〔　　　　　　　　〕は，上院（当時は共和党が強い）の反対によりヴェルサイユ条約を批准できず，国際連盟にも加盟しなかった。

※〔　　　　〕は，日本の利権を認めたヴェルサイユ条約に不満があり調印しなかった。



第一次世界大戦後のドイツ

まとめ　パリ講和会議の基礎は，アメリカ大統領ウィルソンの十四カ条であった。
第一次世界大戦後のヨーロッパの新国際秩序を，ヴェルサイユ体制という。

Chapter2　ワシントン体制

目標
日本はなぜ戦勝国なのに欧米列強に封じ込められたのだろう？
日本はなぜ積極的にヴェルサイユ・ワシントン体制を受け入れたのだろう？

1　ワシントン会議

①〔　　　　　　　　　　〕**会議**（1921～22年）

アメリカ大統領〔　　　　　　　　　　　　　　〕（共和党）が提唱。アメリカ・イギリス・日本など９カ国が参加。

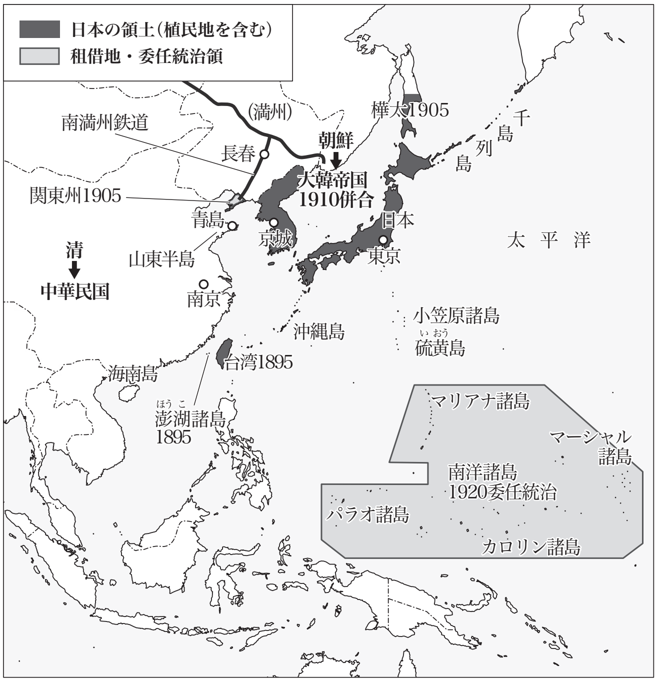
②日本の立場→“列強の審判廷に引き出される被告”

A　日本代表は**加藤友三郎**（海軍大臣）・徳川家達（貴族院議長）・幣原喜重郎（駐米大使）

B　〔　　　　　　　　　〕**からの撤兵**を宣言（1922年）

C　山東懸案解決条約で**山東半島の旧ドイツ権益を**〔　　　　　〕**に返還**（1922年）

ワシントン会議の風刺画



ヴェルサイユ体制下の日本の領土

2　３つの条約とワシントン体制

①〔　　　　　　〕**条約**（1921年）

アメリカ・イギリス・日本・フランスが，〔　　　　　　〕諸島の現状維持を約束。

※これにより〔　　　　　　　〕を解消（1923年）。

②〔　　　　　　〕**条約**（1922年）

アメリカ・イギリス・日本・フランス・イタリア・オランダ・ポルトガル・ベルギー・**中国**が，〔　　　　〕の主権尊重・領土保全と各国の経済上の中国における門戸開放・機会均等を約束。

※これにより日米間の**石井・ランシング協定**を破棄（1923年）。

③**ワシントン**〔　　　　　　　〕**条約**（1922年）

アメリカ・イギリス・日本・フランス・イタリアが，〔　　　　〕**艦**の保有トン数比率を定め，今後 10年間の建造も禁止。

※保有トン数比率は，米英５：日本３：仏伊 1.67。日本の海軍軍令部は「対英米７割」を主張し反対。

④〔　　　　　　　　　　〕**体制→**アジア・太平洋地域における「日本封じ込め」

ワシントン会議で決定した，**アジア・太平洋地域の新国際秩序・国際平和体制**。

※第一次世界大戦後の不況に悩む日本も，アメリカを中心に「国際協調・軍備縮小」を唱えるヴェルサイユ・ワシントン体制を積極的に受け入れ，日米の経済関係も極めて良好だった。

まとめ

日本は第一次世界大戦中に二十一カ条の要求・西原借款・シベリア出兵などで大陸への領土的野心を見せたため欧米列強から警戒された。

日本は第一次世界大戦後の不況に悩んでいたので，新たな国際秩序・国際平和体制を積極的に受け入れた。

第 9 講　PART1　確認問題

1 1918年に十四カ条の平和原則を発表したのはだれか。

① フーヴァー　② ウィルソン
③ クレマンソー　④ ハーディング

2 パリ講和会議に参加したイギリス首相はだれか。

① クレマンソー　② ハーディング
③ ロイド＝ジョージ　④ マクドナルド

3 ドイツと連合国の講和条約で，ドイツがロレーヌとともにフランスに返還したのはどこか。

① ラインラント　② トリエステ
③ アルザス　④ トランスヨルダン

4 各旧同盟国と結ばれた講和条約の組合せとして正しいのはどれか。

① オスマン帝国ートリアノン条約
② ハンガリーーヌイイ条約
③ ブルガリアーセーヴル条約
④ オーストリアーサン＝ジェルマン条約

5 パリ講和会議で決定したヨーロッパの新国際秩序・国際平和体制を何というか。

① ワシントン体制　② ヴェルサイユ体制
③ ウィーン体制　④ ウェストファリア体制

6 ドイツと連合国の講和条約を批准できず，国際連盟にも**加盟しなかった**国はどこか。

① イギリス　② アメリカ
③ フランス　④ 中国

7 ワシントン会議に日本代表として参加した海軍大臣はだれか。

① 加藤友三郎　② 西園寺公望
③ 幣原喜重郎　④ 山本権兵衛

8 1921年に結ばれた，太平洋諸島の現状維持に関する条約はどれか。

① 四カ国条約　② 不戦条約
③ 九カ国条約　④ ワシントン海軍軍縮条約

9 中国問題に関して結ばれた条約により，破棄されたものはどれか。

① 日露協約　② 桂・タフト協定
③ 日英同盟　④ 石井・ランシング協定

10 ワシントン海軍軍縮条約で定められた米英日の主力艦保有トン数比率はどれか。

① 5：5：1.67　② 5：5：3
③ 5：1.67：3　④ 5：3：1.67

PART2 国際連盟と不戦条約

Chapter1　国際連盟

目標
国際平和の維持方式の，第一次世界大戦前後での変化を知ろう。
国際連盟の最大の問題点について考えよう。

1　国際連盟の成立

①〔　　　　　　　　　〕の性格

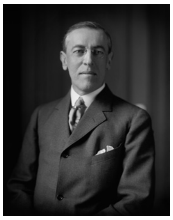
A　世界の恒久**平和**を目指す史上初の大規模な国際機構
　国際平和の維持と人類文化の向上が目的
　※平和の維持には失敗したが，文化交流には成果をあげた。

B　第一次世界大戦前の**勢力均衡方式**から〔　　　　　　　　　　　　〕**方式へ**
　行動を律するための国際法の原則を確立

C　戦勝国に有利な状況を維持する側面も強い
　42 カ国の原加盟国はヨーロッパにかたよっていた

②提唱者

アメリカ大統領〔　　　　　　　　　　〕（民主党）


ウィルソン

③本部

スイスの〔　　　　　　　　　　〕。

※**総会**・理事会・連盟事務局を中心に運営。**初代事務次長**には日本の〔　　　　　　　　　　〕が就任。

新渡戸稲造

④**常任理事国**

イギリス・フランス・イタリア・〔　　　　〕

※ 1926年に**ドイツ**，34年に**ソ連**も加わる。

※ 1933年に日本・ドイツ，37年にイタリアが国連を脱退。39年にフィンランドに侵攻したソ連が国連を除名される。

⑤その他

国際労働機関〔ＩＬＯ〕（1919年，ジュネーヴで設立），常設国際司法裁判所（1921年，オランダのハーグで設立）を付置。

2 国際連盟の問題点

①**大国の不参加**

A 〔　　　　　　　　〕は国際的負担に**上院が反対**しヴェルサイユ条約を批准せず

B 敗戦国の〔　　　　　　〕はロカルノ条約を締結し 1926年に加盟

C 社会主義のソヴィエト＝ロシアは排除（のちに**ソ連**が承認され 1934年，加盟）

②総会における**全会一致制**の原則

多数決制に比べ審議が進みにくいので，実際の運用では緩和された。

③〔　　　　　　　　〕**規定の欠如**

経済制裁しかできず，第二次世界大戦の発生を防げなかった。

※しかし，中小諸国の国境紛争調停には成果をあげた。

④その他

パリ講和会議で日本が提出した，連盟規約への〔　　　　　　　　　　　　〕**案**は，アメリカ・イギリスの反対により**却下**。

まとめ　国際平和の維持方式は，勢力均衡方式から集団安全保障方式へ変化した。
国際連盟の最大の問題点は，最強国であるアメリカの不参加だった。

Chapter2　さらなる国際協調と軍縮

目標
不戦条約の，国際連盟と比べたときの意義を考えてみよう。
ワシントン・ロンドン会議による軍縮の目的を理解しよう。

1　さらなる国際協調

第一次世界大戦後しばらくは，国境画定や講和条件に反発する国際紛争が続発したが，1924年以降，〔　　　　　　　　〕**主義**の機運が広がる。

①**ルール占領**（1923～25年）

ドイツの賠償支払いの不履行を口実に〔　　　　　　　　〕・ベルギーが実行。

※ドイツは不服従運動で抵抗したが生産が停滞し経済は混乱。フランスも莫大な駐留費用に悩み，翌年のドーズ案を機に撤退。

②〔　　　　　　　　〕**条約**（1925年）

イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ポーランド・チェコスロヴァキアが結んだ集団安全保障条約の総称。

※スイスのロカルノで仮調印，イギリスのロンドンで本調印。**ドイツ外相シュトレーゼマン**が活躍。

③ドイツの国際連盟加盟（1926年）

常任理事国となり，ドイツが国際社会に復帰。

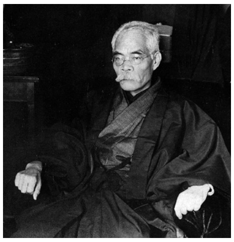
シュトレーゼマン

④（パリ）〔　　　　　〕**条約〔ブリアン・ケロッグ条約〕**（1928年）

15カ国（のち63カ国）が調印。国際紛争解決の手段として〔　　　　　〕に訴えないことを確認。

※**フランス外相ブリアンとアメリカ国務長官ケロッグ**が提唱。日本代表は内田康哉（元外相）。

※条約は国家政策の手段としての戦争を放棄することを「其ノ各自ノ**人民ノ名ニ於テ**」宣言したが，日本政府は翌年の批准に際し，この部分は天皇主権で臣民しか存在しない日本には適用されない，とした。



浜口雄幸

2　さらなる軍縮

①〔　　　　　　　　　〕**会議**（1930年）

イギリス首相マクドナルドが提唱。アメリカ・イギリス・日本・フランス・イタリアの５カ国が参加し，ワシントン会議で残されていた〔　　　　　〕艦の制限を話し合う。

※日本代表は立憲民政党の**若槻礼次郎**（元首相）・財部彪（海軍大臣）。

②ロンドン〔　　　　　　　　　〕**条約**（1930年）

アメリカ・イギリス・日本が，〔　　　　　〕**艦**の保有トン数比率を定め，日本は米英10：日７の「対米英７割」を総トン数のみ確保。フランス・イタリアは調印せず。

※また，主力艦の保有制限および建造禁止を1936年まで５年延長。

③日本における〔　　　　　　　〕**干犯問題**（1930年）

軍令部長の反対を押し切り**浜口雄幸内閣**（立憲民政党）が調印したことを，軍令部・枢密院・立憲政友会・右翼などが大日本帝国憲法第11条**「統帥権」の干犯**にあたると攻撃。

※内閣は，輔弼事項である第12条「編制権」を主張し枢密院の同意を取りつけて条約を批准。浜口首相は東京駅で右翼に狙撃され重傷を負い，翌年の退陣後に亡くなった。

まとめ

国際連盟に不参加だったアメリカが参加したことに，不戦条約の大きな意義があった。
軍縮により第一次世界大戦後の列国の負担を軽減するとともに，日本の海軍力の制限により米英優位の維持をはかった。

第 9 講　PART2　確認問題

1 第一次世界大戦前と国際連盟における安全保障の形態の組合せとして正しいのはどれか。

① 第一次世界大戦前－勢力均衡方式　国際連盟－勢力均衡方式
② 第一次世界大戦前－勢力均衡方式　国際連盟－集団安全保障方式
③ 第一次世界大戦前－集団安全保障方式　国際連盟－勢力均衡方式
④ 第一次世界大戦前－集団安全保障方式　国際連盟－集団安全保障方式

2 国際連盟の創設を提唱したのはだれか。

① クレマンソー　② ハーディング
③ ロイド＝ジョージ　④ ウィルソン

3 国際連盟の運営の中心となったのはどれか。

① 総会　② 安全保障理事会
③ 経済社会理事会　④ 信託統治理事会

4 1926年に国際連盟の常任理事国となった国はどこか。

① 日本　② ドイツ
③ フランス　④ ソ連

5 イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ポーランド・チェコスロヴァキアが結んだ集団安全保障条約の総称はどれか。

① トリアノン条約　② ロカルノ条約
③ ヴェルサイユ条約　④ セーヴル条約

6 不戦条約を提唱したのはだれか。

① ケロッグ　② シュトレーゼマン
③ マクドナルド　④ ハーディング

7 ロンドン会議を提唱したのはだれか。

① ウィルソン　② ハーディング
③ ブリアン　④ マクドナルド

8 ロンドン会議に日本代表として出席した元首相はだれか。

① 幣原喜重郎　② 若槻礼次郎
③ 浜口雄幸　④ 新渡戸稲造

9 ロンドン海軍軍縮条約に**調印しなかった国**はどこか。

① フランス　② イギリス
③ アメリカ　④ 日本

10 軍令部長の反対を押し切り，ロンドン海軍軍縮条約に調印した内閣はどれか。

① 若槻礼次郎内閣　② 犬養毅内閣
③ 田中義一内閣　④ 浜口雄幸内閣

PART3 西欧の停滞とソ連の社会主義建設

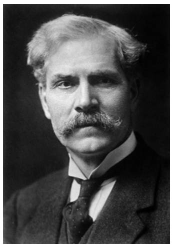
Chapter1　西欧諸国の停滞

目標
第一次世界大戦後，西ヨーロッパ諸国を苦しめたものを理解しよう。
第一次世界大戦後のドイツの国家体制をおさえよう。

1　戦勝国イギリス・フランス・イタリア

イギリスとフランスは，第一次世界大戦後に海外領土を増やしたが，大戦で受けた経済的打撃から回復せず，不況に苦しんだ。

※イタリアは期待していた領土拡大を実現できず, 講和条約に不満を持ち, 戦後のインフレーション〔物価高〕で生活を破壊され，人々は政治不信を強めた。


マクドナルド

①〔　　　　　　　　〕→〔　　　　　〕**権拡大**と労働党の台頭

A　第４回選挙法改正（1918年）

21 歳以上の男子と 30 歳以上の女子に選挙権を拡大

B　第５回選挙法改正（1928年）

21 歳以上の男女に選挙権を拡大

C　〔　　　　　　〕の**マクドナルド**が自由党と連立内閣を組閣（1924年）

労働党は**保守党**に次ぐ第２党となっていた

D　労働党が初めて第１党となる（1929年）

マクドナルドが再組閣

②〔　　　　　　　　〕→ドイツの強国化を恐れる

A　**ルール占領**（1923～25年）

ポワンカレ右派内閣が賠償支払い不履行を理由にベルギーとともに強行

B　左派連合政権の登場（1924年）

対ドイツ強硬外交が国際的批判を浴び失敗したため

C　〔　　　　　　　　〕の外相就任（1925年）

ドイツとの和解に努め国際協調に貢献

※ 1928年，パリで 15 カ国が**不戦条約〔ブリアン・ケロッグ条約〕**に調印。

③〔　　　　　　　　〕→ファシズム政権の登場

〔　　　　　　　　　　　〕率いる**ファシスト党**が勢力を拡大し，**一党独裁体制**を確立

2 敗戦国ドイツとイギリス自治領アイルランド

①〔　　　　　　〕→**ヴァイマル共和国**となる（1919年）

A 〔　　　　　　　　　〕**憲法**の制定（**1919年**）

あ　軍部など保守勢力と結んだ社会民主党がドイツ共産党を抑え込む

※共産党はスパルタクス団を中心に結成。しかし，指導者のローザ = ルクセンブルクとカール = リープクネヒトが右翼軍人に殺害された。

い　社会民主党の**エーベルト**を大統領に選出

B 不服従運動（1923年）

フランス・ベルギーによるルール占領に抵抗

※生産が停滞し激しいインフレーションが起こる。

C 〔　　　　　　　　　　　　　〕が首相に就任（1923年）

レンテンマルクを発行してインフレを克服

②〔　　　　　　　　　　〕→イギリス自治領となる

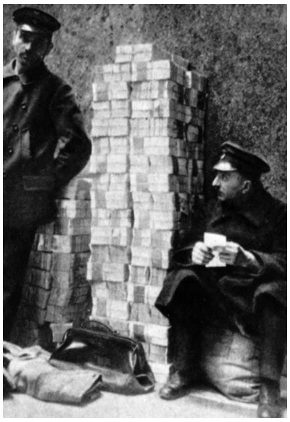
A 北アイルランドを除きアイルランド自由国として自治領となる（1922年）

B ウェストミンスター憲章が成立（1931年）

各自治領はイギリス連邦の一員として王冠への忠誠の下に本国と対等の地位を得る

C **エール**を国名とし事実上連邦から離脱（1937年）

独立派が王冠への忠誠宣言を廃止して独自の憲法を制定



兵士に払われた給料の札束

まとめ

第一次世界大戦後，西欧諸国は不況やインフレーションに苦しんだ。

第一次世界大戦後，ドイツは社会民主党を中心に共和国となった。

Chapter2　ソ連の社会主義建設

目標
レーニンの後継者争いに勝利したスターリンの唱える社会主義論とは？
第一次五カ年計画の目的は何だろう？

1　スターリンの登場

①［　　　　　　　　　　　］の台頭（1922年）→共産党書記長となる

一国社会主義論を掲げる

②［　　　　　　　　　］の死（1924年）→後継者争いが起きる

③**トロツキー**の失脚（1925年）

世界革命論を主張していたがスターリンとの権力闘争に敗れる

※「大粛清」が進み，のちに国外追放となり 1940年にメキシコで暗殺される。

スターリン

レーニンの演説

トロツキーが消された同じ演説の写真

2　ソ連の社会主義建設

①**第一次**〔　　　　　　〕**計画**の実行（1928～32年）

スターリンが，レーニンが始めた新経済政策〔ネップ〕（1921年～）から**重工業化の推進**による社会主義建設に転換。農業国から工業国への転換をはかる。

※ロシア革命直後の経済政策は，戦時共産主義（1918～21年）だった。

②〔　　　　〕**の集団化・機械化**の強行→重工業化の前提として穀物生産の増大をはかる

ソヴィエト政府は，多数の富農や集団化に抵抗する農民を逮捕・投獄・強制収容所送りとし，生産物の強制供出を実行。

※ 1932～33年，農民に多数の餓死者が出たが，集団化がほぼ完了。

A　**集団農場〔コルホーズ〕**の建設を強行

土地・農具・家畜を共有する農民の共同農業経営組織

B　**国営農場〔ソフホーズ〕**の建設を強行

農業経営モデルとなる国営の大規模農場

③コミンテルン〔第３インターナショナル〕の課題の変化

マルクス以来の世界革命論ではなく，スターリンの一国社会主義論を支持。

※ソ連国家やソ連共産党の擁護を主要な課題とするようになった。

まとめ

スターリンは，従来の世界革命論から一国社会主義論に転換した。

第一次五カ年計画の目標は，ソ連を農業国から工業国（特に重工業）に転換することだった。

第９講　PART3　確認問題

1　イギリスで，男女平等の選挙権を認めたのは第何回の選挙法改正か。

① 第２回　② 第３回
③ 第４回　④ 第５回

2　1924年にイギリスで連立内閣を組閣したのはだれか。

① エーベルト　② ブリアン
③ マクドナルド　④ ビスマルク

3　第一次世界大戦後に起こった，フランスの出来事はどれか。

① ルール占領　② ウェストミンスター憲章成立
③ 不服従運動　④ ヴァイマル憲法成立

4　1925年にフランスの外相となったのはだれか。

① ブリアン　② ポワンカレ
③ ド＝ゴール　④ クレマンソー

5　イタリアでファシスト党を率いたのはだれか。

① シュトレーゼマン　② ヒトラー
③ ムッソリーニ　④ フランコ

6 ドイツで1919年に大統領に選出されたのはだれか。

① ヒンデンブルク　② カール＝リープクネヒト
③ エーベルト　④ ローザ＝ルクセンブルク

7 アイルランドに関係する出来事のうち，1922年に起こったのはどれか。

① エールの成立　② ウェストミンスター憲章の成立
③ シン＝フェイン党の成立　④ アイルランド自由国の成立

8 ソ連で1922年に共産党書記長となったのはだれか。

① レーニン　② スターリン
③ ケレンスキー　④ トロツキー

9 世界革命論を主張したものの，1925年に失脚したのはだれか。

① スターリン　② トロツキー
③ フルシチョフ　④ レーニン

10 ソ連で建設された国営農場を何というか。

① コミンテルン　② コルホーズ
③ ソフホーズ　④ ネップ

PART4 第一次世界大戦前後の日本と欧米

Chapter1　第一次世界大戦前・大戦中の日本と欧米

目標
日露戦争後，日米関係が悪化した背景を理解しよう。
第一次世界大戦中，日本が大戦景気となった理由を考えよう。

1　第一次世界大戦前の日本と欧米

第一次日英同盟協約を締結（1902年）して日露戦争（1904～05年）に勝利，不平等条約の改正も達成した日本に対し，欧米で**黄禍論**が広がり警戒意識が強くなった。

①〔　　　　　　　　〕→日露戦争後，**満州市場をめぐり日米関係は悪化**

A　満州問題

日露が共同してアメリカを市場参加させなかった

B　**在米移民問題**

西海岸のカリフォルニア州を中心に日本人排斥運動が激化

※日本は日米紳士協定を結び，ハワイを含む新たな移民希望者に旅券を発行しないことを約束（1907～08年）。

②〔　　　　　　　　〕→日露戦争後，**日英関係は次第に冷却**

A　**第二次日英同盟協約**（1905年）

あ　適用範囲を極東からインドまで拡大

い　有効期限 10年の**攻守同盟**に

B　**第三次日英同盟協約**（1911年）

あ　**アメリカの第三国適用を除外**

い　有効期限 10年

③〔　　　　　　〕→日露戦争後，**日露両国が接近**

A　**第一次日露協約**（1907年）

日本が**南満洲・韓国**，ロシアが北満州・外蒙古を勢力範囲とすることを約束

B　第二次日露協約（1910年）

アメリカの満州進出を阻止するための共同行動を約束

C　第三次日露協約（1912年）

日本が東部内蒙古，ロシアが西部内蒙古を利益範囲とすることを約束

2　第一次世界大戦中の日本と欧米

①**日本**→好景気を背景に大陸へ進出

A　〔　　　　　　　　〕を口実としてドイツに宣戦し協商国〔連合国〕側で参戦

B　**大陸への進出**

あ　中華民国**袁世凱**政権に対する〔　　　　　　　　　　〕**の要求**

い　軍閥の段祺瑞に対する**西原借款**

う　**シベリア出兵**の継続（1918～22年）

成金「暗くてお靴がわからないわ」

C　〔　　　　〕**景気**（1915～19年ごろ）→成金も登場

あ　ヨーロッパへの軍需品・日用品の大量輸出

い　**アジア**への**綿織物・綿糸**輸出の伸長

う　〔　　　　　　　　〕への**生糸**輸出の伸長

D　金本位制の離脱（1917年）

アメリカ参戦の影響

②〔　　　　　　　　〕→日本を牽制

A　**ドイツの無制限潜水艦作戦に激怒**し参戦を表明（1917年）

B　金本位制の離脱（1917年）

C　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕**協定**（1917年）

中国の領土保全・門戸開放と日本の特殊権益を確認

D　**シベリア出兵**（1918～20年）

イギリス・フランス・日本などを誘いロシア革命に干渉

③**ロシア**→ロシア革命で崩壊

A　**第四次日露協約**（1916年）

アメリカ・イギリスの中国支配を防ぎ極東での相互の特殊利益擁護を約束

B　**ロシア革命**（1917年）

帝政ロシアが崩壊してソヴィエト政権が成立

まとめ　日露戦争後，満州問題と在米移民問題で日米関係は悪化した。
第一次世界大戦中，日本は戦場にならず，欧米，アジアそれぞれの貿易が拡大して好景気を迎えた。

Chapter2　第一次世界大戦後の日本と欧米

目標
1920年代，欧米相手に日本がどんな外交を展開したか理解しよう。
1920年代，日本が中国でとっていた行動をおさえよう。

1　ワシントン体制下の日米・日中関係

①**協調外交**の展開

原敬以降の内閣は，アメリカを中心とする国際協調・軍備縮小のヴェルサイユ・ワシントン体制を積極的に受け入れた。

※アメリカも，ウィルソン大統領（民主党）の理想主義的な外交から，ハーディング→クーリッジ→フーヴァー大統領（いずれも共和党）の現実主義的な経済外交に方針を転換し，日米関係も良好だった。

※日本は主に〔　　　　〕を輸出，アメリカから機械類や石油を輸入した。

②中国との関係悪化

A　**第一次**〔　　　　〕**合作**（1924年）

中国国民党の孫文が中国共産党との協力体制を確立

B　**五・三〇事件**（1925年）→**五・三〇運動**へ

上海の**在華紡**で発生した中国人労働者のストライキが反帝国主義の大暴動へと発展

五・三〇運動

2 第一次世界大戦後の日本外交年表

1919年 〔　　　　　〕**講和会議・ヴェルサイユ条約**
三・一独立運動（朝鮮）・五・四運動（中国）

1920年 〔　　　　　　　　　〕の成立→本部はスイスのジュネーヴ

1921年 〔　　　　　　　　　　　〕**会議**（～22年）・**四カ国条約**

1922年 **九カ国条約・ワシントン海軍軍縮条約**（主力艦の保有制限）
シベリアからの撤兵完了

1924年 第一次国共合作

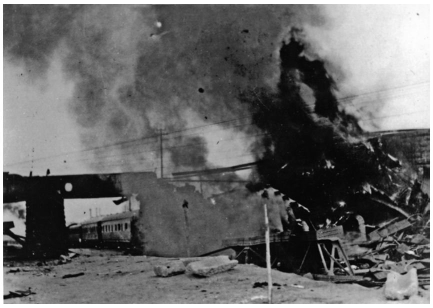
1925年 **日ソ基本条約**→社会主義国ソ連を承認
五・三〇運動

1926年 蔣介石による北伐開始

1927年 上海クーデターにより国共合作崩壊・南京に国民政府成立
第一次山東出兵・東方会議
ジュネーヴ海軍軍縮会議が決裂

1928年 北伐再開
第二・三次山東出兵→出兵中に武力衝突の済南事件起こる
張作霖爆殺事件〔満州某重大事件〕
（パリ）**不戦条約**〔ブリアン・ケロッグ条約〕

1930年 〔　　　　　　　　　〕**海軍軍縮会議・ロンドン海軍軍縮条約**（補助艦の保有制限）



張作霖爆殺事件

まとめ
1920年代，日本は対欧米に関しては「協調外交」の立場をとっていた。
1920年代，日本はワシントン体制の枠組みの中で，さらなる中国進出をはかった。

第９講　PART4　確認問題

1　アメリカの第三国適用除外を決定したのはどれか。

①　第二次日英同盟協約　②　第三次日英同盟協約
③　第二次日露協約　④　第三次日露協約

2　日本が南満洲・韓国，ロシアが北満州・外蒙古を勢力範囲とすることを定めたのはどれか。

①　第一次日露協約　②　第二次日露協約
③　第三次日露協約　④　第四次日露協約

3　日本が西原借款を行ったのは中華民国の何政権に対してか。

①　孫文　②　袁世凱
③　段祺瑞　④　蔣介石

4　第一次世界大戦中，アメリカへの輸出の中心となった品目はどれか。

①　生糸　②　綿糸
③　綿織物　④　軍需品

5　1917年に日本が石井・ランシング協定を結んだ国はどれか。

①　アメリカ　②　イギリス
③　フランス　④　ドイツ

6 第一次国共合作で，中国共産党との協力体制を確立したのは中国国民党のだれか。

① 蔣介石　② 段祺瑞
③ 孫文　④ 袁世凱

7 パリ講和会議の結果として，連合国とドイツの間で締結された第一次世界大戦の講和条約はどれか。

① トリアノン条約　② ブリアン・ケロッグ条約
③ ロカルノ条約　④ ヴェルサイユ条約

8 ワシントン会議に基づき成立した条約に**あてはまらないもの**はどれか。

① 四カ国条約　② ワシントン海軍軍縮条約
③ 九カ国条約　④ ロンドン海軍軍縮条約

9 主力艦の保有制限について定めた条約はどれか。

① ジュネーヴ海軍軍縮条約　② 九カ国条約
③ ワシントン海軍軍縮条約　④ ロンドン海軍軍縮条約

10 1925年に日本とソ連との間で結ばれた条約はどれか。

① 日露和親条約　② 日ソ基本条約
③ 日ソ中立条約　④ 樺太・千島交換条約

第10講 【現代編】戦間期の大衆化
PART1 西欧の混乱とアメリカの繁栄

Chapter1　ドイツ・イタリアの混乱

目標
ドイツの国際社会への復帰の流れをおさえよう。
ファシズムとはどんな体制か理解しよう。

1　ドイツの混乱

シュトレーゼマン

①ドイツの賠償問題とインフレーション

1921年　ドイツの賠償金額決定（1320億金マルク）
※ドイツは支払い延期を要求。

1923年　フランス・ベルギーによるルール占領に対する不服従運動
※破局的な**インフレーション**が発生し，シュトレーゼマン首相が**レンテンマルク**を発行。

1924年　**ドーズ案**
※アメリカの銀行家らによる支払期限の延長と外貨導入による打開策。

②ドイツの国際社会復帰

首相から外相となった〔　　　　　　　　　　　　　　〕が活躍。

1925年　**ロカルノ条約**
※イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ポーランド・チェコスロヴァキアが結んだ集団安全保障条約の総称。ドイツの国際的地位が向上。
※この年，エーベルト大統領が亡くなり**ヒンデンブルク**が大統領に就任。

1926年　ドイツの〔　　　　　　　　　〕加盟
※イギリス・フランス・イタリア・日本とともに常任理事国となる。

1929年　**ヤング案**
※アメリカの銀行家らによる賠償金の減額策（358億金マルク）
※59年の長期払いとしたのでドイツ国内の反対運動を引き起こした。
アメリカ発の〔　　　　　　　　　〕発生
※1931年の**フーヴァー＝モラトリアム**で支払いを1年延期。

1932年　ローザンヌ会議

※賠償金の減額（30億金マルク）により賠償問題は事実上打ち切りに。

2 イタリアのファシズム

〔　　　　　　　　　　〕率いる〔　　　　　　　　〕**党**は，国内危機の原因を〔　　　　〕勢力の活動や，自由主義の下での議会制民主主義にあると考えた。

※左翼運動を暴力で攻撃し，強権的な指導者や国家が生活を統制して国民統合をはかる「（右翼的）**全体主義**＝〔　　　　　　　　〕」を主張。

※政府を攻撃しつつ合法的に政権を奪取した。

1922年　〔　　　　　〕**進軍**→黒シャツ隊による

※ムッソリーニが国王の指示で**首相**に任命され，ファシズム大評議会に権力を集中させて一党独裁体制を確立。

1926年　アルバニアを保護国化

1929年　ラテラノ条約

※**ローマ教皇庁と和解**し，教皇庁〔ヴァチカン市国〕の独立を認める。

ムッソリーニは，大衆動員を積極的に利用し，社会事業や国内開発も推進したが，市民的自由や人権を無視する国家主義を掲げ，反対派を弾圧した。

ムッソリーニのローマ進軍

まとめ　ドイツは，国際連盟加盟と賠償金減額を経て国際社会へ復帰していった。
ファシズムはイタリアで成立した右翼的な全体主義思想をいう。

Chapter2　アメリカ合衆国の繁栄

目標
アメリカが戦後，債権国になることができた理由を考えよう。
戦間期アメリカの“永遠の繁栄”を牽引した政党をおさえよう。

1　アメリカの経済的繁栄

①債務国から**債権国**へ→［　　　　　　　　　　　　］が国際金融市場の中心の一つに

第一次世界大戦（1914～18年）中，連合国へ大量の物資と多額の**借款〔戦債〕**を提供して利益をあげる。戦後，アメリカ国内の市場を高関税政策で保護。

※アメリカは1917年から参戦。

②イギリス・フランスなどが求めた戦債返済免除を拒否

戦後のヨーロッパ経済の復興は遅れるが，**ドーズ案**（1924年）・**ヤング案**（1929年）でドイツの賠償問題解決を主導し，復興は軌道に乗る。

2　アメリカの政治的繁栄

戦間期に**ヴェルサイユ・ワシントン体制**を牽引，“**パクス＝アメリカーナ**〔アメリカの平和〕”状態となる。

①パリ講和会議（1919年）

民主党の**ウィルソン大統領**が十四カ条で主導。ヨーロッパでドイツを封じ込める。

②**国際連盟の加盟は拒否**（1920年）

共和党を中心に孤立主義的雰囲気が高まる。

③ワシントン会議（1921～22年）

アジア・太平洋地域で日本を封じ込める。

④［　　　　］**条約**〔ケロッグ・ブリアン条約〕（1928年）

ケロッグ国務長官がフランス外相ブリアンと主導。

⑤ニューヨークの繁栄

3 繁栄の光と陰

①**民主主義**の基礎の拡大→ 1920年に〔　　　　〕**参政権**が認められる

②〔　　　　〕**党**政権下の自由放任政策による“〔　　　　〕**の繁栄**”の光と陰

A **ハーディング→クーリッジ→**〔　　　　　　　　　〕大統領の３代

B **大量生産・大量消費社会**の形成

C 伝統的な白人社会の価値観を強調

D 〔　　　　　〕を制定（1919～33年）

E **移民法**（1924年）で東欧・南欧系移民を制限し日本を含むアジア系移民を全面禁止

禁酒法

まとめ

アメリカは第一次世界大戦中，連合国に巨額の借款を与え，債権国となった。
戦間期のアメリカの“永遠の繁栄”を主導したのは共和党だった。

第10講　PART1　確認問題

1　ドイツのシュトレーゼマン首相がとったインフレーション対策はどれか。

① ドーズ案の作成　② レンテンマルクの発行
③ ヤング案の作成　④ ローザンヌ会議の開催

2　ドイツの賠償問題について，支払期限の延長と外貨導入による打開策はどれか。

① ヤング案　② ドーズ案
③ ミュンヘン協定　④ ケロッグ・ブリアン条約

3　イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ポーランド・チェコスロヴァキアが結んだ集団安全保障条約の総称を何というか。

① ラテラノ条約　② トリアノン条約
③ ロカルノ条約　④ セーヴル条約

4　ドイツの賠償問題について，賠償金の減額策はどれか。

① ドーズ案　② ケロッグ・ブリアン条約
③ ヤング案　④ ミュンヘン協定

5　1931年，ドイツに対し賠償金支払いの 1 年間停止を宣言したアメリカ大統領はだれか。

① ハーディング　② クーリッジ
③ ウィルソン　④ フーヴァー

6 イタリアのムッソリーニが率いていた政党はどれか。

① ファシスト党　② 青年イタリア
③ カルボナリ　④ 皇帝党

7 イタリアのムッソリーニ政権がローマ教皇庁と和解した条約を何というか。

① ラテラノ条約　② トリアノン条約
③ セーヴル条約　④ ロカルノ条約

8 十四カ条を発表し，パリ講和会議を主導したアメリカ大統領はだれか。

① ハーディング　② フランクリン＝ローズヴェルト
③ フーヴァー　④ ウィルソン

9 国際協調の機運の中，1928年に不戦条約を提唱した人物の組み合わせとして正しいのはどれか。

① ブリアンとマクドナルド　② シュトレーゼマンとブリアン
③ ケロッグとブリアン　④ マクドナルドとケロッグ

10 アメリカの共和党政権下における歴代大統領の順番として正しいのはどれか。

① クーリッジ→フーヴァー→ハーディング
② クーリッジ→ハーディング→フーヴァー
③ ハーディング→フーヴァー→クーリッジ
④ ハーディング→クーリッジ→フーヴァー

PART2 大衆社会の成立

Chapter1　欧米の大衆化

目標　第一次世界大戦を経験した欧米が，なぜ大衆の意向を無視できなくなったか考えよう。
大衆化と，アメリカで起こった反動・負の側面もおさえよう。

1　大衆社会とは？

①〔　　　　〕の登場

19 世紀末～1910年代にかけ，資本主義の発達により**大量**〔　　　　〕・**大量**〔　　　　〕が始まり，人々のライフスタイルに差がなくなってきた。

※さらに，第一次世界大戦で，国民の協力を必要不可欠とする**総力戦**を経験したことで，戦後に平均化された「大衆」の意向を無視することができなくなった。

②**民主主義〔デモクラシー〕**の基礎が確立

大戦の反省や**選挙権の拡大**もあり**大衆の政治参加**が促され，大衆の動向や意思が社会に大きく作用するようになった。

※支配者は大衆の支持を得ようとし，大衆もまた支配者に各種の要求をすることになった。

※大戦中の 1917年に始まった**ロシア革命が成功**したことも，大きな刺激となった。

③〔　　　　　　　　　　〕の発達

A　教育の普及により送り手のみならず受け手の大衆が成長

B　**新聞・雑誌**の発展

C　〔　　　　　〕放送の開始

④近代的家族像

A　都市部では核家族を重視する価値観も

B　生まれながらの格差ではなく学歴重視の傾向も

家電製品と欧米の核家族

2 欧米の大衆社会─アメリカ

①**女子参政権**の実現→**女性の社会進出**

②移民・黒人の就業機会の増加

③大量生産された**自動車**や**家電製品**を大量消費→各種のコマーシャル

④大衆〔　　　　〕も大量消費を促進

A　**ハリウッド映画**・ディズニー映画

B　**ジャズ**

C　〔　　　　〕などのプロスポーツ

D　団体旅行

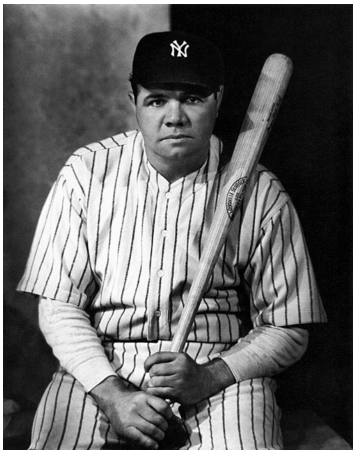
⑤大衆化の反動で伝統文化を重視→**保守化・排外主義化**

A　白人中産階級の規範に従順で規則正しい暮らしを人々に強制

B　白人による有色人種の差別（黒人・アジア系移民など）

⑥反社会主義・反共産主義的風潮

ソ連の脅威



ベーブ＝ルース

まとめ

国民の協力を必要不可欠とする総力戦を経験したことで，戦後，大衆の行動・意向を無視できなくなった。

アメリカでは大衆化の反動で，保守化・排外主義化の傾向が強まった。

Chapter2　日本の大衆文化

目標
女性の社会進出が進んだ一方で，女性たちに足りなかったものを考えよう。
日本国内の大衆文化の進展に差を生んだ要素を考えてみよう。

1　日本における文化の大衆化

①背景

A　義務教育の徹底と**人々の政治意識の高まり**

B　大学令による男子高等教育の拡充と女子中等教育の進展

②思想界の多様化→“〔　　　　　〕**デモクラシー**”

A　〔　　　　　　　　　〕の**民本主義**と**美濃部達吉**の〔　　　　　　　〕**機関説**

B　石橋湛山の小日本主義

C　森戸辰男・河上肇らの社会主義思想

D　北一輝・大川周明らの超国家主義思想

③文学界の多様化

A　反自然主義の諸派→耽美派・白樺派・新思潮派・新感覚派など

B　**プロレタリア文学**

C　**大衆文学**や児童文学

④**ジャーナリズム**の発展と他の発行物

A　**新聞**

有力全国紙が発行部数 100 万部超え

B　**雑誌**

あ　**総合雑誌**→『中央公論』・『改造』など

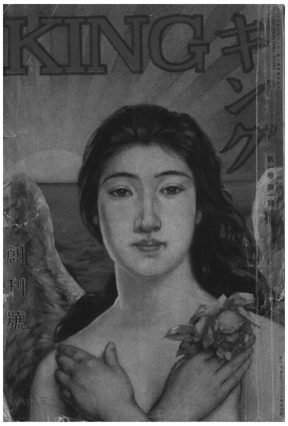
い　週刊誌の登場

う　**大衆（娯楽）雑誌**→『〔　　　　　　　〕』

C〔　　　　　　　〕（1925年に放送開始）

翌 26年に**日本放送協会〔ＮＨＫ〕**設立

D　円本（全集もの）や文庫本・漫画など



『キング』の宣伝ポスター

2　大衆文化の諸相

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕終結などによる**世界的な民主主義的風潮**の中で，都市部を中心に欧米文化が国民的普及を果たし，〔　　　　　〕**文化**となる。

①**女性の社会進出**→〔　　　　　〕**婦人**

②俸給生活者〔サラリーマン〕→**新中間層**

③洋服の着用が一般化→東京には**モボ・モガ**

④洋食が流行し家庭では茶の間のちゃぶ台を囲んでの団らんが見られた

⑤**郊外電車**の沿線に和洋折衷の**文化住宅**が建つ

⑥東京に地下鉄が開通し円タクや乗合自動車〔バス〕も発展

⑦オフィスビルや**デパート〔百貨店〕**

⑧大衆演劇・軽演劇の人気と〔　　　　　〕（無声→有声へ）の発展

⑨野球などの学生スポーツや歌謡曲の人気→ラジオ放送や**蓄音機**の普及

⑩オリンピックへの参加

モボ・モガ

まとめ

女性の社会進出は進んだが，高等教育と選挙権が存在しなかった。
大衆文化は都市部が中心で，農村部は伝統的な価値観で動いていた。

第10講　PART2　確認問題

1　第一次世界大戦後，その基礎が確立されたのはどれか。

①　全体主義　　②　社会主義
③　共産主義　　④　民主主義

2　第一次世界大戦後，大衆化の反動としてアメリカで見られたのはどれか。

①　排外主義化　　②　革新化
③　反社会主義化　　④　反共産主義化

3　吉野作造が提唱したのはどれか。

①　三民主義　　②　民族自決主義
③　平民主義　　④　民本主義

4　天皇機関説を説いたのはだれか。

①　美濃部達吉　　②　北一輝
③　吉野作造　　④　新渡戸稲造

5　『貧乏物語』を著したのち，社会主義思想を説いたのはだれか。

①　大川周明　　②　北一輝
③　河上肇　　④　石橋湛山

6 大衆（娯楽）雑誌の流行のもととなった雑誌はどれか。

① 『改造』　② 『キング』
③ 『中央公論』　④ 『太陽』

7 1冊1円で販売された，安価な全集ものは何といわれたか。

① 文庫本　② 単行本
③ 円本　④ 週刊誌

8 新中間層と呼ばれたのはどのような人々か。

① サラリーマン　② 自営農民
③ 職人　④ 自営業者

9 郊外に建てられた和洋折衷の住宅を何というか。

① モダン住宅　② 近代住宅
③ 洋風住宅　④ 文化住宅

10 大正時代に普及したものとして**あてはまらないもの**はどれか。

① 蓄音機　② 有声映画
③ テレビ放送　④ ラジオ放送

PART3 日本の大正デモクラシー

Chapter1　政党内閣と普通選挙

目標
戦前の政党内閣成立と終焉，それぞれの背景をおさえよう。
戦前と戦後の選挙権の広がりの流れを理解しよう。

1　政党内閣の登場と展開

①政党内閣の成立と挫折

1912年～**第一次護憲運動**「閥族打破・憲政擁護」
※翌 13年, 第三次桂太郎内閣（陸軍･長州閥）を退陣に追い込む（＝大正政変)。

1918年〔　　　　　　〕
※寺内正毅内閣（陸軍・長州閥の“非立憲内閣”）退陣。
〔　　　　　〕**内閣（立憲政友会）→初の本格的政党内閣**
※戦後恐慌の財政難の中で 1921年に東京駅頭で刺殺。

原敬（立憲政友会）

1921年　高橋是清内閣（立憲政友会）→テロで政権交代はない

②“〔　　　　　　　　　　〕”→戦前の８年にわたる二大政党内閣時代

1924年　**第二次護憲運動**
※清浦奎吾内閣（枢密院・官僚閥の“特権内閣”）退陣。
〔　　　　　　　　　〕**内閣**（護憲三派のち憲政会単独）
※ 1925年に**普通選挙法制定**。

加藤高明（憲政会）

1926年　第一次若槻礼次郎内閣（憲政会）
※ 1927年の金融恐慌で退陣。

1927年　田中義一内閣（立憲政友会）
※張作霖爆殺事件の処理で昭和天皇の不信を買い退陣。

1929年　**浜口雄幸内閣**（立憲民政党＝もと憲政会）
※ロンドン海軍軍縮条約の統帥権干犯問題で東京駅で撃たれる。

1931年　第二次若槻礼次郎内閣（立憲民政党）→テロで政権交代はない
※満州事変勃発で退陣。
〔　　　　　　〕**内閣**（立憲政友会）
※満州国を承認せず 1932年の**五・一五事件**で撃たれる。→テロで政権交代

2 普通選挙の開始→選挙権の拡大

1889年　**直接国税**〔　　　〕**円以上を納める**〔　　　〕**歳以上の男子→**総人口の 1.1%

※黒田清隆内閣（薩摩）。同年に貴族院令制定。

1900年　直接国税 **10 円**以上を納める **25 歳以上の男子→**総人口の 2.2%

※第二次山県有朋内閣（長州），同年に治安警察法制定。

1919年　直接国税 **3 円**以上を納める **25 歳以上の男子→**総人口の 5.5%

※原敬内閣（立憲政友会）。

1925年　**25 歳以上の男子**〔　　　〕**選挙→**総人口の約 2 割

※**加藤高明内閣**（護憲三派），同年に治安維持法制定。

・・・

1945年　〔　　　〕**歳以上の国民→**総人口の約 5 割，**女性参政権の実現**

※幣原喜重郎内閣（文官）。

2015年　〔　　　〕**歳以上の国民→**総人口の約 84%

※第三次安倍晋三内閣（自由民主党）。

まとめ

護憲運動などを背景に政党内閣が成立し，テロ事件などを経て終焉した。
戦前も財産条件が緩和されていったが男子に限られ，女性参政権が認められたのは戦後であった。

Chapter2　社会運動の展開

目標
欧米の民主化と，日本の大正デモクラシーの重要な違いを理解しよう。
普通選挙運動と比べたときの，各種の社会運動の特色をおさえよう。

1　“大正デモクラシー”の風潮

あくまでも天皇主権である大日本帝国憲法の枠内で，言論・出版・集会など市民的自由の拡大と大衆の政治参加（政党政治・普通選挙）を求める大正～昭和時代前期の風潮。

※背景は第一次世界大戦（1914～18年），ロシア革命とソ連の成立（1917～22年）。また，国内では米騒動の全国的拡大（1918年）

①啓蒙運動

1916年　東京帝国大学教授**吉野作造**の**民本主義**が総合雑誌『中央公論』誌上で発表

1918年　黎明会の結成→吉野作造・福田徳三ら

（東大）新人会の結成→吉野作造の影響下に赤松克磨ら

②**社会主義運動の再燃**→大逆事件以降の“冬の時代”を脱出

1918年　白虹事件→米騒動に対する大阪朝日新聞筆禍事件

1920年　森戸事件→東大助教授２名が休職処分

日本社会主義同盟の結成→社会主義者の大同団結

1922年　〔　　　　　　　　　　〕の結成→非合法の地下組織

※コミンテルン〔第３インターナショナル〕の指導。

③国家改造運動

ヴェルサイユ条約調印，朝鮮の三･一運動，中国の五･四運動を背景に，超国家主義者たちが展開。

1919年　猶存社の結成→右翼の**北一輝**（『日本改造法案大綱』の著者）･大川周明ら

北一輝

④普通選挙運動

最終的に官僚と政党が妥協。→社会主義運動の広がりを防止するためのガス抜き

2　社会運動の展開

①〔　　　　　〕**運動**→資本家と労働者による**労働争議**

1912年　**友愛会**の結成→鈴木文治ら

※労働組合期成会の後継となる**労資協調主義**。

1918年　米騒動

1919年　大日本労働総同盟友愛会の結成

1920年　戦後恐慌

第1回**メーデー**

1921年　**日本労働総同盟**の結成→〔　　　　　　　　〕主義へ

1925年　日本労働組合評議会の結成→日本労働総同盟を除名された左派

1926年　労働争議調停法

②〔　　　　　〕**運動**→寄生地主と小作人による**小作争議**

1922年　**日本農民組合**の結成→**賀川豊彦**・杉山元治郎ら

1924年　小作調停法

③**婦人運動**→自由民権運動の岸田俊子・景山英子や廃娼運動の矢島楫子らが先駆

1911年　**青鞜社**の結成→〔　　　　　　　　　　　　〕らの女性文学団体

※**雑誌**『〔　　　　　〕』「元始，女性は実に太陽であった」

1920年　**新婦人協会**の結成→平塚らいてう・**市川房枝**ら

1921年　赤瀾会の結成→山川菊栄・伊藤野枝らの社会主義団体

1922年　治安警察法改正により女性の政治演説会への参加が認められる

1924年　婦人参政権獲得期成同盟会の結成→市川房枝ら

④〔　　　　　　　　〕**運動**〔水平運動〕→「新平民」と差別された人々自らの運動

1922年　〔　　　　　　　　　　〕の結成

※西光万吉の『水平社宣言』「人の世に熱あれ，人間に光あれ」

まとめ　日本の大正デモクラシーは，あくまで天皇主権の枠内での民主化にとどまった。普通選挙運動以外の社会運動は，当事者が声を上げたことに特色がある。

第10講 PART3　確認問題

1 第一次護憲運動が始まった翌年に退陣した内閣はどれか。

① 清浦奎吾内閣　② 第一次若槻礼次郎内閣
③ 寺内正毅内閣　④ 第三次桂太郎内閣

2 初の本格的政党内閣を組織した原敬首相は何という党の総裁か。

① 立憲民政党　② 憲政会
③ 立憲政友会　④ 政友本党

3 1925年に普通選挙法を成立させた内閣はどれか。

① 田中義一内閣　② 加藤高明内閣
③ 清浦奎吾内閣　④ 浜口雄幸内閣

4 浜口雄幸内閣のときのできごとはどれか。

① 金輸出再禁止の実施
② ロンドン海軍軍縮条約の統帥権干犯問題
③ 張作霖爆殺事件の処理
④ 治安維持法の制定

5 大日本帝国憲法発布当初，選挙権を有した者はどれか。

① 直接国税 15 円以上を納める 25 歳以上の男子
② 直接国税 10 円以上を納める 25 歳以上の男子
③ 25 歳以上のすべての男子
④ 20 歳以上のすべての国民

6 『日本改造法案大綱』の著者で，1919年に猶存社を結成したのはだれか。

① 鈴木文治　② 北一輝
③ 福田徳三　④ 赤松克麿

7 1912年に鈴木文治らが結成した労働団体はどれか。

① 友愛会　② 赤瀾会
③ 黎明会　④（東大）新人会

8 階級闘争主義へ転換し，1921年に結成された労働団体はどれか。

① 大日本産業報国会　② 大日本労働総同盟友愛会
③ 日本労働組合評議会　④ 日本労働総同盟

9 1922年に日本農民組合を結成したのはだれか。

① 賀川豊彦　② 鈴木文治
③ 山川均　④ 北一輝

10 1911年に青鞜社を結成したのはだれか。

① 山川菊栄　② 平塚らいてう
③ 景山英子　④ 市川房枝

PART4 社会主義陣営の勢力拡大

Chapter1　ロシア革命・ソ連成立の影響

目標
モスクワから世界同時革命を画策した国際組織とその結果をおさえよう。
第二次世界大戦前，ソ連に次ぐ社会主義国としてアジアで成立した国をおさえよう。

1　ロシア革命のヨーロッパへの影響

1917年の〔　　　　　　〕**革命**，1919年の**コミンテルン〔第３インターナショナル〕**結成，1922年の**ソ連成立**は，ヨーロッパやアジアに大きな影響を与えた。

①ソヴィエト＝ロシア国内

アメリカ・イギリス・フランス・日本などによる**対ソ干渉戦争〔シベリア出兵〕**に苦しむレーニンのソヴィエト政府は，革命政権を防衛するため，世界に革命を波及させる目的でモスクワにコミンテルンを設立した。

※この世界革命論は，レーニンの死後トロツキーが引き継ぐが，一国社会主義論の〔　　　　　　　　　〕が政権担当者となり否定したこともあり，失敗に終わった。

②ドイツ

1918年　ドイツ共産党結成・ドイツ革命

③ハンガリー

1918～19年　ハンガリー革命

④イタリア

1920年　北イタリアのストライキ

1921年　イタリア共産党成立

⑤フランス

1920年　フランス共産党結成

1924年　エリオ左派連合内閣成立

ソ連国旗

⑥イギリス

1924年　労働党と自由党の連立内閣成立→マクドナルド首相

2 ロシア革命のアジアへの影響

①〔　　　　　　　　　〕→ソ連に次ぐ社会主義国となる

1924年　**チョイバルサン**によりモンゴル人民共和国成立

②中国

1919年　五・四運動

1921年　**中国共産党**成立→陳独秀のち毛沢東らが中心

1924年　第一次国共合作

1925年　五・三〇運動

③日本領朝鮮

1919年　三・一独立運動

1925年　朝鮮共産党成立

④日本

1922年　**日本共産党**結成→堺利彦・山川均ら

※のち治安維持法・特別高等警察により弾圧される。

⑤インドネシア〔蘭印〕

1920年　インドネシア共産党結成

⑥インドシナ〔仏印〕

1930年　インドシナ共産党結成（香港）

⑦英領インド

1925年　インド共産党結成

まとめ　モスクワのコミンテルン〔第３インターナショナル〕は，世界同時革命を目指し各地の共産党を指導したが，失敗に終わった。
アジアではモンゴルがソ連に続く社会主義国となった。

Chapter2　ソ連の強大化

目標
ソ連が世界恐慌後に存在感を増した理由を考えよう。
スターリンの支配体制のようすを学ぼう。

1　列国のソ連承認

レーニンによる戦時共産主義（1918～21年）から**新経済政策〔ネップ〕**（1921～28年）への転換が評価されたソ連を，列国は次々に承認していった。

※さらにスターリンの**第一次**〔　　　　　　　〕**計画**（1928～32年）も，1929年の**世界恐慌**を回避したことで注目を集めた。➡のち**第二次五カ年計画**も実行（1933～37年）

①ドイツ（1922年）

社会民主党エーベルト大統領が承認

②イギリス（1924年）

マクドナルド労働党内閣が承認

※イタリア・フランスも同年に承認。

③日本（1925年）

加藤高明内閣（護憲三派）が〔　　　　　　　　　〕**条約**で承認

※同年，**治安維持法**と普通選挙法を制定。

・・・

④アメリカ（1933年）

フランクリン＝ローズヴェルト大統領（民主党）の善隣外交政策。

※翌34年，ソ連は〔　　　　　　　　　〕に加盟し常任理事国となった（前年に日本とドイツは脱退を通告していた）。

2 ソ連のスターリン体制

①〔　　　　〕**経済**だったので世界恐慌の影響を受けず社会主義の基礎を築く

②反対派を「大粛清（大量の投獄・処刑）」して独裁

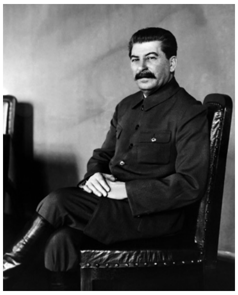
　個人崇拝を強制し，（左翼的）全体主義の〔　　　　　　　　〕**体制**が確立。

③コミンテルンが反ファシズム**人民戦線**結成を唱える（1935年）

　イタリア・ドイツのファシズム・ナチズムや，日本の軍国主義化に対抗。

④**スターリン憲法**の発布（1936年）

　規定された信教の自由や民族間の平等は守られず，〔　　　　　〕**が一党支配**を続けた。



スターリン

まとめ

ソ連は計画経済だったので，世界恐慌の影響を受けずに済んだ。

スターリンは個人崇拝を強制し，(左翼的)全体主義の独裁者として君臨した。

第10講　PART4　確認問題

1 1919年，モスクワで創設された世界改革推進を目指す組織はどれか。

① コミンフォルム　② コミンテルン
③ コメコン　④ ワルシャワ条約機構

2 世界革命論を否定し，一国社会主義論を主張したのはだれか。

① レーニン　② トロツキー
③ スターリン　④ フルシチョフ

3 1924年にモンゴル人民共和国を建てたのはだれか。

① チョイバルサン　② ピブン
③ カルティニ　④ アギナルド

4 中国で 1921年に陳独秀が結成した政党はどれか。

① 中国共産党　② 中華革命党
③ 中国国民党　④ 中国同盟会

5 日本で堺利彦・山川均らが 1922年に結成した政党はどれか。

① 日本共産党　② 日本労農党
③ 労働農民党　④ 日本無産党

6 ソ連で1921～28年にとられた経済政策を何というか。

① ニューディール　② ネップ
③ ブロック　④ ペレストロイカ

7 1929年に発生した世界恐慌をソ連は回避したが，そのときにとられていた政策はどれか。

① グラスノスチ　② 新経済政策
③ 第一次五カ年計画　④ 第二次五カ年計画

8 日本がソ連を承認した条約はどれか。

① 日ソ共同宣言　② 日ソ基本条約
③ 日ソ中立条約　④ 日ソ平和条約

9 ソ連で個人崇拝を強制し，（左翼的）全体主義体制を確立させたのはだれか。

① レーニン　② ゴルバチョフ
③ スターリン　④ フルシチョフ

10 1930年代のソ連の状況に**あてはまらないもの**はどれか。

① 国際連盟への加盟　② 反ファシズム人民戦線結成の提唱
③ スターリン憲法発布　④ 新経済政策［ネップ］の推進

第 11 講 【現代編】経済危機と第二次世界大戦
PART1 日本経済の急展開と満州事変

Chapter1 日本経済の急展開

目標
重なる不況が日本の政治に与えた影響を考えよう。
不況の中で日本の財界に起こった変化をおさえよう。

1 大正時代の日本経済

「光の世界から闇の世界へ」

①〔　　　　〕**景気**（1915～18年）→原因はヨーロッパでの**第一次世界大戦**

A 大幅な輸出超過（ヨーロッパ・アジア・アメリカ向け）

B 債務国から債権国へ→日露戦争後の不況を脱出

C 金本位制から離脱（1917年）→アメリカ参戦のため

D 工業生産額が農業生産額を追い越す

②〔　　　　〕**恐慌**（1920年）→原因は**第一次世界大戦の終了**

A 輸出不振・生産過剰

B 日本の株式市場が大暴落

C 政府・日本銀行が大企業を中心に救済

このため**企業の合理化や財界の整理が進まず不景気が長期化**

※金本位制に復帰できず欧米諸国に取り残される。

③〔　　　　〕**恐慌**（1923年）→原因は**関東大震災**（9月1日）

A 緊急勅令による1カ月間のモラトリアム〔支払猶予令〕

B 震災手形割引損失補償令→日本銀行の特別融資と政府の保障

C 決済不能の**震災手形**が残存

D 東京復興のための膨大な国家支出→輸入が急増

E 不景気下にインフレーション〔物価高〕が発生→スタグフレーション

関東大震災

2 昭和時代初期の日本経済

「出口のないトンネル」

①〔　　　　〕**恐慌**（1927年）→原因は震災手形処理の不手際（背景に慢性的不景気）

A　預金者の不安から**取付け騒ぎ**が起こる

B　**鈴木商店の破産**による**台湾銀行の休業**

C　憲政会の第一次若槻礼次郎内閣（片岡直温蔵相）が台湾銀行救済の緊急勅令案を提出

D　憲政会の協調外交に対する不満から枢密院が否決→若槻内閣総辞職

E　**立憲政友会**の田中義一内閣（**高橋是清蔵相**）が組閣し**積極財政〔インフレ財政〕**に

F　３週間のモラトリアム〔支払猶予令〕

G　日本銀行の非常貸出・特別融資および台湾銀行救済が決定

H　慢性的な不景気下にインフレーション〔物価高〕が拡大

I　**五大銀行に預金が集中**し〔　　　　〕支配も強化

②〔　　　　〕**恐慌**（1930～31年）→原因はアメリカ発の〔　　　　〕**恐慌**

A　**立憲民政党**浜口雄幸内閣（**井上準之助蔵相**）の**緊縮財政〔デフレ財政〕**

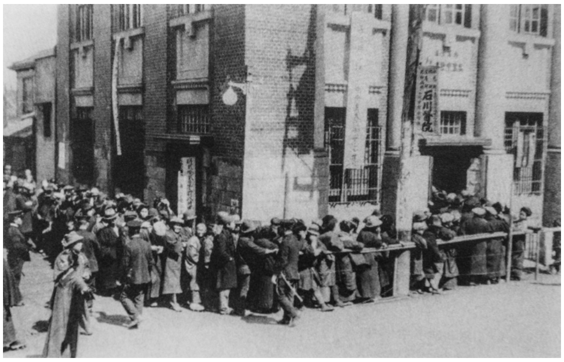
B　産業合理化により国際競争力のない不良企業を整理・淘汰

C　**世界恐慌（1929年10月24日）**→ニューヨークのウォール街における株価大暴落

D〔　　〕**輸出解禁**（1930年）→輸出の減少と輸入の激増・金の大量流出

E　大不景気となり失業者が増大・欠食児童・娘の身売りなど

F　**重要産業統制法**（1931年）→〔　　　　〕**支配が進展**し〔　　　　〕も批判される



金融恐慌の取付け騒ぎ

まとめ　**不況が続く中，状況を好転できない政党への批判が高まった。**
不景気の中で大企業の救済や，整理・淘汰により財閥支配が強まった。

Chapter2　満州事変と日本の国際的孤立

目標
日本が満州事変を起こした目的を考えよう。
満州事変以後の，日本の国際社会での立場をおさえよう。

1　満州事変（1931〜33年）

「満蒙は日本の生命線」（松岡洋右）「世界最終戦論」（関東軍石原莞爾）

1931年　三月事件→陸軍のクーデタ未遂

〔　　　　　　〕**事件**（9 月 18 日）→〔　　　　　　　　〕開始

※第二次若槻礼次郎内閣は不拡大方針を発表→**関東軍**は無視

十月事件→陸軍のクーデタ未遂

1932年　第一次上海事変→満州から列国の注意をそらすため日本が起こす。

国際連盟が〔　　　　　　　　〕**調査団**を日中両国に派遣

血盟団事件

※前蔵相井上準之助・三井財閥団琢磨を民間右翼の血盟団が暗殺。

満州国建国

※清の最後の皇帝だった〔　　　　〕を執政とする。

〔　　　　　　　〕**事件**

※満州国承認をしぶる立憲政友会の〔　　　　　　〕**首相**を，海軍青年将校・陸軍士官学校生・民間右翼らが暗殺し，戦前の政党内閣時代“憲政の常道”は終わる。

溥儀

日満議定書

※海軍の斎藤実「挙国一致」内閣が満州国を承認し日本の支配下に置く。

リットン報告書発表→日本に満鉄付属地内への撤兵を求める

1933年　日本が〔　　　　　　　〕を脱退を通告

※リットン報告書に基づく日本への勧告案が臨時総会で全会一致（棄権 1 ）で賛成され，日本全権**松岡洋右**が退場。

塘沽停戦協定→満州事変は収束

滝川事件〔京大事件〕→自由主義者も言論弾圧を受ける

2 日本の国際的孤立

「華北分離工作」へ

1934年　満州国帝政開始→溥儀が皇帝に

帝人事件で斎藤実内閣（海軍）退陣→岡田啓介内閣（海軍）へ

1935年　**天皇機関説問題・国体明徴声明**→美濃部達吉の天皇機関説を否定

華北分離工作を計画→冀東防共自治委員会（のち冀東防共自治政府の成立）

1936年　〔　　　　　　　〕**事件**

※陸軍皇道派の青年将校らによるクーデタ。〔　　　　　　　〕蔵相・斎藤実内大臣・渡辺錠太郎陸軍教育総監（陸軍統制派）らを殺害。**北一輝**らが処刑される。

※岡田啓介内閣は退陣，陸軍統制派の影響下に広田弘毅内閣（文官）が組閣。

ロンドン海軍軍縮条約・ワシントン海軍軍縮条約が失効

二・二六事件のアドバルーン

まとめ

日本は「円ブロック」経済圏を形成し昭和恐慌から脱するため，満州事変を起こした。

日本は国際連盟から脱退，海軍軍縮条約も失効し国際社会から孤立した。

第11講 PART1 確認問題

1 日本で 1920年代から 1930年代に起こった恐慌を順に並べたものとして正しいのはどれか。

① 金融恐慌→昭和恐慌→震災恐慌
② 金融恐慌→震災恐慌→昭和恐慌
③ 震災恐慌→金融恐慌→昭和恐慌
④ 震災恐慌→昭和恐慌→金融恐慌

2 金融恐慌のできごとにあてはまるのはどれか。

① 1 カ月間のモラトリアム　② 金輸出解禁
③ 重要産業統制法の制定　④ 五大銀行への預金集中

3 世界恐慌をきっかけとして起こった恐慌はどれか。

① 震災恐慌　② 金融恐慌
③ 戦後恐慌　④ 昭和恐慌

4 金融恐慌に対処した田中義一内閣時の政党と蔵相の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 立憲政友会：高橋是清　② 立憲政友会：井上準之助
③ 立憲民政党：高橋是清　④ 立憲民政党：井上準之助

5 昭和恐慌で，緊縮財政をおし進めた蔵相はだれか。

① 井上準之助　② 松方正義
③ 高橋是清　④ 浜口雄幸

6 前蔵相の井上準之助や三井財閥の団琢磨が暗殺された事件はどれか。

① 三月事件　② 十月事件
③ 五・一五事件　④ 血盟団事件

7 国際連盟の臨時総会で，リットン報告書に基づき対日勧告案が出されたときの日本全権はだれか。

① 斎藤実　② 松岡洋右
③ 岡田啓介　④ 渡辺錠太郎

8 国体明徴声明を出した内閣はどれか。

① 岡田啓介内閣　② 斎藤実内閣
③ 広田弘毅内閣　④ 犬養毅内閣

9 二・二六事件で暗殺されたのはだれか。

① 高橋是清　② 犬養毅
③ 井上準之助　④ 松岡洋右

10 二・二六事件後，処刑されたのはだれか。

① 滝川幸辰　② 北一輝
③ 橋本欣五郎　④ 大川周明

PART2 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊

Chapter1　世界恐慌とその影響

目標
世界恐慌が起こった最大の理由をおさえよう。
世界恐慌を克服する施策の一つと，それができた国の特徴を知ろう。

1　世界恐慌

①〔　　　　〕**恐慌**（1929年10月24日「**暗黒の木曜日**」～）

A　〔　　　　　　　　　　　〕**株式市場〔ウォール街〕**の大暴落

B　アメリカ資本が引き揚げられたヨーロッパ諸国にも波及

C　アメリカを生糸の輸出先，機械類などの輸入先としていた日本にも波及

D　**フーヴァー大統領（共和党）**の**フーヴァー＝モラトリアム**は効果なし（1931年）

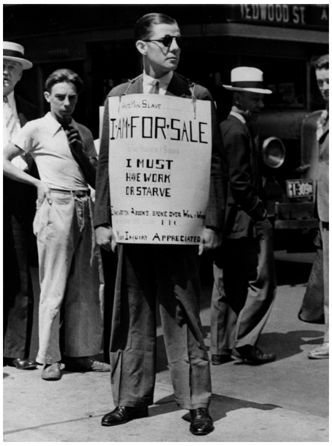
②世界恐慌の背景

A　アメリカ

〔　　　　　　　　〕・農業不況・**国民の購買力低下**・過剰な投機ブームなど

B　世界

ヨーロッパの戦後復興・保護貿易の傾向・植民地の工業化・ソ連成立による市場縮小



立ち尽くす失業者

2 世界恐慌の影響と対処

①**アメリカ→〔　　　　　〕＝ブロック**

A　**フランクリン＝ローズヴェルト大統領（民主党）**の登場（1933年）

B　〔　　　　　　　　　　　　　　〕〔新規まき直し〕政策

あ　金本位制の離脱→1933年のロンドンにおける世界経済会議でも復帰を拒否

い　〔　　　　　〕**調整法**〔ＡＡＡ〕**・全国産業復興法**〔ＮＩＲＡ〕

う　〔　　　　　　　　　　　〕**流域開発公社**〔ＴＶＡ〕

C　〔　　　　　〕**外交**

ソ連を承認・〔　　　　　　　　　〕**の独立を承認**しドル経済圏に組み入れる

D　**ワグナー法**〔全国労働関係法〕（1935年）→労働者の団結権・団体交渉権を認める

E　**産業別組織会議**〔ＣＩＯ〕の成立（1938年）

②**イギリス→〔　　　　　　　　　　　　〕＝ブロック**〔ポンド＝ブロック〕

A　**マクドナルド**〔　　　　　　　　　〕**内閣**が金本位制を停止（1931年）

B　**オタワ連邦会議**でスターリング＝ブロックを結成（1932年）

③**フランス→〔　　　　　　　〕＝ブロック**

A　植民地経済会議でフラン＝ブロックを形成（1934年）

B　**仏ソ相互援助条約**（1935年）

C　**ブルム**〔　　　　　　　　　〕**内閣**（1936年，社会党・急進社会党・共産党）

④〔　　　　　　　　　　　　　　〕圏の形成

植民地・占領地などを「持てる国」である，米・英・仏の世界恐慌からの共通脱出策。

まとめ

世界恐慌が起こった最大の理由は，アメリカの生産過剰だった。
植民地を「持てる国」は，保護貿易策であるブロック経済圏を形成することで，世界恐慌から脱しようとした。

Chapter2　ヴェルサイユ体制の破壊

目標
ナチ党やヒトラーが初期に目指したものをおさえよう。
ヒトラーが参考にした指導者と組織をおさえよう。

1　ナチス＝ドイツの成立

①〔　　　　〕**党**〔国民社会主義ドイツ労働者党〕の台頭→構成員が「〔　　　　　　〕」

A　**ヴェルサイユ条約破棄**による**ヴェルサイユ体制破壊**を目指す

B　植民地の再分配を要求→「持てる国」のブロック経済政策を批判

C　〔　　　　　　　　〕**排斥**などの人種差別主義

D　民族共同体建設による国民生活の安定

E　**大衆宣伝〔プロパガンダ〕**を多用→1932年の選挙で第一党となる

②独裁者〔　　　　　　　　〕の登場→「第三帝国」

A　**首相**に任命され組閣，国会議事堂放火事件を利用し左翼勢力を弾圧（1933年）

B　〔　　　　　　　　　　〕により国会の立法権を政府に移す（1933年）

C　ナチ党以外の政党や労働組合を解散させ**一党独裁**を実現

D　秘密警察〔ゲシュタポ〕・親衛隊〔ＳＳ〕・突撃隊〔ＳＡ〕を駆使

E　社会主義者・民主主義者・ユダヤ人などを**強制収容所**送りに。一部は外国に亡命

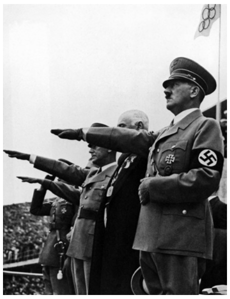
あ　文学者トーマス＝マンはアメリカに亡命

い　科学者アインシュタインもアメリカに亡命

F　ヒンデンブルク大統領死去後は大統領の権限も合わせ**総統**となる（1934年）

あ　ムッソリーニのイタリア＝ファシズムにならいドイツ＝ナチズムを確立

い　四カ年計画により軍需工業拡張・アウトバーン〔自動車専用道路〕建設



ヒトラー

2　ヴェルサイユ体制の破壊

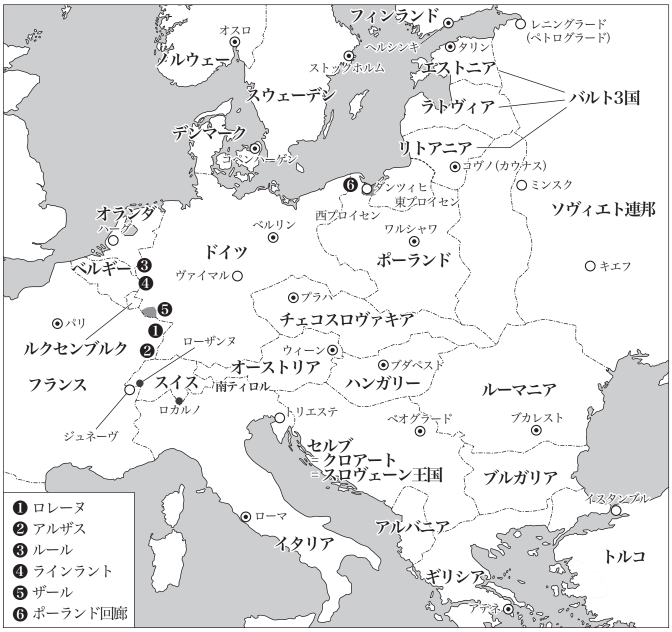
①**ドイツの国際連盟脱退**（1933年）→軍備平等権が認められないことが理由

②住民投票により炭鉱地帯のザール地方を編入（1935年）

③［　　　　　　　］**宣言**（1935年）→徴兵制も復活

④［　　　　　　　　　　　　　］**進駐**（1936年）

　仏ソ相互援助条約調印を理由にロカルノ条約を破棄



第一次世界大戦後のヨーロッパ

まとめ　ヒトラーのナチ党は，まずはヴェルサイユ体制の破壊を目指した。
ヒトラーが参考にしたのは，イタリアのムッソリーニとファシスト党だった。

第11講　PART2　確認問題

1　1931年に賠償・戦債支払いの 1年間停止を宣言したアメリカ大統領はだれか。

① ハーディング　② クーリッジ
③ ウィルソン　④ フーヴァー

2　アメリカのフランクリン＝ローズヴェルト大統領が打ち出した**政策でないもの**はどれか。

① 農業調整法　② テネシー川流域開発公社
③ ワグナー法　④ タフト・ハートレー法

3　アメリカで，1935年に成立した全国労働関係法の別名はどれか。

① AAA　② TVA
③ NIRA　④ ワグナー法

4　イギリスでスターリング＝ブロック〔ポンド＝ブロック〕を形成した首相はだれか。

① マクドナルド　② ロイド＝ジョージ
③ ブルム　④ シュトレーゼマン

5　イギリスのマクドナルド首相が開催した会議はどれか。

① 植民地経済会議　② バンドン会議
③ オタワ連邦会議　④ ローザンヌ会議

6 フランスで 1936年に成立した人民戦線内閣の首相はだれか。

① クレマンソー　② ブルム
③ マクドナルド　④ ブリアン

7 ナチ党が多用した大衆宣伝のことを何というか。

① プロパガンダ　② フューラー
③ ゲシュタポ　④ ホロコースト

8 ナチ党の一党独裁体制と関係するできごとのうち，最後に起こったものはどれか。

① 全権委任法の成立　② 国会議事堂放火事件
③ ヒトラーの総統就任　④ ナチ党以外の政党の解散

9 ドイツが軍隊を進駐させた非武装地帯はどこか。

① エチオピア　② ラインラント
③ ザール　④ ストレーザ

10 ドイツがロカルノ条約を破棄して 1936年に行ったことはどれか。

① ラインラント進駐　② 国際連盟脱退
③ 再軍備宣言　④ ザール地方編入

PART3 戦争への道

Chapter1　世界三分割

目標
「枢軸」国の意味と，国内体制の特徴をおさえよう。
枢軸国に対する自由主義国の開戦前の態度を理解しよう。

1　枢軸陣営（右翼的全体主義）

①**イタリア**（ムッソリーニのファシスト党）

1935年　〔　　　　　　　　　　〕に侵攻

1936年　エチオピア全土を併合→国際連盟は初の経済制裁実施（効果は不十分）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕の結成→ヒトラーと急接近

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕で**フランコ**将軍派を公然と支持して勝利（～39年）

※反ファッショ**人民戦線内閣**は，ソ連や欧米の社会主義者・知識人の**国際義勇軍**が支援。

1937年　〔　　　　　　　　〕**三国防共協定**→前年の日独防共協定にイタリアが合流

国際連盟脱退→三国枢軸の結成

※イタリアは常任理事国だったが，1933年の日本・ドイツに続き脱退。

1938年　ミュンヘン会談（英・仏・独・伊）

1939年　アルバニア併合

②**ドイツ**（ヒトラーのナチ党）

1936年　**ベルリン＝ローマ枢軸**の結成→ムッソリーニと急接近

スペイン内戦でフランコ将軍派を公然と支持して勝利（～39年）

日独防共協定

1937年　日独伊三国防共協定

1938年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕**併合**→ドイツ民族統合が名目

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕でチェコスロヴァキアの**ズデーテン地方**獲得

1939年　**チェコスロヴァキア解体**

※東のスロヴァキアが保護国，ベーメン・メーレンが保護領。

〔　　　　　〕**不可侵条約**

③日本の挙国一致内閣

1936年　**日独防共協定**（広田弘毅内閣）

1937年　**日独伊三国防共協定**（近衛文麿内閣）

1938年　張鼓峰事件（近衛文麿内閣）

1939年　**ノモンハン事件**・独ソ不可侵条約（平沼騏一郎内閣）

2　自由主義陣営と社会主義陣営（左翼的全体主義）

①**自由主義陣営→アメリカ**のフランクリン＝ローズヴェルト大統領（民主党）は傍観

1936年　スペイン内戦に**英・仏**は不干渉（～39年）

1938年　**ミュンヘン会談**で英・仏が独・伊に対し〔　　　　〕**政策**をとる

※イギリスの**ネヴィル＝チェンバレン首相**（保守党）。

②**社会主義陣営→ソ連**のスターリンとモンゴルのチョイバルサン

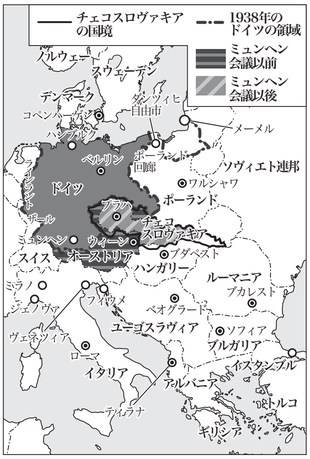
1936年　スペイン内戦で反ファッショ人民戦線内閣を援助

1938年　ミュンヘン会談で外されたソ連は英仏に不信感を抱く

張鼓峰事件（ソが日と軍事衝突）

1939年　ノモンハン事件〔ハルハ河戦争〕（ソ・蒙が日と軍事衝突）

〔　　　　〕**不可侵条約**



ナチス＝ドイツの領土拡大

まとめ

「枢軸」とは世界の中心たる国々の連帯という意味で，国内では右翼的全体主義の体制をとった。

独・伊に対し，アメリカは傍観，英・仏は宥和（ゆうわ）政策で弱腰であった。

Chapter2　日中戦争

目標
日中戦争開始時の日本が目指していた「国策の基準」を理解しよう。
日本の戦時体制の最も核になる法律をおさえよう。

1　日中戦争開始直前の情勢

二・二六事件の後，陸軍の発言力が増す。

1936年　広田弘毅内閣（文官）の組閣

※軍部大臣現役武官制の復活，「国策の基準（＝南北併進)」の決定，

〔　　　　　　　　〕**協定**の締結，**華北分離工作**の推進。

〔　　　　〕**事件**が起こる

※国民党の**張学良**が〔　　　　　〕を軟禁，共産党との内戦停止へ。

1937年　宇垣一成（陸軍）の組閣断念と林銑十郎（陸軍）の組閣

2　日中戦争と戦時体制

①〔　　　　〕**戦争**〔支那事変〕の展開

華北分離工作の推進中，**北京**郊外で支那駐屯軍が起こした戦闘が，宣戦布告のないまま中国全土に拡大。日本は“点と線”（＝都市と鉄道）の支配に留まる。

※中国では，**第二次国共合作**により〔　　　　　　　　　　　　　　〕が成立。

1937年　**第一次**〔　　　　　　　　〕**内閣**（貴族院）の組閣

〔　　　　　　〕**事件**（７月７日）

第二次上海事変

日独伊三国防共協定

〔　　　　〕**事件**→蔣介石は**重慶**に国民政府を移転

1938年　第一次近衛声明→「（蔣介石の）国民政府を対手とせず」

第二次近衛声明→「（戦いの目的は）**東亜新秩序**建設」

第三次近衛声明→「（汪兆銘の新政府に対する）近衛三原則」

張鼓峰事件

近衛文麿

1939年　**ノモンハン事件・独ソ不可侵条約**→平沼騏一郎内閣「欧州の天地は複雑怪奇」

〔　　　　　　　　　　　　　〕**開戦**

※日本は不介入方針（阿部信行内閣・米内光政内閣）

②**戦時体制**への転換→総力戦体制へ

1937年　企画院の設置

国民精神総動員運動開始

1938年　〔　　　　　　　　　　　〕**法・電力国家管理法**（第一次近衛文麿内閣）

1939年　賃金統制令・国民徴用令・価格等統制令

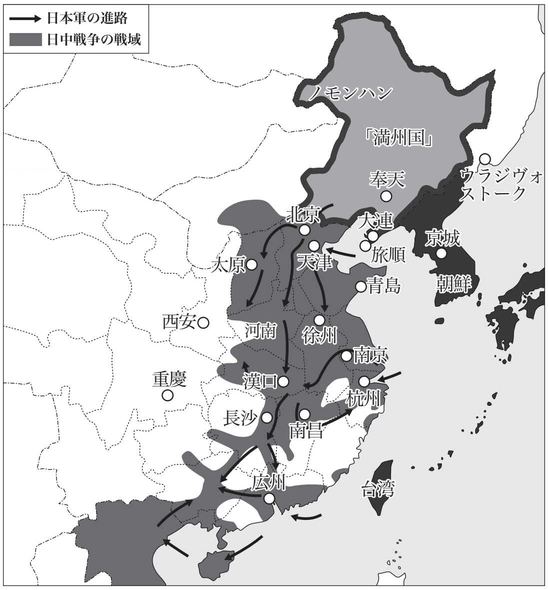
1940年　七・七禁令「ぜいたくは敵だ」「欲しがりません勝つまでは」

元首相近衛文麿による**新体制運動**「バスに乗り遅れるな」

〔　　　　　　　　　　　〕・大日本産業報国会の結成（第二次近衛文麿内閣）

米の配給制

1941年　**国民学校令**→皇国民の錬成をはかり「八紘一宇」の精神を教える



日中戦争要図

まとめ　日中戦争時の日本が目指していた国策は「南北併進」だった。
日本の戦時体制の最も核になったのは国家総動員法だった。

第11講　PART3　確認問題

1 イタリアが 1935年に侵攻したのはどこか。

① ザール　② エチオピア
③ ラインラント　④ アルバニア

2 スペイン内戦で活躍した将軍はだれか。

① フランコ　② ネヴィル＝チェンバレン
③ チョイバルサン　④ ブルム

3 1938年にドイツが併合したのはどこか。

① アルバニア　② オーストリア
③ エチオピア　④ スロヴァキア

4 ドイツがチェコスロヴァキアのズデーテン地方を獲得することを決定した会談はどれか。

① ミュンヘン会談　② ヤルタ会談
③ マルタ会談　④ カイロ会談

5 日本の挙国一致内閣のうち，広田弘毅内閣と関連のあるものはどれか。

① ノモンハン事件　② 張鼓峰事件
③ 日独防共協定　④ 日独伊三国防共協定

6 1939年，日本軍とソ連軍が軍事衝突した事件はどれか。

① ノモンハン事件　② 張鼓峰事件
③ 済南事件　④ 盧溝橋事件

7 スペイン内戦に対し，不干渉だった国はどこか。

① ドイツ　② ソ連
③ イギリス　④ イタリア

8 1936年に起こった，国民党の張学良が蒋介石を軟禁した事件はどれか。

① 西安事件　② 南京事件
③ 済南事件　④ 張鼓峰事件

9 第二次近衛声明はどれか。

① 「東亜新秩序建設」　② 「欧州の天地は複雑怪奇」
③ 「近衛三原則」　④ 「国民政府を対手とせず」

10 戦争遂行のため，挙国一致を中心に精神高揚を図った運動を何というか。

① 国家改造運動　② 新体制運動
③ 超国家主義　④ 国民精神総動員運動

PART4 第二次世界大戦

Chapter1　欧州大戦の開始

目標
第二次世界大戦開戦のきっかけを知ろう。
第二次世界大戦開戦前後の独ソ関係の推移を理解しよう。

1　第二次世界大戦の開戦

ドイツはポーランドにダンツィヒの返還と東プロイセンへの陸上交通路（＝〔　　　　　　　　　　　　〕）を要求。イギリス・フランスは宥和（ゆうわ）政策の限界を認めて軍備拡充を急ぎ，ポーランドとギリシアの安全保障を約束したので，ポーランドはこの要求を拒否した。

1939年　〔　　　　　　　　　　〕**条約**（８月）

※独ソ両国間でのポーランド分割と，東ヨーロッパでのそれぞれの勢力圏を定めた秘密議定書が付いていた。

ドイツの〔　　　　　　　　　〕**侵攻**開始（９月１日）

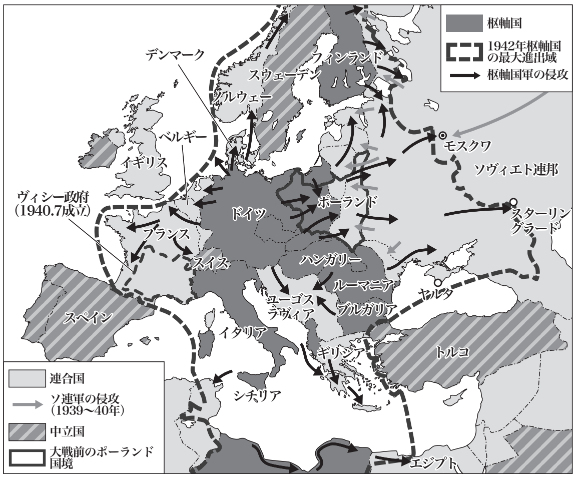
※イギリス・フランスがドイツに宣戦，〔　　　　　　　　　　　　　〕**開戦**。

※ポーランドはソ連軍の侵入も受けて敗北し，両国間で分割された。

ソ連が〔　　　　　　　　　　〕**に宣戦**（11 月）

※翌月，常任理事国だった**国際連盟を除名**される。

1940年　ソ連がバルト３国（エストニア・ラトヴィア・リトアニア）を併合



第二次世界大戦

2　西部戦線の序盤戦→ドイツの電撃戦

優勢を確認した〔　　　　　　　　　〕が1940年にドイツ側で参戦。日本は静観。

1940年　ドイツがデンマーク・ノルウェーに侵攻（４月）

ドイツが**オランダ**・ベルギーに侵攻（５月）

イギリスで保守党の〔　　　　　　　　　　　〕が首相に就任

※空襲をしのぎドイツ軍の上陸を阻止。

ドイツが**フランス**に侵攻し〔　　　　　〕**占領**（６月）

※第三共和政が崩壊し，ペタンを首班とする**ヴィシー政府**が南フランスに成立し，北フランスはドイツが占領。

※しかし〔　　　　　　　　　　　〕らは降伏を拒否し，ロンドンに亡命政府「自由フランス」を組織して抗戦を呼びかけ，フランス国内にも**対独抵抗運動**（〔　　　　　　　　　　　　〕）が起こった。

日独伊三国同盟成立

1941年　ドイツがイタリアを支援し北アフリカに軍を派遣（２月）

独・伊がバルカン半島に侵攻しユーゴスラヴィアとギリシアを征圧（４月）

※しかしこれがドイツとソ連の関係を緊張させ，ソ連は４月に〔　　　　　　　　　　　　〕を締結し，ドイツの侵攻に備えた。

チャーチル

まとめ　独ソによるポーランド分割が，第二次世界大戦開戦の契機となった。
ドイツとソ連は不可侵条約を結んでいたが，ドイツのバルカン半島征圧を機に緊張関係となった。

Chapter2　太平洋戦争の開始

目標
日本が太平洋戦争開戦に進んだ背景を理解しよう。
日米の攻守が交代した太平洋上での戦いをおさえよう。

1　太平洋戦争開始直前の情勢

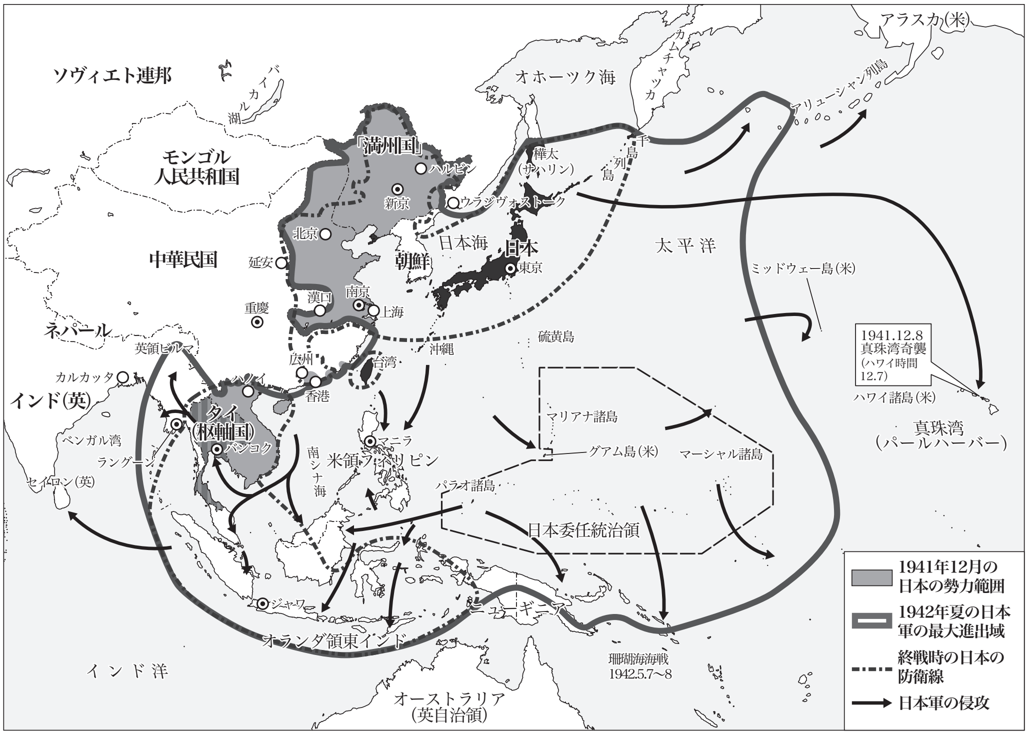
第二次近衛文麿内閣以降は「**大東亜共栄圏**の建設」をスローガンに**南進政策**を決定。対米英戦を覚悟の上で，ドイツ・イタリア・ソ連との提携を強化。

1940年　新体制運動の結果として第二次近衛文麿内閣（貴族院）成立

〔　　　　〕**仏印進駐**・〔　　　　　　〕**三国同盟**締結

※フランス領インドシナ〔仏印〕進駐は，**石油・天然ゴム・ボーキサイトの獲得**と「〔　　　　〕**ルート**」**遮断**が目的。

※アメリカは日本に対し**屑(くず)鉄・鉄鋼・航空機用ガソリン**の輸出を禁止。前年に通告していた日米通商航海条約破棄の発効（＝「〔　　　　　　　　〕**包囲陣**」）。



太平洋戦争における日本の進出範囲

2　太平洋戦争の開戦

1941年　〔　　　　　　　〕**条約**・独ソ戦争開始・関東軍特種演習〔関特演〕

〔　　　　〕**仏印進駐**→第三次近衛文麿内閣

※アメリカは**在米日本資産凍結・対日**〔　　　　〕**禁輸**。

〔　　　　〕**＝ノート→フランクリン＝ローズヴェルト大統領**（民主党）の国務長官

〔　　　　　〕**戦争〔大東亜戦争〕開戦（12 月 8 日）→**〔　　　　　　　　〕内閣（陸軍）

※陸軍がマレー半島コタバル上陸，海軍が〔　　　　　　〕**真珠湾攻撃**。

マレー沖海戦・香港占領

1942年　英領マレー・シンガポール占領

日系アメリカ人の強制収容開始

オランダ領東インド〔蘭印〕占領

英領ビルマのラングーン占領

翼賛選挙

米領フィリピン占領

〔　　　　　　　　　〕**海戦**（6 月）

※日本が制海・制空権を失い戦局が悪化。

東条英機

まとめ

日本は資源の獲得や連合国の中国支援を止めるため，米英戦覚悟で南進政策をとった。

日米の攻守が交代したのは 1942 年のミッドウェー海戦後だった。

第11講 PART4 確認問題

1 第二次世界大戦は，ドイツがどの国に侵攻したことにより始まったか。

① デンマーク ② ベルギー
③ ポーランド ④ オランダ

2 ソ連が国際連盟を除名された原因となったものはどれか。

① フィンランドへの宣戦 ② バルト３国の併合
③ ポーランドへの侵攻 ④ オランダへの侵攻

3 1940年，ドイツ軍の上陸を阻止したイギリスの首相はだれか。

① ネヴィル＝チェンバレン ② チャーチル
③ アトリー ④ ロイド＝ジョージ

4 ドイツとの抗戦を主張し，ロンドンに亡命政府「自由フランス」を組織したのはだれか。

① ド＝ゴール ② ペタン
③ ブリアン ④ クレマンソー

5 1941年，ソ連が日本と日ソ中立条約を結んだ原因となったのはどれか。

① ドイツへのレジスタンスの活発化 ② ドイツのパリ占領
③ ドイツのバルカン進出 ④ イタリアの参戦

6 第二次近衛文麿内閣以降に掲げられたスローガンはどれか。

① 大東亜共栄圏の建設　② ABCD 包囲陣の形成
③ 東亜新秩序の建設　④ 国体の本義

7 日本の南部仏印進駐に対する，1941年のアメリカの政策はどれか。

① 在米日本資産の凍結　② 鉄鋼の対日輸出禁止
③ 日米通商航海条約の破棄　④ 屑(くず)鉄の対日輸出禁止

8 1941年11 月に最終通告ともいえるノートを日本に示したアメリカの国務長官はだれか。

① タフト　② ハル
③ ランシング　④ フランクリン＝ローズヴェルト

9 太平洋戦争開戦時の内閣はどれか。

① 平沼騏一郎内閣　② 近衛文麿内閣
③ 広田弘毅内閣　④ 東条英機内閣

10 日本が制海・制空権を失うきっかけとなった 1942年の戦いはどれか。

① マリアナ沖海戦　② 日本海海戦
③ ミッドウェー海戦　④ レイテ島海戦

第 12 講 【現代編】戦後の国際秩序とアジアの独立
PART1 第二次世界大戦の終結

Chapter1　欧州大戦の終結

目標
第二次世界大戦の「連合国」の特徴について考えよう。
連合国の勝利をほぼ確定させた北フランス上陸作戦をおさえよう。

1　独ソ戦開始後の展開

1941年６月，**ドイツ**は独ソ不可侵条約を無視し，**イタリア**・ルーマニア・フィンランドとともにソ連を奇襲。東部戦線が一気に広がった。

※短期決戦に失敗したドイツは，占領地から食料資源や工業資源を奪い，数百万人の外国人を連行して強制労働につかせた。

※支配地域にも人種差別主義を強制し，〔　　　　　　〕**人**をはじめ一部のスラヴ系やロマ族（当時ジプシーと呼ばれた），さらに身体障害者の人々をアウシュヴィッツなどの強制収容所で大量に虐殺した。特に約 600 万人のユダヤ人虐殺を「**ホロコースト**」という。

※こうしたドイツの支配に反抗し，各地で「レジスタンス」「パルチザン」と呼ばれる武装抵抗運動が組織された。

1941年　〔　　　　　　〕開始（６月）

※ドイツは年末に首都モスクワに迫るが，ソ連は大損害を出しながらも押し返した。

英ソ軍事同盟（７月）

※自由主義陣営のイギリスと社会主義陣営のソ連が連合＝**連合国**の成立。

〔　　　　　　　　　　〕（８月）

※アメリカの**フランクリン＝ローズヴェルト大統領**，イギリスの**チャーチル首相**が大西洋上で会談し発表。のちソ連などが加わり 26 カ国に。

独・伊が対米宣戦布告（12 月）

※日米が開戦したため。

1942年　連合国軍が北アフリカに上陸

1943年　カサブランカ会談（１月）

※米・英による，枢軸国に対する無条件降伏要求の方針確認。

ソ連が**スターリングラードの戦い**でドイツの遠征軍を降伏させる（２月）

独・伊の北アフリカ軍が降伏（５月）

コミンテルン〔第３インターナショナル〕解散（５月）

※ソ連がイギリス・アメリカと協調を深めるため。

連合国軍がシチリアに上陸（７月）

※国王に首相を解任されたムッソリーニが逮捕され，ファシスト党も解散。

2　イタリア・ドイツの敗戦

1943年　連合国軍がイタリア本土に上陸

※イタリアの**バドリオ新政府**が連合国軍に**無条件降伏**（９月）。

〔　　　　　　　　〕**会談**（11月）

※米・英による連合国軍の北フランス上陸作戦協議。

アイゼンハワー

1944年　〔　　　　　　　　　　　　　〕**上陸作戦**（６月）

※連合国軍総司令官はアメリカの**アイゼンハワー**。

連合国軍によるパリ解放（８月）

※ド＝ゴールがパリに入り臨時政府を組織。

1945年　〔　　　　　　〕**会談**（２月）

※米・英・ソによる**ヤルタ協定**でドイツ戦後処理の大綱を決定。秘密条項として
ドイツ**降伏後３カ月以内の対日参戦を決定**。

ソ連軍がベルリンに突入し**ヒトラーが自害**（４月）

※５月にベルリンが陥落，**ドイツは連合国軍に無条件降伏**（５月７日）。

ヤルタ会談

まとめ

第二次世界大戦では，自由主義陣営の米英と社会主義陣営のソ連が結び「連合国」となった。

1944年のノルマンディー上陸作戦で，連合国の勝利は決定的となった。

Chapter2　太平洋戦争の終結

目標
戦況が悪化する中で，労働力不足を補うために行われた政策を知ろう。
ソ連参戦の経緯とその影響をおさえよう。

1　太平洋戦争の劣勢

1943年　〔　　　　　　　　　〕**島**撤退（2月）

〔　　　　　　〕**島**玉砕（5月）

学徒動員〔勤労動員〕開始

※中等学校以上の男子学生が対象。また，数十万人の朝鮮人や中国人，占領地の人々も連行・動員され，土木作業や鉱山労働を強いられた。

女子挺身隊開始

※ 25歳未満の未婚の女子を勤労動員。

イタリアのバドリオ新政府の無条件降伏（9月）

※戦局は連合国の守勢から攻勢へと完全に転換。日本は**絶対国防圏**にまで防衛ラインを後退させた。

〔　　　　　　〕**会議**（11月）

※**東京**に日本・満州国・南京の汪兆銘政権・タイ・ビルマ・自由インド仮政府・フィリピンの代表が終結，「大東亜共同宣言」を発表。

〔　　　　　　〕**会談**（11月）

※**米・英・中**が，日本に対する徹底的攻撃などを決定し「**カイロ宣言**」を発表。

〔　　　　〕**出陣**（12月）

※高等教育段階にある文科系学生の徴兵猶予を停止。

1944年　マリアナ沖海戦に敗北

イギリス領インドのインパール作戦失敗

〔　　　　　　　〕**島**陥落

※〔　　　　　　　〕**内閣（陸軍）は総辞職**，小磯国昭内閣（陸軍）へ。

2　太平洋戦争の敗戦

1944年　**学童疎開〔集団疎開〕**の開始

レイテ島海戦〔比島沖海戦〕に敗北

※神風特別攻撃隊が出撃，戦艦武蔵を失う。

本格的な本土空襲開始

※都市では建物疎開や防空壕の掘削が行われる。

1945年 アメリカの司令官**マッカーサー**がフィリピンを奪回（1月）

アメリカ軍が〔　　　　　　　〕（東京都）に上陸（2月）

ヤルタ会談（2月）

※**米・英・ソ**による**ヤルタ協定**の秘密条項で，ドイツ降伏後３カ月以内のソ連の対日参戦が決定。

〔　　　　　　　　　　　〕（3月 10 日）

アメリカ軍が〔　　　　　〕本島に上陸（4月）

※**沖縄戦**では軍人約９万人の他，民間人約 10 万人が犠牲となり，住民虐殺や集団自決も行われた。男子中学生は鉄血勤皇隊，女学生は女子学徒隊として作戦に参加，沖縄救援に向かった戦艦大和も撃沈された。

小磯国昭内閣（陸軍）総辞職**→鈴木貫太郎内閣（海軍）**へ

ソ連が日ソ中立条約不延長を通告（4月）

ドイツが無条件降伏（5月）

沖縄戦終結（6月）

〔　　　　　　　　　〕**会談**（7月）

※**米・英・中の名でポツダム宣言を採択**（のち〔　　　　　〕も参加）。

原爆ドームと
焼け野原の広島

アメリカが〔　　　　　〕にウラン型の**原爆投下（8月6日）**

ソ連参戦（8月8日）→〔　　　　　　　　　〕**抑留問題・中国残留孤児問題**

アメリカが〔　　　　　〕にプルトニウム型の**原爆投下（8月9日）**

ポツダム宣言受諾（8月 14 日）→日本が連合国に〔　　　　　　　〕**降伏**

昭和天皇による**玉音放送**（8月 15 日）→現在の終戦記念日

まとめ

劣勢になる中で学徒動員，女子挺身隊が開始され，子どもや女性まで戦争協力が求められた。

ヤルタ協定に基づいてソ連が対日参戦し，シベリア抑留や，中国残留孤児などの問題が発生した。

第12講 PART1 確認問題

1 ドイツが行った，約600万人にものぼるユダヤ人虐殺を何というか。

① パルチザン　② ホロコースト
③ プロパガンダ　④ レジスタンス

2 1941年に発表された，42年の連合国共同宣言での戦後構想の原則として確認されたものを何というか。

① 大西洋憲章　② ポツダム宣言
③ カイロ宣言　④ フィラデルフィア宣言

3 1943年のカサブランカ会談直後に起こったできごとはどれか。

① 連合国軍の北アフリカ上陸　② 独・伊の対米宣戦布告
③ 英ソ軍事同盟の成立　④ スターリングラードの戦い

4 1943年，米・英による連合国軍の北フランス上陸作戦について協議した米・英・ソの会談はどれか。

① ミュンヘン会談　② ヤルタ会談
③ テヘラン会談　④ カイロ会談

5 第二次世界大戦中の次のできごとのうち，3番目に起こったのはどれか。

① イタリアの無条件降伏　② ソ連のコミンテルン解散
③ ドイツの無条件降伏　④ ノルマンディー上陸作戦

6 ノルマンディー上陸作戦における連合国軍総司令官はだれか。

① アイゼンハワー　② トルーマン
③ マッカーサー　④ アデナウアー

7 サイパン島陥落の責任により，1944年に総辞職した内閣はどれか。

① 小磯国昭内閣　② 東条英機内閣
③ 鈴木貫太郎内閣　④ 東久邇宮内閣

8 1945年2月，アメリカ軍が上陸したのはどこか。

① 沖縄本島　② アッツ島
③ レイテ島　④ 硫黄島

9 ドイツ降伏後３カ月以内のソ連の対日参戦を決定した会談はどれか。

① カイロ会談　② アルカディア会談
③ ヤルタ会談　④ カサブランカ会談

10 1945年7月に発表されたポツダム宣言に，８月に署名した国はどこか。

① アメリカ　② イギリス
③ ソ連　④ 中国

PART2 戦後の国際秩序

Chapter1　国際連合の設置とブレトン = ウッズ体制

目標
国際紛争解決のための制裁を決定する機関と特徴を知ろう。
ブレトン = ウッズ体制の目的を理解しよう。

1　国際連合の設置

①国際連合の設置過程

1941年　〔　　　　　　　〕**憲章**
　※米・英が発表しのち 26 カ国に。

1944年　**ダンバートン = オークス会議**→アメリカのワシントン郊外
　※米・英・ソ（のち中と交代）が国連の原則や憲章の草案を検討。

1945年　ヤルタ会談（２月）
　※米・英・ソがドイツ・日本降伏後の国際秩序を決定。
　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕**会議**（４～６月）→連合国 50 カ国が参加
　※国際連合憲章〔国連憲章〕を採択。
　〔　　　　　　　〕発足（10 月 24 日）
　※本部は**アメリカ**の〔　　　　　　　　　　　　　〕。
　原加盟国 51 カ国。

国際連合の旗

②国際連合のしくみ

A　〔　　　　　〕→全加盟国で構成される最高機関

B　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕**〔安保理〕**

　あ　**常任理事国**→〔　　　　　　　〕を持つ**米・英・仏・ソ・中**の**五大国**

　い　**非常任理事国**→任期２年の **10 カ国**

C　**事務局**→〔　　　　　　　　　〕が最高責任者

D　**国際司法裁判所〔ＩＣＪ〕**→本部はオランダのハーグ

E　信託統治理事会→現在は活動を停止

F　**経済社会理事会**→任期３年の 54 カ国

G　専門機関

あ　**国際〔　　　　　〕機関〔ＩＬＯ〕**

い　**国際通貨基金〔ＩＭＦ〕**

う　**国際復興開発銀行〔ＩＢＲＤ・世界銀行〕**

え　**国連教育科学文化機関〔ＵＮＥＳＣＯ〕**

お　**世界〔　　　　　〕機関〔ＷＨＯ〕**

H　関連機関など

〔　　　　　〕**と貿易に関する一般協定〔ＧＡＴＴ〕**，国際原子力機関〔ＩＡＥＡ〕など

2　ブレトン＝ウッズ体制

戦後の国際金融･経済面における協力体制を築き，ブロック経済圏のつくり合いを防いで，貿易自由化により世界平和を支える。

※1944年，アメリカのニューハンプシャー州で開かれた**ブレトン＝ウッズ会議**で，アメリカの〔　　　　　〕が**基軸通貨**となり，各国の通貨と**固定為替相場制**でつながった（＝金ドル本位制）。

1945年　ＩＭＦ・ＩＢＲＤ発足

1947年　ＧＡＴＴ成立

まとめ

国際連合の安全保障理事会に強力な権限があり，五大国が拒否権を持つ。

ブレトン＝ウッズ体制は，貿易自由化により世界平和を支える目的がある。

Chapter2　ドイツ・日本の戦後処理

目標　戦後にドイツを占領した４カ国と，国際軍事裁判の名称を知ろう。
戦後に日本を占領した国と，国際軍事裁判の名称を知ろう。

1　ドイツの民主化

〔　　　　　〕の戦後処理は，連合国のうち**米・英・ソ・仏の４国**が一定期間占領して，非軍事化や民主化を進めることとなった。

※オーストリアはドイツと分離され４国の共同管理下に置かれた。また, 1947年, イタリア・ハンガリー・ブルガリア・ルーマニア・フィンランドの旧枢軸国と連合国の間でパリ講和条約が結ばれ,〔　　　　　　　〕は海外領土を放棄した。

①４国による**分割占領**と共同管理

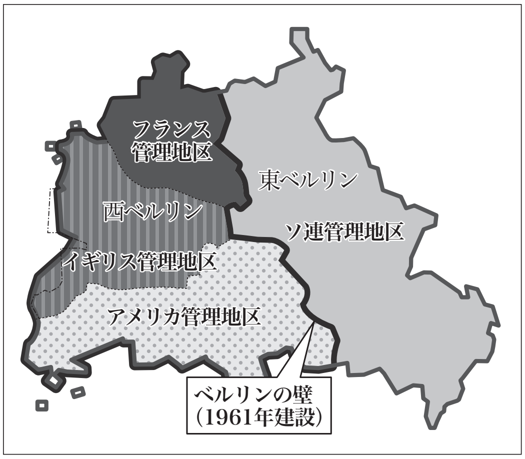
②４国による旧首都〔　　　　　　　〕の分割管理

③非軍事化・民主化

④〔　　　　　　　　　　　〕**国際軍事裁判**

ゲーリング航空相・リッベントロップ外相らナチス＝ドイツの指導者 12 名に死刑判決。

ドイツの分割



ベルリンの分割

2 日本の民主化

戦後処理は，**GHQ／SCAP〔GHQ・連合国軍最高司令官総司令部〕**＝

〔　　　　　　　〕**軍**が一定期間占領して，〔　　　　　　　〕**方式**で非軍事化や民主化を進めることとなった。

※GHQのSCAP〔最高司令官〕は〔　　　　　　　〕元帥。

※ワシントンに最高機関として〔　　　　　　　〕，東京にGHQ／SCAPの諮問機関として**対日理事会**も設置された。

①〔　　　　　　　〕**指令**

A　婦人の解放

20 歳以上の男女に選挙権を付与

B　労働組合結成の助長

労働三法（労働組合法・労働関係調整法・労働基準法）を制定

C　教育の自由主義化

教育基本法・学校教育法の制定と教育勅語の廃止

D　圧政的諸制度の撤廃→**公職追放**を実施

治安警察法・治安維持法・特別高等警察・内務省の廃止

E　経済の民主化

〔　　　　〕**解体**と〔　　　　〕**改革**

マッカーサー元帥と
昭和天皇

②〔　　　　　　　〕の公布（1946年11月3日）

大日本帝国憲法〔明治憲法〕を改正。1947年5月3日に施行。

※**皇室典範を法律化**し，地方自治法も制定。

③**極東国際軍事裁判〔東京裁判〕**

元首相の**東条英機**・広田弘毅ら7名が絞首刑に

まとめ

ドイツは米・英・ソ・仏の4カ国に分割占領され，ニュルンベルク国際軍事裁判が開かれた。

戦後，日本を占領したのはアメリカで，極東国際軍事裁判が開かれた。

第12講　PART2　確認問題

1 1945年，国際連合憲章を採択した会議はどれか。

① 大西洋上会談　② ダンバートン = オークス会議
③ テヘラン会談　④ サンフランシスコ会議

2 国際連合の安全保障理事会の常任理事国５カ国に該当する国の組み合わせとして正しいのはどれか。

① イギリス・ドイツ　② ソ連・中国
③ フランス・ドイツ　④ アメリカ・イタリア

3 国際司法裁判所の略称はどれか。

① ICJ　② IAEA
③ ILO　④ IBRD

4 国際連合の専門機関の一つである IMF の正式名称はどれか。

① 世界銀行　② 国際労働機関
③ 国際通貨基金　④ 世界保健機関

5 1944年に開催された，通貨や金融に関する国際会議はどれか。

① ブレトン = ウッズ会議　② ダンバートン = オークス会議
③ サンフランシスコ会議　④ ヤルタ会談

6 非軍事化や民主化を進めるため，ドイツを一定期間占領した国の組み合わせとして正しいのはどれか。

① アメリカ・中国　② イギリス・ソ連
③ イギリス・スペイン　④ フランス・中国

7 パリ講和条約で海外領土を放棄した国はどこか。

① ルーマニア　② ハンガリー
③ フィンランド　④ イタリア

8 連合国による日本占領政策の最高機関としてワシントンに設置された組織を何というか。

① 対日理事会　② 信託統治理事会
③ 極東委員会　④ 経済社会理事会

9 GHQ／SCAP〔GHQ・連合国軍最高司令官総司令部〕によって示された五大改革指令に**含まれないもの**はどれか。

① 労働組合結成の助長　② 経済の民主化
③ 教育の自由主義化　④ 戦犯容疑者の逮捕

10 極東国際軍事裁判で絞首刑となった元首相の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 東条英機・小磯国昭　② 東条英機・広田弘毅
③ 広田弘毅・小磯国昭　④ 広田弘毅・鈴木貫太郎

PART3 東西冷戦の開始

Chapter1　冷戦の始まり

目標
終戦直後のイギリス・フランスを指導した人物をおさえよう。
終戦後，東西「冷戦」が始まる契機となったアメリカの政策を知ろう。

1　終戦前後のヨーロッパ諸国

①〔　　　　　　　　　〕
　保守党のチャーチルに代わり〔　　　　　　〕の**アトリー**が首相となる。
②**フランス**→共産党が勢力を伸ばす
　1946年，**ド＝ゴール**臨時政府に代わり**第四共和政**が発足。
③イタリア→共産党が勢力を伸ばす
　1946年の国民投票の結果，王政が廃止されて共和政となる。
④東ヨーロッパ・バルカン諸国
　ソ連軍により解放された国が多く，親ソ政権の樹立が続く。

ド＝ゴール

2　東西冷戦の始まり

　フランス・イタリアでの共産党の躍進や東欧地域での親ソ政権の成立により，アメリカはソ連への警戒感を強めた。

1946年　**チャーチル**による「**鉄のカーテン**」演説

※イギリス前首相がアメリカで行ったソ連・東欧諸国批判。

1947年　〔　　　　　　　　　　〕= **ドクトリン**発表

※アメリカ大統領（民主党）によるギリシア・トルコへの軍事的・経済援助。東側諸国の「封じ込め」政策。

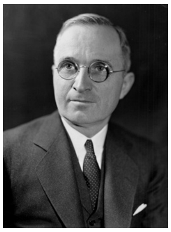
〔　　　　　　　　　　〕= **プラン**発表

※**アメリカ国務長官**による「ヨーロッパ経済復興援助計画」。戦後ヨーロッパの経済的困窮が共産党拡大の原因とみた。

※西欧諸国は援助を受け入れたが，ソ連・東欧諸国は拒否。以後，西欧諸国は対米従属的性格を持つ。

ソ連の**スターリン**による〔　　　　　　　　　　　　　〕〔共産党情報局〕の結成

※ソ連・東欧諸国の情報交換組織。東西「**冷戦〔冷たい戦争〕**」が可視化された。



トルーマン

まとめ

終戦後イギリスでは，戦時下で政権を担った保守党のチャーチルに代わり，労働党のアトリーが，フランスでは，ド = ゴールが政治を主導した。
1947 年のマーシャル = プランが東西「冷戦」勃発の契機となった。

Chapter2　東西ヨーロッパの分断

目標
ソ連と東欧諸国が結成した経済相互援助会議を知ろう。
アメリカと西欧諸国が結成した軍事同盟を知ろう。

1　東ヨーロッパ諸国の動向

東欧諸国では，ソ連の後押しを受けた共産党主導の改革が進む。

①**社会主義国**の登場→土地改革と計画経済による工業化の進展

ポーランド・ハンガリー・ルーマニア・ブルガリア・アルバニアはソ連型の人民民主主義に基づく社会主義を採用。

②**チェコスロヴァキア**の社会主義国化

1948年，東西間で独自の地位を守ろうとしたがクーデタが起きて共産党が実権を握る。

③［　　　　　　　　　　　　　　　　　］の独自路線化

ティトーが率いる抵抗運動によりナチス＝ドイツからの自力解放に成功していたので，ソ連に対し自主的な姿勢をとる。

※ 1948年，コミンフォルム〔共産党情報局〕から除名され独自路線を歩む。

④**COMECON〔経済相互援助会議〕**の創設（1949年）

ソ連と東欧６カ国（アルバニア・ブルガリア・チェコスロヴァキア・ハンガリー・ポーランド・ルーマニア）が結成。

※のち東ドイツ・モンゴル・キューバ・ベトナムが順に参加。アルバニアは事実上離脱。

⑤**WTO〔ワルシャワ条約機構〕**の発足（1955年）

西側諸国からの共同防衛を定めた，ソ連・東ヨーロッパの相互援助条約。

ティトー

2 西ヨーロッパ諸国の動向

西欧諸国は東欧諸国に対抗し，アメリカを含めた連合体制を確立していった。

①西欧５カ国の動向

1948年，英・仏・ベネルクス３国（ベルギー・オランダ・ルクセンブルク）は**西ヨーロッパ連合条約**〔ブリュッセル条約〕を締結。

②〔　　　　　　　　　〕**〔北大西洋条約機構〕**の結成（1949年）

アメリカを含む西欧12カ国が，ソ連・東欧による武力侵略の共同防衛を約束。

3 ドイツの動向

東西対立が激しくなると，ドイツではソ連の占領地域（東）と米・英・仏の占領地域（西）の分断が進んだ。

1948年　ソ連による〔　　　　　　　　　〕**封鎖**（６月）

※西側地区の通貨改革に反対し，西ベルリンへの交通を遮断。西側３国は生活必需品の空輸（＝大空輸作戦）で対抗。

1949年　ベルリン封鎖の解除（５月）→ソ連がアメリカとの衝突を避ける

※しかし東西ベルリンは分断，〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕**〔西ドイツ〕**（首都＝**ボン**）が成立。**アデナウアー**首相が主導して経済復興を目指す。

ドイツ民主共和国〔東ドイツ〕（首都＝**東ベルリン**）が成立（10月）

※ドイツは東西の分断国家となる。

1954年　パリ協定

※アメリカ・イギリス・フランスと協定を締結した西ドイツが主権を回復，再軍備に向かう。

1955年　**西ドイツのＮＡＴＯ加盟**

〔　　　　　　　　　　　　　〕が中立国として独立を回復

東ドイツのＷＴＯ加盟

まとめ　ソ連と東欧諸国は，ＣＯＭＥＣＯＮ〔経済相互援助会議〕を結成した。
アメリカと西欧諸国は，ＮＡＴＯ〔北大西洋条約機構〕を結成した。

第12講 PART3　確認問題

1 1945年のイギリス総選挙で圧勝して首相となり，ポツダム会談に途中から参加したのはだれか。

①　トルーマン　　②　チャーチル
③　アトリー　　④　ド＝ゴール

2 ソ連・東欧諸国を批判する「鉄のカーテン」演説を行ったのはだれか。

①　ド＝ゴール　　②　アイゼンハワー
③　チャーチル　　④　マーシャル

3 1947年に東側諸国の「封じ込め」政策を発表したアメリカ大統領はだれか。

①　チャーチル　　②　マーシャル
③　トルーマン　　④　スターリン

4 1947年，ソ連で結成された組織はどれか。

①　コミンフォルム　　②　ワルシャワ条約機構
③　コミンテルン　　④　COMECON

5 ソ連に対して自主的な姿勢をとった国はどこか。

①　チェコスロヴァキア　　②　アルバニア
③　ユーゴスラヴィア　　④　ハンガリー

6 ソ連・東ヨーロッパの相互援助条約に基づき，1955年に発足した軍事同盟はどれか。

① WHO　② WTO
③ PKO　④ NATO

7 1948年に英・仏・ベネルクス3国が締結した条約はどれか。

① ブリュッセル条約　② パリ講和条約
③ ヴェルサイユ条約　④ ローマ条約

8 アメリカを含む西欧12カ国が1949年に結成した組織はどれか。

① COMECON　② WTO
③ IBRD　④ NATO

9 経済復興を目指したドイツ連邦共和国の首相はだれか。

① スターリン　② ティトー
③ チャーチル　④ アデナウアー

10 分割管理されていたが，1955年に中立国として独立を回復した国はどこか。

① ベルギー　② オーストリア
③ オランダ　④ ルクセンブルク

PART4 アジアの独立

Chapter1　東アジア諸国の独立

目標
終戦後の中国の分断をおさえよう。
終戦後の朝鮮の分断をおさえよう。

1　中華人民共和国の成立

1945年　終戦→**国共内戦**再開
　　中国（中華民国）が国際連合の安全保障理事会の常任理事国に選ばれる
1947年　共産党軍の反攻開始→国民党軍は敗退を重ねる
　　※都市を基盤とする国民党政権は，党幹部の腐敗や激しいインフレーションによる経済混乱で民衆の批判を浴びていた。
　　※共産党は，広大な農村を基盤に土地改革を実行して**農民の支持**を得た。
1949年　共産党が国民党の統治に反対する諸勢力を北京に召集（９月）
　　〔　　　　　　　　　　　　〕が成立（首都＝**北京**）（10月１日）
　　※共産党の〔　　　　　　〕が主席・**周恩来**が首相。社会主義諸国や**イギリス・**インドなどから承認される。
　　中華民国政府を維持（首都＝**台北**）（12月）
　　※国民党の〔　　　　　　〕が〔　　　　〕に逃れる。アメリカは中華民国が国連代表権を持つとする立場をとり，中華人民共和国と対立した（~71年)。
1950年　**中ソ友好同盟相互援助条約**
　　※モスクワで締結し，中華人民共和国が社会主義陣営に属する姿勢を明らかにした。
1953年　第一次五カ年計画
1954年　新憲法の採択

2　朝鮮半島の分断

1943年　〔　　　　　　〕**会談**

　　※フランクリン＝ローズヴェルト（米），チャーチル（英），蔣介石（中）がカイロ宣言を採択。朝鮮の独立もこの時に約束された。

1945年　終戦し日本から独立

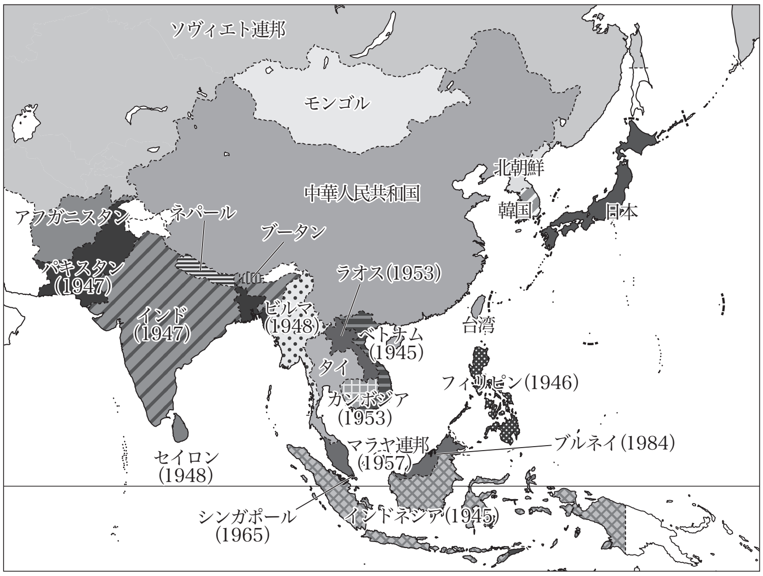
　　※**北緯**〔　　　　〕**度線**を境界に，北をソ連，南をアメリカが直接統治。

1948年　南部で〔　　　　　　　　〕**〔韓国〕**が成立（首都＝**ソウル**）（８月）

　　※初代大統領は〔　　　　　　〕。アメリカの影響下で自由主義・資本主義を採用。

　　北部で**朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕**が成立（首都＝〔　　　　　〕）（９月）

　　※初代首相（のち主席）は〔　　　　　　　〕。ソ連の影響下で社会主義・共産主義を採用。朝鮮半島は南北の分断国家となる。



第二次世界大戦後の東アジア・東南アジア・南アジアと独立した年

まとめ

終戦後の中国は大陸の中華人民共和国（社会主義陣営）と台湾の中華民国（自由主義陣営）に分かれた。

終戦後の朝鮮は北部の朝鮮民主主義人民共和国（社会主義陣営）と南部の大韓民国（自由主義陣営）に分かれた。

Chapter2　東南アジア・南アジア・西アジア諸国の独立

目標
ベトナム独立の流れをおさえよう。
英領インドが，戦後どのように分かれたのか理解しよう。

1　東南アジア諸国の独立

スカルノ

①〔　　　　　　　　　〕→**アメリカ**から独立
大戦中から抗日運動が盛んだったが，1946年にフィリピン共和国として独立。

②〔　　　　　　　　　〕→**オランダ**から独立
1945年，オランダ領東インド〔蘭印〕で〔　　　　　　　〕を指導者にインドネシア共和国の成立が宣言される。
※オランダは武力で介入したが失敗，1949年に独立を達成。スカルノが初代大統領に。

③〔　　　　　　〕→**フランス**から独立
1945年，フランス領インドシナ〔仏印〕で〔　　　　　　　　　　　〕を指導者に**ベトナム民主共和国**の独立を宣言。
※フランスはこれを認めず。1949年には阮朝最後の王**バオ＝ダイ**を立て，第四共和政の決めたフランス連合の一国として**ベトナム国**を発足させ，〔　　　　　　　　〕**戦争**を続けた（1946～54年）。
※ 1954年,〔　　　　　　　　〕**休戦協定**が結ばれてフランスはインドシナから撤退。**北緯**〔　　　〕**度線**を暫定的軍事境界線として南北間を分けた。
※しかしアメリカは，英・仏などとともに**東南アジア条約機構〔ＳＥＡＴＯ〕**を結成し，**ゴ＝ディン＝ジエム**政権を南ベトナムに発足させた（＝**ベトナム共和国**）。

④〔　　　　　　　　〕→**フランス**から独立
1953年に独立し，**シハヌーク**の下で中立政策を進める。

⑤**ラオス→フランス**から 1953年に独立するが左右両派の対立から内戦が始まる

⑥〔　　　　　〕→**イギリス**から 1948年に独立（1989年にミャンマーと改称）

⑦**マレー半島→イギリス**から 1957年に独立しマラヤ連邦となる（現マレーシア）

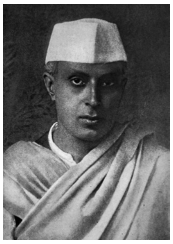
⑧〔　　　〕→戦前から独立を維持

2　南アジア諸国の独立

戦後，**イギリス**からの独立が予定されていた〔　　　　　〕では，パキスタンの分離・独立を求める全インド＝ムスリム連盟の〔　　　　　〕と，統一インドを主張する〔　　　　　〕らが対立した。

※ 1947年のインド独立法で，**ヒンドゥー教徒を主体とするインド連邦**と**イスラーム教徒による**〔　　　　　〕の２国に分かれて独立したが，対立は収まらなかった。

※初代首相〔　　　　　〕のとき, 1948年にはガンディーがヒンドゥー急進派に暗殺されたが，50年には近代化を目指す憲法を発布し，共和国となった。


ネルー

※仏教徒主体の〔　　　　　〕は，1948年にイギリス連邦内の自治領として独立し，72年の憲法制定により共和国となる。

3　西アジア諸国の独立

①〔　　　　　〕

大戦中は中立であったが英ソ軍の駐留を許したため，戦後は外国軍の撤退を要求する民族運動が高まった。

※**モサデク**が政権を握ったが，親英的な国王パフレヴィー２世により追放された。

②アラブ７カ国

〔　　　　　〕**・シリア・イラク・レバノン・トランスヨルダン・イエメン・サウジアラビア**の７カ国は，1945年に**アラブ連盟**を結成し，アラブ民族の統一行動を目指す。

※ 1948～49年には〔　　　　　〕**人**による〔　　　　　〕建国に反対し，**第一次中東戦争〔パレスチナ戦争〕**を起こして敗れた（アメリカなど西側諸国がイスラエルを支援したため）。多くのアラブ人が難民（＝パレスチナ難民）となり，「**パレスチナ紛争**」は現在も継続している。

まとめ

ベトナムはインドシナ戦争に勝ち独立を果たしたが，アメリカなどの介入で南北に分裂した。
イギリスのインド帝国はヒンドゥー教徒のインド連邦，イスラーム教徒のパキスタン，仏教徒のセイロンに分かれた。

第12講 PART4 確認問題

1 1949年，北京に成立した中華人民共和国の主席と首相の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 主席：蔣介石　首相：毛沢東　② 主席：毛沢東　首相：周恩来
③ 主席：周恩来　首相：蔣介石　④ 主席：周恩来　首相：毛沢東

2 中国国民党の指導者で，内戦で共産党に敗れて台湾に逃れたのはだれか。

① 孫文　② 毛沢東
③ 蔣介石　④ 周恩来

3 1943年に開催された，朝鮮の独立を約束した会談はどれか。

① カイロ会談　② テヘラン会談
③ ヤルタ会談　④ カサブランカ会談

4 1948年に成立した大韓民国の初代大統領はだれか。

① 周恩来　② 李承晩
③ 李成桂　④ 金日成

5 1945年にオランダから独立した国はどこか。

① インドネシア　② ベトナム
③ フィリピン　④ カンボジア

6 ベトナム独立運動を指導したのはだれか。

① ホー = チ = ミン　② シハヌーク
③ スカルノ　④ バオ = ダイ

7 東南アジアで唯一戦前から独立を維持していた国はどこか。

① ビルマ　② タイ
③ フィリピン　④ ベトナム

8 インド独立運動の指導者で，全インド = ムスリム連盟の議長を務めたのはだれか。

① ジンナー　② シハヌーク
③ ガンディー　④ ゴ = ディン = ジエム

9 インドの初代首相はだれか。

① ガンディー　② バオ = ダイ
③ モサデク　④ ネルー

10 1945 年に結成されたアラブ連盟に**属していない国**はどこか。

① イラク　② イラン
③ サウジアラビア　④ エジプト

第 13 講 【現代編】冷戦の展開と世界経済
PART1 冷戦の激化

Chapter1　朝鮮戦争と日本の動向

目標
朝鮮戦争で南北それぞれを支援した勢力を知ろう。
日本の主権回復時の特色について学ぼう。

1　朝鮮戦争

①〔　　　　　　　　　　〕**の開戦**（1950年６月）→「熱い戦争」へ

朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕が南北統一を目指し，北緯 38 度線を越えて**大韓民国〔韓国〕**に侵攻。一気に半島南端の釜山近郊にまで迫る。国際連合の安全保障理事会は，北朝鮮軍の行動を侵略と認定

※ソ連は中国の国連代表権をめぐり安保理をボイコット中だったため，拒否権を行使できず。

②**アメリカ**軍を中心とする〔　　　　　　　〕が韓国を支援し反撃（９月）

総司令官はマッカーサー

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が北朝鮮を支援し**人民義勇軍**を派遣（10 月）

ソ連も北朝鮮を支援

④〔　　　　　　　〕で**休戦**協定が成立（1953年７月）

北緯 38 度線

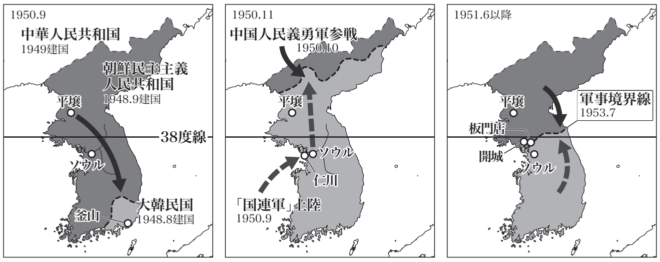
⑤朝鮮戦争の影響

A　朝鮮半島の南北分断の固定化

B　両国国土の荒廃

C　西側陣営における経済活動の活性化→日本の特需景気など

D　東側陣営における北朝鮮への資金援助



朝鮮戦争地図

2 日本の動向

アメリカ合衆国は，対日占領政策として民主化・非軍事化を進めていたが，日本が社会主義・共産主義の防壁，西側陣営の一員として自立・復興するように政策を転換した

※背景は朝鮮半島の南北分断（1948年），中華人民共和国の成立（1949年），朝鮮戦争の勃発（1950年）など東西冷戦の具体化。

1948年　**経済安定九原則**実施指令

1949年　ドッジ＝ラインとシャウプ勧告

※インフレ収束と税制改革。

1950年　レッド＝パージ→共産主義者の追放

※公職追放解除が決定。

〔　　　　　　　　〕の設置→朝鮮戦争開戦のため

※特需景気（～53年）の始まり。

1951年　ＧＨＱ総司令官マッカーサーの解任→後任はリッジウェイ

サンフランシスコ講和会議（日本首席全権＝〔　　　　　　〕首相）

〔　　　　　　　　　　　　〕**平和条約**

※日本が西側陣営48カ国と「**単独講和**」して主権を回復。奄美・小笠原・沖縄の各諸島はアメリカ合衆国の施政権下に置かれた。

〔　　　　　　　　　　〕**条約**

※占領解除後もアメリカ合衆国軍が日本に駐留。駐留軍の日本防衛義務欠如，期限不明確，内乱条項などの問題が残る。

1952年　**日米行政協定**

※日本は米軍に基地を無償提供し，駐留費用も分担。

日華平和条約→台湾の中華民国政府との講和条約

※国連代表権も当時は中華民国にあった。

保安隊の設置

1953年　〔　　　　　　　〕の返還

まとめ

朝鮮戦争では南をアメリカ合衆国，北をソ連や中華人民共和国が支援し，さまざまな影響が生まれた。

日本は自由主義・資本主義陣営と「単独講和」して独立を回復していった。

Chapter2　東西の軍備拡大競争

目標
日本が3度目に被爆した事件について知ろう。
朝鮮戦争休戦後，同盟網を張り巡らせていった政策，国について学ぼう。

1　核兵器開発競争

1945年　**アメリカ合衆国**が広島と長崎に原爆投下
1949年　〔　　　　　〕による初の原爆実験
1950年　スウェーデンでストックホルム＝アピール採択→核兵器禁止の署名運動
1952年　**イギリス**による初の原爆実験
アメリカ合衆国による初の水爆実験
1953年　ソ連による初の水爆実験
1954年　アメリカ合衆国による〔　　　　　　　　〕**水爆実験→第五福竜丸事件**
1955年　**ラッセル＝アインシュタイン宣言**
〔　　　　　〕で**第1回原水爆禁止世界大会**
1957年　国際原子力機関〔ＩＡＥＡ〕発足
カナダで**パグウォッシュ会議**→科学者たちが核兵器廃絶を求める

2 広がる軍事同盟

「熱い戦争」と呼ばれた朝鮮戦争をきっかけに，東西の対立はアジア･太平洋地域に広がった

※特にアメリカ合衆国のトルーマン大統領（民主党）に続く**アイゼンハワー大統領**（共和党）は，「巻き返し政策」を掲げて軍事同盟網を張り巡らせた。

1950年　**中ソ友好同盟相互援助条約**

1951年　米比相互防衛条約→アメリカ合衆国とフィリピン

日米安全保障条約

太平洋安全保障条約〔ＡＮＺＵＳ〕

※アメリカ合衆国・オーストラリア・ニュージーランド。

1953年　米韓相互防衛条約→アメリカ合衆国と韓国

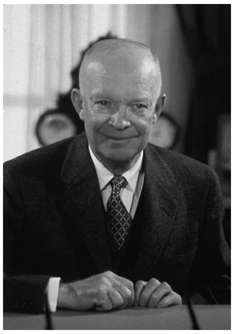
1954年　東南アジア条約機構〔ＳＥＡＴＯ〕

米華相互防衛条約→アメリカ合衆国と台湾の中華民国政府

1955年　バグダード条約機構〔ＭＥＴＯ〕（のち中央条約機構〔ＣＥＮＴＯ〕）

※イギリス・トルコ・イラク・イラン・パキスタン。

イラクが脱退しＣＥＮＴＯと改称。



アイゼンハワー大統領

まとめ

アメリカ合衆国のビキニ水爆実験により，第五福竜丸事件が起こった。

朝鮮戦争休戦後，アメリカ合衆国のアイゼンハワー大統領は軍事同盟網を張り巡らせた。

第13講　PART1　確認問題

1 朝鮮戦争において，韓国を支援した国と軍の組み合わせとして正しいのはどれか。

① アメリカ：国連軍　② アメリカ：人民義勇軍
③ 中華人民共和国：国連軍　④ 中華人民共和国：人民義勇軍

2 朝鮮戦争の休戦協定が成立したのはどこか。

① 釜山　② 平壌
③ 済州島　④ 板門店

3 日本経済を自立させるために 1948年に GHQ が出したのはどれか。

① シャウプ勧告　② 経済安定九原則
③ ドッジ＝ライン　④ レッド＝パージ

4 朝鮮戦争勃発に伴い，日本で 1950年に設置されたのはどれか。

① 自衛隊　② 警察予備隊
③ 保安庁　④ 保安隊

5 1951年に開催されたサンフランシスコ講和会議の日本首席全権はだれか。

① 吉田茂　② 岸信介
③ 田中角栄　④ 鳩山一郎

6 1951年に締結され，占領解除後もアメリカ軍が日本に駐留することを認めたのはどれか。

① 日米行政協定　② サンフランシスコ平和条約
③ 日米地位協定　④ 日米安全保障条約

7 1953年に，アメリカから日本に返還されたのはどこか。

① 小笠原諸島　② 尖閣諸島
③ 奄美群島　④ 沖縄

8 次のうち，２番目に起こったできごとはどれか。

① ソ連による初の水爆実験
② アメリカによる広島・長崎への原爆投下
③ ソ連による初の原爆実験
④ アメリカによる初の水爆実験

9 世界の科学者たちが核兵器廃絶を求めて，1957年にカナダで開催した会議を何というか。

① ジュネーヴ会議　② パグウォッシュ会議
③ バンドン会議　④ 全欧安全保障協力会議

10 「巻き返し政策」を掲げて軍事同盟網を張り巡らせたアメリカの大統領はだれか。

① アイゼンハワー　② フランクリン＝ローズヴェルト
③ シューマン　④ トルーマン

PART2 西側諸国の経済発展

Chapter1　アメリカ合衆国の発展

目標
アメリカ合衆国が戦後，西側の超大国として君臨できた理由を考えよう。
アメリカ合衆国の経済発展の陰の部分を，軍事的な視点で考えよう。

1　超大国アメリカ合衆国

２度の世界大戦でともに本土が戦場にならなかったこともあり，戦後のアメリカ合衆国は西側の圧倒的な**超大国**として君臨。第二次“**パクス＝アメリカーナ**”の時代が続くが，伝統的な価値観の崩壊も始まっていた。

※「世界の警察」として平時でも大規模な軍隊を保持。また，東側の超大国ソ連と対抗する立場のため，国内の共産主義者の活動を規制する動きが強まった。

1947年　国家安全保障法

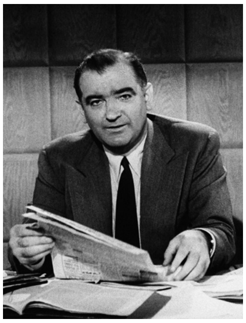
※国家安全保障会議・国家軍事機構（のち国防総省）・中央情報局〔ＣＩＡ〕などが設置される。

タフト＝ハートレー法

※従来のワグナー法とは逆に，労働組合の活動を規制。

1950年　共和党上院議員マッカーシーらによる「[　　　　　　　]」開始

※左翼運動や共産主義者を攻撃し，「マッカーシズム」と呼ばれた。



マッカーシー

2 アメリカ合衆国の経済発展の光と陰

戦後のアメリカ合衆国は，第一次世界大戦後の大量生産・大量消費の動向が復活し，大衆文化・消費文化がさらに拡大した。

※ 1950～60年代に，肉体労働者「ブルーカラー」よりも，事務職「ホワイトカラー」人口のほうが多くなった。

※金1オンス＝35ドルと定め，**基軸通貨**である〔　　　　〕と各国通貨の換算も一定とする固定為替相場制（例：1ドル＝360円）を採用。世界経済を牽引した。

①**軍産複合体**

平時でも巨大な軍事費を支出し，航空機・ミサイル・電子・原子力などの分野で軍部と軍需企業の癒着が進んだ

②〔　　　　　　〕**運動**

アフリカ系住民を中心に，南部の人種差別制度の廃止を求める運動も始まった

ブルーカラー

ホワイトカラー

まとめ

アメリカ合衆国は２度の世界大戦で戦場にならなかったので，戦後の世界に君臨することができた。

アメリカ合衆国は軍部と軍需企業が癒着することで「軍産複合体」となった。

Chapter2　西欧・日本の経済復興

目標
ヨーロッパ共同体〔ＥＣ〕の中心となった２国についておさえよう。
日本に２度の特需景気を起こした戦争についておさえよう。

1　西欧の経済復興

２度の世界大戦でともに戦場となった西ヨーロッパも，1950～60年代に大量生産・大量消費社会に回帰していった。

①**地域統合**の進展

1950年　シューマン＝プラン→フランス外相の提案

1952年　ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体〔ＥＣＳＣ〕

※フランス・西ドイツ・イタリアとベネルクス３国（ベルギー・オランダ・ルクセンブルク）。

1958年　ヨーロッパ経済共同体〔ＥＥＣ〕

ヨーロッパ原子力共同体〔ＥＵＲＡＴＯＭ〕

1967年　**ヨーロッパ共同体〔ＥＣ〕**

②〔　　　　　　　　〕→アルジェリア独立問題をめぐり国内対立が激化

1958年　**第五共和政**→首相の〔　　　　　　　　　　〕が大統領に

1960年　フランスによる初の原爆実験

1964年　中華人民共和国を承認→中国はこの年に初の原爆実験

1966年　北大西洋条約機構〔ＮＡＴＯ〕への軍事協力を拒否

③**西ドイツ〔ドイツ連邦共和国〕**→「経済の奇跡」と呼ばれるほどの成長を実現

1954年　パリ協定で主権回復→アデナウアー首相

1955年　ＮＡＴＯ加盟

④〔　　　　　　　　〕→独自路線からＥＣ加盟へ

1960年　ヨーロッパ自由貿易連合〔ＥＦＴＡ〕

※ＥＥＣに対抗したゆるやかな結合。

1973年　ＥＣに加盟（＝拡大ＥＣ）

※アイルランド・デンマークとともにＥＦＴＡを離脱。

2　日本の経済復興

国土が破壊され，すべての植民地を失った日本は，アメリカ合衆国の「**核の傘**」の下で，世界史上例のないほどの奇跡的な経済復興を果たした。

※終戦時は復員・引揚げの人々があふれ，買出し・闇買いなどで飢えをしのいだ。

※アメリカ合衆国からガリオア〔占領地域行政救済資金〕・エロア〔占領地域経済復興援助資金〕の援助を受けた。

西ドイツの
買い出し列車

1946年　金融緊急措置令→預金封鎖・新円切り換え
　　　　傾斜生産方式の決定→石炭・鉄鋼・電力などが中心
1947年　復興金融金庫の設置
1948年　経済安定九原則実行指令→財政再建とインフレ収束を目指す
1949年　ドッジとシャウプが来日→安定恐慌
1950年　**特需景気**（～53年）→朝鮮戦争開戦が契機
1951年　サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約
1955年　〔　　　　　〕**景気**（～57年）→〔　　　　　　　　　　　〕スタート
　　　　保守合同により自由民主党結党→ 55年体制スタート
1956年　日ソ共同宣言・国際連合加盟
1958年　**岩戸景気**（～61年）
1960年　60年安保闘争・日米新安全保障条約
1963年　**オリンピック景気**（～64年）
1964年　夏季オリンピック東京大会
1965年　日韓基本条約
1966年　〔　　　　　　　　〕**景気**（～70年）→ベトナム戦争本格化が起こした特需
1970年　日本万国博覧会（大阪）
1972年　冬季オリンピック札幌大会
　　　　日中共同声明

まとめ
ＥＣの中心となったのはフランスと西ドイツだった。
日本の２度の特需は，朝鮮戦争とベトナム戦争がきっかけとなった。

第13講　PART2　確認問題

1　アメリカで1947年に制定された，労働組合の活動を規制する法律はどれか。

①　ブレイディ法　②　クレイトン法
③　ワグナー法　④　タフト＝ハートレー法

2　アメリカで「赤狩り」を開始した共和党上院議員はだれか。

①　マッカーシー　②　マッカーサー
③　トルーマン　④　マーシャル

3　固定為替相場制のもと，基軸通貨とされたのはどれか。

①　フラン　②　ドル
③　マルク　④　ポンド

4　アメリカで行われた，南部の人種差別制度の廃止を求める運動を何というか。

①　公民権運動　②　ラダイト運動
③　洋務運動　④　チャーティスト運動

5　1967年に設立されたヨーロッパ共同体の略称はどれか。

①　ＥＵＲＡＴＯＭ　②　ＥＥＣ
③　ＥＣＳＣ　④　ＥＣ

6 フランスで，1958年に大統領に就任したのはだれか。

① アデナウアー　② マッカーシー
③ シューマン　④ ド＝ゴール

7 1966年に北大西洋条約機構〔ＮＡＴＯ〕への軍事協力を拒否した国はどこか。

① イギリス　② 西ドイツ
③ フランス　④ イタリア

8 1973年にヨーロッパ自由貿易連合〔ＥＦＴＡ〕を離脱し，ヨーロッパ共同体〔EC〕に加盟した国はどこか。

① フランス　② ノルウェー
③ イギリス　④ 西ドイツ

9 日本が高度経済成長を遂げるきっかけとなった，1955年に始まった好景気はどれか。

① 神武景気　② いざなぎ景気
③ 岩戸景気　④ オリンピック景気

10 ベトナム戦争本格化が起こした日本での特需を何というか。

① 岩戸景気　② 神武景気
③ 特需景気　④ いざなぎ景気

PART3「雪どけ」「緊張緩和」と第三世界

Chapter1　「雪どけ」とラテンアメリカ諸国の動向

目標　スターリン批判により「雪どけ」を始めたソ連の指導者をおさえよう。
米ソの緊張が一気に高まった 1962年のできごとについて学ぼう。

1　ソ連の「雪どけ」

①ソ連の動向

1953年　独裁者〔　　　　　　　　　　〕の死→ソ連の「**雪どけ**」始まる

1955年　ユーゴスラヴィアと和解

西ドイツと国交回復→ヨーロッパの戦後処理を終了

※しかし，再軍備した西ドイツが北大西洋条約機構〔ＮＡＴＯ〕に加盟。ソ連・東欧諸国は対抗し**ワルシャワ条約機構**〔ＷＴＯ〕を結成。

ジュネーヴ四巨頭会談

※米・ソ・英・仏が軍縮問題で会談，緊張緩和の機運高まる。

1956年　〔　　　　　　　　　　〕第一書記による**スターリン批判**

※ソ連共産党第 20 回大会で，自由主義・資本主義国との〔　　　　　　　　〕を提唱。東欧諸国との**コミンフォルム〔共産党情報局〕を解散**。

※中華人民共和国は平和共存政策を「修正主義」と批判。

日ソ共同宣言→アジアの戦後処理を終了

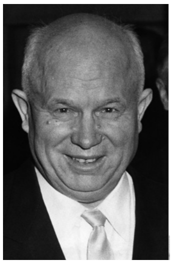
1957年　**初の人工衛星**〔　　　　　　　　　　〕１号打ち上げ成功

※アメリカ合衆国など西側諸国は「スプートニク＝ショック」を受ける。

※アメリカ合衆国に先んじて大陸間弾道ミサイル〔ＩＣＢＭ〕の実験にも成功。

1959年　フルシチョフ訪米→アイゼンハワー大統領と会談

※しかし翌年，アメリカ合衆国の偵察機がソ連上空で撃墜されたことで緊張関係に戻る。



フルシチョフ

②東欧諸国の動向

1956年　**ポーランド**反政府反ソ暴動〔ポズナニ暴動〕

※ゴムウカが第一書記となり自由化路線を推進。

ハンガリー反ソ暴動〔ハンガリー事件〕

※ソ連が軍事介入し鎮圧。のち首相のナジ＝イムレを処刑。

1961年　**東ドイツ**による〔　　　　　　　　　　〕構築

2　ラテンアメリカ諸国の動向

①ラテンアメリカ全般の動向

中南米諸国は，戦後もアメリカ合衆国の強い影響下に置かれた（1948年には**米州機構**〔ＯＡＳ〕を結成）。しかし，強い民族主義に根差した政権も登場し，反発も始まった

※アルゼンチンのペロン政権など。ただし，グアテマラの左翼政権は，アメリカ合衆国に支援された軍部のクーデターでのちに倒壊。

②〔　　　　　　　〕**革命**（1959年）

〔　　　　　　　〕や**ゲバラ**が，親米バティスタ政権を打倒。1961年，アメリカ合衆国のアイゼンハワー大統領はキューバと断交

※キューバの革命政府は**社会主義宣言**を発表してソ連寄りの姿勢を示しつつ，アメリカ合衆国の経済封鎖に耐えて政権を維持した。

カストロとゲバラ

③〔　　　　　　　　　　〕（1962年）

ソ連第一書記**フルシチョフ**の支援によるキューバでの**ミサイル基地**建設が発覚。アメリカ合衆国大統領〔　　　　　　　〕が海上封鎖で対抗し，東西の緊張が一気に高まった

※アメリカ合衆国のキューバ内政への不干渉と交換に，ソ連が基地を撤去する合意が成立。翌年，米ソ首脳執務室間に**ホットライン**〔直通電話回線〕が開設され，緊張緩和の方向に転換。

まとめ　スターリンの死後，フルシチョフがソ連の「雪どけ」を主導した。
キューバ危機により，米ソの緊張感は一気に高まった。

Chapter2　第三世界の連携と「緊張緩和」

目標
アジア・アフリカ・ラテンアメリカなどの発展途上国の総称を知ろう。
東西の緊張緩和となる中，中東戦争で西側諸国がどの勢力についたかおさえよう。

1　第三世界の連携

1954年　**平和五原則**
※中国の〔　　　　　　〕**首相**とインドの〔　　　　　　〕**首相**が，領土保全と主権尊重，不侵略，内政不干渉，平等と互恵，平和共存を発表。

1955年　〔　　　　　　　　　　　　　　　〕**会議〔バンドン会議〕→平和十原則**
※アジア・アフリカ29カ国の代表が参加しインドネシアの**バンドン**で開催された。

1960年　アフリカの年→17の新興独立国が生まれる

1961年　**第一回非同盟諸国首脳会議**
※25カ国の代表が参加し〔　　　　　　　　　　　　　　　〕の**ベオグラード**で開催された。

1963年　アフリカ統一機構〔OAU〕を結成
※アフリカ諸国首脳会議をエチオピアのアジスアベバで開催。

1964年　**国連貿易開発会議〔UNCTAD〕**の結成
※発展途上国77カ国が南北の経済格差の是正を目指す。

2　中東の情勢

1948年　**第一次中東戦争**〔パレスチナ戦争〕
※アラブ連盟がユダヤ人によるイスラエルの建国に反対するが，国際連合が調停。

1952年　エジプト革命→王政を倒す
※のち**ナセル**が大統領となり，アスワン＝ハイダムの建設を推進した。

1956年　〔　　　　　　　　　　〕**の国有化**を宣言
第二次中東戦争〔スエズ戦争〕
※イギリス・フランス・イスラエルがエジプトに軍事行動を起こすが，米・ソはじめ国際世論の非難を招き撤退。

1967年　**第三次中東戦争**〔6日戦争〕
※エジプト・シリア・ヨルダンなどが〔　　　　　　　　　　〕に大敗。

1973年　**第四次中東戦争**→第一次石油危機に

※エジプトの**サダト大統領**がシリアとともにイスラエルに反撃するが，まもなく停戦。のち79年にエジプト＝イスラエル平和条約で講和。

3　ヨーロッパの緊張緩和

1963年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕**条約**〔ＰＴＢＴ〕→米・ソ・英

1964年　**公民権法**→〔　　　　　　　　〕**牧師**らの活動の成果

※前年に暗殺されたケネディ大統領の後を受け，**ジョンソン大統領**が成立させる。

ソ連でフルシチョフ解任

※〔　　　　　　　　　　〕第一書記・コスイギン首相体制へ。

1968年　〔　　　　　　　　　　〕**条約**〔ＮＰＴ〕

〔　　　　　　　　　　〕

※**チェコスロヴァキア**の民主化運動。ドプチェク第一書記が自由化を推進するがソ連が軍事介入し，改革の動きを抑える。

※東欧では，石油資源を持つルーマニアが独自色を強める。

1969年　**第一次戦略兵器制限交渉〔ＳＡＬＴⅠ〕**

西ドイツの**ブラント首相**による〔　　　　　　　　〕開始

※ソ連・東欧との関係改善を図る。

1972年　東西ドイツが相互に承認し合う

1973年　**東西ドイツが国際連合に同時加盟**

1974年　ポルトガルで独裁体制崩壊

軍事政権下にあったギリシアが民主制に復帰

1975年　スペインでフランコが死亡

※後継に指名されたファン＝カルロス１世の下で，78年に民主的君主制に移行。

ゲットー跡地にひざまずくブラント

まとめ

東西どちらの陣営にも属さない発展途上国は第三世界と呼ばれた。

西側諸国は中東戦争でユダヤ人のイスラエル側についた。

第13講　PART3　確認問題

1　1955年，ソ連・東欧諸国が結成した軍事同盟はどれか。

① WTO　② UNCTAD
③ NATO　④ OAU

2　ソ連共産党大会で，自由主義・資本主義国との平和共存を提唱した第一書記はだれか。

① フルシチョフ　② ブレジネフ
③ ナセル　④ スターリン

3　1956年にポズナニ暴動が起こったのはどこか。

① 東ドイツ　② ハンガリー
③ ソ連　④ ポーランド

4　1962年のキューバ危機勃発時のアメリカ大統領とソ連第一書記の組み合わせとして正しいのはどれか。

① ケネディ：ゴルバチョフ　② ケネディ：フルシチョフ
③ ジョンソン：ゴルバチョフ　④ ジョンソン：フルシチョフ

5　平和五原則を発表したインドの首相はだれか。

① ナセル　② ガンディー
③ ネルー　④ カストロ

6 中東で1956年に起こった，スエズ戦争と呼ばれる戦争を何というか。

① 第一次中東戦争　② 第二次中東戦争
③ 第三次中東戦争　④ 第四次中東戦争

7 1963年に，米・ソ・英間で結ばれた核軍縮条約はどれか。

① 核拡散防止条約　② 部分的核実験禁止条約
③ 包括的核実験禁止条約　④ 第一次戦略兵器制限交渉

8 1964年に公民権法を成立させたアメリカ大統領はだれか。

① サダト　② アイゼンハワー
③ ケネディ　④ ジョンソン

9 1968年に結ばれた核拡散防止条約の略称はどれか。

① NPT　② PTBT
③ SALTⅠ　④ CTBT

10 東方外交を開始した西ドイツの首相はだれか。

① ジョンソン　② ドプチェク
③ ブラント　④ サダト

PART4 冷戦下のアジアと２つのショック

Chapter1　冷戦下のアジア

目標　ベトナム戦争で勝利したのは結局どこであったか知ろう。
1970年代，「２つの中国」問題はどのような結果となったのか学ぼう。

1　1950年代末～60年代半ばのアジア情勢

1959年　毛沢東に代わり**劉少奇**が中国国家主席となる
　※毛沢東は**人民公社**の設立など「〔　　　　　　〕**運動**」に失敗。
1960年　韓国の李承晩大統領が失脚
　南ベトナム解放民族戦線結成
1963年　マレーシアの成立
　※マラヤ連邦がシンガポールや英領ボルネオと合体。
　中ソ対立の激化
　白色革命の開始
　※イラン国王**パフレヴィー２世**の指導による近代化事業。
　ベトナム共和国〔南ベトナム〕のゴ＝ディン＝ジエム政権崩壊
1964年　トンキン湾事件
1965年　アメリカ合衆国の**北爆**開始により〔　　　　　　　　〕**戦争**本格化（～73年）
　※**ジョンソン大統領**（民主党）が**ベトナム民主共和国〔北ベトナム〕**を攻撃。
　〔　　　　　　　　〕**条約**→佐藤栄作内閣と**朴正煕**大統領
　フィリピンで**マルコス大統領**が就任→〔　　　　〕**独裁**の典型
　マレーシアから**シンガポール**が分離独立→初代首相**リー＝クアンユー**
　九・三〇事件→インドネシアのスカルノ大統領が失脚
1966年　**プロレタリア**〔　　　　　　　　　　〕（～77年）
　※毛沢東・林彪らが劉少奇・鄧小平らを修正主義者だと非難。深刻な社会的混乱をもたらす。

2　1960年代後半～70年代のアジア情勢

1967年　〔　　　　　　　　　　　　　〕〔ASEAN〕結成
1968年　インドネシアで**スハルト大統領**が就任
　　　　アメリカ合衆国が小笠原諸島返還
1970年　カンボジアの親米右派勢力がシハヌーク元首を追放
1971年　東パキスタンが〔　　　　　　　　　　〕として独立
　　　　第三次印パ戦争
　　　　※インドとパキスタンは**カシミール紛争**で衝突を繰り返す。
　　　　中華人民共和国に国連代表権承認
　　　　※台湾の中華民国政府は国連脱退。
　　　　キッシンジャー大統領補佐官訪中
1972年　**ニクソン大統領訪中**
　　　　※ニクソン大統領（共和党）が毛沢東と会談。
　　　　アメリカ合衆国が**沖縄返還**
　　　　〔　　　　〕**共同声明**→田中角栄内閣

ニクソンと毛沢東

1973年　**ベトナム（パリ）和平協定**
　　　　※アメリカ合衆国軍は南ベトナムから撤退。
1975年　ベトナム戦争終結
　　　　カンボジアで**ポル＝ポト**の指導する解放勢力が民主カンプチアを名乗る
　　　　ラオス人民民主共和国の成立
1976年　**ベトナム社会主義共和国**の成立
1978年　**日中平和友好条約**→福田赳夫内閣
　　　　改革・開放政策の開始
　　　　※〔　　　　　〕ら新指導部が「四つの近代化」を推進。
1979年　**米中国交正常化**
　　　　※カーター大統領（民主党）による。
　　　　中越戦争

まとめ　ベトナム戦争では，北ベトナムがアメリカ合衆国を破り南北を統一した。
中華人民共和国が国連代表権を得てアメリカ合衆国と国交を締結した。

Chapter2　ドル = ショックとオイル = ショック

目標
ドル = ショックの結果，最終的に為替相場制はどのように変化したか考えよう。
２つのショック後，先進国間で開催されるようになった会議とは何だろう？

1　ドル = ショック

アメリカ合衆国の財政･経常収支〔国際収支〕は,核開発競争･宇宙開発競争･ベトナム戦争･社会保障費増大･日本と西ドイツの躍進などにより悪化し,「**双子の赤字**」を抱えるようになった。

1971年　〔　　　　　　　　　　　　　　〕→訪中と並ぶニクソン = ショックの一つ

※**ドルの金兌換停止**，10％の輸入課徴金の導入という「新経済政策」を発表。
アメリカ合衆国のドルを基軸通貨とする**ブレトン = ウッズ体制**が危機に陥る。

〔　　　　　　　　　　　　〕**会議**

※アメリカ合衆国でスミソニアン協定が締結され，**スミソニアン体制**へ。日本の外国為替相場は１ドル＝360 円から 308 円に変更。

1973年　各国がなし崩し的に**固定為替相場制**から〔　　　　　　　　　　　　〕**制**へ移行

※ 1976年のキングストン合意（ジャマイカ）により**キングストン体制**へ。資本主義社会の世界経済は，アメリカ合衆国・西ヨーロッパ・日本の三重構造へと変化。

2　オイル = ショック

1973年　**第四次**〔　　　　〕**戦争**→エジプト・シリアとイスラエルの戦争

アラブ石油輸出国機構〔ＯＡＰＥＣ〕の原油輸出停止・制限→**石油戦略**

※同時に石油輸出国機構〔ＯＰＥＣ〕が原油価格大幅引き上げを決定。

※**第一次石油危機〔オイル = ショック〕**は先進工業国に大ダメージを与え，２年後に立ち直った日本を例外に，アメリカ合衆国・ヨーロッパの経済成長は減速した。

1974年　日本が戦後初のマイナス成長

※しかし「減量経営」「省エネ」「ＯＡ・ＦＡ化」などで翌年に回復。その後も「重厚長大」型産業から「軽薄短小」型産業への切り替えが進む。

1975年　第１回**先進国首脳会議〔サミット〕**→フランスのランブイエ

※ドル＝ショック･オイル＝ショック後の先進国に共通する問題（成長鈍化･通貨･債務・エネルギー問題など）に対応するため開催。

※初回は米・英・仏・日・西独・伊のＧ６で，翌年の第２回からカナダも参加しＧ７サミットへ。

1977年　アメリカ合衆国がパナマ運河をパナマに返還することを約束した条約を締結

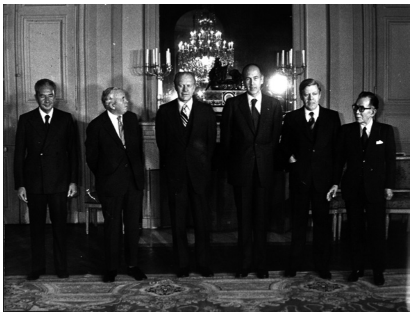
1978年　アメリカ合衆国が中東和平合意の成立を調停

※カーター大統領（民主党）がエジプトとイスラエルを調停。

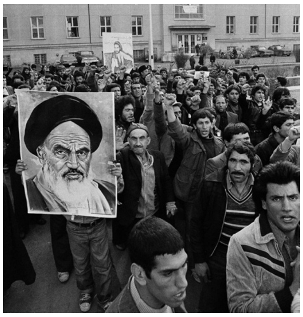
1979年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕**革命**

※イラン国王パフレヴィー２世による近代化路線に反対，宗教指導者〔　　　　　　　　　〕師を中心とする**イラン＝イスラーム共和国**が成立した。

※国王を支援していたアメリカ合衆国とイランの対立が激しくなり，**第二次石油危機〔オイル＝ショック〕**となった。この事態は，先進国のみならず途上国へも大きな影響があった。



第１回サミット集合写真



イラン＝イスラーム革命

まとめ

ドル＝ショックの結果，固定為替相場制が変動為替相場制へ移行した。

ドル＝ショックとオイル＝ショックの２つのショック後の先進国間の問題を話し合うために，毎年サミットが開かれるようになった。

第13講　PART4　確認問題

1　1959年に中国国家主席に就任したのはだれか。

① 蔣介石　② 毛沢東
③ 劉少奇　④ 鄧小平

2　ベトナム民主共和国〔北ベトナム〕を攻撃したアメリカ大統領はだれか。

① ニクソン　② カーター
③ ジョンソン　④ キッシンジャー

3　1965年，フィリピンで大統領となったのはだれか。

① カストロ　② リー＝クアンユー
③ スカルノ　④ マルコス

4　1966年に中国で毛沢東らが提唱して始められたのはどれか。

① 大躍進運動　② 「四つの近代化」
③ 洋務運動　④ プロレタリア文化大革命

5　1968年にインドネシアで大統領となったのはだれか。

① スハルト　② スカルノ
③ シハヌーク　④ ポル＝ポト

6 1972年に訪中したアメリカ大統領はだれか。

① カーター　② ニクソン
③ ジョンソン　④ キッシンジャー

7 1972年にアメリカが日本に返還したのはどこか。

① 奄美群島　② 小笠原諸島
③ 歯舞群島　④ 沖縄

8 ドル＝ショックを受けて成立した体制を何というか。

① キングストン体制　② ヴェルサイユ体制
③ スミソニアン体制　④ ブレトン＝ウッズ体制

9 第四次中東戦争勃発の際，原油輸出停止・制限といった石油戦略を行った機関はどれか。

① OPEC　② OAPEC
③ ASEAN　④ AU

10 イラン＝イスラーム革命を指導した宗教指導者はだれか。

① ポル＝ポト　② ホメイニ
③ リー＝クアンユー　④ シハヌーク

第 14 講 【現代編】冷戦の終結と社会の変容
PART1 世界経済の再編

Chapter1　先進国の変化

目標
アメリカ経済があるできごとによりどうなっていったのか学ぼう。
西側諸国の経済に影響を与えた３地域の３カ国について知ろう。

1　アメリカ経済の変化

1960年代からアメリカ社会が抱えてきた多くの矛盾が噴出して多元化が進行。黒人や先住民などマイノリティの権利拡大運動が高まり，若年層を中心にベトナム反戦運動も盛り上がった。

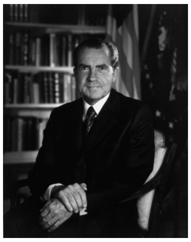
①**トルーマン大統領**（民主党）→広島・長崎に原爆投下
フェアディール→ニューディール政策を継承
※トルーマン＝ドクトリンなどにより対立が始まり，東西冷戦開始。朝鮮戦争にも国連軍として参戦。

②**アイゼンハワー大統領**（共和党）→日本と日米安保条約を改定
軍産複合体の成長→核兵器開発競争
※ソ連との平和共存策により「**雪どけ**」を現出。

③〔　　　　　　　　〕**大統領**（民主党）→キューバ危機回避後にテキサス州ダラスで暗殺
ニューフロンティア政策と**アポロ計画**を中心とする宇宙開発競争
※「国が何をしてくれるのかを問うのではなく，国のために自分が何をできるのかを問うべきだ」。

④**ジョンソン大統領**（民主党）→公民権運動と反戦平和運動の高揚
「偉大な社会」計画
※トンキン湾事件を口実に〔　　　　　　　　〕**戦争**を本格化させた。

⑤**ニクソン大統領**（共和党）→２つのニクソン＝ショック後にウォーターゲート事件で辞職
〔　　　　〕＝**ショック**とスタグフレーション（不景気下の物価高）の進行
※大統領補佐官はキッシンジャー。


ニクソン大統領

2 西欧経済の変化

①〔　　　　　　　　　〕

国際的地位の低下が続き，1973年にヨーロッパ共同体〔ＥＣ〕に加盟

②**フランス**

第五共和政の**ド＝ゴール大統領**の下で対米独自外交を展開。西ドイツとともにＥＣを主導し，ヨーロッパを米・ソに対抗しうる第三極にしようとした

③〔　　　　　　　　　〕→ヨーロッパ最大の経済大国に

アメリカ合衆国の支援の下で**アデナウアー首相**が奇跡的な復興を果たし，フランスとの関係修復にも尽力。1970年代前半には**ブラント首相**が「東方外交」を展開し,「**緊張緩和〔デタント〕**」を導いた

3 日本経済の変化

①**日本的経営**の確立

終身雇用制・年功序列型賃金・企業別労働組合による労資協調

②重化学工業を中心に**技術革新**と**設備投資**が進む

高度経済成長を果たし，大量消費社会が形成されていく過程で**公害問題**も発生

③〔　　　　　　〕**高速自動車道**など大量高速輸送網の建設

都市の過密問題と農村の過疎問題も発生

④アメリカ合衆国などの要望に沿い**貿易・為替・資本の自由化**を行う

1960年代から貿易黒字が断続的に続き，70年代半ば以降は〔　　　　　　　　　〕**問題**が深刻化

貿易摩擦

まとめ
アメリカ経済はベトナム戦争の泥沼化により決定的に疲弊した。
アメリカ合衆国・西ドイツ・日本の３カ国が西側諸国の経済を牽引した。

Chapter2　途上国の変化

目標
戦後，独立を果たした発展途上国の大きな問題点が何か考えよう。
工業力により成長を果たした途上国・地域を何というだろう？

1　格差是正への取り組み

南半球を中心に，第二次世界大戦後，政治的には独立を達成したが，経済的自立は立ち遅れたままの**発展途上国〔開発途上国〕**が多かった。

※特定の一次産品に偏った［　　　　　　　　　　　　　　］**経済**，前近代的な社会構造の残存など。

①**石油輸出国機構〔ＯＰＥＣ〕**（1960年）

②**国連貿易開発会議〔ＵＮＣＴＡＤ〕**（1964年）

途上国側の要求により設立。フェアトレード〔公正貿易〕の姿勢や一般特恵関税などを求め，「援助より貿易を」というスローガンが生まれた

※ 1968年の第２回総会では「援助も貿易も」に変化した。

③国連開発計画〔ＵＮＤＰ〕（1966年）

④**アラブ石油輸出国機構〔ＯＡＰＥＣ〕**（1968年）

⑤新国際経済秩序〔ＮＩＥＯ〕樹立に関する宣言（1974年）

天然資源に対する恒久主権の主張である，資源ナショナリズムが台頭

ブラジルのコーヒー農園

2　経済成長国

途上国の中でも経済成長を果たす国はあるが，〔　　　　　〕**独裁**の形式をとる場合が多い。

①**中南米ＮＩＥＳ〔新興工業経済地域〕**

メキシコ・ブラジルが輸入代替工業化を推進

②〔　　　　　　　〕**ＮＩＥＳ〔新興工業経済地域〕**

〔　　　　〕**・台湾・香港・**〔　　　　　　　　　　　〕

が輸入代替から輸出志向工業化政策への転換に成功

③産油国

ＯＰＥＣ・ＯＡＰＥＣ加盟国が，**２度のオイル＝ショック〔石油危機〕**で存在感を増す

エンブラエル
(ブラジルの飛行機メーカー)

シンガポールの発展

まとめ

発展途上国は，戦後，政治的に独立を果たしても，経済的に先進国に依存している国が多い。

中南米・アジアにおいて工業力で成長を果たした国・地域はＮＩＥＳ〔新興工業経済地域〕と呼ばれた。

第14講　PART1　確認問題

1 広島・長崎に原爆を投下したアメリカ大統領はだれか。

① ジョンソン　② ケネディ
③ トルーマン　④ アイゼンハワー

2 アメリカのケネディ大統領と関連があるのはどれか。

① 宇宙開発競争　② 核兵器開発競争
③ ドル＝ショック　④ 「偉大な社会」計画

3 ベトナム戦争を本格化させたアメリカ大統領はだれか。

① ニクソン　② ジョンソン
③ アイゼンハワー　④ ケネディ

4 アメリカの歴代大統領を時系列的に就任順に並べたものとして正しいのはどれか。

① アイゼンハワー→トルーマン→ニクソン→ジョンソン
② アイゼンハワー→トルーマン→ジョンソン→ケネディ
③ トルーマン→アイゼンハワー→ジョンソン→ニクソン
④ トルーマン→アイゼンハワー→ニクソン→ケネディ

5 西ドイツを奇跡的に復興させた首相はだれか。

① キッシンジャー　② アデナウアー
③ ド＝ゴール　④ ブラント

6 西ドイツのブラント首相に関連するのはどれか。

① アポロ計画　② ウォーターゲート事件
③ 雪どけ　④ 緊張緩和〔デタント〕

7 次のうち，日本的経営に**あてはまらない**のはどれか。

① 年功序列型賃金　② 労資協調
③ 職業別労働組合　④ 終身雇用制

8 1960年に発足した石油輸出国機構の略称はどれか。

① OPEC　② OAPEC
③ NIEO　④ UNDP

9 「援助より貿易を」というスローガンと最も関係があるのはどれか。

① UNDP　② UNCTAD
③ OAPEC　④ NIEO

10 アジア NIES の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 韓国・香港・シンガポール　② 韓国・台湾・マレーシア
③ 香港・台湾・タイ　④ 香港・台湾・フィリピン

PART2 安定成長期の日本

Chapter1　東アジア世界の変容と日本

目標
日本と国交のない東アジアの国家および地域と, その理由について考えよう。
高度成長後の日本政治の流れ, それぞれの内閣時代のできごとをおさえよう。

1　日韓・日中関係

1962年　ＬＴ貿易〔日中準政府間貿易〕の開始

1965年　〔　　　　　　　　　〕**条約**→佐藤栄作内閣

※日本は韓国を「朝鮮半島唯一の合法政府」と確認。

1971年　中華人民共和国が代表権を得て国連に加盟

ニクソン大統領が中国訪問計画を発表

1972年　〔　　　　　　　　　　　　　〕→田中角栄内閣が**日中国交正常化**を達成

※日本は中華人民共和国が「中国唯一の合法政府」と確認。**台湾の中華民国と断交**。

1978年　〔　　　　　　　　　　　　　〕**条約**→福田赳夫内閣

※アジア・太平洋地域における「覇権反対」の意志を表明するが，この条約は第三国（＝ソ連）との関係に影響を与えない。

2 高度成長後の日本政治

①〔　　　　　　　　〕内閣→日中共同声明

第一次オイル＝ショック〔石油危機〕後，狂乱物価の最中に金脈問題で失脚

②**三木武夫**内閣

〔　　　　　　　　　〕**事件**の問題化と自民党の内部対立で退陣

③**福田赳夫**内閣→日中平和友好条約・日米防衛協力のための指針〔ガイドライン〕

④**大平正芳**内閣

第二次オイル＝ショック〔石油危機〕後，初の衆参同日選挙中に病死

⑤鈴木善幸内閣

「増税なき財政再建」を目指したが，税収不足・貿易摩擦問題などもあり景気は低迷

⑥〔　　　　　　　　　〕内閣

「戦後政治の総決算」を掲げ，「新保守主義」「新冷戦」の中で存在感を見せた

※三公社民営化，男女雇用機会均等法制定・施行，戦後の首相として**初の靖国神社公式参拝**などを実行。

※プラザ合意により円高不況に突入，ルーブル合意によりバブル景気スタート。

⑦**竹下登**内閣

〔　　　　　　　　　〕**事件**と**消費税導入**で支持率低下。昭和天皇崩御により平成時代スタート

昭和天皇崩御を報じる新聞

⑧宇野宗佑内閣

⑨海部俊樹内閣

東西冷戦終結，湾岸戦争の勃発，バブル崩壊

まとめ

日本は韓国と中国と国交を結んでいるため，北朝鮮と台湾とは国交がない。2 度のオイルショックや貿易摩擦などに影響を受けたり，初めて靖国神社を公式に参拝したりするなどさまざまなできごとが起こった。

Chapter2　経済の安定成長

目標
年率３〜４パーセント程度の経済成長が続く時代を何というだろう？
地価・株価が実体を伴わないまま上がり続ける状態を何というか知ろう。

1　低成長〔安定成長〕時代（1974〜80年代半ば）

産業構造の高度化や経済のソフト化・サービス化が進行。日本は欧米に対し圧倒的優位に立ち，〔　　　　　　　〕問題が深刻化した。

※「新冷戦」下の 1980年代前半〜半ばには，アメリカ合衆国の〔　　　　　　　〕**大統領**・**イギリス**の〔　　　　　　　〕**首相**と歩調を合わせ，〔　　　　　　　〕内閣による新自由主義的な政策（民営化・規制緩和・社会保障費の削減）が展開された。

1973年　第一次オイル＝ショック〔石油危機〕

※「減量経営」「省エネ」「ＯＡ・ＦＡ化」で対処。

1974年　**戦後初のマイナス成長**

低成長〔安定成長〕スタート

1979年　第二次オイル＝ショック〔石油危機〕

※鉄鋼・石油化学などの「労働集約」「重厚長大」型産業からＭＥ〔マイクロエレクトロニクス〕などの「知識集約」「軽薄短小」型産業や，自動車・家庭用電気機器など高付加価値産業への移行を進めていた日本への影響は少なかった。

1980年　モスクワオリンピックを西側諸国がボイコット

1984年　ロサンゼルスオリンピックを東側諸国がボイコット

1985年　ＮＴＴ・ＪＴの設立

Ｇ５〔先進５カ国蔵相・中央銀行総裁会議〕による〔　　　　　　　〕**合意**

※**円高不況**により，産業の空洞化が急速に進行。

1987年　Ｇ７による〔　　　　　　　〕**合意**

※円高不況が終わり，〔　　　　　　　〕**景気**へ。

ＪＲ６＋１社の分割民営化

2　バブル経済（1986〜91年）

円高不況下に企業や金融機関でだぶついた資金が，国内外の不動産市場や株式市場に流入し，地価や株価が高騰。それらが資産効果を伴いさらに消費を刺激。

※**実体のないマネーゲーム**が展開された。

1988年　貿易摩擦の激化を背景にアメリカ合衆国でスーパー 301 条が成立

1989年　税率３％で〔　　　　　　　〕スタート

　　　　貿易摩擦の激化を背景に日米構造協議開始（のち日米包括経済協議に発展）

1991年　**バブル崩壊**→平成不況へ

バブル経済に沸く株式市場

まとめ
高度経済成長後，日本は低成長〔安定成長〕時代を迎えた。
1986 ～ 91年，日本は実体を伴わない好景気「バブル」を迎えた。

第14講　PART2　確認問題

1　日韓基本条約を締結した内閣はどれか。

① 福田赳夫内閣　② 佐藤栄作内閣
③ 三木武夫内閣　④ 田中角栄内閣

2　台湾の中華民国と断交することになったできごとはどれか。

① 日中共同声明発表　② 日中平和友好条約締結
③ 日韓基本条約締結　④ ＬＴ貿易開始

3　田中角栄内閣のときに起こったできごとはどれか。

① リクルート事件　② ロッキード事件問題化
③ 金脈問題　④ 第二次オイル＝ショック

4　中曽根康弘内閣と関連があるのはどれか。

① 東西冷戦終結　② 「増税なき財政再建」
③ 狂乱物価　④ 「戦後政治の総決算」

5　リクルート事件と消費税導入で支持率が低下した内閣はどれか。

① 大平正芳内閣　② 海部俊樹内閣
③ 竹下登内閣　④ 三木武夫内閣

6 日本の歴代内閣を時系列的に順に並べたものとして正しいのはどれか。

① 三木武夫内閣→福田赳夫内閣→竹下登内閣→中曽根康弘内閣
② 三木武夫内閣→福田赳夫内閣→中曽根康弘内閣→竹下登内閣
③ 福田赳夫内閣→三木武夫内閣→竹下登内閣→中曽根康弘内閣
④ 福田赳夫内閣→三木武夫内閣→中曽根康弘内閣→竹下登内閣

7 1980年代前半～半ばに新自由主義的な政策を行ったアメリカ大統領：イギリス首相の組み合わせとして正しいのはどれか。

① レーガン大統領：サッチャー首相　② レーガン大統領：ブレア首相
③ カーター大統領：サッチャー首相　④ カーター大統領：ブレア首相

8 日本の円高不況を招いたできごとはどれか。

① ルーブル合意　② 第一次オイル＝ショック
③ プラザ合意　④ 第二次オイル＝ショック

9 次のできごとを時系列順に並べたとき，３番目に起こったできごとはどれか。

① バブル崩壊　② 円高不況
③ ルーブル合意　④ プラザ合意

10 1989年に税率３％で新たに導入された租税はどれか。

① 消費税　② 所得税
③ 法人税　④ 関税

PART3 社会の変容と環境破壊

Chapter1　1970年代の世界

目標　国連人間環境会議のスローガンについて学ぼう。
1979年に起きた，初の大規模な原発事故とは何だったのだろう。

1　1970年代前半の世界

1971年　中国の国連代表権交代
　　ドル＝ショック
1972年　ニクソン大統領訪中
　　国連［　　　　　　　　　　　　］
　　※スウェーデンの**ストックホルム**。「**かけがえのない地球**」がスローガン。
1973年　**ベトナム**（パリ）和平協定
　　第四次中東戦争
　　第一次オイル＝ショック［石油危機］

「かけがえのない地球」

2　1970年代後半の世界

1975年　国際婦人年

第 1 回先進国首脳会議→フランスのランブイエ

1979年　イラン＝イスラーム革命

第二次オイル＝ショック［石油危機］

米中国交正常化→カーター大統領（民主党）

ソ連が**アフガニスタン**に軍事介入→ブレジネフ書記長

イギリスで〔　　　　　　　　　　　〕内閣成立（保守党）

イラクでバース党の**サダム＝フセイン大統領**就任

女子差別撤廃条約→アメリカ合衆国発「ウーマン＝リブ」の結果

アメリカ合衆国の〔　　　　　　　　　　　　　　〕**原発事故**

スリーマイル島原発事故

まとめ　国連人間環境会議のスローガンは「かけがえのない地球」だった。
1979年，アメリカ合衆国のスリーマイル島で初の大規模な原発事故が発生した。

Chapter2　1980年代の世界

目標
アメリカ合衆国がイラン＝イラク戦争で肩入れしたのはどちらだったのだろう。
チェルノブイリ原発事故はどこで発生した事故か知ろう。

1　1980年代前半の世界

1980年　西ドイツで環境保護を主目的とした「緑の党（緑の人々）」結成
　　　　イラン＝イラク戦争（～88年）
1981年　アメリカ合衆国で〔　　　　　　　　　〕**大統領**就任（共和党）
1982年　西ドイツでコール連立内閣成立→中道右派
　　　　日本で**中曽根康弘**内閣成立
　　　　フォークランド戦争→イギリスとアルゼンチン

イラクのフセイン
大統領

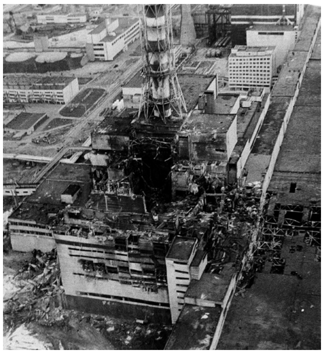
2　1980年代後半の世界

1986年　ソ連の〔　　　　　　　　　　　　　　〕**原発事故**

1989年（第二次）天安門事件

　　　　ベルリンの壁崩壊

　　　　マルタ会談で東西冷戦終結



チェルノブイリ原発事故

まとめ

アメリカ合衆国はイラン＝イラク戦争でイラクのフセイン大統領に肩入れした。

チェルノブイリ原発事故は，旧ソ連ウクライナ共和国で発生した。

第14講 PART3 確認問題

1 1972年にスウェーデンのストックホルムで開催された国際会議はどれか。

① 国連人間環境会議　② 国連環境開発会議
③ 第 1 回先進国首脳会議　④ 国連人口開発会議

2 ベトナム（パリ）和平協定が結ばれたのと同じ年に起こったできごとはどれか。

① ニクソン大統領訪中　② イラン = イスラーム革命
③ 第一次オイル = ショック　④ 第二次オイル = ショック

3 ソ連がアフガニスタンに軍事介入した年に起こったできごととして**誤っているもの**はどれか。

① 女子差別撤廃条約採択　② 米中国交正常化
③ スリーマイル島原発事故　④ レーガン大統領就任

4 1979年にイギリスの首相となった人物：所属政党の組み合わせとして正しいのはどれか。

① サッチャー：保守党　② サッチャー：民主党
③ カーター：保守党　④ カーター：民主党

5 1979年にイラクの大統領となったのはだれか。

① レーガン　② サダム = フセイン
③ コール　④ ブレジネフ

6 次の 1970年代のできごとを時系列順に並べたとき，３番目に起こったできごとはどれか。

① ベトナム（パリ）和平協定　② スリーマイル島原発事故
③ 国連人間環境会議　④ ドル＝ショック

7 1981年にアメリカ大統領に就任したのはだれか。

① カーター　② ニクソン
③ ジョンソン　④ レーガン

8 西ドイツでコール連立内閣が成立した年に日本で成立した内閣はどれか。

① 竹下登内閣　② 中曽根康弘内閣
③ 鈴木善幸内閣　④ 大平正芳内閣

9 次の 1980年代のできごとのうち，最初に起こったものはどれか。

① 第二次天安門事件　② フォークランド戦争
③ チェルノブイリ原発事故　④ イラン＝イラク戦争

10 1970 ～ 80年代のできごとを発生順に並べたものとして正しいのはどれか。

① スリーマイル島原発事故→イラン＝イラク戦争→チェルノブイリ原発事故
② スリーマイル島原発事故→チェルノブイリ原発事故→イラン＝イラク戦争
③ チェルノブイリ原発事故→フォークランド戦争→スリーマイル島原発事故
④ チェルノブイリ原発事故→スリーマイル島原発事故→フォークランド戦争

PART4 冷戦の終結

Chapter1　第二次冷戦

目標
1979 ～ 89年にかけ，ソ連が軍事介入した西アジアの国家を知ろう。
1980年代前半，東西諸国がある国際イベントに対し行ったことについて知ろう。

1　1970年代の東西関係

1972年　**第一次戦略兵器制限条約〔ＳＡＬＴⅠ〕**→米ソ

1979年　**第二次戦略兵器制限条約〔ＳＡＬＴⅡ〕**→米ソ

ソ連が**アフガニスタン**に軍事介入（～89年）→ブレジネフ書記長

ブレジネフ

2　1980年代前半の東西関係

イギリスのサッチャー首相，日本の中曽根康弘首相と歩調を揃えた〔　　　　　　　　〕**大統領**は，「強いアメリカ」の復活を唱えてレーガノミクスを展開。ソ連を「悪の帝国」と非難したことで，〔　　　　　　　　　　〕と呼ばれる対立が深まった。

※ソ連はブレジネフ→アンドロポフ→チェルネンコ→ゴルバチョフへと政権が移動。

1980年　西側諸国が**モスクワオリンピックをボイコット**→カーター大統領（民主党）

1984年　東側諸国が**ロサンゼルスオリンピックをボイコット**→レーガン大統領（共和党）

1985年　〔　　　　　　　　　　　　〕**書記長**が「**ペレストロイカ〔改革〕**」開始

1987年　**中距離核戦力〔ＩＮＦ〕全廃条約**→米ソ

INF 全廃条約調印

まとめ
1979 ～ 89年にかけ，ソ連はアフガニスタンに軍事介入した。
1980年代前半，東西諸国は夏季オリンピックをボイコットし合った。

Chapter2　冷戦の終結

目標
東西冷戦が終結した 1989年の米ソ会談とそれぞれの首脳について知ろう。
東西冷戦が開始されたときの両陣営それぞれの首脳は誰だったのだろう。

1　東西冷戦の終結

1970年代の緊張緩和〔デタント〕の動きは，80年代になると米ソの国際的な影響力低下の中で急速に進展した。

※「**双子の赤字**」を抱えるアメリカ合衆国と，ゴルバチョフ書記長の「**新思考外交**」を展開するソ連が妥協し，東西冷戦は 1989年に終結した。

1985年　**プラザ合意**→G５によるドル高是正に向けた為替市場への協調介入

1987年　ルーブル合意→G７による協調介入

1989年　ソ連が**アフガニスタンから撤退**

〔　　　　　　〕**会談→ブッシュ大統領**と**ゴルバチョフ書記長**

※米・ソのイデオロギー対立と覇権争いが終了。

マルタ会談

2 冷戦下の米ソ首脳

①冷戦下のアメリカ合衆国大統領

A 〔　　　　　　　　　　〕（民主党）

B **アイゼンハワー**（共和党）

C 〔　　　　　　　　〕（民主党）

D **ジョンソン**（民主党）

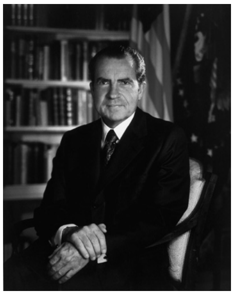
E **ニクソン**（共和党）

F フォード（共和党）

G カーター（民主党）

H 〔　　　　　　　　〕（共和党）

I 〔　　　　　　　　〕（共和党）



ニクソン大統領

②冷戦下のソ連首脳

A 〔　　　　　　　　　　〕

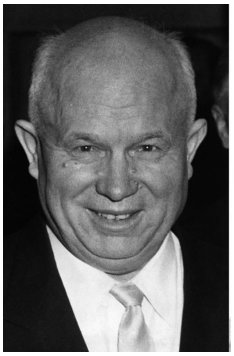
B 〔　　　　　　　　　　　　〕

C **ブレジネフ**

D アンドロポフ

E チェルネンコ

F 〔　　　　　　　　　　　　〕



フルシチョフ

まとめ

東西冷戦が終結した 1989年のブッシュとゴルバチョフの会談は，マルタ会談である。

東西冷戦が開始されたときの首脳はスターリンとトルーマンである。

第14講 PART4 確認問題

1 アフガニスタンに軍事介入したソ連の書記長はだれか。

① フルシチョフ　② チェルネンコ
③ ブレジネフ　④ ゴルバチョフ

2 「強いアメリカ合衆国」の復活を唱えたアメリカ大統領はだれか。

① レーガン　② ブッシュ
③ カーター　④ ニクソン

3 1980年に西側諸国がモスクワ五輪をボイコットしたときのアメリカ大統領と所属政党の組み合わせとして正しいのはどれか。

① レーガン：共和党　② レーガン：民主党
③ カーター：共和党　④ カーター：民主党

4 ペレストロイカ〔改革〕を開始したソ連の書記長はだれか。

① フルシチョフ　② ブレジネフ
③ アンドロポフ　④ ゴルバチョフ

5 1987年に米ソ間で結ばれた核軍縮に関する条約はどれか。

① 中距離核戦力〔ＩＮＦ〕全廃条約
② 第一次戦略兵器制限条約〔ＳＡＬＴⅠ〕
③ 部分的核実験禁止条約〔ＰＴＢＴ〕
④ 第二次戦略兵器制限条約〔ＳＡＬＴⅡ〕

6 1985年，ドル高是正に向けてＧ５が為替市場への協調介入を決定したものはどれか。

① オスロ合意 ② プラザ合意
③ ミンスク合意 ④ ルーブル合意

7 1989年開催の，冷戦を終結させた会談はどれか。

① ヤルタ会談 ② カイロ会談
③ マルタ会談 ④ カサブランカ会談

8 冷戦終結を宣言した米ソ首脳の組み合わせとして正しいのはどれか。

① レーガン大統領：ブレジネフ書記長
② レーガン大統領：ゴルバチョフ書記長
③ ブッシュ大統領：ブレジネフ書記長
④ ブッシュ大統領：ゴルバチョフ書記長

9 アメリカの歴代大統領を時系列的に就任順に並べたものとして正しいのはどれか。

① アイゼンハワー→レーガン→ニクソン→ブッシュ
② アイゼンハワー→ジョンソン→トルーマン→ケネディ
③ トルーマン→ニクソン→ジョンソン→レーガン
④ トルーマン→ケネディ→ニクソン→ブッシュ

10 ソ連の歴代首脳を就任順に並べたとき，３番目にあたるのはだれか。

① ゴルバチョフ ② フルシチョフ
③ ブレジネフ ④ スターリン

第15講 【現代編】グローバル化と現代の諸課題
PART1 社会主義の崩壊と民主化

Chapter1 東欧・ソ連の社会主義の崩壊

目標 東欧の民主化や紛争が続いた最大の要因について理解しよう。
ソ連解体に伴い成立した国家共同体について学ぼう。

1 東欧の民主化

①［　　　　　　　　］(1989年)

1988年 ソ連が新ベオグラード宣言で東欧社会主義圏に対する内政干渉を否定

1989年 ［　　　　　　　　］で自主管理労働組合「**連帯**」を中心とする連立政権が発足

※指導者は**ワレサ**で複数政党制。同年，ハンガリーやチェコスロヴァキアでも複数政党制に移行。ルーマニアを除けば共産党の単独政権は平和的に崩壊し，議会制民主主義や市場経済に移行。

※［　　　　　　　　］では，**チャウシェスク**大統領夫妻が処刑される。

1993年 チェコとスロヴァキアが分離

②ベルリンの壁崩壊とドイツ統一

1989年 東ドイツ〔ドイツ民主共和国〕で西側への脱出者が急増して**ホネカー**書記長が退陣

［　　　　　　　　］**崩壊**

1990年 西ドイツ〔ドイツ連邦共和国〕が東ドイツを吸収して**統一ドイツ**を実現

※首都は**ベルリン**。ヴァイツゼッカーが初代大統領。

1991年 経済相互援助会議〔COMECON〕・ワルシャワ条約機構〔WTO〕解消

※東欧社会主義圏は完全に消滅。

③［　　　　　　　　］**連邦**の解体

1980年 ティトーの死

1990年 セルビア南部の［　　　　　　　　］自治州が独立を宣言し内戦状態に突入

1991年 クロアティア・スロヴェニア・マケドニアが独立宣言

1992年 **ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ**が独立宣言・新ユーゴスラヴィア連邦結成

1995年　クロアティアが４年間にわたる激しい内戦を経て完全独立

1999年　ＮＡＴＯ軍が国連にはからずコソヴォのセルビア勢力を空爆

2　ソ連の解体と民族紛争

①ソ連の解体

1990年　大統領制を導入し〔　　　　　　　　　　　　〕が選出される

※計画経済から市場経済への移行をさらに進める。

エストニア・ラトヴィア・リトアニア独立宣言

※これら〔　　　　　　　　　　〕は翌年独立。

1991年　保守派の反ゴルバチョフクーデタが失敗しソヴィエト共産党活動停止

※〔　　　　　　　　　　〕ら急進改革派がクーデタを阻止。

独立国家共同体〔ＣＩＳ〕発足

※エリツィン大統領の**ロシア連邦**が中心。

②民族紛争の発生

プーチン

1994年　チェチェン紛争開始（～2009年）

2000年　〔　　　　　　　　〕が大統領に就任

2008年　メドヴェージェフが大統領に就任

※プーチンは首相として双頭体制に。

2012年　プーチンが大統領に復帰

※メドヴェージェフが首相（のちミシュスティンに）。

2014年　ロシアがウクライナ領のクリミア半島を併合

※Ｇ８サミット参加資格停止。

2022年　ロシアが〔　　　　　　　　　　〕に侵攻

まとめ　東西冷戦が終結に向かったことが，東欧の民主化・紛争の最大の要因だった。ソ連解体に伴い成立したのは独立国家共同体〔ＣＩＳ〕だが，ほぼ機能していない。

Chapter2　その他の社会主義国

目標

中国が推進する広域経済圏構想を何というだろう？
東アジアで中国以外に核兵器を保有し，核実験やミサイル実験を繰り返す国家について学ぼう。

1　中国の変容

①**鄧小平**政権による**社会主義市場経済**化（1970年代末～**改革・開放政策**）
　1975年に周恩来首相が提起した「四つの近代化（農業・工業・国防・科学技術）」を継承
　４つ（のち５つ）の経済特区も設置
　※ 1985年までに人民公社も解体。
②（第二次）〔　　　　　　　　　　　　〕（1989年）
　趙紫陽総書記を解任し**江沢民**を後継者とする
　※江沢民は鄧小平死後の 97年に最高指導者となる。
③〔　　　　　　　　　　〕から**香港**返還（1997年）→**一国二制度**の特別行政区
④**ポルトガル**から〔　　　　　　　〕返還（1999年）→**一国二制度**の特別行政区
⑤**胡錦濤**が最高指導者に（2002年）→急速な経済成長を実現
⑥〔　　　　　　　　　　〕自治区で暴動発生（2008年）→激しい独立運動を展開
⑦新疆**ウイグル**自治区で暴動発生（2009年）
⑧〔　　　　　　　〕が最高指導者に（2012年）→アメリカ合衆国に対抗する超大国へ
⑨習近平が広域経済圏「**一帯一路**」構想を提唱（2013年）
　陸路のシルクロード経済ベルト＋海路の 21世紀海上シルクロード
⑩〔　　　　　〕に**国家安全維持法**を施行（2020年）→激しい反対運動が起こる

天安門事件の戦車を止める人

2　他のアジア社会主義国

①モンゴル人民共和国→**モンゴル国**へ

1992年に社会主義体制から離脱

②〔　　　　　　　　〕→ 1970年代末から難民が多い

1986年から**ドイモイ〔刷新〕**政策の下に**社会主義市場経済**への移行が進む

※ 1979年の**中越戦争**では中国を撃退。

③**カンボジア**→ 1970年代末から難民が多い

1989年にベトナム軍が撤退し 1993年にシハヌークを国王とするカンボジア王国樹立

※ 1978年にベトナム軍がカンボジアに侵攻，翌年にポル＝ポト政権は崩壊。のち社会主義体制から離脱。

※ 1992年，日本が初めてＰＫＯ〔平和維持活動〕として自衛隊を派遣した。

④**ラオス**→社会主義市場経済

⑤**朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕**

金日成→金正日→金正恩と**社会主義体制を維持**

※核兵器も所有しており，2003年から六カ国協議（米・中・ロ・日・韓・北朝鮮）が行われたが，09年以来中断している。

発展するウランバートル

まとめ　中国は広域経済圏構想として「一帯一路」を推進中である。
北朝鮮は核兵器を保有し，核実験やミサイル実験などを繰り返している。

第15講 PART1 確認問題

1 ポーランドの複数政党制における指導者はだれか。

① チャウシェスク　② ワレサ
③ ヴァイツゼッカー　④ ホネカー

2 1989年に退陣した東ドイツ〔ドイツ民主共和国〕の書記長はだれか。

① ヴァイツゼッカー　② エリツィン
③ ホネカー　④ ワレサ

3 新ユーゴスラヴィア連邦が結成された 1992年に独立を宣言した国はどこか。

① ラトヴィア　② クロアティア
③ マケドニア　④ ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ

4 ソ連で大統領制が導入された 1990年に大統領に就任したのはだれか。

① エリツィン　② メドヴェージェフ
③ プーチン　④ ゴルバチョフ

5 1990年に独立を宣言したバルト三国に**あてはまらない国**はどこか。

① リトアニア　② ラトヴィア
③ スロヴェニア　④ エストニア

6 ロシア連邦で2000年に大統領に就任したのはだれか。

① プーチン　② エリツィン
③ ゴルバチョフ　④ メドヴェージェフ

7 中国で1970年代末から社会主義市場経済化を進めた最高指導者はだれか。

① 鄧小平　② 胡錦濤
③ 習近平　④ 江沢民

8 1990年代に中国に返還された地域とその地域を返還した国の組み合わせとして正しいのはどれか。

① 香港：ポルトガル　② 香港：イギリス
③ マカオ：オランダ　④ マカオ：スペイン

9 2013年に広域経済圏「一帯一路」構想を提唱した中国の最高指導者はだれか。

① 習近平　② 胡錦濤
③ 江沢民　④ 鄧小平

10 1986年からベトナムで導入された改革・開放政策はどれか。

① タンジマート　② ドイモイ
③ チュノム　④ スワラージ

PART2 世界の多極化とグローバル化

Chapter1　各地の民主化と通商の自由化

目標　1991年に国際連合に同時加盟した東アジアの２国はどこだろう？
ＧＡＴＴ（のちＷＴＯ）の目的について考えよう。

1　途上国の民主化

中南米を中心に**累積債務問題**を抱える。また，**1997年**，〔　　　　　〕の**バーツ**暴落を契機に〔　　　　　　　〕**通貨危機**が発生した。

①**アルゼンチン**

1982年の〔　　　　　　　　　　　　　　〕**戦争**でイギリスに敗れた軍事政権が翌年崩壊，民政へ移行

②ブラジル

1985年に軍政から民政へ移行が決定

③チリ

社会主義体制のアジェンデ大統領の後，1973年からクーデターで政権を奪取した軍部独裁が続いていたが，88年の国民投票でピノチェト大統領が不信任となり，民政への移行が決定

※ 1983年の経済危機以降，軍部を批判する運動が高まっていた。

④**大韓民国〔韓国〕**→ 1980年の民主化運動「光州事件」は弾圧

1990年にソ連と国交樹立。91年，**北朝鮮と国際連合に同時加盟**。92年には中国とも国交樹立

※ 1993年の金泳三大統領以降, **金大中**（「太陽政策」を掲げ 2000年に初の南北首脳会談）→盧武鉉→李明博→朴槿恵→文在寅→尹錫悦らが文民政治を展開。

⑤〔　　　　　〕（1971年まで**中華民国**として国連代表権をもつ）

民主化を推進し，〔　　　　　　　〕（台湾生まれの「本省人」初の総統）→陳水扁→馬英九→**蔡英文**が総統に就任

⑥**フィリピン**

1986年に開発独裁の**マルコス**政権が崩壊。初の女性大統領アキノ政権が誕生

⑦［　　　　　　　　　］（もとビルマ）

軍事政権が続いていたが，2016年，**アウン＝サン＝スー＝チー**を中心に民主化を達成

⑧マレーシア

1981年に首相に就任したマハティールが，日本の経済成長に学ぶ「ルックイースト」政策を推進

⑨インドネシア

1998年に［　　　　　　　　］政権が崩壊し民政に移行

⑩インド

1998年にインド人民党を中心とする政権が成立

※経済の自由化や外国資本の導入が進み，ハイテク産業などを中心に急速な経済成長を実現。

2　通商の自由化

多角的貿易交渉は，ケネディラウンドや東京ラウンドに続き1986年からウルグアイラウンドが展開されていたが，**関税と貿易に関する一般協定〔ＧＡＴＴ〕**は1995年に［　　　　　　　　　　］〔ＷＴＯ〕へと発展。

※農産物・金融・知的所有権・サービス取引面での自由化が始まった。

※ 2001年からカタールで開催されたドーハ開発アジェンダ〔ドーハラウンド〕は全体合意を得られず，11年に休止が宣言されている。

1993年（平成5年）　12月14日　火曜日

政府「コメ開放」決定

未明に閣議、首相発表へ

社党「政権残留」選ぶ

土壇場まで激論、亀裂残す

ウルグアイラウンドのコメ関税自由化の記事〔毎日新聞（1993年12月14日）〕

まとめ

1991年，韓国と北朝鮮は国際連合に同時加盟した。

ＧＡＴＴ（のちＷＴＯ）は，ブロック経済の形成を防ぎ，自由貿易を促進するための協定（のち機関）である。

Chapter2　地域的統合の進展

目標　ＥＵの大きな転機となった「ブレグジット」とは何か？
現在，日本が直接参加している大きな経済協定は何か？

1　ヨーロッパ連合〔ＥＵ〕の成立

①ヨーロッパ共同体〔ＥＣ〕から**ヨーロッパ連合〔ＥＵ〕**へ

1993年にマーストリヒト条約が発効。世界の〔　　　　〕**主義**〔リージョナリズム〕の象徴

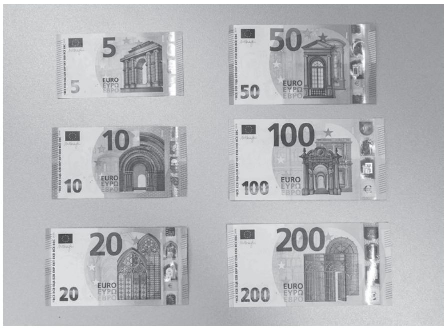
※本部はベルギーのブリュッセルで，現在**27カ国**が参加。

②共通通貨〔　　　　　　〕の導入（2002年）

〔　　　　　　　　〕は通貨**ポンド**を維持するなど足並みは揃わず

※イギリスは2016年の国民投票を経て，20年にＥＵを離脱（＝**ブレグジット**）。

EUの旗



共通通貨ユーロ

2　その他の経済統合と経済危機

①欧州自由貿易連合〔ＥＦＴＡ〕（1960年）→現在は４カ国のみ

②**東南アジア諸国連合〔ＡＳＥＡＮ〕**（1967年）

10カ国の「ＡＳＥＡＮ 10」で1993年以降にＡＦＴＡ〔ＡＳＥＡＮ自由貿易地域〕を形成，

2015年にはＡＥＣ〔ＡＳＥＡＮ経済共同体〕も発足している

③**アジア太平洋経済協力会議〔ＡＰＥＣ〕**（1989年）→日本も参加

オーストラリアの提案で発足。現在，21の国・地域が加盟

④**北米自由貿易協定〔NAFTA〕**（1994年）

アメリカ合衆国・カナダ・メキシコが締結。2020年以降は**アメリカ合衆国・メキシコ・カナダ協定〔USMCA〕**へと移行

⑤南米南部共同市場〔**MERCOSUR**〕（1995年）

⑥［　　　　　　　　　　　　　　　］**（1997年）**

タイのバーツ暴落が契機

⑦アフリカ連合〔AU〕（2002年）

⑧［　　　　　　　　　　　　　］**（2008年）**

アメリカ合衆国発の「**リーマン＝ショック**」が発端

※グローバリゼーション〔グローバル化〕の進展のため被害が甚大化。

⑨G 20 初開催（2008年）

世界金融危機の対処のため。G8＋EUに新興経済国 11 カ国を加えた首脳会議

⑩**環太平洋パートナーシップ協定〔TPP〕**（2016年）→日本も参加

⑪地域的な包括的経済連携〔RCEP〕（2022年）→日本も参加

毎日新聞
米リーマン破綻
史上最大、負債64兆円
メリル バンカメが救済
AIGも株価下落
連鎖破綻危機
東証633円安
世界同時株安
関連企業株全面安

世界金融危機の記事
〔毎日新聞（2008 年 9 月 16 日）〕

まとめ

2016年の国民投票を経て，2020年にイギリスが離脱した「ブレグジット」は，EUの大きな転機となった。

日本はAPECとTPPとRCEPに直接参加している。

第15講 PART2 確認問題

1 アジア通貨危機のきっかけとなった，通貨が暴落した国とその通貨の組み合わせとして正しいのはどれか。

① フィリピン：バーツ　② フィリピン：ウォン
③ タイ：バーツ　④ タイ：ウォン

2 フォークランド紛争でイギリスに敗れた軍事政権が 1983年に崩壊し，民政へ移行した国はどこか。

① アルゼンチン　② ベネズエラ
③ チリ　④ ブラジル

3 「太陽政策」を掲げ 2000 年に初の南北首脳会談を行った韓国の大統領はだれか。

① 金大中　② 金泳三
③ 李明博　④ 文在寅

4 台湾の歴代総統を正しく並べているのはどれか。

① 李登輝→陳水扁→蔡英文→馬英九
② 李登輝→陳水扁→馬英九→蔡英文
③ 陳水扁→李登輝→蔡英文→馬英九
④ 陳水扁→李登輝→馬英九→蔡英文

5 インドネシアで 1998年に辞任した大統領はだれか。

① スハルト　② ピノチェト
③ マルコス　④ アウン＝サン＝スー＝チー

6 1995年に発足した世界貿易機関の略称はどれか。

① ODA　② GATT
③ WTO　④ WHO

7 イギリスで流通している通貨はどれか。

① マルク　② ユーロ
③ フラン　④ ポンド

8 北米自由貿易協定は何になったか。

① RCEP　② NAFTA
③ USMCA　④ EFTA

9 TPP の正式名称はどれか。

① 地域的な包括的経済連携　② 環太平洋パートナーシップ協定
③ 東南アジア諸国連合　④ アジア太平洋経済協力会議

10 次のできごとを年代順に並べたとき，3 番目にあたるのはどれか。

① 世界金融危機の発生　② G 20 初開催
③ アジア通貨危機の発生　④ 環太平洋パートナーシップ協定締結

PART3 増える地域紛争とテロ

Chapter1　世界の地域紛争

目標
1948年以来続く，世界で最も有名な地域紛争とは何だろう？
国連の平和維持活動〔ＰＫＯ〕とはどのようなものか理解しよう。

1　アフリカの民主化と内戦

①モザンビークとアンゴラがポルトガルから独立（1975年）
それぞれ 1992年，2002年まで内戦が続く

②イギリスから独立した南ローデシアが黒人国家ジンバブエとなる（1980年）

③**南アフリカ共和国**が〔　　　　　　　　　　　〕**政策**を法的に撤回（1991年）

アパルトヘイト

アフリカ民族会議〔ＡＮＣ〕の抵抗や国際連合の経済制裁を受けた結果，**デクラーク**大統領が極端な人種隔離政策を撤回
※ 1994年には黒人解放運動の指導者〔　　　　　　　〕が大統領に当選。

④内戦の多発
A　〔　　　　　　　〕**内戦**（1988年～）
B　エチオピアの社会主義政権崩壊（1991年）
C　**ルワンダ内戦**（1990年代前半）
D　**南スーダン共和国**の独立（2011年）→最新の国際連合加盟国（193 カ国目）

2　アジア各地の地域紛争

①〔　　　　　　〕**難民**の発生（1991年～）
クルド人は，トルコ・イラン・イラクにまたがる地域に居住し，特に 1980年代から自治・独立運動を展開していた

②〔　　　　　　　　　〕**暫定自治協定**の締結（1993年）
イスラエルの**ラビン**首相と**パレスチナ解放機構〔ＰＬＯ〕**の**アラファト**議長が，アメリカ合衆国大統領**クリントン**を仲介として相互承認。翌年にはパレスチナ暫定自治政府による〔　　　　〕**地区**・イェリコの自治が始まる

※しかし，1995年にラビン首相がユダヤ教徒の急進派に暗殺される。

※パレスチナ人民衆のイスラエル政府に対する抵抗運動は「**インティファーダ**」という。

③インドネシアから**東ティモール**が分離独立（2002年）

④スリランカ内戦の終結（2009年）

多数派のシンハラ人勢力が少数派のタミル人勢力を制圧

パレスチナ和平

3　紛争解決と軍縮の試み

①**地域紛争**

民族・宗教などが異なる集団による局地的な戦闘。民族紛争などがこれに含まれる

②**国連平和維持活動〔ＰＫＯ〕**（1948年～）

国連平和維持軍〔ＰＫＦ〕などが紛争地域で行う，停戦監視・兵力引き離し・選挙監視・人道支援など

③化学兵器禁止条約（1993年）

④対人地雷全面禁止条約（1997年）

国際的な非政府組織〔ＮＧＯ〕の地雷禁止国際キャンペーン〔ＩＣＢＬ〕は，同年ノーベル平和賞を受賞

⑤［　　　　　　］・**パキスタン**の核保有宣言（1998年）

⑥**プラハ演説**（2009年）

アメリカ合衆国の［　　　　　　］大統領が，チェコのプラハで核兵器廃絶を目指す演説を行い，同年にノーベル平和賞を受賞した

まとめ　ユダヤ人とアラブ人のパレスチナ紛争は，1948年から現在も続いている。国連が紛争地域で行う，停戦監視・兵力引き離し・選挙監視・人道支援などを平和維持活動〔ＰＫＯ〕という。

Chapter2　テロ問題

目標　過去にソ連やアメリカ合衆国が侵攻し，現在も混乱が続くアジアの国について学ぼう。
2010年代に内戦が勃発し，多数の難民を生んだアジアの国とは？

1　同時多発テロ

①〔　　　　　　　　　　　　〕**事件（2001年9月11日）**

ニューヨークの世界貿易センタービル（北棟と南棟），ワシントンの国防総省〔ペンタゴン〕にハイジャックした航空機を自爆突入させた

※ 1991年の湾岸戦争後のペルシア湾岸へのアメリカ合衆国軍駐留継続や，1995年以降のパレスチナ問題の停滞などを背景に，イスラーム急進派の反米感情が高まっていた。

②**ブッシュ（子）大統領**の対応

テロ事件の実行者を，**アフガニスタン**の**ターリバーン政権**の保護下にあるイスラーム急進派組織**アル＝カーイダ**（指導者はビン＝ラーディン）と特定し「対テロ戦争」宣言。10月に同盟国の支援のもとに〔　　　　　　　　　　　〕**戦争**を起こし，ターリバーン政権を崩壊に追い込んだ

※日本はテロ対策特別措置法を制定し，アメリカ合衆国の後方支援を行った。

※アフガニスタンに成立した暫定政権は崩壊し，ターリバーンが勢力を回復するが，混乱は続いている。

世界貿易センタービル跡

米国国防総省〔ペンタゴン〕

2 対テロ戦争

①〔　　　　　　〕**戦争（2003年）**

イラクの**サダム＝フセイン大統領**の政権が大量破壊兵器を保有しているとの理由で，イギリスとともに攻撃して政権を崩壊に追い込んだ

※日本はイラク復興支援特別措置法を制定し，アメリカ合衆国の後方支援を行った。

②アラブの春（2010～12年）

チュニジア・リビア・エジプト・イエメンで独裁政権が倒れて民主化がなされたが，一連の動きの中でイスラーム宗教政党の台頭を招いた

※〔　　　　　　〕では内戦が勃発し，多数の難民が生まれるとともに，国境を越えるイスラームの武装勢力「**イスラム国〔IS〕**」も台頭した。

イスラム国の兵士たち

まとめ

1979年からソ連，2001年にアメリカ合衆国の侵攻を受けたアフガニスタンでは，現在も混乱が続いている。

シリアは多数の難民を生み，イスラーム急進派の武装勢力が台頭するなどした。

第15講　PART3　確認問題

1　南アフリカ共和国が1991年に法的に撤回したものはどれか。

①　白豪主義　②　アパルトヘイト政策
③　インティファーダ　④　ドイモイ政策

2　南アフリカ共和国で，1994年に大統領に当選したのはだれか。

①　マンデラ　②　アラファト
③　デクラーク　④　ラビン

3　次のうち，最初に起こったのはどれか。

①　ソマリア内戦の発生　②　ルワンダ内戦の発生
③　スリランカ内戦の終結　④　アンゴラ内戦の終結

4　2011年に独立を果たし，193カ国目の国連加盟国となったのはどこか。

①　ナイジェリア　②　ガーナ
③　南スーダン共和国　④　コートジボワール

5　パレスチナ暫定自治協定を締結したパレスチナ解放機構の議長はだれか。

①　クリントン　②　アラファト
③　デクラーク　④　ラビン

6 国連平和維持活動の略称はどれか。

① NGO　② ＩＣＢＬ
③ ＰＬＯ　④ ＰＫＯ

7 チェコのプラハで核兵器廃絶を目指す演説を行ったアメリカ大統領はだれか。

① クリントン　② トランプ
③ ブッシュ（子）　④ オバマ

8 同時多発テロ事件後，アメリカがターリバーン政権を崩壊に追い込んだ戦争はどれか。

① 湾岸戦争　② アフガニスタン戦争
③ イラク戦争　④ イラン・イラク戦争

9 イラク戦争によりアメリカ軍に拘束されたのち処刑されたイラクの大統領はだれか。

① アラファト　② マルコス
③ サダム＝フセイン　④ ラビン

10 次のうち，起こった順に正しく並べているのはどれか。

① アメリカ同時多発テロ事件→イラク戦争→アラブの春
② アメリカ同時多発テロ事件→アラブの春→イラク戦争
③ イラク戦争→アメリカ同時多発テロ事件→アラブの春
④ イラク戦争→アラブの春→アメリカ同時多発テロ事件

PART4 情報化・生命科学の進展と地球環境問題

Chapter1　情報化・生命科学の進展

目標
アメリカ合衆国の軍事開発関連から世界中に広まった技術について学ぼう。
遺伝子工学は発達したが，日本である規制がされている技術について考えよう。

1　情報通信技術〔ＩＣＴ〕革命

①アメリカ合衆国発の**ＰＣ〔パーソナル＝コンピュータ〕**の一般家庭への普及（1990年代）

〔　　　　　〕**電話**も 1990年代後半に普及が始まる

②アメリカ合衆国発の〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の普及（1990年代）

情報通信技術〔ＩＣＴ〕革命の急速な進行

昔の携帯電話

2　生命科学〔バイオサイエンス〕の進展

生命工学〔バイオテクノロジー〕が発達するとともに，生殖技術・遺伝子工学・再生医療などに関する［　　　　　　　　］〔バイオエシックス〕問題が噴出している。

①ＤＮＡ〔デオキシリボ核酸〕の構造解明（1953年）

②**遺伝子組み換え技術**の開発（1973年）→遺伝子操作が可能に

③イギリスで［　　　　　　　　］羊ドリー誕生（1996年）

④日本でヒトに関するクローン技術規制法が施行（2001年）

⑤ヒトゲノム解析の完了（2003年）

まとめ　インターネットは，アメリカ合衆国の軍事開発関連に始まり世界中に普及した。日本では，ヒトに関するクローン技術規制法が施行され，クローン技術の適用は制限されている。

Chapter2　地球環境問題と感染症

目標
地球上のすべての国で共有している地球環境問題を２つおさえよう。
我々が向き合うべき重要な社会的課題について考えよう。

1　地球環境問題

地球温暖化，オゾン層の破壊，酸性雨，熱帯雨林などの森林破壊，砂漠化，野生生物種の減少，有害廃棄物の移動〔越境汚染〕などが〔　　　　　　　　　　　　　〕として現在も進行している。

①レイチェル＝カーソン（1907～64年，アメリカ合衆国の生物学者）
　1962年に『**沈黙の春**』を著し，農薬に使用される殺虫剤ＤＤＴや化学薬品などの乱用による生態系の破壊と，人間を含む全生物の死滅を警告

②ボールディング（1910～93年，アメリカ合衆国の経済学者）
　「**宇宙船地球号**」という比喩を経済学に取り入れ，世界は運命共同体であるからこそ，自然環境の保全に取り組むべきだと広く訴えた

③ローマクラブ（地球規模の諸問題を扱う研究者や経営者らの集団）
　1972年に報告書『**成長の限界**』で，このまま地球上の開発が進めば，天然資源は枯渇，環境汚染が進行して限界が訪れると警告した

④コルボーン（1927～2014年，アメリカ合衆国の生物学者）
　1996年に『奪われし未来』を著し，ダイオキシンやポリ塩化ビフェニルなどの環境ホルモン〔内分泌かく乱物質〕の危険性を指摘した

⑤環境問題への取り組み

1972年　**国連〔　　　　　　　　〕会議**
※スウェーデンの〔　　　　　　　　　　　　　　〕→「**かけがえのない地球**」
※人間環境宣言を採択し，同年の国連総会で国連環境計画〔ＵＮＥＰ〕を設立。

1992年　**国連〔　　　　　　　　〕会議〔地球サミット〕**
※ブラジルの**リオデジャネイロ→**「**持続可能な開発**」。
※リオ宣言および行動計画のアジェンダ21を採択。
※気候変動枠組み条約〔地球温暖化防止条約〕と生物多様性条約を調印。

1997年　気候変動枠組み条約第３回締約国会議〔ＣＯＰ３・**京都会議**〕
※先進国に温室効果ガス削減を義務づける〔　　　　〕**議定書**を採択。

2001年　アメリカ合衆国が京都議定書の離脱を表明→単独行動主義のあらわれ

2002年　持続可能な開発に関する世界首脳会議〔環境開発サミット・リオ＋１０〕

※南アフリカ共和国のヨハネスブルグ，ヨハネスブルグ宣言を採択。

2012年　国連持続可能な開発会議〔リオ＋２０〕

※ブラジルのリオデジャネイロ。

2015年　**パリ協定**

※ＣＯＰ 21・パリ会議で採択された，京都議定書に代わる新たな枠組み。

2　感染症問題

「**感染症**」とは，目に見えない**細菌**や〔　　　　　　　　　　〕などにより引き起こされる，感染性の病気で，伝染病ともいう。飢餓や戦争とともに，人類を常に悩ませてきた

①エンデミック〔風土病〕

限定地域内で患者が発生

②エピデミック〔感染症が一定の地域や集団で大量発生すること〕

人や物の移動で数カ国規模に拡大し流行

③パンデミック〔感染症の世界的大流行〕

長距離輸送・移動手段が発達した近現代に特有の現象

A　〔　　　　　　　　　　　　　　〕（1918～19年）

B　新型インフルエンザ（2009～10年）

C　**新型コロナウイルス感染症**（2019年～）

コロナ前の混雑する空港

コロナ感染拡大中のガラガラの空港

まとめ　地球温暖化とオゾン層の破壊は，世界の国が共有する地球環境問題である。地球環境問題や感染症問題以外にも，人口爆発や飢餓，大量生産･大量消費，女性解放などの社会的課題がある。

第15講 PART4 確認問題

1 情報通信技術の略称はどれか。

① ＩｏＴ　② ＰＣ
③ ＩＣＴ　④ ＡＩ

2 遺伝子にかかわる次のできごとを年代順に並べた場合，２番目のできごとはどれか。

① ヒトゲノム解析の完了　② イギリスでクローン羊ドリー誕生
③ デオキシリボ核酸の構造解明　④ 遺伝子組み換え技術の開発

3 1962 年に『沈黙の春』を著し，生態系の破壊などを警告したのはだれか。

① ボールディング　② マララ＝ユスフザイ
③ コルボーン　④ レイチェル＝カーソン

4 ローマクラブが 1972年に出したのはどれか。

① 『成長の限界』　② 『沈黙の春』
③ 『奪われし未来』　④ 「宇宙船地球号」

5 地球環境問題に対処するため，1972年にスウェーデンのストックホルムで開催された会議を何というか。

① 国連環境開発会議　② 持続可能な開発に関する世界首脳会議
③ 国連人間環境会議　④ 国連持続可能な開発会議

6 1992年開催の地球サミットで掲げられたスローガンはどれか。

①「持続可能な開発」　②「かけがえのない地球」
③「宇宙船地球号」　④『奪われし未来』

7 国連環境開発会議に**関連していないもの**はどれか。

① 国連環境計画の設立　② 気候変動枠組み条約の調印
③ アジェンダ 21 の採択　④ 生物多様性条約の調印

8 地球温暖化を防止するため，2015年に採択されたものはどれか。

① リオ宣言　② パリ協定
③ 京都議定書　④ アジェンダ 21

9 次のうち，起こった順に正しく並べているのはどれか。

① 環境開発サミット開催→パリ協定採択→京都議定書採択
② 環境開発サミット開催→京都議定書採択→パリ協定採択
③ 京都議定書採択→パリ協定採択→環境開発サミット開催
④ 京都議定書採択→環境開発サミット開催→パリ協定採択

10 感染症の世界的大流行を意味するものはどれか。

① エピデミック　② パンデミック
③ エンデミック　④ アウトブレイク

[写真・映像提供元]
アフロ，国立公文書館，国立国会図書館，ロイター，読売新聞，邨田丹陵「大政奉還」　聖徳記念絵画館蔵，柏原市立歴史資料館，『北海道巡幸屯田兵御覧　高村真夫　聖徳記念絵画館蔵 』，東京大学大学院法学政治学研究科附属　近代日本法政史料センター明治新聞雑誌文庫所蔵，毎日新聞社，AP，AFP/WAA，川崎市市民ミュージアム所蔵，灸まん美術館，毎日映画社，NASA/AP，NASA/Gamma Rapho，Steve McCurry/Magnum Photos，Vladimir Rodionov/RIA Novosti，東洋経済

確認問題　解答

第 0 講　PART1　確認問題　解答

1 解答：③

十字軍は，1095 年に教皇ウルバヌス 2 世がクレルモン宗教会議で提唱した。

①：15 世紀末まで行われた，イスラム教勢力からイベリア半島を奪回する運動。
②：イスラム教徒に課された義務の一つとされる。
④：古代ローマにおける，大土地所有制度。

2 解答：②

中世ヨーロッパでは，胡椒などの香辛料が高値で取り引きされた。

①：ヨーロッパでの主食である。
③：黒海沿岸などで産出される。
④：アフリカ北部や中東などでも産出される。

3 解答：①

14 世紀初頭，イタリア人が羅針盤を改良したことにより，遠洋航行が可能になった。羅針盤の改良や快速帆船の普及によって，大航海時代が始まった。

②：後漢の蔡倫が発明した。
③：中国で発明され，ヨーロッパに戦術の変化をもたらした。
④：ドイツ人のグーテンベルクが発明し，聖書や知識の普及を促した。

4 **解答：②**　ポルトガルの王子で，アフリカ西岸の探検事業を拡大し，奴隷貿易の推奨や航海学校や天文台の設置などを行った。

①：サファヴィー朝の５代国王。
③：バルトロメウ＝ディアスに航海を命じたポルトガル国王。
④：『世界の記述〔東方見聞録〕』を著した人物。

5 **解答：④**　バルトロメウ＝ディアスは，1488 年にアフリカ南端の喜望峰に到達した。

①：1498 年に，ヴァスコ＝ダ＝ガマが到達した。
②：1500 年に，カブラルが到達した。
③：香辛料の産地で，マゼランの船団が目指した。

6 **解答：④**　コロンブスは，1492 年に「インド」と信じてバハマ諸島のサンサルバドル島に到達し，その後，アメリカ大陸の土地の人々を「インディアン」と呼んだ。

①：インド西岸のカリカットに到達した。
②：マゼランの船団が世界周航に成功した。
③：ブラジルに漂着した。

7 **解答：③**　スペイン王室が，ポルトガル人のマゼランに，西まわりでの航海を命じた。

①：大航海時代に莫大な利益を確保し，首都リスボンは一時世界商業の中心となった。
②：ヘンリ７世の命を受けて，カボットが北アメリカ大陸を発見した。
④：17 世紀前半以降，勢力をつけた。

8 **解答：②**

スペインが征服者〔コンキスタドール〕をアメリカ大陸に送ると，現在のメキシコにあったアステカ帝国を，コルテスが征服した。

①：ピサロが滅ぼした。
③：地中海沿岸を支配した国で，1922 年に滅びた。
④：インドほぼ全域を支配した国で，1858 年に滅びた。

9 **解答：①**

スペインが送った征服者〔コンキスタドール〕の 1 人で，1532 年に，現在のペルーにあったインカ帝国を滅ぼした。

②：アステカ帝国を滅ぼした人物。
③：アメリカ大陸が「新大陸」であると主張した人物。
④：地球球体説を唱えた，天文・地理学者。

10 **解答：④**

先住民がキリスト教に改宗することを条件に労働力として雇うことを認めたが，植民者が先住民を酷使したために，先住民の人口が激減した。

①：中世ヨーロッパで行われた農地利用制度。
②：ビザンツ帝国で行われた軍事行政制度。
③：インド社会に残る，身分階級制度。

第 0 講　PART2　確認問題　解答

1 解答：②　ルネサンス〔文芸復興〕は，イタリアの諸都市の発展を背景とした文化運動で，ヒューマニズム〔人文主義〕を重視し，古代ギリシア・ローマの文化を模範とした。

①：カトリック世界の信仰と教会制度の大改革。
③：大航海時代以降，世界各地の地域世界が結びつきを強めたこと。
④：大航海時代以降の，ヨーロッパの貿易構造の変化。

2 解答：②　マキャベリは,『君主論』で,イタリア統一の必要性やその方策を主張した。『君主論』は近代政治学の祖とされる。

①：ボッカチオが著した。
③：エラスムスが著した。
④：ダンテが著した。

3 解答：①　シェークスピアはイギリス最大の劇作家で,ほかに『オセロ』や『リア王』『マクベス』などを著した。

②：イタリアの詩人である。
③：イギリスの政治家・人文主義者である。
④：『ドン＝キホーテ』を著した，スペインの作家である。

4 解答：③　タキトゥスは,古代ローマの歴史家で,『年代記』や『ゲルマニア』を著した。

①：「万能の天才」と呼ばれる人物で，『モナ＝リザ』などを描いた。
②：『春』や『ヴィーナスの誕生』を描いた画家。
④：『ダヴィデ像』や『最後の審判』などを制作した人物。

5 **解答：①**

ラファエロは，ルネサンス期に活躍したイタリアの画家で，『アテネの学堂』のほか，多くの聖母子像を残した。

②：レオナルド＝ダ＝ヴィンチが描いた。
③：ボッティチェリが描いた。
④：ミケランジェロが描いた。

6 **解答：③**

マルティン＝ルターは，1517 年，カトリック教会の贖宥状〔免罪符〕の販売を批判し，宗教改革を始めた。ルター派など，カトリック教会から分離した宗派を，まとめてプロテスタントと呼ぶ。

①：ドイツの宗教改革者で，ドイツ農民戦争を指導した。
②：ルターをヴォルムス帝国議会に召喚した，神聖ローマ帝国の皇帝。
④：スイスで宗教改革を始めた，フランス出身の宗教改革者。

7 **解答：④**

カルヴァン派は，16 世紀後半にはフランスの他ネーデルラント，スコットランド，イングランドなどに広まった。

①：ネーデルラント（オランダ）での呼称。
②：スコットランドでの呼称。
③：イングランドでの呼称。

8 **解答：①**　ヘンリ８世は，離婚を認めない教皇と対立し，国王至上法〔首長法〕を制定して，イギリス国王をイギリス国教会の最高の首長と定めた。これにより，イングランドの教会は，カトリックから分離した。

②：統一法によって，イギリス国教会を確立した女王。
③：百年戦争を起こした国王。
④：テューダー朝初代国王で，バラ戦争をおさめた。

9 **解答：③**　宗教改革が進展すると，カトリック教会は，教義の明確化などを通じて宗教改革に対抗しようとした。この動きを対抗宗教改革（反宗教改革）という。

①：431 年に公会議が開かれた都市。
②：325 年に公会議が開かれた都市。
④：451 年に公会議が開かれた都市。

10 **解答：②**　フランシスコ＝ザビエルは，イグナティウス＝ロヨラらとともに，教皇の命を受けて，イエズス会を結成し，海外への積極的な布教活動を行った。フランシスコ＝ザビエルは，1549 年に日本に来航した。

①：スイスのチューリヒで宗教改革を行った人物。
③：贖宥状〔免罪符〕を売り出していた教皇。
④：『カンタベリ物語』を著したイギリスの作家。

第０講　PART3　確認問題　解答

1 解答：②

大航海時代を通して，ヨーロッパの貿易圏はアジアやアメリカ大陸へ広がった。

①：アメリカ大陸から銀が大量に流入したことにより，ヨーロッパの物価が高騰したこと。
③：火薬の発明によって鉄砲や大砲などの火器が発達し，騎士階級が没落したこと。
④：18 世紀のイギリスにおける農業技術や経営方式の変革。

2 解答：③

ヴェネツィアやジェノヴァ，ピサなどの北イタリアの諸都市は，東方貿易〔レヴァント貿易〕によって発展したが，商業革命のころに，貿易の中心が地中海から大西洋に移ったことで衰退した。

①：商業革命で発展したイギリスの都市。
②：商業革命で発展したオランダの都市。
④：商業革命で発展したベルギーの都市。

3 解答：④

スペインがアメリカ大陸から大量の銀をヨーロッパに運んだことで，大西洋が貿易の中心となった。

①：東方貿易〔レヴァント貿易〕のころの中心である。
②：1571 年にはじめて，スペインが太平洋を横断する貿易を行った。
③：中世ヨーロッパにおいて，遠隔地貿易がさかんに行われた。

4 解答：①

エルベ川以東のドイツ諸地域で，輸出用の穀物を栽培するために，領主が農民の土地を奪って直営地とし，農民の賦役を強化した経営形態。結果として，農奴に対する支配の強化につながった。

②：植民地で行われた，大農園制。
③：ラテンアメリカで行われた，植民者に先住民の統治を委託する制度。
④：清代の税制。

5 解答：②

メキシコやペルーなどで産出された多くの銀は，ヨーロッパへ流入し，物価高騰を引き起こした。ポトシ銀山は，新大陸最大の銀鉱山で，一時は世界最大の銀の産出量をほこった。

6 解答：①

地動説とは，「太陽の周囲を地球が回っている」とする説で，カトリック教会が信じる天動説に反することから，反発が大きかった。

②：プトレマイオスが唱えた「地球の周囲をほかの天体が回っている」とする説。
③：孟子が唱えた「人の本性は善である」とする説。
④：荀子が唱えた「人の本性は悪である」とする説。

7 解答：④

ガリレイは，コペルニクスの地動説を擁護して宗教裁判にかけられ，撤回した。

①：天動説を唱えたギリシアの天文学者。
②：「ケプラーの法則」を理理論化したドイツの天文学者。
③：フランドル派の画家。

8 **解答：②**

羅針盤は方位を測定するための道具である。中国で発明され，イタリアで改良された。

①：紙は書写材料として発達した。
③：写本よりも安価で迅速に書物が制作できるようになった。
④：鉄砲や大砲などの火器の発達につながった。

9 **解答：③**

火薬によって，鉄砲や大砲などの火器が発達し，従来の戦術が大きく変化した。これによって，騎士階級が没落した。

①：火薬を用いない武器である。
②：航海技術は，火薬ではなく羅針盤によって発達した。
④：活版印刷術によって普及した。

10 **解答：④**

15世紀半ば，グーテンベルクは，金属活字を用いたプレス式の印刷機を考案した。

①：ルネサンス期に,『モナ＝リザ』や『最後の晩餐』などを描いた。
②：ルネサンス期に,『ダヴィデ像』や『最後の審判』などを制作した。
③：スイスで宗教改革を行った人物。

第0講　PART4　確認問題　解答

1　解答：①

近世ヨーロッパでは，国王が主権をもち，国を代表する主権国家体制が確立した。

②：中世において大きな権威をもった。
③：国民の権利が主張されるようになるのは，市民革命以降である。
④：近世では，中央集権化を進めるため，貴族の権利は抑えられた。

2　解答：③

王権神授説とは，王権は神から授けられた神聖なものであるとする説。

①：キリスト教において，神とイエス，聖霊の三者は同質であるとする説。
②：「地球が太陽の周囲を回っている」とする説。
④：キリスト教において，イエスに神性のみを認める説。

3　解答：④

問屋制はおもにイギリスの毛織物産業でさかんに行われた。問屋制の広がりは，のちの資本主義経済へとつながった。

①：資本家が工場に労働者を集め，分業形式で手工業によって生産する様式。
②：16 世紀以降，プロイセンを中心に広がった農民支配を強化する体制。
③：絶対王政期に成立した，国家行政を担う役人集団体制。

4 **解答：②**

ウェストファリア条約は，多くのヨーロッパ諸国が参加した国際会議でまとめられた。

①：1494年に設定された，スペインとポルトガルの海外領土分割に関する条約。
③：1559年に結ばれた，イタリア戦争の講和条約。
④：清とロシアの国境画定条約。

5 **解答：①**

1571年に起こった，スペインとローマ教皇，ヴェネツィアの同盟軍とオスマン帝国軍との戦い。

②：1588年に，エリザベス１世がスペインの無敵艦隊〔アルマダ〕を破った戦い。
③：1494 ~ 1559年，フランスと神聖ローマ帝国がイタリアの覇権を争った戦い。
④：シュマルカルデン同盟と神聖ローマ帝国の信教の自由をめぐる戦い。

6 **解答：③**

エリザベス１世は，スペインのフェリペ２世の無敵艦隊〔アルマダ〕を破り，海外進出を進めた。

①：イギリス国教会を設立した国王。
②：ルネサンスを保護したフランス国王。
④：スペイン国王。のちに神聖ローマ帝国の皇帝カール５世として即位した。

7 **解答：②**　オランダ東インド会社はジャワ島のバタヴィアを拠点とし，イギリス東インド会社はインド・中国貿易を中心に栄えた。

①：絶対王政期に常時置かれるようになった軍隊。
③：オランダ北部７州が，独立に向けて結束を強化するために結んだ同盟。
④：神聖ローマ帝国のカール５世がルターを召喚した議会。

8 **解答：④**　フランスの宗教戦争で，ブルボン朝のアンリ４世がナントの王令を発して，終結した。

①：フランスのルイ 14 世のころに起こった反乱。
②：1381 年にイギリスで起こった農民反乱。
③：宗教改革期のチェコで起こった戦争。

9 **解答：③**　ハプスブルク家は，オーストリアの名門王家で，神聖ローマ帝国の皇帝位をおもに継承した。

①：プロイセンを支配した一族。
②：フランスのブルボン朝を開いた一族。
④：イタリアで，ルネサンスを保護した一族。

10 **解答：①**　ロマノフ朝は, モスクワ大公国のイヴァン４世〔雷帝〕没後の動乱を経て, ミハイル = ロマノフが開いた王朝。

②：15 世紀に成立したイギリスの王朝。
③：14 世紀に成立したフランスの王朝。
④：10 世紀に成立したフランスの王朝。

第1講　PART1　確認問題 解答

1 解答：②　ヌルハチは女真〔女直〕諸部族を従え，1616 年に金を建国した。

①：1267 年に元を建国した人物。
③：ヌルハチの子で，後金第二王となった人物。
④：明代の王で，モンゴルの勢いを復興させた人物。

2 解答：①　李自成は，国号を大順として王を称したが，明の武将である呉三桂に敗れた。

②：朝鮮の水軍を率いて豊臣秀吉の朝鮮侵略を迎え撃った人物。
③：明の有力武将であったが，李自成の反乱を機に清に降り，清軍の北京入城を先導した。
④：元末の紅巾の乱に加わり，明を建国した人物。

3 解答：④　女真の狩猟組織から発達したもので，満州人の満州八旗から，蒙古八旗・漢軍八旗に拡大した。

①：清朝 3 代の順治帝による北京入城後に編制された，漢人による軍事組織。
②：征服地の藩部を統轄するために置かれた機関。
③：清朝 5 代の雍正帝の時代に置かれた諮問機関。

4 解答：③　清の康熙帝とロシアのピョートル 1 世の間で結ばれた国境に関する条約。

①：ロシアとの間で結ばれた, 未定だった西部（モンゴルとシベリア）の国境に関する条約。
②：1713 年に結ばれたスペイン継承戦争の講和条約。
④：1648 年に結ばれた三十年戦争の講和条約。

5 解答：②

康熙帝は台湾やジュンガルを占領し，雍正帝，乾隆帝へと続く清の全盛期を現出させた。

①：6 代皇帝で，清朝の領土を最大に拡張した。
③：5 代皇帝で，キリスト教の布教を禁止し，軍機処を設置した。
④：3 代皇帝で，呉三桂に導かれ盛京（現在の瀋陽）から北京に遷都した。

6 解答：④

円明園は離宮として建設され，西洋風の建物と庭園をもつ。

①：5 代雍正帝の時代に中国全図『皇輿全覧図』を作成したイエズス会宣教師。
②：明末に中国初の世界地図である『坤輿万国全図』を作成したイエズス会宣教師。
③：6 代乾隆帝の時代に，自由貿易を要求するために渡来したイギリス使節。

7 解答：①

公行とは特許を得て貿易にあたった商人の組合で，唯一の貿易港となった広州で結成された。

②：4 代康熙帝の時代に始められた制度。
③：隋の時代に始まった官吏登用制度で，清の時代にも続けられた。
④：4 代康熙帝の時代にとられた政策。

8 解答：①

華夷は儒教の宋学（朱子学）の理念で，明の時代にも意識された。

②：新しい領土のこと。
③：18 世紀を中心にヨーロッパで流行した中国趣味のこと。
④：国の有力者が，中国皇帝から国王として承認を受けること。

9 **解答：③**　　壬辰・丁酉倭乱は文禄・慶長の役とも呼ばれる。

①：清朝で 1673 ~ 81 年に呉三桂などの三藩王が起こした反乱。
②：清朝で 1796 年に起こった農民反乱。
④：清朝で 1813 年に起こった白蓮教徒の一部による農民反乱。

10 **解答：④**　　琉球王国は，清からは冊封使が来琉する一方，薩摩藩島津氏の支配を受ける「日中両属」状態にあった。

①：蝦夷地に住むアイヌとの間で交易を行っていた。
②：どこの国も支配していない。
③：朝鮮との間で貿易を行っていた。

第1講　PART2　確認問題 解答

1 解答：①　セルジューク朝で，トゥグリル＝ベクがアッバース朝カリフ〔代理人〕からスルタン〔支配者〕の称号を授かったことに始まり，オスマン帝国で君主の称号として確立。

②：古代イランの王を意味する。
③：人頭税を意味する。
④：代理人を意味する。

2 解答：③　イェニチェリは，キリスト教徒の子弟を徴収して編制された。

①：ティマール〔徴税権〕を保持する騎兵のこと。
②：宗教共同体のこと。
④：徴税権のこと。

3 解答：②　オスマン帝国はティムール朝に敗れ，バヤジット 1 世が捕虜とされる。

①：1538 年，オスマン帝国がスペイン・ヴェネツィアの連合艦隊を破った戦い。
③：1571 年, オスマン帝国がスペインなどの連合艦隊に敗れた戦い。
④：1526 年，バーブルがロディー朝を破り，ムガル帝国を建てることとなった戦い。

4 解答：①　メフメト 2 世はコンスタンティノープルをイスタンブルと改称し，オスマン帝国の新首都とした。

②：ニコポリスの戦いでハンガリー王ジギスムントを撃破したスルタン。
③：第 1 次ウィーン包囲を行うとともに，プレヴェザの海戦で勝利したスルタン。
④：マムルーク朝を滅ぼし，エジプトなどを領有したスルタン。

5 解答：①　イランの神秘教団の長イスマーイール 1 世が遊牧民信者を率いタブリーズを占領して建てた。

②：1370 年，ティムールがサマルカンドを都として建てた王朝。
③：1038 年，トゥグリル＝ベクが建てた王朝。
④：1250 年，マムルーク軍隊奴隷出身者がエジプトで建てた王朝。

6 解答：③　新首都は「イスファハーンは世界の半分」と言われるほどの繁栄をみせた。

①：ティムール朝の首都。
②：オスマン帝国の新首都。
④：オスマン帝国が最初に建国された地域。

7 解答：③　国内統一のため，シーア派（特に十二イマーム派）を国教とした。

①：オスマン帝国がハンガリー王ジギスムントを撃破した。
②：オスマン帝国のセリム 2 世が, スペインなどの連合艦隊に敗れた。
④：オスマン帝国のスレイマン 1 世が，大軍を率いて神聖ローマ帝国の重要都市ウィーンを包囲した。

8 **解答：④**　アウラングゼーブは 6 代皇帝で，領土を拡大し，ムガル帝国全盛期を築いた。

①：3 代皇帝で, 人頭税〔ジズヤ〕を廃止してヒンドゥー教と融和した。
②：5 代皇帝で，インド＝イスラーム文化の頂点となるタージ＝マハル廟を建設した。
③：初代皇帝で，パーニーパットの戦いに勝利し，ムガル帝国の基礎を築いた。

9 **解答：①**　マレー半島とスマトラ島にまたがる地域に成立したイスラーム教国。

②：ジャワ島西部に成立した王国。
③：ジャワ島東部に成立した王国で，ムスリム商人が新たな拠点とした。
④：スマトラ島に成立した王国で, ムスリム商人が新たな拠点とした。

10 **解答：②**　トゥングー朝とも呼ばれ，ペグー王国に滅ぼされた。

①：1351 年にタイに成立した王朝。
③：タウングー朝が滅びた後，1752 年にアラウンパヤーがビルマに建国した王朝。
④：1782 年に成立した，現在のタイの王朝。

第1講　PART3　確認問題 解答

1 解答：②　大坂の役は，1614 年の冬の陣と 1615 年の夏の陣からなる。

①：豊臣秀吉による朝鮮侵略の戦いの一つ。
③：鎌倉時代に起こった元軍との戦いの一つ。
④：豊臣秀吉による朝鮮侵略の戦いの一つ。

2 解答：④　改易になると，その家は断絶することになる。

①：大名の所領や城・屋敷の一部を削減すること。
②：所領を別の場所に移すこと。
③：江戸幕府が諸大名に課した土木事業のお手伝いのこと。

3 解答：②　文治政治は 4 代将軍徳川家綱から 7 代将軍徳川家継まで行われた。

①：武家諸法度などを出した 2 代将軍。
③：享保の改革を行った 8 代将軍。
④：生類憐みの令を出した 5 代将軍。

4 解答：③　江戸時代，大坂は商業・経済の中心地として栄えた。

①：「将軍のお膝元」と呼ばれ，政治の中心地として栄えた。
②：文化の中心地として栄えた。
④：三都には含まれていない。

5 **解答：①**　中山道は，草津で東海道と合流する。

②：江戸～日光（現在の栃木県）間を結ぶ街道。
③：江戸～白河（現在の福島県）間を結ぶ街道。
④：江戸～下諏訪（現在の長野県）間を結ぶ街道。

6 **解答：①**　若年寄は譜代大名から選任された。

②：臨時に老中の上位に置かれた職制。
③：幕政の監察を主な任務とする職制。
④：三奉行の一つで，幕領の租税徴収や訴訟を担当した職制。

7 **解答：④**　将軍から公布された，海外渡航を許可する朱印状を携え，主に東南アジアで中国船との出会貿易を行っていた。

①：室町時代に行われていた貿易。
②：安土・桃山時代に行われていた貿易。
③：外国から一度輸入した商品をそのまま外国へ再輸出する貿易で，琉球王国などで行われていた。

8 **解答：④**　ポルトガル船来航禁止は 1639 年のできごと。鎖国は，キリスト教禁止の徹底と幕府による貿易利潤の独占を目的としていた。

①：1623 年のできごと。
②：1624 年のできごと。
③：1635 年のできごと。

9 解答：①　慶賀使は薩摩藩の監督のもとに江戸に送られた。

②：中国の明，清代に皇帝が琉球王国を封ずるために派遣した使者。
③：朝鮮が将軍の代替わりごとに幕府に派遣した使節。
④：琉球王国が国王の代替わりごとに幕府に派遣した使節。

10 解答：③　シャクシャインの戦いは近世最大の蜂起となった。

①：1789 年に起こった。
②：鎌倉時代の 1321 年に起こった。
④：室町時代の 1457 年に起こった。

第1講　PART4　確認問題 解答

1 解答：②　ウラディミル 1 世はギリシア正教を国教化した。

①：14 世紀前半に，イヴァン 3 世が東北ロシアを統一して建てた国。
③：9 世紀に，スウェーデン系ノルマン人リューリクが建国したとされる。
④：13 世紀に，バトゥが南ロシアに建てた国。

2 解答：②　イヴァン 4 世は南ロシアに進出して恐怖政治を展開し農奴制を強化した。

①：初めてツァーリ〔皇帝〕の称号を用いたモスクワ大帝国の皇帝。
③：ロマノフ朝時代の皇帝。
④：キエフ公国の皇帝。

3 解答：④　ネルチンスク条約は，ピョートル 1 世〔大帝〕と清の康熙帝の間で締結された国境に関する協定。

①：ピョートル 1 世〔大帝〕退位後の 1727 年に，ロシアと清の間で締結された中央アジア付近の国境に関する協定。
②：1763 年にプロイセンとオーストリアが締結した，七年戦争の講和条約。
③：1721 年にロシアとスウェーデンが締結した，北方戦争の講和条約。

4 解答：③　ピョートル１世〔大帝〕はデンマーク･ポーランド･プロイセンと結び, カール 12 世を攻めた。

①：1756 年に起こった，プロイセンとオーストリアの対立を軸とした戦争。
②：1688 年に起こった，フランスのルイ 14 世の侵略戦争の一つ。
④：1618 年のベーメンの反乱から始まった，ヨーロッパ各国が介入した戦争。

5 解答：③　エカチェリーナ２世は，クリミア半島の領有やポーランド分割などにより，領土の拡張を図った。

①：カムチャツカを領有したり，北方戦争でスウェーデンを破ったりしたロシアの皇帝。
②：北方戦争で, ロシアのピョートル１世に敗れたスウェーデン国王。
④：神聖ローマ帝国〔オーストリア〕の皇帝。

6 解答：③　松平定信は寛政の改革を行った老中で，通商は拒否したが，ラクスマンに信牌を与えた。

①：最上徳内を千島探検に派遣した老中。
②：ロシア使節のレザノフが長崎に来航し通商を要求した際，拒否した将軍。
④：金・銀流出対策を行った侍講。

7 解答：①　間宮林蔵らが樺太を探検し，島であることを発見した。

②：1785 年に千島探検，1798 年に南千島探検に派遣された人物。
③：ロシアのエカチェリーナ２世によって日本に帰国した漂流民。
④：1798 年に南千島探検に派遣された人物。

8 **解答：④**　フェートン号事件がきっかけとなり，江戸幕府は 1825 年に異国船打払令〔無二念打払令〕を出した。

①：1837 年，アメリカの商船を 2 カ所で打ち払った事件。
②：1811 年, 国後島に上陸したロシア軍艦の艦長ゴローウニンらが, 日本の役人に捕らえられて監禁された事件。
③：オランダ商館のドイツ人医師シーボルトによる日本地図持ち出し未遂事件。

9 **解答：②**　老中水野忠邦が異国船打払令を撤回して出した。

①：1825 年に出された，清・朝鮮・琉球船以外の外国船の撃退を命じた法令。
③：1715 年に出された，清・オランダとの貿易額を制限する法令。
④：異国船打払令の別名である。

10 **解答：①**　アメリカは捕鯨船・対清貿易船寄港地として日本の開国を切望し，ビッドルを派遣した。

②：ラクスマンに次いで、1804 年長崎に来航したロシア使節。
③：1853 年，浦賀に来航したアメリカ東インド艦隊司令長官。
④：オランダ商館のドイツ人医師。

第２講　PART1　確認問題　解答

1　解答：①　ポルトガルはゴアを占領し，ヨーロッパとアジアをつなぐムスリム商人に対抗した。

②：オランダが根拠地とした。
③：オランダが植民地とした。
④：スペインが根拠地とした。

2　解答：②　スペインはフェリペ２世時代にフィリピンを領有し，マニラを拠点としたアジア貿易を展開した。

①：オランダが根拠地とした。
③：ポルトガルが占領した。
④：イギリスが拠点とした。

3　解答：④　オランダはジャワ島のバタヴィアを根拠地に，香辛料・陶磁器貿易の実権を握った。

①：イギリスが拠点とした。
②：スペインが根拠地とした。
③：ポルトガルが占領した。

4 **解答：①**　アンボイナ事件をきっかけに，オランダがイギリスの勢力を東南アジアから排除した。

②：1793 年，フランス西部のヴァンデー地方で起こった農民反乱。
③：1757 年，東インド会社の傭兵軍を率いたクライヴが，フランス・インド地方政権の連合軍を破った戦い。
④：1572 年，ユグノー戦争中に起こった，新教徒が旧教徒に虐殺されたできごと。

5 **解答：①**　プラッシーの戦いにより，イギリス領インドの基礎が築かれた。

②：18 世紀に，南インド諸国の対立に介入したイギリスとフランスが 3 次にわたって抗争した戦争。
③：1775 ~ 1818 年の，イギリスとマラーター同盟との 3 度に及ぶ戦争。
④：1756 ~ 63 年の，プロイセンとオーストリアの対立を軸とした戦争。

6 **解答：③**　コルベールは重商主義政策の一環でインドに進出し，イギリスに対抗した。

①：イギリスが拠点とした。
②：ポルトガルが占領した。
④：イギリスが拠点とした。

7 **解答：③**　コロンブスの新大陸到達以降，南アメリカ大陸はスペインとポルトガルに支配された。

①：ブラジルを除くラテンアメリカの大半を植民地化した。
②：ケベックを中心にカナダに進出した。
④：北アメリカ東岸にニューネーデルラント植民地を領有した。

8 解答：②　フランスは，17 世紀初めにカナダに進出した後，17 世紀後半にルイジアナを領有した。

①：オランダが領有した。
③：イギリスが領有した。
④：イギリスが領有した。

9 解答：②　イギリスはパリ条約で，カナダとミシシッピ川以東のルイジアナ，フロリダ，西インド諸島の一部及びアフリカのセネガルを獲得。

①：1713 年にイギリスとフランスの間で締結された，スペイン継承戦争・アン女王戦争の講和条約。
③：1689 年にロシアと清の間で締結された国境に関する条約。
④：1714 年にフランスと神聖ローマ帝国の間で締結された，スペイン継承戦争の講和条約。

10 解答：③　綿織物〔キャラコ〕は東インド会社から得たものである。

①：アメリカ大陸・西インド諸島からヨーロッパに運ばれた。
②：アメリカ大陸・西インド諸島からヨーロッパに運ばれた。
④：アフリカからアメリカ大陸・西インド諸島にもたらされた。

第 2 講　PART2　確認問題　解答

1 解答：②

権利の請願に反対したチャールズ 1 世は，翌年に議会を解散し，以後 11 年間議会を開かなかった。

①：1689 年，名誉革命後に発布された，権利の宣言を成文化したもの。
③：1215 年，イギリスの国王ジョンに，王権の制限，貴族の特権などを認めさせた文書。マグナ＝カルタとも呼ばれる。
④：1689 年，イギリス議会が王権の制限，国民の諸権利などについてまとめたもの。

2 解答：③

クロムウェルは，1649 年にチャールズ 1 世を処刑し，共和政を打ちたてた。

①：王権神授説を唱えた。
②：チャールズ 2 世の弟で，カトリックと絶対王政の復活につとめた。
④：クロムウェルの死後，国王として迎えられた（王政復古）。

3 解答：②

チャールズ 2 世は，議会を尊重することを約束して国王となった。

①：クロムウェルに処刑された。
③：ハノーヴァー朝を創始した。
④：ジェームズ 2 世の長女メアリの夫で，名誉革命の際に迎え入れられた。

4 **解答：④**　アン女王の死後，遠縁にあたるドイツのハノーヴァー選帝侯が国王に迎えられて始まった。

①：1371 年にロバート 2 世が創始し，ピューリタン〔清教徒〕革命で倒された王朝。
②：1154 年にヘンリ 2 世が創始した王朝。
③：ヘンリ 7 世からエリザベス 1 世までの，イギリス絶対王政全盛期の王朝。

5 **解答：②**　コルベールは重商主義政策をとり，東インド会社を再建した。

①：責任内閣制が始まるきっかけをつくったハノーヴァー朝時代の首相。
③：ヴィクトリア朝時代の自由党所属の首相。
④：ヴィクトリア朝時代の保守党所属の首相。

6 **解答：③**　フランスの絶対王政を象徴する建築で，宮廷には貴族や芸術家が集められた。

①：スペインのグラナダに残る，イスラーム王朝ナスル朝の宮殿。
②：プロイセンのフリードリヒ 2 世がベルリン郊外ポツダムに建造した宮殿。
④：チベットの首都ラサにある，チベット仏教の教主ダライ = ラマの居城。

7 **解答：③**　ユトレヒト条約では，スペインとフランスは合同しない条件でブルボン家のスペイン王位継承を各国が承認した。

①：ナポレオンとイギリスとの間で締結された講和条約。
②：七年戦争やフレンチ = インディアン戦争など英仏植民地抗争の講和条約。
④：三十年戦争の講和条約。

8 **解答：③**　大王とも呼ばれ，「君主は国家第一の僕」を自称した。

①：ドイツ帝国の初代皇帝。
②：第一次世界大戦時のドイツ帝国皇帝。
④：絶対王政の基礎をつくりあげた，プロイセン 2 代目の国王。

9 **解答：①**　フリードリヒ 2 世が行った啓蒙専制主義による統治は，ユンカーと呼ばれる領主層を支柱とする非近代的性格の強いものであった。

②：中世末期から近世初頭のイギリスにおいて，騎士や富裕な平民が地主化した階層。
③：中世のイギリスにおける独立自営農民のこと。
④：大農園経営者のこと。

10 **解答：④**　マリア = テレジアは「外交革命」でフランスと同盟を結んだ。

①：プロイセンのフリードリヒ 2 世やオーストリアのヨーゼフ 2 世と関連がある。
②：フランスのルイ 14 世が行った。
③：イギリスのクロムウェルが制定した。

第 2 講　PART3　確認問題　解答

1 解答：④　ニュートンは，近代物理学の基礎を打ちたてた。

①：惑星運行の法則を唱えた。
②：気体の圧力と体積の関係を解明した。
③：物体落下の法則を唱えた。

2 解答：②　グロティウスは，自然法思想を国家間の関係に適用し，「国際法の祖」と呼ばれた。

①：社会契約説を唱えた。
③：ドイツ観念論を確立した。
④：啓蒙思想家で，カトリック教会を批判した。

3 解答：①　ホッブズは，自然状態を「万人の万人に対する闘い」ととらえて国家主権の絶対性を結論づけた。

②：社会契約説を唱えたロックの著書。
③：三権分立を主張したモンテスキューの著書。
④：社会契約説を唱えたルソーの著書。

4 解答：①　ヴォルテールは『哲学書簡』でイギリスを賛美した。

②：『戦争と平和の法』を著し，「国際法の祖」と呼ばれた。
③：『法の精神』を著し，三権分立を説いた。
④：演繹法による大陸合理論を確立した。

5 解答：④　アダム＝スミスは『諸国民の富〔国富論〕』で，分業と市場経済の基礎理論を展開した。

①：国家規制の強い重商主義を批判し，自由放任に基づく重農主義を唱えた。
②：百科全書派の一人で, ディドロとともに『百科全書』の編纂を行った。
③：国家規制の強い重商主義を批判し，自由放任に基づく重農主義を唱えた。

6 解答：④　産業革命はイギリスから始まり，フランス・ベルギー・アメリカ・ドイツの順に波及し，ロシアや日本は 19 世紀末まで遅れた。

①：イギリス・フランス・ベルギーに次いで開始した。
②：イギリスに次いで開始した。
③：イギリス・ベルギー・フランス・アメリカに次いで開始した。

7 解答：③　ミュール紡績機の発明により，紡績業が発達し綿糸の大量生産が始まった。

①：カートライトが発明した。
②：ジョン＝ケイが発明した。
④：ワットが動力源として改良した。

8 解答：④　スティーヴンソンによって製作された蒸気機関車はのちに実用化され，1830 年にはマンチェスター・リヴァプール間の旅客鉄道が開通した。

①：力織機を発明した。
②：蒸気船を試作した。
③：飛び杼を発明した。

9 解答：②　首都のロンドン，工業都市のマンチェスター・バーミンガム，商業都市のリヴァプールには人口が集中した。

①：イギリスの首都。
③：工業都市として発展した。
④：工業都市として発展した。

10 解答：①　マルクスは友人のエンゲルスと協力して『共産党宣言』を著した。

②：『リヴァイアサン』を著し，社会契約説を唱えた。
③：『諸国民の富〔国富論〕』を著し，古典派経済学を確立した。
④：『哲学書簡』を著し，イギリスを賛美した。

第 2 講　PART4　確認問題 解答

1 解答：②

フレンチ＝インディアン戦争で，それまで決着のつかなかった英仏関係はイギリスが優位を確定させた。

①：1688 ～ 97 年に起こった，ルイ 14 世の侵略戦争の一つ。
③：1781 年に起こった，アメリカ独立戦争で植民地側が勝利した戦い。
④：1775 年に起こった，アメリカ独立戦争が開始された戦い。

2 解答：②

印紙法はあらゆる印刷物に印紙をはることを義務づけた法律で，財政赤字を軽減するために制定された。

①：1673 年に制定された，公職就任者を国教徒に限るとした法律。
③：1651 年に制定された，イギリス貿易の保護・促進を目的とした法律。
④：1773 年に制定された，植民地での茶の独占販売権を東インド会社に与えた法律。

3 解答：④

ジェファソンはのちに第 3 代大統領となった。

①：社会契約説を唱えた人物。独立宣言に影響を与えた。
②：『コモン＝センス〔常識〕』で独立を「常識」と宣言した人物。
③：独立戦争の総司令官で，初代大統領に就任した人物。

4 **解答：②**　パリ条約には，イギリス本国はミシシッピ川以東の広大な領地をアメリカ合衆国に割譲することも盛り込まれた。

①：スペイン継承戦争の講和条約。
③：ナポレオンとイギリスとの間で締結された講和条約。
④：ナポレオンがプロイセン・ロシアとの間で締結した条約。

5 **解答：②**　ワシントンは「建国の父」と呼ばれる。

①：初代国務長官に就任した。
③：『コモン＝センス〔常識〕』を著した。
④：初代財務長官に就任した。

6 **解答：③**　旧制度〔アンシャン＝レジーム〕では，第一身分（聖職者），第二身分（貴族）が特権階級。

①：第一身分は聖職者。有産市民〔ブルジョワ〕は平民にあたり第三身分。
②：都市民衆は平民にあたり第三身分。
④：第三身分は平民。

7 **解答：①**　国民議会は種々の改革を行ったのち，憲法発布後の 1791 年に解散した。

②：1794 年のテルミドール 9 日のクーデタ後に成立した政府。
③：1792 年，立法議会に代わって男子普通選挙により成立した議会。
④：1791 年の憲法発布後，国民議会に代わって制限選挙により成立した議会。

8 **解答：③**

ロベスピエールは，ジャコバン派（山岳派）の指導者で，1794 年のテルミドールのクーデタで処刑された。

①：フランス人権宣言を起草した軍人・政治家。
②：女性の権利を求めたが処刑された劇作家・女優。
④：小冊子『第三身分とは何か』で身分制度のあり方を批判した第三身分出身の聖職者・政治家。

9 **解答：④**

トラファルガーの海戦の勝利により，ナポレオンのイギリス侵攻を阻止した。

①：1571 年，スペインなどの連合艦隊がオスマン帝国艦隊を破った海戦。
②：1538 年, オスマン帝国の海軍がスペイン海軍などを破った海戦。
③：1588 年, イギリス海軍がスペインの無敵艦隊（アルマダ）を破った海戦。

10 **解答：①**

ワーテルローの戦いで大敗したナポレオンは，南大西洋のセントヘレナ島に流された。

②：1805 年に起こった，ナポレオンが勝利した戦いで，三帝会戦とも呼ばれる。
③：1757 年に起こった，イギリス東インド会社がフランスに勝利した戦い。
④：1813 年に起こった，ナポレオンが破れた戦いで，諸国民戦争とも呼ばれる。

第 3 講　PART1　確認問題　解答

1 解答：④　イェニチェリは，バルカン半島征服後にキリスト教徒の子弟をデウシルメ制で集め編制した歩兵軍団。

①：イスラーム各王朝に仕えたトルコ人などの奴隷兵士のこと。
②：オスマン帝国のトルコ人騎兵のこと。
③：オスマン帝国の地方名士のこと。

2 解答：①　アブデュルメジト 1 世は，司法・行政・財政・軍事にわたる大規模な西欧化改革・再編成をギュルハネ勅令で宣言した。

②：イェニチェリ軍団の解散などの改革を実行したオスマン帝国のスルタン。
③：ミドハト憲法を制定したオスマン帝国のスルタン。
④：18 世紀末，オスマン帝国の近代化を図ったスルタン。

3 解答：①　パリ条約により，黒海は中立化された。

②：ロシア = トルコ〔露土〕戦争の講和条約。
③：サン = ステファノ講和条約締結後，ベルリン会議が開催された結果，新たに結ばれた条約。
④：1699 年，オスマン帝国がオーストリアなどと締結した条約。

4 解答：③

露土戦争はロシア＝トルコ戦争ともよばれ，サン＝ステファノ講和条約が締結された。

①：オスマン帝国が，イギリス・フランスに支援され南下してきたロシアを破った戦い。
②：南インド諸国の対立に介入したイギリスとフランスによる 3 次にわたる戦い。
④：イギリス・フランスによる中国に対する侵略戦争。

5 解答：③

ベルリン条約により，オスマン帝国はヨーロッパの領土を大幅に失った。

①：条約締結後，独立した。
②：条約締結後，独立した。
④：条約締結後，独立した。

6 解答：②

ワッハーブ王国は，イスラーム改革を唱えるワッハーブ派が建てた王国である。

①：16 ～ 18 世紀に，インドネシアのジャワ島東部を中心に存在した王国。
③：16 世紀に，マラッカ王国のスルタンがマレー半島南端に移って建てた王国。
④：20 世紀初めに，フセインによって建てられた王国。

7 解答：④

カージャール朝は，トルコ系民族の王朝である。

①：1750 年に成立した王朝。カージャール朝に滅ぼされた。
②：1736 年にナーディル＝シャーが建てた王朝。カージャール朝に滅ぼされた。
③：16 世紀初め，サファヴィー教団がイランに建てた王朝。

8 解答：②　トルコマンチャーイ条約では，ロシアに治外法権を認めた。

①：エジプト＝トルコ戦争の講和条約。
③：クリミア戦争の講和条約。
④：ロシア＝トルコ〔露土〕戦争の講和条約。

9 解答：④　ムハンマド＝アリーは，エジプト総督に就任し，帝国の支配下で自治を認められた。

①：スエズ運河を完成させたフランスの外交官。
②：ワッハーブ王国で，ワッハーブ運動を展開したイスラーム改革運動指導者。
③：19 世紀後半にパン＝イスラーム主義を唱えた人物。

10 解答：④　ウラービー運動はその後のエジプト民族運動の原点となった。

①：オスマン帝国によりエジプトに派遣され，エジプト総督となった人物。
②：エジプトへの干渉を行ったイギリスの首相。
③：オスマン帝国でミドハト憲法を起草した改革派官僚。

第３講　PART2　確認問題 解答

1 解答：②

カーナティック戦争に続いてプラッシーの戦いで勝利したイギリスは，インドにおける覇権を確立させた。

①：1767 ～ 99 年の，イギリスとマイソール王国との４次にわたる戦い。
③：1775 ～ 1818 年の，イギリスとマラーター同盟との３次にわたる戦い。
④：1757 年にベンガル地方で起こった，イギリスがフランスに勝利した戦い。

2 解答：③

ザミンダーリー制やライヤットワーリー制，現金税の導入により，インド経済は大混乱した。

①：ベンガルなどでイギリス東インド会社が獲得した徴税権のこと。
②：19 世紀末に始められたユダヤ人国家建設運動。
④：東インド会社による地税の徴収方法の一つで，仲介者を排除して農民に土地保有権を与える方法。

3 解答：①

シパーヒーは，ヒンドゥー教徒・イスラーム教徒などのインド人からなる。

②：18 世紀にアラビア半島で起こったイスラーム教改革派（運動）。
③：ベンガルなどでイギリス東インド会社が獲得した徴税権のこと。
④：プラッシーの戦いで勝利したイギリス東インド会社軍の司令官。

4 解答：③　ヴィクトリア女王は，インドをはじめとする広大な海外植民地を支配した。

①：産業革命のころのイギリス国王。
②：16 世紀後半のイギリス女王。
④：1852 年に即位したフランスの皇帝。

5 解答：④　オランダはバタヴィアに政庁を設置した。

①：マレー半島・北ボルネオ・ビルマに進出した。
②：ベトナム・カンボジア・ラオスに進出した。
③：フィリピンに進出した。

6 解答：②　コンバウン朝を滅ぼしたイギリスは，ビルマをインド帝国に併合した。

①：14 世紀に建てられた，タイ最初の統一王朝。
③：コンバウン朝の前，16 世紀に成立したビルマの王朝。
④：1782 年に建てられた，タイの王朝。現在の王家につながる。

7 解答：③　スペインは，1834 年にマニラを正式に開港した。

①：フランスが進出した。
②：イギリスが進出した。
④：オランダが進出した。

8 解答：③　阮福暎は西山政権を倒してベトナムを統一し，阮朝を建てた。

①：清の政治家で，太平天国の乱を鎮圧した。
②：清の高官で，アヘン密輸の取り締まりを強化した。
④：黒旗軍を組織してフランス軍に抵抗した。

9 **解答：①**　清仏戦争ではフランスが清に勝利し，天津条約でベトナムを保護国化した。

②：1860 年，清がイギリス・フランスと結んだ条約。
③：1842 年，清がイギリスと結んだ，アヘン戦争の講和条約。
④：1844 年，清がアメリカと結んだ条約。

10 **解答：④**　ラーマ５世〔チュラロンコン〕は近代化に成功して植民地化を回避し，近代的な統治機構を確立した。

①：ラーマ４世が締結した。
②：フランスとベトナムが締結した。
③：オランダの東インド総督が導入した。

第3講　PART3　確認問題　解答

1 解答：④　マカートニーは，広州以外の開港など自由貿易を要求するために派遣された。

①：太平天国の乱の鎮圧で活躍したアメリカの軍人。
②：太平天国の乱の鎮圧で活躍したイギリスの軍人。
③：ロシアが日本に派遣した海軍軍人。

2 解答：①　インドでは，イギリス東インド会社がインド産のアヘンを清に輸出する一方，イギリスの綿織物を輸入していた。

②：イギリスが清から輸入していた。
③：清がイギリス東インド会社から輸入していた。
④：イギリスが清から輸入していた。

3 解答：①　林則徐は，アヘンを没収・廃棄し，イギリスにアヘン貿易禁止を迫った。

②：ベトナムを統一した。
③：清の政治家で，太平天国の乱を鎮圧する淮軍を組織した。
④：太平天国を建国し清朝に対する反乱を起こした。

4 解答：②　南京条約は，香港島の割譲，上海・寧波・福州・厦門・広州の５港の開港，賠償金の支払いなどを内容とする。

①：1860年，清がイギリス・フランスと結んだ条約。
③：1844年，清がフランスと結んだ条約
④：1858年，清がイギリス・フランスと結んだ，アロー戦争の講和条約。

5 解答：③　北京条約には，公使の北京駐在，九竜半島南部の割譲なども盛り込まれた。

①：アヘン戦争後に結ばれた南京条約の内容。
②：アヘン戦争後に結ばれた南京条約の内容。
④：アヘン戦争後に結ばれた南京条約の内容。

6 解答：②　アイグン条約により，ロシアは黒竜江以北を領有することになった。

①：1881 年に清とロシアの間で結ばれた，ロシアに有利な国境に関する条約。
③：1727 年に清とロシアの間で結ばれた国境に関する条約。
④：1689 年に清とロシアの間で結ばれた国境に関する条約。

7 解答：④　天朝田畝制度は，太平天国の平等思想に基づいて提唱された。

①：隋・唐における土地公有を原則とした土地制度。
②：中華人民共和国の社会主義建設の柱とされた集団農場。
③：漢における生産物を地代としてとる土地政策。

8 解答：③　滅満興漢は，満州人王朝である清を滅ぼし，漢人の王朝を復興するという意味。

①：1889 年に起こった義和団の乱のスローガン。
②：江戸時代末期（幕末）に高揚した日本の思想。
④：清朝末期の改革運動である洋務運動の理念。

9 解答：③　李鴻章は，太平天国の乱後，高官として洋務運動を進めた。

①：湘軍を組織し，後に洋務運動を進めた高官。
②：甲午農民戦争の農民指導者。
④：太平天国の乱の鎮圧で活躍し，後に洋務運動を進めた高官。

10 解答：①　総理各国事務衙門は，朝貢関係にない国との外交や技術導入を担当した。

②：唐において尚書省の管轄下にあった行政機関。

③：17 世紀に，ホンタイジ（太宗）が征服地を統轄するために設置した機関。

④：18 世紀に，雍正帝が設置した軍務機関。

第 3 講　PART4　確認問題　解答

1　解答：②　プチャーチンは，日本に開国と国境の画定を要求した。

①：1792 年に根室に来航したロシアの海軍軍人。
③：1853 年，浦賀に来航したアメリカ東インド艦隊司令長。
④：1804 年に長崎に来航したロシア使節。

2　解答：①　日米和親条約を締結したことで，約 200 年続いた江戸幕府の鎖国政策が終わった。

②：日米修好通商条約を締結した大老。
③：日米修好通商条約を締結したときの，江戸幕府の老中首座。
④：井伊直弼の死後，公武合体を推進した老中首座。

3　解答：④　生糸のほか，茶，蚕卵紙がイギリスへ輸出された。

①：日本の輸入品である。
②：日本の輸入品である。
③：日本の輸入品である。

4　解答：②　生麦事件を原因として，薩英戦争が起こった。

①：水戸藩浪士がイギリス仮公使館を襲撃した事件。
③：アメリカ総領事ハリスの通訳が暗殺された事件。
④：新選組が尊攘派を急襲した事件。

5 解答：②　　安藤信正は井伊直弼の死後，公武合体を推進した。

①：アメリカ総領事ハリスが着任した際に交渉にあたった老中首座。
③：日米和親条約を締結したときの老中首座。
④：日米修好通商条約を締結し, 後に桜田門外の変で暗殺された大老。

6 解答：③　　島津久光は公武合体派の中心として，幕政改革の勅命を受けた。

①：越前藩主で，政事総裁職に就いた。
②：会津藩主で，京都守護職に就いた。
④：将軍後見職に就いた。

7 解答：④　　禁門〔蛤御門〕の変により，長州藩は朝敵の汚名を着せられた。

①：大和国五条の代官所が襲撃された事件。
②：公武合体派が長州藩を中心とした急進的な尊攘派を京都から追放した事件。
③：生野の代官所が襲撃された事件。

8 解答：①　　パークスは薩長に接近したことから，幕府を支援したロッシュと対立した。

②：通訳生から書記生となったイギリスの外交官。
③：四国艦隊下関砲撃事件を指導した在日英総領事。
④：幕府に幕政改革を進言したフランスの公使。

9 解答：①　明治政府成立後は，岩倉使節団の大使として欧米を視察した。

②：長州藩士で，西郷隆盛や大久保利通らと薩長連合を結び，倒幕運動に活躍した。
③：前土佐藩主で，将軍徳川慶喜に大政奉還を建議した。
④：薩摩藩士で，薩長連合や王政復古に活躍した。

10 解答：④　戊辰戦争は，鳥羽･伏見の戦いで始まり，江戸無血開城や会津戦争を経て，最後は新政府軍が五稜郭の戦いで榎本武揚率いる旧幕府軍を破って終結した。

①：戊辰戦争における東北での最後の戦いとなった。
②：勝海舟・西郷隆盛の会見などにより，幕府は江戸城を無血で明け渡した。
③：新政府軍が榎本武揚率いる旧幕府軍を破った。

第 4 講　PART1　確認問題　解答

1 解答：④　メッテルニヒはオーストリアの外相（のち宰相）。

①：フランスの外相。
②：1871 年にドイツ統一を実現したドイツ帝国の宰相。
③：イギリスの外相。

2 解答：②　正統主義は，フランス革命前の王朝と旧制度の復活を目指そうとする考えである。

①：ナショナリズム〔民族主義〕のことで，国民国家の建設を目指す考え。
③：ナショナリズム〔民族主義〕のこと。
④：個人の自由を尊重し，それを集団や国家に優先させようとする考え。

3 解答：④　イギリスは旧オランダ領スリランカ・ケープ植民地とマルタ島を領有した。

①：スウェーデンが獲得した。
②：ロシアが獲得した。
③：オーストリアが獲得した。

4 解答：③　オランダが旧オーストリア領南ネーデルラント〔ベルギー〕を併合した。

①：ロシアはフィンランドを獲得した。
②：スウェーデンはフィンランドなどを失いノルウェーを獲得した。
④：オーストリアは北イタリア〔ヴェネツィア・ロンバルディア〕を獲得した。

5 **解答：①**　神聖同盟には，イギリス・ローマ教皇領・オスマン帝国を除くヨーロッパ諸国が参加。

②：農奴解放令など改革を実施し，ロシアの近代化を図った皇帝。
③：アレクサンドル 1 世の急逝により即位した皇帝。
④：日露戦争に踏み切った皇帝。

6 **解答：②**　四国同盟は，1818 年にフランスの加盟を認め五国同盟となった。

①：1815 年に四国同盟を締結した。
③：1815 年に四国同盟を締結した。
④：1815 年に四国同盟を締結した。

7 **解答：④**　反乱を起こした人々をデカブリスト〔十二月党員〕という。

①：18 世紀後半にロシアで起こった大規模な農民反乱。
②：17 世紀後半にロシアで起こった農民反乱。
③：19 世紀後半にロシアの青年知識人層が掲げた革命運動。

8 **解答：③**　ナショナリズムは国民主義，民族主義とも呼ばれ，自由主義やロマン主義から発展した。

①：19 世紀前半を中心にヨーロッパで起こった芸術運動。
②：フランス革命前の王朝と旧制度の復活を目指そうとする考え。
④：産業革命によって，格差が広がり労働問題・社会問題が発生したのに対し，マルクス･エンゲルスによって作られた新しい思想。

9 **解答：③**

フランス七月革命後，オルレアン家のルイ＝フィリップによる七月王政が成立した。

①：ルイ 18 世はシャルル 10 世の前の国王。
②：7 月革命前にシャルル 10 世がルイ 18 世から王位を継いだ。
④：ルイ 18 世はシャルル 10 世の前の国王。

10 **解答：③**

1830 年，ベルギー〔南ネーデルラント〕はオランダから独立し，翌年立憲君主政の王国が成立した。

①：イタリアでは 1831 年に反乱が起こった。
②：ドイツでは 1830 年に反乱が起こった。
④：ポーランドでは 1830 年に反乱が起こった。

第４講　PART2　確認問題　解答

1　解答：②　人民憲章は，男子普通選挙など６カ条からなる。

①：1810 年代，手工業者・工場労働者たちが機械工業化に抵抗した機械打ちこわし運動。
③：19 世紀前半に始まったオスマン帝国の近代化策。
④：19 世紀後半にロシアの青年知識人層がおこなった革命運動。

2　解答：④　ラダイト運動は機械打ちこわし運動のことである。

①：1830 年代後半から起こった，人民憲章を掲げた政治運動。
②：19 世紀前半に始まったオスマン帝国の近代化策。
③：19 世紀後半にロシアの青年知識人層がおこなった革命運動。

3　解答：①　ロバート＝オーウェンは代表的な空想的社会主義者である。

②：無政府主義〔アナーキズム〕を主張した。
③：生産の国家統制を主張した。
④：「搾取のない産業社会」を理想とした。

4　解答：③　マルクスは，資本主義体制の没落は歴史の必然と唱えた。

①：「ファランジュ」という共同社会を理想とした空想的社会主義者。
②：「搾取のない産業社会」を理想とした空想的社会主義者。
④：無政府主義〔アナーキズム〕を主張した。

5 解答：④　「パクス＝ブリタニカ」は「イギリスの平和」という意味である。

①：16 世紀後半，イギリス・テューダー朝絶対王政全盛期に君臨した女王。
②：現在のイギリス女王。
③：18 世紀初頭の，イギリス・ステュアート朝最後の女王。

6 解答：①　保守党の前身はトーリ党である。

②：グラッドストン内閣のアイルランド自治法案に反対した自由党所属の政治家。
③：ウィーン体制時のイギリスの外相。
④：19 世紀後半に内閣を組織した自由党の党首。

7 解答：②　グラッドストン内閣と対立したジョゼフ＝チェンバレンは，自由統一党を組織したため，自由党は分裂した。

①：アイルランド自治法案を提出したイギリスの首相。
③：19 世紀後半に内閣を組織した保守党の党首。
④：ウィーン体制時のイギリスの外相。

8 解答：①　フランス二月革命のあと。

9 **解答：①**　メッテルニヒはオーストリアの宰相である。

②：イギリスの自由党に属する政治家で，19 世紀後半に内閣を組織した。

③：イギリスの保守党に属する政治家で，19 世紀後半に内閣を組織した。

④：フランスの社会主義者。

10 **解答：④**　パリで蜂起が起こり，帝政が崩壊した。

①～③：国民の人気維持のために積極的に行った対外政策の一つ。

第 4 講　PART3　確認問題　解答

1 解答：①

マッツィーニは 1849 年に建国されたローマ共和国に執政官として迎え入れられた。

②：19 世紀前半に結成されたイタリアの秘密結社。
③：「青年イタリア」出身のガリバルディが組織した義勇軍〔赤シャツ隊〕。
④：ロシアで 1825 年に反乱を起こした青年将校たちのこと。

2 解答：②

カヴールは，サルデーニャ王国のヴィットーリオ＝エマヌエーレ 2 世のもとでイタリア統一を推進した。

①：千人隊〔赤シャツ隊〕を率いて両シチリア王国を占領した革命家。
③：鉄血政策を行ったプロイセンの首相。
④：青年イタリアを組織し，のちにローマ共和国に迎え入れられた革命家。

3 解答：②

サルデーニャ王国はフランスと密約を結んだうえでオーストリアと開戦し，ロンバルディアを獲得した。

①：イタリア王国がオーストリアから奪い併合した。
③：サルデーニャ王国が，中部イタリアを併合する代わりにフランスに割譲した。
④：イタリアの統一完成後も，南チロルとともにオーストリア領として残った国境地域。

4 解答：④　プロイセン＝フランス〔普仏〕戦争の結果，フランスはアルザス・ロレーヌをドイツに譲り，莫大な賠償金を課せられた。

①：イタリアの統一完成後も，トリエステとともにオーストリア領として残った国境地域。
②：サルデーニャ王国が，中部イタリアを併合する代わりにフランスに割譲した。
③：イタリア統一戦争で，サルデーニャ王国がオーストリアから獲得した。

5 解答：③　ベルリン条約は，列国の利害を調停したベルリン会議で結ばれた。

①：1873 年締結の，ドイツ・オーストリア・ロシアの三国による対フランス同盟。
②：1878 年にロシアとオスマン帝国間で締結された，ロシア＝トルコ〔露土〕戦争の講和条約。ベルリン会議の結果，破棄された。
④：1887 年にドイツとロシア間で締結された秘密軍事条約。

6 解答：①　ニコライ 1 世は，兄のアレクサンドル 1 世の急逝にともない即位した。

②：ロシア帝国ロマノフ朝の最後の皇帝で，日露戦争に踏み切った。
③：19 世紀初め，ナポレオン戦争に勝利し，ウィーン体制を主導した。
④：クリミア戦争中に死去したニコライ 1 世に代わって即位した。

7 解答：④　クリミア戦争で，ロシアはオスマン帝国に敗れた。

①：1877 年，ロシアが黒海の制海権などをめぐりオスマン帝国と開始した戦い。
②：1821 年，ギリシアがオスマン帝国からの独立を目指して起こした戦争。
③：1831 年，自治を認められていたエジプトがオスマン帝国と開始した戦い。

8 解答：②　パリ条約では，黒海の中立化やダーダネルス・ボスフォラス両海峡の軍艦航行禁止などが盛り込まれた。

①：1878 年のベルリン会議で，ビスマルクの調停によって成立した条約。
③：1881 年に締結された，清とロシアの国境協定。
④：1878 年に締結された，ロシア＝トルコ〔露土〕戦争の講和条約。

9 解答：③　農奴解放令によって，農奴は人格的自由が認められた。

①：ニコライ 1 世の時代。1848 年革命を鎮圧したことから，「ヨーロッパの憲兵」と呼ばれた。
②：ニコライ 1 世の時代。即位日に勃発し鎮圧した。
④：ニコライ 1 世の時代。オスマン帝国の弱体化に乗じてエジプト＝トルコ戦争に介入し，黒海方面への進出を図った。

10 解答：④　ナロードニキは，「ヴ＝ナロード〔人民のなかへ〕」という標語を掲げ，農民の啓蒙運動に努めた。

①：ロシアの農村共同体のこと。
②：ロシアの皇帝による専制政治のこと。
③：プロイセンの保守的な領主貴族のこと。

第 4 講　PART4　確認問題 解答

1 解答：④　ジェファソンは，領土面ではフランスからルイジアナを購入した。

①：第4代大統領で, この時期にアメリカ＝イギリス戦争が起こった。
②：第５代大統領で，ミズーリ協定やモンロー宣言〔教書〕を出した。
③：第7代大統領で，初の西部出身大統領として西漸運動を推進した。

2 解答：①　民主党は，南北戦争までは２期を除いて大統領を輩出した。

②：民主党と並ぶアメリカ合衆国の二大政党の一つ。北部諸州を基盤とした。
③：イギリスの保守党の前身。
④：イギリスの自由党の前身。

3 解答：①　アメリカ＝メキシコ戦争に勝利したアメリカ合衆国は，カリフォルニアとニューメキシコを獲得した。

②：第７代ジャクソン大統領時代に制定された。
③：第４代マディソン大統領時代に起こった。
④：第５代モンロー大統領時代に成立した。

4 解答：④　カリフォルニアで金鉱が発見され，ゴールドラッシュが起こった。

①：1845 年に併合した。
②：1803 年に買収した。
③：1846 年に併合した。

5 **解答：②**　ストウは，北部での奴隷解放運動の高揚をもたらした。

①：スイス出身の銀行家で，国際赤十字運動を推進した。
③：イギリスの看護師で，近代看護制度を確立した。
④：アメリカの黒人運動の指導者。

6 **解答：②**　グラント将軍は，南北戦争後，第 18 代大統領となった。

①：綿繰り機を発明したアメリカの発明家。
③：アメリカ南部諸州が結成したアメリカ連合国の大統領。
④：南北戦争における南部の将軍。

7 **解答：②**　ホームステッド法は，公有地で 5 年以上開拓に従事すれば，160 エーカー（約 65 ヘクタール）の土地を無償で与えることを定めた法律。

①：リンカンが 1863 年に出した，南北戦争の目的を明確にした宣言。
③：ジャクソン大統領時の 1830 年に制定された，先住民〔インディアン〕をミシシッピ川以西に強制移住させる法律。
④：モンロー大統領時の 1820 年に出された，北緯 36 度 30 分以北には奴隷州をつくらないとした協定。

8 **解答：④**　ハイチでは，1791 年に奴隷解放運動が開始され，1804 年にナポレオンが派遣したフランス軍を破り，黒人共和国が成立した。

①：1819 年に大コロンビアとしてスペインから独立した。
②：1821 年にスペインから独立した。
③：1825 年にスペインから独立した。

9 解答：③

シモン＝ボリバルは，自国のベネズエラのほか，大コロンビアやボリビアの独立に貢献した。

①：アルゼンチン出身の独立運動の指導者。チリやペルーの独立に貢献した。
②：ハイチで奴隷解放運動を開始した指導者。
④：メキシコ出身の独立運動の指導者。

10 解答：②

独立運動の指導者イダルゴ，サン＝マルティン，シモン＝ボリバルもクリオーリョ。

①：白人と黒人の混血。
③：先住民。
④：先住民と白人の混血。

第 5 講　PART1　確認問題　解答

1 解答：④　明治政府の基本方針を示したもの。

①：五榜の掲示は，五箇条の誓文公布の翌日に太政官によって掲げられた。
②：「国民皆兵」を目指して出された太政官布告。
③：五箇条の誓文に基づき，政治の基本的組織を示した法。

2 解答：③　木戸孝允のほかに，長州藩出身者としては伊藤博文・井上馨・山県有朋らがいる。

①：薩摩藩出身。
②：公家。
④：薩摩藩出身。

3 解答：④　このほか，大阪紡績会社など多くの企業の設立に関わった。

①：官営郵便制度の建議を行い，後に郵便事業を創始した。
②：政府から特権を与えられて新事業を開拓し，独占的に利益を上げた政商の一人。
③：政商の一人。

4 解答：①　明六社は森有礼が発起し，福沢諭吉や中村正直，西周らが参加した。

②：『西国立志編』を著し，個人主義道徳を説いた。
③：官営郵便制度の建議を行い，後に郵便事業を創始した。
④：『学問のすゝめ』で実学を勧め，『西洋事情』『文明論之概略』なども著した。

5 **解答：②**　ブリューナのもと近代的熟練工が養成された。

①：大森貝塚を発見した動物学者。
③：札幌農学校初代教頭。
④：内科医。

6 **解答：③**　中江兆民は，ルソーの『社会契約論〔民約論〕』を日本に紹介したことから，このように呼ばれる。

①：薩摩藩出身で，副使として参加した。
②：最年少の女子留学生として参加した。
④：肥前藩出身で，副使として参加した。

7 **解答：③**　領事の駐在，領事裁判権〔治外法権〕を相互に承認した初めての対等条約である。

①：日本優位の不平等条約で，清の宗主権を否定した。
②：一触即発となった日本と清が締結した対等条約。
④：ロシアに樺太領有を認め日本は千島列島全てを領有するとした対等条約。

8 **解答：①**　征韓論とは，朝鮮の鎖国排外政策を武力で打破し，国交を開こうとする考え。

②：征韓論は主張していない。
③：征韓論を主張し，明治六年の政変で下野したが，薩摩藩出身である。
④：征韓論は主張していない。

9 **解答：①**

甲申事変は，袁世凱の率いる清軍の反撃によって鎮圧され，失敗に終わった。

②：日清戦争のきっかけとなった農民反乱。
③：閔氏政権とそれを支えた日本に対する兵士の反乱。乱後，閔妃一族らが主導権を握った。
④：日本と朝鮮の武力衝突で，日朝修好条規締結の契機になった事件。

10 **解答：②**

小笠原諸島は，領有直後は内務省の管轄とされ，後に東京府の管轄となった。

①：日露戦争中に日本の領土に編入された。
③：日清戦争中に日本の領土に編入された。
④：古くから日本の領土で，明治時代初頭に蝦夷地から北海道に改称された。

第 5 講　PART2　確認問題　解答

1 解答：①　佐賀の乱は，大久保利通らの政府軍によって鎮圧された。

②：1876 年に福岡県で起こった。
③：1876 年に山口県で起こった。
④：1876 年に熊本県で起こった。

2 解答：③　徴兵告諭文の中に「血税」という語があることから，この名がある。

①：学制は 1872 年に公布された。
②：被差別部落襲撃事件も発生した。
④：1876 年に高揚したため，政府は翌年，地租を 3 %から 2.5%に引き下げた。

3 解答：①　大阪会議では，漸次立憲政体樹立の詔が出された。

②：1874 年のできごと。
③：1881 年のできごと。
④：1881 年のできごと。

4 解答：③　開拓使官有物払下げ事件は，開拓長官黒田清隆と五代友厚の関西貿易社による事件である。

①：大蔵卿のち蔵相としてデフレ〔緊縮〕財政を実施した。
②：民撰議院設立の建白書を提出した。
④：明治十四年の政変で大隈重信を罷免した。

5 **解答：①**　国会開設の勅諭を受けて結成された政党の一つ。

②：大同団結運動を主導した。
③：自由民権論を説いた。
④：立憲改進党を結成した。

6 **解答：④**　立憲改進党はイギリス流の立憲君主制を主張した。

①：1890年に急進派によって結成された。
②：板垣退助が1874年に高知で結成した。
③：福地源一郎が1882年に結成した。

7 **解答：②**　松方正義は，紙幣整理や銀本位制確立など，財政・金融制度を整備した。

①：関西貿易社の総監として開拓使官有物払下げ事件に関与した。
③：開拓長官として開拓使官有物払下げ事件に関与した。
④：明治十四年の政変で大隈重信を罷免した。

8 **解答：①**　大日本帝国憲法は，君主権の強いプロイセン〔ドイツ〕憲法を模範とした。

②：大日本帝国憲法の制定に尽力したドイツの法学者。
③：刑法や民法などを起草したフランスの法学者。
④：ベルリン大学の教授。

9 **解答：③**　ロエスレルはドイツの法学者で，1878 年に政府顧問として来日した。

①：刑法や民法などを起草したフランスの法学者。
②：伊藤博文にプロイセン〔ドイツ〕流憲法理論を教授したベルリン大学の教授。
④：大日本帝国憲法の制定や地方自治制の成立に尽力したドイツの法学者。

10 **解答：④**　第一回衆議院議員総選挙では，民党（立憲自由党のち自由党・立憲改進党）が吏党を圧倒した。

①：超然主義演説を行った内閣総理大臣。
②：伊藤博文の下で大日本帝国憲法の起草にあたった官僚。
③：初代内閣総理大臣。

第 5 講　PART3　確認問題 解答

1 解答：②　脱亜論は，「脱亜入欧」を主張する国権論である。

①：旧自由党員で大阪事件を起こした。
③：自由民権論を説いた。
④：旧自由党員で大阪事件を起こした。

2 解答：②　甲午農民戦争は東学党の乱とも呼ばれ，東学とは反キリスト教の民間信仰のこと。

①：1882 年に起こった，朝鮮王朝の閔氏政権とそれを支えた日本に対する兵士の反乱。
③：1884 年に朝鮮で起こった，金玉均ら日本と結んだ独立党のクーデタ。
④：1900 年に中国で起こった，排外主義の民衆蜂起。

3 解答：③　清は澎湖諸島のほか遼東半島及び台湾も日本に割譲した。

①：日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で得た。
②：日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で得た。
④：日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で得た。

4 解答：②　三国干渉とは，下関条約締結直後にロシア・フランス・ドイツの３国が遼東半島の清国返還を要求したできごと。

①：満洲への南下政策に日本の遼東半島領有は脅威となることから，三国干渉を行った。
③：三国干渉には加わっていない。
④：露仏同盟を結ぶロシアに同調して三国干渉を行った。

5 解答：③

三国干渉後,「臥薪嘗胆」をスローガンに挙国一致の戦後経営にあたった。

①：北清事変〔義和団事件〕におけるスローガン。
②：中国で起こった太平天国の乱におけるスローガン。
④：明治新政府におけるスローガン。

6 解答：①

大隈重信は自由党に対抗するために進歩党を結成した。

②：憲政党が伊藤博文の勢力と接近し, 1900 年に結成された政党。
③：地租増徴に反対した自由党と進歩党が合同し，1898 年に成立した政党。
④：憲政党分裂により，1898 年に組織された旧進歩党系の政党。

7 解答：③

第一次大隈重信内閣〔隈板内閣〕は，首相兼外相に大隈重信，内相に板垣退助を擁する初の政党内閣であった。

①：松隈内閣と呼ばれる。
②：憲政党が結成された。
④：軍部大臣現役武官制を実施した。

8 解答：③

イギリスは，九竜半島を 99 年，山東半島の威海衛を 25 年租借することになった。

①：遼東半島の旅順・大連を 25 年租借。
②：山東半島の膠州湾を 99 年租借。
④：広州湾を 99 年租借。

9 **解答：④**　辛丑和約は北京議定書とも呼ばれ，賠償金支払いと公使館守備隊の北京駐留を清に承認させた。

①：江華島事件後の，1876年に日本と朝鮮との間で結ばれた条約。
②：1855年に，江戸幕府とロシアとの間で結ばれた条約。
③：1885年，甲申政変の後に日本と清との間で結ばれた朝鮮に関する条約。

10 **解答：①**　ロシアの満州経営の自由を認める代わりに，日本の韓国における優越権を認めさせるという考え。

②：対露開戦論とも呼ばれ，ロシアとの開戦も辞さないとする考え。
③：福沢諭吉が主張した，「脱亜入欧」を主張する国権論。
④：日英同盟論とも呼ばれる。

第 5 講　PART4　確認問題 解答

1 解答：③　1877 年の第一回内国勧業博覧会で受賞した。

①：初の国産自動力織機を考案した。
②：労働組合期成会を結成した。
④：大阪紡績会社を設立した。

2 解答：④　大阪紡績会社は，渋沢栄一らが華族・政商などの出資を得て 1882 年に設立した。

①：日本初の私鉄会社として，1881 年に設立された。
②：官営の製鉄所として，1897 年に設立された。
③：官営模範工場として，1872 年に設立された。

3 解答：③　三菱財閥は三菱商会を基盤とし，その後，保険・海運のほか，造船・炭鉱など重工業部門にも進出した。

①：江戸時代の銅商・両替商の住友家に発する財閥。
②：江戸時代の両替商である三井家に発する日本最大の財閥。
④：江戸時代末の両替商の安田家に発する財閥。

4 解答：①　労働組合期成会は 1897 年に結成されたが，1900 年制定の治安警察法による弾圧で衰退し，翌年に解消した。

②：田中正造は足尾銅山鉱毒事件を告発した。
③：田中正造は足尾銅山鉱毒事件を告発した。
④：臥雲辰致はガラ紡を発明した。

5 解答：①　幸徳秋水は無政府主義を主張した。

②：労働組合期成会を結成した。
③：足尾銅山鉱毒事件を告発した。
④：労働組合期成会を結成した。

6 解答：④　寺島宗則は，国別交渉による税権回復を目指した。

①：反対した。
②：反対した。
③：反対した。

7 解答：③　鹿鳴館外交は極端な欧化政策であった。

①：岩倉具視に関連がある。
②：青木周蔵や陸奥宗光と関連がある。
④：寺島宗則に関連がある。井上馨は一括交渉による法権回復・税権の一部回復を目指した。

8 解答：①　大津事件とは，訪日中のロシア皇太子（のちのニコライ２世）を警備中の巡査が暴行した事件。

②：鹿鳴館外交を展開するも三大事件建白運動が起こり，条約改正に失敗した。
③：日露関係の改善に努めた。
④：国別秘密交渉による法権回復と税権の一部回復を目指した。

9 解答：①

日英通商航海条約は，第二次伊藤博文内閣時に締結された。

②：1902 年に結ばれた。
③：1911 年に結ばれ，税権回復を達成した条約。
④：1954 年に結ばれ，日本が開国した条約。

10 解答：④

小村寿太郎は，1911 年にアメリカと改正日米通商航海条約を締結し，税権回復（条約改正）を完全に達成した。

①：日清戦争直前に法権回復に成功した。
②：大津事件で辞職した。
③：爆弾テロに遭い，国別秘密交渉による法権回復と税権の一部回復に失敗した。

第 6 講　PART1　確認問題 解答

1 解答：②

第二次産業革命では，石油を原料とした電力が動力源となり，鉄鋼などの重化学工業が発達した。

①：軽工業は，第一次産業革命で発達した。
③：石炭は，第一次産業革命で動力源となり，軽工業は第一次産業革命で発達した。
④：石炭は第一次産業革命で動力源となった。

2 解答：④

ラジウムとポロニウムの分離に成功し，1903 年にノーベル物理学賞を受賞した。

①：電話を発明したアメリカの発明家。
②：蓄音機・白熱電球・映写機を発明したアメリカの発明家。
③：X 線を発見したドイツの物理学者。

3 解答：①

アメリカの発明家で，1000 件以上の発明をしたことから「発明王」と呼ばれた。

②：ダイナマイトを発明したスウェーデンの技術者。
③：ディーゼル機関を完成させたドイツの機械技術者。
④：ガソリン自動車を完成させたドイツの機械技術者。

4 解答：③　同種産業の複数の企業が，独立性を捨てて合併すること。

①：企業連合のことで，同種産業の複数の企業が独立性を保ったまま協定を結ぶこと。
②：複合企業のことで，合併・買収（M & A）により形成される巨大企業のこと。
④：企業統合のことで，親会社が各分野の企業を子会社として重層的に支配すること。

5 解答：②　第一次産業革命では，石炭を原料とした蒸気力を動力源として，軽工業を中心に発達した。

③：第二次産業革命の動力源。

6 解答：②　帝国主義に基づく政策を世界政策という。

①：財産の私有を否定し，生産手段や生産物などすべての財産を共有することで，貧富の差のない社会を目指す思想。
③：軍事力の強化を最重要視し，政治，経済，教育，文化などは，軍事力強化のために行う必要があるとする思想。
④：商工業を重視し，産業を保護・発展させることで，国家の富を充実させようという思想。

7 解答：①　保守党の政治家で，スエズ運河買収のほかインド帝国成立など，帝国主義政策に転換させた。

②：植民相として，南アフリカ〔ブール〕戦争など，帝国主義政策を推進した。
③：エジプトを保護国としたほか，自由貿易政策を推進した。
④：イギリスのケープ植民地政府の首相として，植民地拡大を強行した。

8 **解答：②**　ドイツのスパイ容疑で終身刑を宣告されたが，のちに真犯人が判明し無罪となった。

①：修正社会主義〔社会民主主義〕を唱えたドイツ社会民主党の理論家。
③：ドレフュスを弁護したフランスの作家。
④：フランスでクーデタ未遂事件を起こした元陸相。

9 **解答：④**　共和党第 26 代大統領で，アメリカ帝国主義政策を推進した。

①：「ドル外交」で中米・中国への投資を推進した共和党第 27 代大統領。
②：モンロー主義を放棄した共和党第 25 代大統領。
③：「宣教師外交」でパナマ運河の管理権を握った民主党第 28 代大統領。

10 **解答：②**　ドイツ社会民主党が中心になって結成されたが，第一次世界大戦で崩壊した。

①：マルクスが指導者となり，1864 年にロンドンで結成された。
③：ロシア共産党を中心とした世界共産党組織で，1919 年に結成された。コミンテルンとも呼ばれる。
④：ソ連がアメリカのマーシャル = プランに対抗して 1947 年に結成した各国共産党の連携のための国際組織。

第 6 講　PART2　確認問題 解答

1 解答：④

ベルリン＝コンゴ会議の結果，ベルギー国王の所有地としてコンゴ自由国の設立が承認された。

①：イギリスが保護国化した。
②：フランスが保護国化した。
③：エチオピアとともに独立を保った。

2 解答：④

宣教のため南アフリカに派遣された宣教師。

①：イギリスのケープ植民地首相。
②：独裁政治を行ったメキシコ大統領。
③：メキシコ革命に参加した農民指導者。

3 解答：①

イギリスは，ウラービー運動を制圧してエジプトを保護国化した。

②：チュニジアとモロッコを保護国化した。
③：カメルーン・南西アフリカ・東アフリカなどを得た。
④：ソマリランド・エリトリアを獲得した。

4 解答：①

アフリカ縦断政策をとるイギリスとスーダンで衝突し，ファショダ事件が起こった。

②：イギリスの政策。
③：ドイツの政策。
④：ケープタウン・カイロ・カルカッタを結ぶイギリスの政策。

5 解答：③　フランスが譲歩し，ファショダを明け渡した。

①：モロッコをめぐり，ドイツとフランスとの間で起こった国際紛争。
②：エチオピアに侵入したイタリア軍がエチオピア軍に敗れた戦い。
④：南アフリカの植民地化をめぐる，ブール人とイギリスとの戦争。

6 解答：②　エリトリアとともにソマリランドも獲得した。

①：1880 年代半ばにカメルーン・南西アフリカ・東アフリカなどを獲得した。
③：エジプトを保護国化した後，トランスヴァール・オレンジ両国を併合した。
④：チュニジアを保護国化し，モロッコ事件後はモロッコを保護国とした。

7 解答：④　ドイツは，1880 年以降にビスマルク・カロリン・マリアナ・マーシャル・パラオの各諸島を獲得した。

①：フィリピン・グアムを獲得した。
②：オーストラリアやニュージーランド，ソロモン・フィジー・トンガ諸島などを獲得した。
③：ニューカレドニアやタヒチ周辺の赤道以南の諸島を獲得した。

8 解答：①　スペインとの米西戦争に勝利したアメリカは，フィリピンとグアムを獲得した。

②：イギリスが獲得した。
③：フランスが獲得した。
④：ドイツが獲得した。

9 **解答：②**　ドイツ・オーストリアは，フランスによるチュニジアの保護国化に不満を持つイタリアを誘い，1882年に三国同盟を締結した。

③：三国協商を結んだ国々である。

10 **解答：②**　スペンサーは，弱肉強食・優勝劣敗・適者生存を説いた。

①：第一次世界大戦の時期のアラブ独立運動の指導者。
③：生物進化論を説いたイギリスの生物学者。
④：「世界政策」「パン＝ゲルマン主義」を提唱したドイツ帝国皇帝。

第 6 講　PART3　確認問題 解答

1 解答：③

ドイツは，膠州湾（山東半島）の 99 年租借権を獲得し，山東地方に勢力を持った。

①：イギリスが獲得した。
②：フランスが獲得した。
④：ロシアが獲得した。

2 解答：③

イギリスは，九竜半島北部の 99 年・威海衛（山東半島先端）の 25 年租借権を獲得した。

①：旅順・大連（遼東半島南部）の 25 年租借権を獲得した。
②：広州湾の 99 年租借権を獲得した。
④：膠州湾（山東半島）の 99 年租借権を獲得した。

3 解答：①

国務長官ジョン＝ヘイは，「門戸開放・機会均等・領土保全」＝極東三原則を提唱し，他の列強による中国分割の動きを牽制した。

②：セオドア＝ローズヴェルト大統領が行った。
③：マッキンリー大統領が放棄した。
④：ウィルソン大統領が行った。

4 解答：④

光緒帝は第 11 代皇帝で，康有為･梁啓超らに説得されて戊戌の変法を行った。

①：第 6 代皇帝で，10 回にわたる海外遠征を行い，清朝の領土を最大に拡張した。
②：第 4 代皇帝で，雍正帝，乾隆帝へと続く清の全盛期を現出させた。
③：第 9 代皇帝で，アロー戦争に敗北した。

5 **解答：④**　西太后は，第 9 代咸豊帝の妻で第 10 代同治帝の母。皇太后として実権を振るい，戊戌の政変で改革派を弾圧した。

①：戊戌の政変で排除された。
②：戊戌の政変で排除された。
③：辛亥革命を指導した。

6 **解答：②**　扶清滅洋は，清をたすけて，外国（洋）を滅ぼすという意味。

①：清朝末期の改革運動である洋務運動の理念。
③：太平天国の乱を起こした太平天国のスローガン。
④：江戸時代の幕末期に唱えられたスローガン。

7 **解答：③**　「極東の憲兵」と評価された日本とロシアが主力で，他にイギリス（イギリス領インドも）・フランス・ドイツ・オーストリア・イタリア・アメリカが出兵した。

①：オランダは出兵していない。
②：スペインは出兵していない。
④：フランスも出兵したが，日本とロシアが主力であった。

8 **解答：①**　北京議定書〔辛丑和約〕で，清は公使館守備隊としての外国軍隊の北京駐屯を承認した。

②：日清戦争の講和条約である下関条約の内容。
③：日清戦争の講和条約である下関条約の内容。
④：日清戦争の講和条約である下関条約の内容。

9 **解答：③**　世論も日英同盟論〔対露開戦論〕が優勢であった。

①：日露協商論〔満韓交換論〕を唱えた。
②：日露協商論〔満韓交換論〕を唱えた。
④：日露戦争に反対し，非戦論を唱えた。

10 **解答：②**　第一次日英同盟協約は期限５年の防御同盟であった。

①：第二次日英同盟協約の内容。
③：第三次日英同盟協約の内容。
④：第二次日英同盟協約の内容。

第 6 講　PART4　確認問題 解答

1 解答：①　日本的キリスト教の独立に努め，無教会主義を唱えた。

②：『国民新聞』を創刊し，主戦論を唱えた。
③：『平民新聞』を創刊し，社会主義者の立場から反戦論を展開した。
④：『平民新聞』を創刊し，社会主義者の立場から反戦論を展開した。

2 解答：③　『君死にたまふことなかれ』は日露戦争を批判する長詩で，『明星』に発表した。

①：『国民新聞』を創刊し，主戦論を唱えた。
②：『たけくらべ』や『にごりえ』を著した作家。
④：『万朝報』を創刊し，主戦論を唱えた。

3 解答：①　多大な犠牲を払った末，二〇三高地を攻略した。

②：『平民新聞』を創刊し，社会主義者の立場から反戦論を展開した。
③：日本連合艦隊の長官で，日本海海戦でバルチック艦隊を撃破し大勝した。
④：日本連合艦隊の作戦参謀で，日本海海戦でバルチック艦隊を撃破し大勝した。

4 解答：②　アメリカ大統領で，日本が調停を依頼した。

①：ロシアの元蔵相で，小村寿太郎（外相）とポーツマス条約を結んだ。
③：アメリカの国務長官で，門戸開放宣言を行った。
④：ロシアの外相。

5 **解答：②**　インド人資本による産業の発展と広範な国産品愛用を意味する。

①：インド諸語で，自治獲得のこと。
③：オスマン帝国の常備歩兵軍団のこと。
④：オスマン帝国で行われた恩恵改革のこと。

6 **解答：④**　立憲革命とは，憲法の制定と議会開設を求めた民衆蜂起である。

①：青年トルコ革命が起こった。
②：ベトナム青年の日本への留学を推進するドンズー〔東遊〕運動が行われた。
③：サレカット＝イスラーム〔イスラーム同盟〕が結成された。

7 **解答：①**　第一次日韓協約では，条約締結などの重要外交問題については日本政府と協議することも認めさせた。

②：韓国併合条約の内容。
③：第三次日韓協約の内容。
④：第二次日韓協約の内容。

8 **解答：④**　三民主義は，孫文が提唱した中国革命の理論と綱領である。

④：組織の重要な意思決定をその組織の構成員が行うという考え方で，三民主義にはあてはまらない。

9 **解答：③**　袁世凱指揮下の新軍を北洋軍という。

①：1926 年に北伐を開始し，日中戦争では抗日戦を指導した。
②：中華民国建国を宣言し臨時大総統となったが，清朝滅亡後，袁世凱にその地位を譲った。
④：1949 年，中華人民共和国を建国した。

10 解答：④　袁世凱政府の弾圧によって国民党が解散した後，孫文が亡命先の東京で結成した。

①：1921 年に結成された社会主義政党で，中国改革を推進した。
②：1905 年に孫文が東京で組織した，反清革命団体。
③：1912 年に袁世凱の独裁に反対して孫文らが組織したが，13 年に解散に追い込まれた。

第 7 講　PART1　確認問題　解答

1 解答：③　ベンガル分割令は，インド国民会議カルカッタ大会以降の民族運動を受けて撤回された。

①：1919 年に発布された，イギリスによるインド民族運動弾圧法。
②：1858 年以降のイギリスのインド直接統治のために発布された法律の総称。
④：シズヤは，イスラーム教国で非イスラーム教徒に課せられる人頭税のこと。

2 解答：②　スワラージのスワは「自己」，ラージは「統制」を意味し，「自治」の獲得を求めたもの。

①：スワデーシともいわれ，国産品を買うようにしようということ。
③：インドでの英語教育を否定し，インド固有の言語と文化，宗教に基づいた教育を求めたもの。
④：イギリス商品（主として綿布）を購買しないこと。

3 解答：④　全インド＝ムスリム連盟は，イギリスの働きかけで組織された。

①：1911 年に結成された，インドネシア最初の大衆的民族組織。
②：1918 年に結成された，エジプト王国の民族主義政党。
③：18 世紀にアラビアのイブン＝アブドゥル＝ワッハーブが始めたイスラーム教改革派。

4 解答：①

平和的方法による独立を主張したが，フィリピン革命が始まると逮捕された。

②：パン＝イスラーム主義を主張した。
③：フィリピン革命を指導し，フィリピン共和国の初代大統領となった。
④：ベトナム民族運動を指導した。

5 解答：②

ベトナムは，1887 年にカンボジアとともにフランス領インドシナとなった。

①：スペインののち，フィリピンに進出した。
③：インドネシアに進出した。
④：フィリピンに進出した。

6 解答：④

ドンズー運動は東遊運動とも呼ばれる。

①：清朝末期に漢人官僚が進めた西欧化政策。
②：日本の二十一カ条の要求の撤廃を求めた中国の要求を拒否したパリ講和会議に反発し，中国で起こった愛国運動。
③：ガンディーが指導したインドの反英闘争の一つ。

7 解答：②

アフガーニーは，イスラーム改革と反帝国主義を唱えた。

①：セルジューク朝のイスラーム教スンナ派の神学者。
③：エジプトの反英民族闘争の指導者。
④：アッバース朝期に活躍した歴史家。

8 **解答：①**

スルタンの専制政治に反対する「統一と進歩団」を結成し，青年トルコ革命を起こした。

②：1970 年代にシリア，イラクなどで躍進したアラブ民族政党。
③：1918 年に結成された，エジプト王国の民族主義政党。
④：1885 年のインド国民会議から発展したインド最初の国民的な政党。

9 **解答：②**

ボスニア・ヘルツェゴヴィナは，のちにオーストリアに併合された。

①：独立が承認された。
③：オスマン帝国内の自治国となった。
④：独立が承認された。

10 **解答：④**

ブルガリアは，ロンドン条約でオスマン帝国から獲得した領土の分配をめぐり 3 国と戦ったが敗れた。

①：第二次バルカン戦争で勝利した。
②：第二次バルカン戦争で勝利した。
③：第二次バルカン戦争で勝利した。

第 7 講　PART2　確認問題　解答

1 解答：④

サライェヴォ事件は，ボスニアの州都サライェヴォで，オーストリア帝位継承者夫妻がセルビア人の民族主義者に暗殺された事件。

2 解答：①

同盟国側には，ドイツ，オーストリアに加え，オスマン帝国とブルガリアが参戦した。

②：協商国〔連合国〕側で参戦した。
③：協商国〔連合国〕側で参戦した。
④：協商国〔連合国〕側で参戦した。

3 解答：④

協商国側には，イギリス，ロシア，フランスに加え，イタリア，日本，中国，アメリカが参戦した。

①：同盟国側で参戦した。
②：同盟国側で参戦した。
③：同盟国側で参戦した。

4 解答：③

イタリアは，オーストリアとの対立を理由に三国同盟から離れた。

①：開戦時には中立を保っていたが，1917 年に協商国側で参戦した。
②：日英同盟を理由として，協商国側で参戦した。
④：同盟国側で参戦した。

5 **解答：②**　タンネンベルクの戦いでドイツは大勝し，ロシア領内に侵攻した。

①：1813 年に起こった，ナポレオンに対する解放戦争の最大の戦い。
③：1914 年 9 月に起こった，フランスがドイツ軍の侵攻を阻止した戦い。
④：第二次世界大戦中の 1942 年に始まった，ドイツ軍とソ連軍との戦い。

6 **解答：①**　北フランスでのマルヌの戦い以後，西部戦線は一進一退の攻防となった。

②：1914 年 8 月に起こった，ドイツがロシア軍を破った戦い。
③：1916 年に起こった，イギリス・フランス連合軍がドイツ軍に総攻撃をしかけた戦い。
④：1792 年に起こった，フランス革命軍がオーストリア・プロイセン連合軍を破った戦い。

7 **解答：①**　水素爆弾は，1952 年にアメリカが最初に南太平洋のマーシャル諸島で実験に成功した。

②：1903 年にライト兄弟が実用化し，第一次世界大戦で新兵器として使用された。
③：第一次世界大戦でドイツ軍が初めて新兵器として使用した。
④：第一次世界大戦でイギリス軍が初めて新兵器として使用した。

8 解答：④　第一次世界大戦後のアラブの独立を約束する代わりに，オスマン帝国への反乱をうながした。

①：1917 年，イギリスがユダヤ人国家独立に好意的対応を約束したもの。
②：1916 年にイギリス・ロシア・フランス間で結ばれた，オスマン帝国領分割に関する協定。
③：1915 年，オーストリアからの「未回収のイタリア」などの領土譲渡をイタリアに約束した協定。

9 解答：①　サイクス・ピコ協定は，バルフォア宣言やフセイン・マクマホン協定と矛盾する内容であった。

②：1917 年，イギリスがユダヤ人国家独立に好意的対応を約束したもの。
③：1915 年，オーストリアからの「未回収のイタリア」などの領土譲渡をイタリアに約束した協定。
④：1915 年，イギリスがアラブ人国家の独立を認めた協定。

10 解答：③　軍需工業中心の厳しい国民生活統制を実施した国としては，オーストリアのほかドイツ，ロシアがあげられる。

①：植民地が多かったため, 国民生活統制は比較的ゆるやかであった。
②：ヨーロッパから離れていたため，ほとんど影響はなかった。
④：植民地が多かったため, 国民生活統制は比較的ゆるやかであった。

第7講　PART3　確認問題　解答

1 解答：②

第一次世界大戦開戦後に，ドイツ語のペテルブルクからロシア語に改称された。

①：ロシア革命後の1918年に首都となった。
③：1924年にロシア革命の指導者レーニンの名を冠して改称された。
④：1712年からロシア帝国の首都であった。

2 解答：④

ニコライ2世（在位1894～1917年）は，皇太子時代に日本で大津事件に遭遇した。

①：在位1855～81年で，ロシアの近代化に努め露土戦争などで勢力拡張を図った。
②：18世紀後半のプロイセン国王。
③：在位1762～96年で，啓蒙専制君主としてロシアの強大化を推進した。

3 解答：③

レーニンは帰国後「四月テーゼ」を発表し，臨時政府を否定して社会主義革命を進める方針を示した。

①：1922年にソ連共産党書記長となり，ソ連の独裁的権力を握った。
②：二月革命後にメンシェビキからボリシェビキに転じ，十月革命を指導した。
④：メンシェビキの指導者で，レーニンとは対立した。

4 解答：①

ケレンスキーは十月革命でボリシェビキによって倒され，亡命した。

②：1905年に始まった第一次ロシア革命時の首相。
③：メンシェビキの指導者。
④：18世紀後半に起こった大規模な農民反乱の指導者。

5 **解答：④**　二月革命後にメンシェビキからボリシェビキに転じ，十月革命を指導した。

①：メンシェビキを指導した。
②：1922 年にソ連共産党書記長となり，ソ連の独裁的権力を握った。
③：1917 年 7 月に臨時政府首相に就任した。

6 **解答：④**　全ロシア＝ソヴィエト会議で新政権成立を宣言した。

①：ロシア暦 1917 年 3 月，ロシアで起こった民衆蜂起によってロマノフ朝を倒した革命。
②：①の二月革命のグレゴリウス暦での別称。
③：1830 年，フランスでブルジョワ共和派が復古王政を倒した革命。

7 **解答：②**　第一次世界大戦でドイツが敗北したことで，ブレスト＝リトフスク条約は消滅した。

①：1727 年，ロシアと清の間で結ばれたモンゴル付近の国境協定。
③：1920 年，ハンガリー王国が連合国と結んだ第一次世界大戦の講和条約。
④：1939 年，ドイツのヒトラーとソ連のスターリンの間で結ばれた条約。

8 **解答：④**　1918 年にペトログラードから移された。

①：1712 年からロシア帝国の首都であった。
②：1924 年にロシア革命の指導者レーニンの名を冠して改称された。
③：ロシア革命が起こった当時のロシアの首都。

9 **解答：①**　第３インターナショナルともいわれ，モスクワで創設された。

②：1949 年に発足した，ソ連と東欧の社会主義国家間の経済援助体制。
③：1947 年にソ連が結成した, 各国共産党の連携のための国際組織。
④：1955 年，ソ連と東欧の合わせて８カ国が西側のＮＡＴＯに対抗して結成した軍事同盟。

10 **解答：①**　ロシア，ウクライナ，ベラルーシ〔白ロシア〕，ザカフカースの４共和国が連合した。

第 7 講　PART4　確認問題　解答

1 解答：②

第二次大隈重信内閣（1914 年 4 月～ 16 年 10 月）は，加藤高明外相の主導により，日英同盟を理由として第一次世界大戦に参戦した。

①：軍部大臣現役武官制を緩和した内閣(1913 年 2 月～ 14 年 4 月)。
③：緊縮財政を進めた内閣（1911 年 8 月～ 12 年 12 月)。
④：第一次護憲運動が起こり，60 日ほどで崩壊した内閣（1912 年 12 月～ 13 年 2 月)。

2 解答：④

青島は，中国におけるドイツの根拠地であった。

①：東北部に位置する都市。
②：遼東半島に位置する都市。
③：遼東半島に位置する都市。

3 解答：②

袁世凱は，辛亥革命では皇帝を退位させ，孫文から代わった臨時大総統から正式な大総統となり，独裁権を握った。

①：中国国民党の孫文の後継指導者で，のちに中華民国政府を台湾に移した。
③：中国の北方軍閥の首領で，袁世凱後の中国の実権を握った。
④：辛亥革命を成功させ，中華民国の初代臨時大総統となった。

4 解答：①

義和団事件の際に結ばれた北京議定書の内容。

②：第 3 号の内容。
③：第 2 号の内容。
④：第 1 号の内容。

5 解答：③　アメリカが日本の山東権益を承認するとともに，両国が中国の領土保全・門戸開放などを宣言した協定。

①：1915 年にイギリスがアラブ側と結んだ秘密協定。
②：1916 年にイギリス，フランス，ロシア間で結ばれた，オスマン帝国領分割に関する秘密協定。
④：1905 年に日本とアメリカが結んだ，韓国とフィリピンの支配権を相互に認めた秘密協定。

6 解答：①　寺内正毅首相のもとで西原借款を行い，中国での支配権伸長を図ろうとした。

②：寺内正毅内閣の総辞職後，首相となった。
③：第一次世界大戦に参戦した首相。
④：原敬首相暗殺後，首相となった。

7 解答：④　1916 年に結ばれ，条約範囲が全中国に拡大された。

①：1907 年に結ばれ，日本とロシアの勢力範囲や利益を取り決めた。
②：アメリカの満州進出を阻止するための共同行動を約束した。
③：内蒙古における日本とロシアの両国利益範囲を約束。

8 解答：④　寺内正毅内閣は，シベリア出兵を契機に起こった米騒動により総辞職した。

①：原敬首相暗殺後，首相となった。
②：寺内正毅内閣の総辞職後，首相となった。
③：寺内正毅首相の前の首相。

9 解答：②　　尼港のことをニコライエフスクという。

①：1939 年, モンゴル国境で日本の関東軍とソ連軍が衝突した事件。
③：1914年, オーストリア帝位継承者夫妻がボスニアの州都サライェヴォでセルビア人に殺害された事件。
④：1919 年，インドでローラット法に反対した民衆をイギリス軍が虐殺した事件。

10 解答：①　　日本は北樺太を占領したことで，列国に領土的野心を疑われ非難が高まった。

②：日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で日本が獲得した。
③：二十一カ条の要求で日本が租借権延長を要求した。
④：二十一カ条の要求で日本が租借権延長を要求した。

第 8 講　PART1　確認問題　解答

1 解答：①

陳独秀は，「民主と科学」をスローガンに西欧文化を紹介し，儒教道徳を批判した。

②：陳独秀とともにマルクス主義〔共産主義〕の研究を行った。
③：『狂人日記』『阿Q正伝』を著した。
④：白話文学を提唱した。

2 解答：②

魯迅は，儒教道徳に縛られて現実を見ようとしない，国民性の改造を急務と考えていた。

①：白話文学を提唱した。
③：雑誌『新青年』を創刊し，儒教道徳を批判した。
④：陳独秀とともにマルクス主義〔共産主義〕の研究を行った。

3 解答：③

三・一運動に対して，朝鮮総督府は警察・憲兵・軍隊を動員し厳しく鎮圧した。

①：1905 ～ 14 年に朝鮮の兵士・民衆が行った，日本の保護国化への反対運動。
②：1937 年の日中戦争勃発によって成立した，日本の侵略に対する中国諸勢力の統一運動。
④：1919 年に中国で起こった愛国運動。

4 **解答：②**　五・四運動は，日本に対し，二十一カ条の要求で日本が得た権益の直接還付を求める運動。

①：1919 年に朝鮮全土で起こった独立運動。
③：1937 年の日中戦争勃発によって成立した，日本の侵略に対する中国諸勢力の統一運動。
④：1905 ～ 14 年に朝鮮の兵士・民衆が行った，日本の保護国化への反対運動。

5 **解答：②**　ヴェルサイユ条約は第一次世界大戦の講和条約で，1919 年に結ばれた。

①：1925 年に，イギリス，フランスなど 7 カ国が締結した地域的集団安全保障条約。
③：1878 年に結ばれた，露土戦争の講和条約。
④：1919 年に結ばれた，オーストリアと連合国との講和条約。

6 **解答：④**　中華革命党を改称して結成された。

①：1921 年に, 陳独秀を初代委員長として結成された社会主義政党。
②：1914 年に，孫文が東京で結成した秘密結社。
③：1905 年に，孫文が亡命先の東京で結成した組織。

7 **解答：③**　五・三〇運動は，上海の在華紡（日本人が経営する紡績工場）でのストライキが発展して起こった。

①：1919 年に朝鮮全土で起こった独立運動。
②：1919 年に北京から広がった，中国の愛国運動。
④：1905 ～ 14 年に朝鮮の兵士・民衆が行った，日本の保護国化への反対運動。

8 解答：④　蔣介石は北伐を開始したが，上海クーデタにより第一次国共合作を崩壊させた。

①：雑誌『新青年』を創刊し，のちに中国共産党の指導者となった。
②：中国国民党を組織し，中国共産党との国共合作に踏み切った。
③：奉天軍閥の首領で，1928 年に関東軍に爆殺される。

9 解答：②　張作霖は北伐軍に敗れて引き上げる途中，関東軍に列車を爆破された。

①：張作霖の子で，張作霖爆殺事件の後，中華民国への帰属を表明した。
③：雑誌『新青年』を創刊し，のちに中国共産党の指導者となった。
④：中国共産党の指導者で，のちに中華人民共和国を建国した。

10 解答：①　瑞金は江西省の都市。

②：蔣介石によって国民政府が建てられた都市。
③：五・四運動が始まった都市。
④：北伐中の蔣介石がクーデタを起こした都市。

第 8 講　PART2　確認問題　解答

1 解答：①　ローラット法では，逮捕状なしに逮捕し，裁判なしに投獄できる権限をインド総督に与えた。

②：1905 年，インド総督がインドの反英闘争の分裂を狙って発布した法令。
③：1919 年，イギリスがインド自治を州行政の一部に認めた法律。
④：1935 年，アメリカでニューディール政策の一環として出された法律。

2 解答：④　ガンディーは，非暴力･不服従運動を展開し，インド独立の父と呼ばれる。

①：インドの国民会議派を指導し，ガンディーの継承者として活躍した。
②：全インド＝ムスリム連盟を指導し，のちにパキスタンの初代総督となった。
③：1906 年の国民会議カルカッタ大会でスワラージ要求を掲げた。

3 解答：④　マハトマは「偉大なる魂」という意味。

①：1929 年のインド国民会議大会で決議された理念で，「完全独立」という意味。
②：ガンディーが掲げたインド独立運動の理念で，「真理の把握」という意味。
③：トルコ革命を指導したムスタファ＝ケマルに与えられた尊称。

4 解答：③　ネルーは，1930 年にはイギリスの専売打破のためガンディーの「塩の行進」に協力した。

①：1920 年の国民会議派大会で非協力運動を提示した。
②：全インド = ムスリム連盟を指導し，のちにパキスタンの初代総督となった。
④：1906 年の国民会議カルカッタ大会でスワラージ要求を掲げた。

5 解答：②　全インド = ムスリム連盟が結成されたのは 1906 年。

①：イギリスの専売打破のため，1930 年に実施された。
③：インドの自治に関するロンドンでの会議で，1930 ～ 32 年に開催された。
④：州政治のみインド人に委譲するもので，1935 年に成立した。

6 解答：④　ジンナーはのちに初代パキスタン総督となった。

①：国民会議派内の急進派の指導者で，1929 年に完全独立を決議した。
②：1920 年の国民会議派大会で非協力運動を提示した。
③：1906 年の国民会議カルカッタ大会でスワラージ要求を掲げた。

7 解答：③　スカルノは，1945 年にインドネシア共和国の独立宣言を発し初代大統領となった。

①：ベトナム独立運動を指導した。
②：オランダからの独立戦争で活躍し，スカルノに代わって大統領に就任した。
④：カンボジアを独立に導いた。

8 解答：②　フランスは，ベトナムのほかカンボジア，ラオスも支配していた。

①：ビルマ（現在のミャンマー）を支配していた。
③：インドネシアを支配していた。
④：フィリピンを支配していた。

9 解答：④　ホー＝チ＝ミンは「ベトナム建国の父」と呼ばれる。

①：インドネシア国民党の党首で，のちにインドネシア初代大統領に就任した。
②：オランダからの独立戦争で活躍し，スカルノに代わって大統領に就任した。
③：カンボジアを独立に導いた。

10 解答：③　タイでは 1932 年に立憲革命が起こり，立憲君主制に移行した。

①：オランダに支配された。
②：スペインを破ったアメリカに支配された。
④：イギリスに支配された。

第 8 講　PART3　確認問題 解答

1 解答：③　サイクス・ピコ協定は，イギリス・フランス・ロシアによって結ばれた。

①：1915 年，オーストリアからの「未回収のイタリア」などの領土譲渡をイタリアに約束した協定。
②：1917 年，イギリスがユダヤ人国家独立に好意的対応を約束したもの。
④：1915 年，イギリスがアラブ人国家の独立を約束した協定。

2 解答：①　セーヴル条約は，オスマン帝国の領土の大半が分割される内容であった。

②：1920年に，協商国〔連合国〕とハンガリー王国が結んだ講和条約。
③：1919年に，協商国〔連合国〕とブルガリアが結んだ講和条約。
④：1923年に，協商国〔連合国〕とトルコ共和国が結んだ講和条約。

3 解答：③　ローザンヌ条約によって新たな国境が定められ，セーヴル条約は破棄された。

①：1925 年に，イギリス・フランス・ドイツなどヨーロッパ 7 カ国が結んだ地域的集団安全保障条約。
②：1828 年に，ロシアがカージャール朝イランに締結させた不平等条約。
④：1920 年に，協商国〔連合国〕とハンガリー王国が結んだ講和条約。

4 解答：②　ケマル＝アタテュルクはもともとオスマン帝国の軍人であった。

①：インドネシアの初代大統領となった。
③：インド共和国の初代首相となった。
④：ベトナム民主共和国の初代大統領となった。

5 解答：②　トルコの歴史とトルコ語の教育を通じてナショナリズム〔国家主義・民族主義〕を育成した。

①：政教分離の原則がとられた。
③：太陽暦〔グレゴリオ暦〕が採用された。
④：アラビア文字に代えてローマ字が採用された。

6 解答：④　エジプト王国は，イギリスが保護権を放棄したことによって成立した。

①：イブン＝サウードがイギリスの援助を得て独立し，1932 年に成立した。
②：もとフランスの委任統治領で，1943 年に独立した。
③：第三次アフガン戦争の結果，1919 年に立憲君主制による完全独立を果たした。

7 解答：①　レザー＝ハーンは，1925 年にパフレヴィー朝を創始した。

②：1923 年にトルコ共和国の初代大統領となった。
③：1932 年にサウジアラビア王国を建国し初代国王となった。
④：1979 年のイラン革命を指導し，イラン＝イスラーム共和国の最高指導者となった。

8 解答：①　イブン＝サウードはイギリスの援助を得て独立を果たし，アラビア半島の大部分を統一した。

②：1925 年に，イラン〔ペルシア〕で，パフレヴィー朝を創始した。
③：ヒジャーズ王国を建国したが，イブン＝サウードに敗れた。
④：1923 年にトルコ共和国の初代大統領となった。

9 **解答：③**

レバノンは，第一次世界大戦後，オスマン帝国の支配から解放されたが，セーヴル条約でフランスの委任統治領のシリアの一部とされた。

①：もとイギリスの委任統治領で，1932 年に独立した。
②：もとイギリスの保護国で，1919 年に独立した。
④：もとイギリスの委任統治領で，1946 年に独立した。

10 **解答：④**

バルフォア宣言は，イギリスがユダヤ人国家独立に好意的対応を約束したもの。

①：イギリス・フランス・ロシアがパレスチナの国際管理などを取り決めた協定。
②：イギリスがアラブ人の独立支援を約束した協定。
③：イギリス・フランス・ロシアがイタリアに領土譲渡を約束した協定。

第 8 講　PART4　確認問題　解答

1 解答：①

アフリカ民族会議〔ANC〕は 1960 年に非合法化されたが，1990 年に解除された。

②：ガーナ共和国のエンクルマ大統領の呼びかけで，1963 年に開催された。
③：アフリカ諸国の連帯と植民地主義克服を目指して 1963 年に結成された。
④：欧米の植民地主義への抗議と人種差別反対を訴え，1900 年に初めて開催された。

2 解答：③

パン＝アフリカ会議は，第一次世界大戦後の 1919 年にはパリで開催された。

①：アフリカ諸国の連帯と植民地主義克服を目指して 1963 年に結成された組織。
②：ガーナ共和国のエンクルマ大統領の呼びかけで，1963 年に開催された会議。
④：1912 年に南アフリカで創設され，人種差別撤廃運動を展開した組織。

3 解答：③

リベリア共和国の首都モンロビアは，植民開始時のアメリカ合衆国大統領モンローにちなむ。

①：1962 年にフランスから独立した。
②：1951 年にイタリアから独立した。
④：植民地化されなかった。

4 解答：①　ガーナはエンクルマの指導で独立を達成した。

②：1956 年にフランスから独立した。
③：1951 年にイタリアから独立した。
④：1956 年にフランスから独立した。

5 解答：④　エンクルマは，ガーナの首相となり，のちに大統領に就任した。

①：ポーランドの実権を掌握した。
②：ギニアの独立運動を指導した。
③：コンゴの独立運動を指導した。

6 解答：②　アフリカ連合〔ＡＵ〕は 2002 年に結成された。

①：ヨーロッパ連合の略称。
③：アフリカ連合の前身であるアフリカ統一機構の略称。
④：米州機構の略称。

7 解答：④　トリアノン条約により，ハンガリーは領土の３分の２を失った。

①：1923 年に，協商国〔連合国〕とトルコが結んだ講和条約。
②：1919 年に，協商国〔連合国〕とオーストリアが結んだ講和条約。
③：1920 年に，協商国〔連合国〕とオスマン帝国が結んだ講和条約。

8 解答：④　アルバニアは 1913 年に独立し，第一次世界大戦後はイタリアに併合された。

①：新興国である。
②：新興国である。
③：新興国である。

9 **解答：②**　ブルガリアは，ヌイイ条約により，領土をルーマニアに返還した。

①：協商国〔連合国〕とサン・ジェルマン条約を結んだ。
③：協商国〔連合国〕とセーヴル条約を結んだ。
④：協商国〔連合国〕とローザンヌ条約を結んだ。

10 **解答：④**　第二次世界大戦後は社会主義国となったが，1991 年からの紛争で解体された。

①：ロシア革命時に独立した。
②：第一次世界大戦後にチェコとスロヴァキアが合同して独立した。
③：1924 年，イタリアのムッソリーニが併合した。

第９講　PART1　確認問題 解答

1 解答：②

ウィルソンはアメリカの大統領。十四カ条を発表し，社会主義に対抗しようとした。

①：世界恐慌発生時のアメリカ大統領。
③：パリ講和会議に出席したフランス首相。
④：ワシントン会議を提唱したアメリカ大統領。

2 解答：③

ロイド＝ジョージは，パリ講和会議では対ドイツ強硬論を主張した。

①：パリ講和会議に出席したフランス首相。
②：ワシントン会議を提唱したアメリカ大統領。
④：イギリス初の労働党内閣を組織した首相。

3 解答：③

ドイツと連合国の講和条約とはヴェルサイユ条約のこと。

①：ライン川両岸地域にあたり，ヴェルサイユ条約で非武装化が決められた。
②：パリ講和会議で，イタリアに譲渡された。
④：パリ講和会議で，イギリスが委任統治することになった。

4 解答：④

サン＝ジェルマン条約では，南チロル，トリエステをイタリアに割譲することなどが定められた。

①：オスマン帝国とはセーヴル条約が結ばれた。
②：ハンガリーとはトリアノン条約が結ばれた。
③：ブルガリアとはヌイイ条約が結ばれた。

5 解答：②　　ヴェルサイユ体制には国際連盟設置も含まれる。

①：ワシントン会議で決定した，アジア・太平洋地域の新国際秩序・国際平和体制。
③：ウィーン会議で絶対王政を復活させた，ヨーロッパの反動的国際体制。
④：三十年戦争の講和条約であるウェストファリア条約によって成立した主権国家体制。

6 解答：②　　アメリカは，上院の反対によりヴェルサイユ条約を批准できなかった。

①：ヴェルサイユ条約を批准し，国際連盟にも加盟した。
③：ヴェルサイユ条約を批准し，国際連盟にも加盟した。
④：日本の利権を認めたヴェルサイユ条約に不満があり調印しなかった。

7 解答：①　　ワシントン会議の日本代表は，加藤友三郎（海軍大臣）・徳川家達（貴族院議長）・幣原喜重郎（駐米大使）の３人。

②：パリ講和会議に出席した。
③：ワシントン会議に出席した駐米大使。
④：軍部大臣現役武官制を改正した首相。

8 解答：①　　四カ国条約は，アメリカ・イギリス・日本・フランスの４カ国間で結ばれた。

②：1928 年に結ばれた，戦争を否定する初の国際条約。
③：1922 年に結ばれた，中国問題に関する条約。
④：1922 年に結ばれた，海軍軍縮条約。

9 **解答：④**　中国問題に関して結ばれた条約とは九カ国条約のこと。

①：十月革命で権力をにぎったレーニンが破棄した。

②：破棄されていない。

③：四カ国条約により解消された。

10 **解答：②**　保有トン数比率は，米英５：日本３：仏伊 1.67 と決められた。

第９講　PART2　確認問題　解答

1　解答：②

集団安全保障方式とは，対立関係にある国家も含めて，関係国すべてが安全保障体制に参加し，相互に武力によって攻撃しないことを約束する方式。

①：国際連盟は集団安全保障方式。
③：第一次世界大戦前の勢力均衡方式から，国際連盟では集団安全保障方式へ移行。
④：第一次世界大戦前は勢力均衡方式。

2　解答：④

ウィルソンは，十四カ条の平和原則を提唱したアメリカ大統領。

①：パリ講和会議に出席したフランス首相。
②：ワシントン会議を提唱したアメリカ大統領。
③：パリ講和会議に参加したイギリス首相。

3　解答：①

国際連盟は，総会・理事会・連盟事務局を中心に運営された。

②：国際連合の機関。
③：国際連合の機関。
④：国際連合の機関。

4　解答：②

国際連盟の常任理事国になったことにより，ドイツは国際社会に復帰した。

①：国際連盟の設立当初から常任理事国であった。
③：国際連盟の設立当初から常任理事国であった。
④：1934 年に常任理事国となった。

5 **解答：②**

ロカルノ条約の調印にはドイツ外相シュトレーゼマンが活躍した。

①：ハンガリーと連合国が結んだ第一次世界大戦の講和条約。
③：ドイツと連合国が結んだ第一次世界大戦の講和条約。
④：オスマン帝国と連合国が結んだ第一次世界大戦の講和条約。

6 **解答：①**

不戦条約は，フランス外相ブリアンとアメリカ国務長官ケロッグが提唱した。

②：ロカルノ条約調印に活躍したドイツ外相。
③：ロンドン会議を提唱したイギリス首相。
④：ワシントン会議を提唱したアメリカ大統領。

7 **解答：④**

マクドナルドはイギリスの首相で，第一次世界大戦では反戦的姿勢をとった。

①：国際連盟の創設を提唱したアメリカ大統領。
②：ワシントン会議を提唱したアメリカ大統領。
③：不戦条約を提唱したフランス外相。

8 **解答：②**

ロンドン会議の日本代表は，若槻礼次郎（元首相）･財部彪（海軍大臣）ら。

①：ワシントン会議に出席した。
③：ロンドン海軍軍縮条約を調印した内閣の首相。
④：国際連盟の初代事務次長を務めた。

9 解答：①　ロンドン海軍軍縮条約には，フランスとともにイタリアが調印しなかった。

②：ロンドン海軍軍縮条約に調印した。
③：ロンドン海軍軍縮条約に調印した。
④：ロンドン海軍軍縮条約に調印した。

10 解答：④　ロンドン海軍軍縮条約調印に関して，統帥権干犯問題が起こった。

①：浜口雄幸内閣の総辞職後，組閣された内閣（第二次内閣）。
②：満州国建国と承認に反対した内閣。
③：金融恐慌を処理するとともに，社会主義を弾圧した内閣。

第 9 講　PART3　確認問題　解答

1 解答：④

第 5 回選挙法改正は 1928 年に行われ，21 歳以上の男女に選挙権を拡大した。

①：1867 年に改正され，都市労働者上層に選挙権を拡大。
②：1884 年に改正され，農業労働者に選挙権を拡大。
③：1918 年に改正され，21 歳以上の男子と 30 歳以上の女子に選挙権を拡大。

2 解答：③

労働党のマクドナルドが自由党と連立政権を組閣した。

①：ヴァイマル共和国初代大統領。
②：不戦条約を提唱したフランス外相。
④：19 世紀後半に活躍したドイツの宰相。

3 解答：①

ルール占領は，ポワンカレ右派内閣が賠償支払い不履行を理由にベルギーとともに強行した。

②：イギリスで 1931 年に起こった。
③：ドイツで 1923 年に起こった。
④：ドイツで 1919 年に起こった。

4 解答：①

ブリアンはドイツとの和解に努め，不戦条約を提唱するなど国際協調に貢献した。

②：ルール占領を行った首相。
③：第二次世界大戦で活躍した軍人で，のちの首相，大統領。
④：パリ講和会議に出席した首相。

5 解答：③　ムッソリーニは第一次世界大戦後ファシスト党を組織し，一党独裁体制を確立した。

①：国際協調外交を推進したドイツの首相。
②：ドイツのナチ党の党首。
④：スペイン内戦を開始したスペインの軍人。

6 解答：③　エーベルトはドイツ社会民主党の指導者。

①：エーベルト大統領死去後，大統領に就任した。
②：ドイツ社会民主党の左派が結成したスパルタクス団の指導者。
④：ドイツ社会民主党の左派が結成したスパルタクス団の指導者。

7 解答：④　アイルランドはアイルランド自由国として自治領となった。

①：1937 年に起こった。
②：1931 年に起こった。
③：1900 年代初頭に起こった。

8 解答：②　スターリンは，第一次五カ年計画を推進して重工業化と農業の集団化を進めた。

①：十月革命でケレンスキー政権を倒した後，社会主義政権を樹立した。
③：二月革命後，臨時政府首相を務めたが，レーニンによって倒された。
④：十月革命を指導したが，スターリンとの権力闘争に敗れた。

9 **解答：②**　トロツキーは十月革命を指導したが，スターリンとの権力闘争に敗れた。

①：1922 年に共産党書記長となり，トロツキーを失脚させた。
③：第二次世界大戦後のソ連の指導者で, スターリン批判を断行した。
④：十月革命でケレンスキー政権を倒した後，社会主義政権を樹立した。

10 **解答：③**　国営農場〔ソフホーズ〕は，農業経営モデルとなる国営の大規模農場。

①：国際的な共産主義運動を指導する第３インターナショナルのこと。
②：集団農場のことで，土地・農具・家畜を共有する農民の共同農業経営組織。
④：レーニンが始めた新経済政策。

第 9 講　PART4　確認問題　解答

1 解答：②

第三次日英同盟協約は 1911 年に結ばれ，有効期限は 10 年だった。

①：適用範囲を極東からインドまで拡大することなどが決められた。
③：アメリカの満州進出を阻止するための共同行動を約束した。
④：日本が東部内蒙古，ロシアが西部内蒙古を利益範囲とすることを約束した。

2 解答：①

第一次日露協約は 1907 年に結ばれた。日本はこの協約をもとに韓国併合を進めた。

②：アメリカの満州進出を阻止するための共同行動を約束。
③：日本が東部内蒙古，ロシアが西部内蒙古を利益範囲とすることを約束。
④：アメリカ・イギリスの中国支配を防ぎ極東での日露共同戦線結成を約束。

3 解答：③

段祺瑞は中国の北方軍閥の首領で，袁世凱後の中国の実権を握った。

①：辛亥革命を成功させ，中華民国の初代臨時大総統となった。
②：辛亥革命で皇帝を退位させ，孫文から代わった臨時大総統から正式な大総統となり独裁権を握った。
④：中国国民党の孫文の後継指導者で，のちに中華民国政府を台湾に移した。

4 解答：①　戦争景気のアメリカには生糸などを輸出し，日本の貿易は大幅な輸出超過となった。

②：アジアへの輸出が伸長した。
③：アジアへの輸出が伸長した。
④：ヨーロッパへの輸出が伸長した。

5 解答：①　石井・ランシング協定では，中国の領土保全・門戸開放と日本の特殊権益が確認された。

6 解答：③　孫文は，辛亥革命を成功させ，中華民国の初代臨時大総統となった人物。

①：中国国民党の孫文の後継指導者で，中華民国政府を台湾に移した。
②：中国の北方軍閥の首領で，袁世凱後の中国の実権を握った。
④：辛亥革命で皇帝を退位させ，孫文に代わって臨時大総統となり独裁権を握った。

7 解答：④　ドイツに対して，海外領土放棄・軍備制限・賠償金などが課せられた。

①：ハンガリー王国と連合国が結んだ第一次世界大戦の講和条約。
②：1928 年に結ばれたパリ不戦条約のこと。
③：イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ポーランド・チェコスロヴァキアが結んだ集団安全保障条約の総称。

8 解答：④　ロンドン海軍軍縮条約はロンドン海軍軍縮会議に基づき，1930 年に成立した。

①：1921 年に結ばれた。
②：1922 年に結ばれた。
③：1922 年に結ばれた。

9 解答：③

ワシントン海軍軍縮条約では，主力艦の保有総トン数比率を，米・英・日・仏・伊の間で，５：５：３：1.67：1.67 と定めた。

①：ジュネーヴ海軍軍縮会議が開催されたが決裂し，条約は結ばれなかった。
②：中国の主権尊重・領土保全と，門戸開放・機会均等を確認した。
④：補助艦の保有制限について定めた条約で，1930 年に結ばれた。

10 解答：②

日ソ基本条約では，日本が社会主義国ソ連を正式に承認した。

①：1855 年にロシアとの間で結ばれた。
③：1941 年に結ばれた。
④：1875 年に結ばれた。

第10講　PART1　確認問題 解答

1 解答：②　レンテンマルクは，土地を担保とした不換紙幣としてレンテン銀行から発行された。

①：アメリカの銀行家らによる賠償金支払期限の延長と外貨導入による打開策。
③：アメリカの銀行家らによる賠償金の減額策。
④：ドイツの賠償問題と英仏の対米戦債問題について開催された国際会議。

2 解答：②　ドーズ案によって当面の賠償問題の危機は解消され，フランス・ベルギー両国軍もルールから撤退した。

①：アメリカの銀行家らによる賠償金の減額策。
③：ドイツの東方侵略を容認する宥和（ゆうわ）政策。
④：戦争を否定する国際条約。

3 解答：③　ロカルノ条約により，ドイツの国際的地位が向上した。

①：イタリアのムッソリーニ政権とローマ教皇庁との間で結ばれた条約。
②：ハンガリー王国と連合国との間で結ばれた第一次世界大戦の講和条約。
④：オスマン帝国と連合国との間で結ばれた第一次世界大戦の講和条約。

4 解答：③　ヤング案は 59 年の長期払いとしたため，ドイツ国内の反対運動を引き起こした。

①：アメリカの銀行家らによる賠償金支払期限の延長と外貨導入による打開策。
②：戦争を否定する国際条約。
④：ドイツの東方侵略を容認する宥和（ゆうわ）政策。

5 解答：④　フーヴァー大統領は，世界恐慌発生時のアメリカ大統領。

①：ワシントン会議を提唱した大統領。
②：世界恐慌勃発前，アメリカ経済の好況が続いていたときの大統領。
③：十四カ条を発表し，国際連盟設立を提唱した大統領。

6 解答：①　ファシスト党は，（右翼的）全体主義〔ファシズム〕を主張した。

②：1831 年に，自由主義者マッツィーニが結成した政党。
③：1806 年頃，南イタリアで結成された秘密結社。
④：中世イタリアにおいて，神聖ローマ皇帝を支持した勢力。

7 解答：①　ラテラノ条約でイタリアは教皇庁〔ヴァチカン市国〕の独立を認めた。

②：ハンガリー王国と連合国との間で結ばれた第一次世界大戦の講和条約。
③：オスマン帝国と連合国との間で結ばれた第一次世界大戦の講和条約。
④：イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ベルギー・ポーランド・チェコスロヴァキアが結んだ集団安全保障条約の総称。

8 **解答：④**　ウィルソン大統領は，第一次世界大戦期に大統領を務め，国際連盟設立を提唱した。

①：ワシントン会議を提唱した大統領。
②：世界恐慌に対処するため，ニューディール政策を推し進めた大統領。
③：ドイツの賠償金と戦債の英・仏などの 1 年間の支払い猶予を打ち出した大統領。

9 **解答：③**　不戦条約はケロッグ・ブリアン条約とも呼ばれる。ケロッグはアメリカの国務長官，ブリアンはフランス外相。

①：マクドナルドはイギリスの首相で，1924 年にイギリス初の労働党内閣を組織した。
②：シュトレーゼマンはドイツの首相・外相で，ドイツの国際的地位の向上に貢献。
④：マクドナルドはイギリスの首相。

10 **解答：④**　ハーディング，クーリッジ，フーヴァーが大統領に就いていたのは 1920 年代で，「永遠の繁栄」ともいわれた。

第10講　PART2　確認問題 解答

1 解答：④　大戦の反省や選挙権の拡大もあり，大衆の政治参加が促された。

①：強権的な指導者が生活を統制し国民統合を図ろうとする考え。イタリアのファシスト党やドイツのナチス，日本の軍国主義などがあてはまる。
②：資本主義を否定し，労働者階級の解放を目指す考え。
③：社会主義がより発展し，あらゆる面で平等な共同社会を目指す考え。

2 解答：①　大衆化の反動で伝統文化を重視するようになった。

②：保守化の対義語である。
③：社会主義を否定する考えで，ソ連の脅威を背景として生まれた。
④：共産主義を否定する考えで，ソ連の脅威を背景として生まれた。

3 解答：④　吉野作造は，主権在君の大日本帝国憲法下における民衆の政治参加を主張した。

①：中国革命において孫文が掲げた三原則（民族・民権・民生）。
②：それぞれの民族は自らの運命を自ら決するべきとする考え。
③：自由民権運動の中で生まれた考え方で，上からの近代化ではなく平民が西洋文明を受容して近代化を進めるべきという考え。

4 解答：①

天皇機関説は，主権は国家にあり，天皇は国家の最高機関であるとする学説。

②：超国家主義思想を説いた。
③：民本主義を説いた。
④：国際連盟の事務次長に就任した。

5 解答：③

河上肇はマルクス主義経済学を学び，その最高権威となった。

①：超国家主義思想を説いた。
②：超国家主義思想を説いた。
④：小日本主義を説いた。

6 解答：②

大衆（娯楽）雑誌は，大衆の要求に応え，その読書欲を満たそうとした雑誌。

①：総合雑誌の一つ。
③：総合雑誌の一つ。
④：総合雑誌の一つ。

7 解答：③

円本は出版の大衆化をもたらした。

①：内外の古典を手軽な形で紹介した本。
②：単独で刊行される本。
④：1 週間に 1 回発行される雑誌。

8 解答：①

新中間層とは，サラリーマンや公務員などの俸給生活者のこと。

②：資本家階級と労働者階級の中間に位置し，旧中間層と呼ばれた。
③：資本家階級と労働者階級の中間に位置し，旧中間層と呼ばれた。
④：資本家階級と労働者階級の中間に位置し，旧中間層と呼ばれた。

9 **解答：④**

文化住宅は大正から昭和にかけて流行した和洋折衷の住宅のこと。

①：現代風の造りの住宅のこと。
②：近代的な造りの住宅のこと。
③：洋風の造りの住宅のこと。

10 **解答：③**

日本でテレビ放送の本放送が開始されたのは，第二次世界大戦後の 1953 年。

①：蓄音機の普及に伴いレコードの国産も始まった。
②：映画は無声から有声へと発展した。
④：1925 年に本放送が開始された。

第 10 講　PART3　確認問題　解答

1　解答：④

第一次護憲運動は 1912 年から始まった。第三次桂太郎内閣が退陣に追い込まれたできごとを大正政変という。

①：1924 年に退陣した。
②：1927 年の金融恐慌で退陣した。
③：1918 年の米騒動で退陣した。

2　解答：③

原敬首相は，寺内正毅内閣の総辞職後，政党内閣を組織した。

①：浜口雄幸首相などが総裁だった政党。
②：若槻礼次郎首相などが総裁だった政党。
④：立憲政友会内の清浦内閣支持派が 1924 年に分裂してつくった政党。のち憲政会と合同して立憲民政党を結成した。

3　解答：②

加藤高明内閣（1924 ～ 26 年）は当初，護憲三派連立内閣であった。

①：金融恐慌を処理した内閣（1927 ～ 29 年）。
③：貴族院中心の特権内閣（1924 年）。
④：財政緊縮・産業合理化・金輸出解禁を実施した内閣（1929 ～ 31 年）。

4　解答：②

浜口雄幸内閣（1929 ～ 31 年）は，財政緊縮・産業合理化・金解禁なども実施した。

①：犬養毅内閣（1931 ～ 32 年）。
③：田中義一内閣（1927 ～ 29 年）。
④：加藤高明内閣（1924 ～ 26 年）。

5 解答：①　黒田清隆内閣のときで，有権者数は総人口の 1.1％にすぎなかった。

②：1900 年，第二次山県有朋内閣のとき。
③：1925 年，加藤高明内閣のとき。
④：1945 年，幣原喜重郎内閣のとき。

6 解答：②　『日本改造法案大綱』では，国家社会主義的国家改造を強調した。

①：1912 年に友愛会を結成した。
③：1918 年に黎明会を結成した。
④：1918 年に（東大）新人会を結成した。

7 解答：①　労資協調主義であったが，次第に変更されていき，1921 年には日本労働総同盟となった。

②：1921 年に山川菊栄・伊藤野枝らが結成した社会主義団体。
③：1918 年に吉野作造・福田徳三らが結成した思想団体。
④：1918 年に赤松克麿らが結成した思想団体。

8 解答：④　階級闘争とは，資本家に対してストライキなどの直接行動で戦うこと。

①：1940 年に結成された，戦時体制下における戦争協力のための労働団体。
②：日本労働総同盟の前身。
③：1925 年に結成された，日本共産党の影響を強く受けた労働団体。

9 **解答：①**　日本農民組合は，日本最初の小作人の全国組織組合である。

②：1912 年に友愛会を結成した。

③：日本共産党の創設に参画した。

④：1919 年に猶存社を結成した。

10 **解答：②**　青鞜社は，女性の感性の解放を目指す，女性のみの文学団体。

①：1921 年に赤瀾会を結成した。

③：自由民権運動を推進した。

④：1920 年に新婦人協会を結成した。

第10講　PART4　確認問題 解答

1 解答：②　コミンテルンは第３インターナショナルとも呼ばれる。

①：1947 年に発足した，各国共産党の連携のための国際組織。
③：1949 年に発足した，ソ連と東欧の社会主義国家間の経済援助体制。
④：西側の NATO に対抗して 1955 年に結成された，ソ連を含む東欧の８カ国による軍事同盟。

2 解答：③　スターリンは，五カ年計画を推進して工業・農業の集団化を進めた。

①：世界革命論を唱えた。
②：レーニンが唱えた世界革命論を引き継いだ。
④：スターリン批判を断行した。

3 解答：①　モンゴル人民共和国は，ソ連に次ぐ社会主義国となる。

②：1932 年に起こったタイ立憲革命を指導した。
③：インドネシアで民族運動を行った。
④：フィリピン独立運動を指導した。

4 解答：①　中国共産党は，現在の政権党でもある。

②：1914 年に孫文が結成した秘密結社方式の政党。
③：1919 年，中華革命党を改組して結成された政党。
④：1905 年に孫文が結成した中国初の本格的政党。

5 解答：①

日本共産党は，治安維持法や特別高等警察により弾圧された。

②：三輪寿壮，麻生久らが 1926 年に結成した政党。
③：杉山元治郎らが 1926 年に結成した政党。
④：1936 年，労農無産協議会を改称してつくられた政党。

6 解答：②

新経済政策〔ネップ〕は，市場経済などを容認し生産力向上を目指した経済政策。

①：アメリカでとられた，世界恐慌に対処するための政策。
③：イギリスやフランスなどでとられた，世界恐慌に対処するための政策。
④：1985 年から始まった，ソ連ゴルバチョフ政権が進めた改革。

7 解答：③

第一次五カ年計画は 1928 ～ 32 年に実行された。

①：情報公開のことで 1985 年から始まった。
②：1921 ～ 28 年に実行された。
④：1933 ～ 37 年に実行された。

8 解答：②

日ソ基本条約は，1925年に締結され，同年には北樺太を含め，シベリア出兵から完全に撤退した。

①：1956 年に調印された，戦争状態の終結，国交回復などをうたった宣言。
③：1941 年に締結された，相互不可侵と中立維持を定めた条約。
④：1955 年に両国から条約案が提出されたが，締結に至っていない。

9 解答：③　スターリンは，五カ年計画を推進してソ連の経済的地位を高めた一方，恐怖政治を行った。

①：ロシア革命を指導した。
②：1985 年に共産党書記長となり，ペレストロイカなどの改革を推進した。
④：1953年に共産党第一書記となり，冷戦時代に平和共存路線をとった。

10 解答：④　1920 年代のソ連の状況。

①：1934 年に国際連盟に加盟し常任理事国となった。
②：1935 年にコミンテルンが提唱した。
③：スターリン憲法は 1936 年に発布された。

第 11 講　PART1　確認問題 解答

1 解答：③　大戦景気（1915 ～ 18 年）→戦後恐慌（1920 年）→震災恐慌（1923 年）→金融恐慌（1927 年）→昭和恐慌（1930 ～ 31 年）の順。

2 解答：④　金融恐慌（1927 年）では，3 週間のモラトリアム〔支払猶予令〕が行われた。

①：震災恐慌（1923 年）の際に行われた。
②：昭和恐慌（1930 ～ 31 年）の原因の一つ。
③：昭和恐慌（1930 ～ 31 年）の際に行われた。

3 解答：④　世界恐慌は 1929 年に発生し，1930 年に昭和恐慌が始まった。

①：関東大震災をきっかけとして，1923 年に起こった恐慌。
②：震災手形処理の不手際が原因となり，1927 年に起こった恐慌。
③：第一次世界大戦の終了が原因となり，1920 年に起こった恐慌。

4 解答：①　高橋是清蔵相は，積極財政〔インフレ財政〕をおし進めた。

②：井上準之助蔵相は昭和恐慌時の蔵相。
③：立憲民政党は昭和恐慌時の浜口雄幸内閣時の政党。
④：いずれも昭和恐慌に対処した浜口雄幸内閣時。

5 **解答：①**　井上準之助蔵相は，金輸出解禁も実行した。

②：1880 年代に緊縮財政〔デフレ財政〕をおし進めた蔵相。

③：金融恐慌時に積極財政〔インフレ財政〕をおし進めた蔵相。

④：昭和恐慌時に緊縮財政〔デフレ財政〕をおし進めた首相。

6 **解答：④**　血盟団事件は民間右翼の血盟団が起こした事件。

①：1931 年に起こった陸軍のクーデタ未遂。

②：1931 年に起こった陸軍のクーデタ未遂。

③：1932 年，海軍青年将校が犬養毅首相を暗殺した事件。

7 **解答：②**　松岡洋右は国際連盟の臨時総会から退場した。

①：満州国を承認した首相。

③：帝人事件で退陣した斎藤実内閣に代わって，組閣した首相。

④：二・二六事件で暗殺された陸軍教育総監。

8 **解答：①**　岡田啓介内閣は，美濃部達吉の天皇機関説を否定した。

②：満州国を承認した内閣。

③：二・二六事件の後に組閣された内閣。

④：満州国建国と承認に反対した内閣。

9 **解答：①**

二・二六事件は，陸軍皇道派の青年将校らによるクーデタ。

②：五・一五事件で暗殺された首相。
③：血盟団事件で暗殺された前蔵相。
④：国際連盟臨時総会に出席した日本全権。

10 **解答：②**

北一輝は超国家主義的な国家改造を主張し，二・二六事件の主謀者とみなされた。

①：滝川事件で大学教授の職を追われた京大教授。
③：三月事件，十月事件を計画した陸軍軍人。
④：三月事件，十月事件の計画に加わった日本主義･大アジア主義者。

第 11 講　PART2　確認問題　解答

1 解答：④　世界恐慌で大打撃を受けたドイツの金融恐慌防止等が目的だったが，効果はなかった。

①：ワシントン会議を提唱した大統領。
②：1920 年代のアメリカ経済繁栄期の大統領。
③：国際連盟の設立を提唱した大統領。

2 解答：④　1947 年に制定された，労働運動を制限した法律。

①：農作物の生産制限により，農産物価格の引き上げを図った。
②：ダムの建設と発電，植林などを進め，雇用促進を図った。
③：労働者の団結権などを認め，労働組合の結成を促した。

3 解答：④　ワグナー法〔全国労働関係法〕は労働者の団結権・団体交渉権を認めた法律。

①：農業調整法のこと。
②：テネシー川流域開発公社のこと。
③：全国産業復興法のこと。

4 解答：①　スターリング = ブロックとは，イギリスを中心としたポンドを基軸通貨とするブロック経済。

②：1916 ～ 22 年のイギリスの挙国一致連立内閣の首相。
③：フランスの首相。
④：1920 年代，国際協調外交を推進したドイツの首相・外相。

5 **解答：③**　世界恐慌に対処するため，イギリス内における特恵関税協定を結び，ブロック経済圏を形成した。

①：フランスが世界恐慌に対処するために開催した会議。
②：1955 年，第二次世界大戦後に独立したアジア・アフリカ諸国が開催した国際会議。
④：1932 年，ドイツの賠償問題と英仏の対米戦債問題について開催された国際会議。

6 **解答：②**　ブルム人民戦線内閣は有給休暇制や教育改革などに取り組んだ。

①：パリ講和会議を主導したフランスの首相。
③：イギリスでスターリング = ブロックを形成した首相。
④：1920 年代の国際協調外交を主導したフランスの外相。

7 **解答：①**　ナチ党は大衆宣伝〔プロパガンダ〕の多用により，1932 年の選挙で第一党となった。

②：総統のこと。
③：ナチス = ドイツの秘密警察のこと。
④：ナチス = ドイツによるユダヤ人虐殺のこと。

8 **解答：③**　1933 年に首相に任命されたヒトラーは，ヒンデンブルク大統領死去後の 1934 年，大統領の権限も合わせ総統となった。

①：1933 年のできごと。
②：1933 年のできごと。
④：1933 年のできごと。

9 **解答：②**

ラインラントはヴェルサイユ条約で非武装地帯と規定され，ロカルノ条約で国境の非武装が再確認されていたため，イギリスやフランスなどは非難した。

①：イタリアが侵攻した。
③：ドイツが住民投票により編入した。
④：ナチス＝ドイツの再軍備を警戒して英仏伊三国首脳会議が開かれた都市。

10 **解答：①**

仏ソ相互援助条約調印を理由にロカルノ条約を破棄して進駐した。

②：軍備平等権が認められないことを理由に，1933 年に行った。
③：1935 年に行った。
④：1935 年に行った。

第 11 講　PART3　確認問題　解答

1 解答：②　イタリアは，1936 年にはエチオピア全土を併合した。

①：ドイツが編入した。
③：ドイツが進駐した。
④：1939 年に併合した。

2 解答：①　スペイン内戦は，スペインの人民戦線政府とフランコの指揮する軍部との間で起こった内戦。

②：イギリスの首相。
③：モンゴル人民共和国の建国に活躍した。
④：フランスの首相。

3 解答：②　ドイツは，民族統合を名目としてオーストリアを併合した。

①：イタリアが 1939 年に併合した。
③：イタリアが 1936 年に併合した。
④：1939 年にドイツの保護国とされた。

4 解答：①　ミュンヘン会談では，イギリスの宥和（ゆうわ）政策によりドイツの要求を容認した。

②：1945 年に開催された，アメリカ・イギリス・ソ連の三国首脳による戦後処理に関する会談。
③：1989 年に開催された，米ソ首脳が冷戦終結を宣言した会談。
④：1943 年に開催された，アメリカ・イギリス・中国の三国首脳による戦後処理構想に関する会談。

5 **解答：③**　日独防共協定は 1936 年に結ばれた。

①：平沼騏一郎内閣と関連がある。
②：近衛文麿内閣と関連がある
④：近衛文麿内閣と関連がある。

6 **解答：①**　ノモンハン事件はモンゴル国境で起こった事件で，日本軍は大敗した。

②：1938 年に起こったソ連と満州の国境紛争。
③：1928 年に中国の山東省で起こった，中国の国民革命軍と日本軍の衝突事件。
④：1937 年に起こった，日中戦争のきっかけとなった事件。

7 **解答：③**　フランスとともにイギリスが不干渉であった。

①：フランコ将軍派を公然と支持した。
②：反ファッショ人民戦線内閣を援助した。
④：フランコ将軍派を公然と支持した。

8 **解答：①**　西安事件後，日中戦争が勃発し，第二次国共合作が成立する契機となった。

②：日中戦争中の 1937 年に起こった，日本軍が南京を占領した事件。
③：1928 年に中国の山東省で起こった，中国の国民革命軍と日本軍の衝突事件。
④：1938 年に起こったソ連と満州の国境紛争。

9 **解答：①**　日中戦争の目的についての声明である。

②：平沼騏一郎内閣総辞職のときの声明。
③：第三次近衛声明。
④：第一次近衛声明。

10 **解答：④**　国民精神総動員運動は，日中戦争勃発後，近衛文麿内閣が提唱した。

①：青年将校・右翼・国家社会主義者を中心とした革新運動。
②：一国一党の国民組織を結成しようとした運動。
③：第一次世界大戦後に起こった極端な国家主義。

第 11 講　PART4　確認問題 解答

1 解答：③　第二次世界大戦は，1939 年，ドイツのポーランド侵攻により始まった。

①：1940 年 4 月に侵攻した。
②：1940 年 5 月に侵攻した。
④：1940 年 5 月に侵攻した。

2 解答：①　国際連盟は，ソ連が独立国に対して侵略行為を行ったとし，ソ連を除名した。

②：国際連盟除名後のできごと。
③：ソ連はポーランドにも侵攻したが, 除名の原因とはなっていない。
④：オランダに侵攻したのはドイツ。

3 解答：②　チャーチルは保守党の党首で，ネヴィル = チェンバレンに代わって首相となった。

①：第二次世界大戦でドイツ軍のノルウェー上陸を阻止できず，1940 年に首相を辞任した。
③：1945 年，チャーチルに代わって首相となった。
④：第一次世界大戦中の 1916 年に首相となった。

4 解答：①　ドイツ軍の侵攻に対しフランス軍は敗北を続けたが，ド = ゴールは降伏を拒否し，抗戦を呼びかけた。

②：南フランスに成立したヴィシー政府の首班。
③：1920 年代に国際協調外交を主導したフランスの外相。
④：パリ講和会議を主導したフランスの首相。

5 解答：③　ドイツとイタリアがバルカン半島に侵攻し緊張が高まったことから，ソ連は日ソ中立条約を結び，ドイツの侵攻に備えた。

①：日ソ中立条約とは直接関係がない。
②：日ソ中立条約とは直接関係がない。
④：日ソ中立条約とは直接関係がない。

6 解答：①　日本の中国・東南アジアに対する侵略政策を正当化するために唱えられた。

②：東南アジアに進出した日本に対して形成された，アメリカ・イギリス・中国・オランダによる日本包囲網。
③：第一次近衛文麿内閣が掲げた日中戦争のスローガン。
④：日本の国体に関する解釈書として文部省が発行した教科書。

7 解答：①　アメリカは，在米日本資産凍結とともに石油の対日輸出禁止を行った。

②：北部仏印進駐と日独伊三国同盟締結に対して，アメリカが行った政策。
③：日本の中国侵略に対して，アメリカが行った政策。
④：北部仏印進駐と日独伊三国同盟締結に対して，アメリカが行った政策。

8 解答：②　ハル＝ノートと呼ばれ，中国・仏印からの撤兵，日独伊三国同盟の破棄などを要求。

①：1905 年に桂太郎首相と日米の勢力範囲を相互承認する協定を結んだアメリカの陸軍長官。
③：1917 年に石井菊次郎特使と中国に関する協定を結んだアメリカの国務長官。
④：ハル＝ノートが出されたときのアメリカ大統領。

9 解答：④　東条英機内閣は第三次近衛文麿内閣の総辞職後に組閣され，独裁体制を固めた。

①：1939 年に独ソ不可侵条約の締結を受けて総辞職した内閣。
②：東条英機内閣以前の内閣。
③：1936 年に日独防共協定を締結した内閣。

10 解答：③　ミッドウェー海戦以降，日本の戦局は劣勢となった。

①：1944 年に起こり，日本の空母・艦載機の多くが失われた。
②：日露戦争で日本が勝利した海戦。
④：1944 年に起こり，日本は戦艦「武蔵」を失った。

第12講　PART1　確認問題 解答

1 解答：②

ドイツは，1941 年以降，占領地を含めてユダヤ人を強制収容所に収容して虐殺した。

①：ドイツに対する武装抵抗運動のこと。
③：ナチスが多用した大衆宣伝のこと。
④：ドイツに対する武装抵抗運動のこと。

2 解答：①

アメリカのフランクリン＝ローズヴェルト大統領，イギリスのチャーチル首相が大西洋上で会談し発表。

②：1945 年に発表された，日本に無条件降伏を勧告した宣言。
③：1943 年に発表された，日本との戦争の戦後処理に関する宣言。
④：1944 年に国際労働機関（ILO）が発表した国際労働機関の目的に関する宣言。

3 解答：④

スターリングラードの戦いで，ソ連がドイツ遠征軍を降伏させた。

①：1942 年のできごと。
②：1941 年 12 月のできごと。
③：1941 年 7 月のできごと。

4 解答：③　テヘラン会談は，カイロ会談終了の 2 日後に開催された。

①：1938 年に開催された，ドイツのズデーテン併合問題に関する会談。
②：1945 年 2 月に開催された，アメリカ・イギリス・ソ連の三国首脳による会談。
④：1943 年 11 月に開催された，アメリカ・イギリス・中国の三国首脳による会談。

5 解答：④　ソ連のコミンテルン解散（1943 年 5 月）→イタリアの無条件降伏（1943 年 9 月）→ノルマンディー上陸作戦（1944 年 6 月）→ドイツの無条件降伏（1945 年 5 月）の順。

①：1943 年 9 月。
②：1943 年 5 月。
③：1945 年 5 月。

6 解答：①　軍人として第二次世界大戦のヨーロッパ戦線で活躍後，1953 年に大統領に就任した。

②：第二次世界大戦を終結させたアメリカ大統領。
③：太平洋戦争で連合軍を指揮し，のち連合国軍総司令部最高司令官となった。
④：第二次世界大戦後の西ドイツの首相。

7 解答：②　東条英機は首相・陸相・参謀総長を併任して独裁体制を固めていた。

①：東条英機内閣総辞職後，組閣された内閣。
③：小磯国昭内閣総辞職後，組閣された内閣。
④：太平洋戦争終結後，組閣された内閣。

8 解答：④　米軍機がサイパンから東京空襲を行う中継基地とするため，硫黄島を奪取した。

①：1945 年 4 月に米軍が上陸した。
②：1943 年に米軍の攻撃で日本軍が全滅した。
③：1944 年に海戦が行われ，日本は敗北した。

9 解答：③　1945 年 2 月，アメリカ・イギリス・ソ連の三国首脳で，ドイツの戦後処理の大綱とともに決定した。

①：1943 年 11 月に開催された，アメリカ・イギリス・中国の三国首脳による会談。
②：1941 年に開催された，アメリカ・イギリスの首脳が連合国共同宣言を提案した会談。
④：1943 年 1 月に開催された，アメリカ・イギリスの首脳が枢軸国に対する無条件降伏要求の方針を確認した会談。

10 解答：③　ソ連は，1945 年 8 月 8 日に対日参戦し，同日，ポツダム宣言の署名国となった。

①：1945 年 7 月に，イギリス・中国とともに署名した。
②：1945 年 7 月に，アメリカ・中国とともに署名した。
④：1945 年 7 月に，アメリカ・イギリスとともに署名した。

第 12 講　PART2　確認問題　解答

1　解答：④　　サンフランシスコ会議には連合国 50 カ国が参加した。

①：1941 年に開催された，アメリカ・イギリス首脳が大西洋憲章に合意した会談。
②：1944 年に開催された，アメリカ・イギリス・ソ連（2 度目は中華民国と交代）の三国首脳が国連の原則や憲章の草案について検討した 2 度の会議。
③：1943 年に開催された，アメリカ・イギリス・ソ連の三国首脳が北フランス上陸作戦とポーランド問題について協議した会談。

2　解答：②　　安全保障理事会の常任理事国は米・英・仏・ソ・中の 5 カ国で，拒否権を持つ。

①：ドイツは含まれていない。
③：ドイツは含まれていない。
④：イタリアは含まれていない。

3　解答：①　　国際司法裁判所は国家間紛争の裁定・調停にあたる機関で，本部はオランダのハーグにある。

②：国際原子力機関の略称。
③：国際労働機関の略称。
④：国際復興開発銀行〔世界銀行〕の略称。

4　解答：③　　国際通貨基金〔ＩＭＦ〕は国際復興開発銀行〔ＩＢＲＤ・世界銀行〕とともに，1945 年に発足した。

①：略称は IBRD。
②：略称は ILO。
④：略称は WHO。

5 解答：①

ブレトン＝ウッズ会議以降，構築された国際金融・経済体制をブレトン＝ウッズ体制という。

②：1944 年に開催された，国連の原則や憲章の草案について検討した会議。
③：1945 年に開催された，国際連合憲章を採択した会議。
④：1945 年に開催された，ドイツ・日本降伏後の国際秩序について決定した会談。

6 解答：②

ドイツの戦後処理は，連合国のうち米・英・ソ・仏の４国が一定期間占領して進められた。

①：中国は含まれていない。
③：スペインは含まれていない。
④：中国は含まれていない。

7 解答：④

イタリアは，海外領土であるアフリカ植民地を放棄した。

①：海外領土を放棄していない。
②：海外領土を放棄していない。
③：海外領土を放棄していない。

8 解答：③

極東委員会を組織する国々のうち，アメリカは日本占領に関して特別の地位が保障された。

①：東京に設置された GHQ／SCAP の諮問機関。
②：国際連合の主要機関の一つ。
④：国際連合の主要機関の一つ。

9 **解答：④**

五大改革指令は，婦人の解放，労働組合結成の助長，教育の自由主義化，圧政的諸制度の撤廃，経済の民主化からなる。

①：労働三法が制定された。
②：財閥解体と農地改革が行われた。
③：教育基本法・学校教育法が制定され，教育勅語が廃止された。

10 **解答：②**

極東国際軍事裁判では，元首相の東条英機・広田弘毅ら７名が絞首刑となった。

①：小磯国昭は終身禁錮刑に処された。
③：小磯国昭は終身禁錮刑に処された。
④：鈴木貫太郎はポツダム宣言を受諾したときの首相で，裁判にかけられていない。

第12講　PART3　確認問題　解答

1　解答：③　労働党のアトリーは保守党のチャーチルに代わり首相となった。

①：第二次世界大戦を終結させたアメリカ大統領。
②：第二次世界大戦期のイギリスの首相。
④：フランス臨時政府を主導した首相。

2　解答：③　チャーチルはイギリス前首相で，アメリカで「鉄のカーテン」演説を行った。

①：フランス臨時政府を主導した首相。
②：第二次世界大戦のヨーロッパ戦線で活躍し，1953 年にアメリカ大統領に就任した。
④：マーシャル = プランを発表したアメリカ国務長官。

3　解答：③　トルーマンが発表した「封じ込め」政策をトルーマン = ドクトリンという。

①：「鉄のカーテン」演説を行ったイギリス前首相。
②：マーシャル = プランを発表したアメリカ国務長官。
④：ソ連の最高指導者。

4　解答：①　コミンフォルム〔共産党情報局〕はスターリンによって結成された。

②：1955 年に発足したソ連・東ヨーロッパ諸国の軍事同盟。
③：1919 年に結成された，国際的な共産主義運動を指導する共産主義インターナショナル。
④：1949 年に発足したソ連・東ヨーロッパ諸国の経済援助体制。

5 解答：③

ユーゴスラヴィアは，ティトーが率いる抵抗運動によりナチス＝ドイツからの自力解放に成功していたため，独自路線を歩んだ。

①：1948 年のクーデタにより社会主義国化した。
②：ソ連型の人民民主主義に基づく社会主義を採用した。
④：ソ連型の人民民主主義に基づく社会主義を採用した。

6 解答：②

ワルシャワ条約機構のことで，NATO〔北大西洋条約機構〕に対抗してつくられた。

①：国連専門機関の一つである世界保健機関の略称。
③：国連平和維持活動の略称。
④：1949 年にアメリカを含む西欧 12 カ国によって結成された北大西洋条約機構の略称。

7 解答：①

ブリュッセル条約は西ヨーロッパ連合条約とも呼ばれる。

②：1947 年に締結された第二次世界大戦の講和条約。
③：1919 年に締結された第一次世界大戦の講和条約。
④：1957 年に締結された，ヨーロッパ経済共同体〔EEC〕と原子力共同体〔EURATOM〕の設立を取り決めた条約。

8 解答：④

北大西洋条約機構のことで，ソ連・東欧による武力侵略の共同防衛を約束した。

①：ソ連と東欧 6 カ国が 1949 年に結成した経済相互援助会議の略称。
②：ソ連・東欧諸国が 1955 年に結成したワルシャワ条約機構の略称。
③：国連専門機関の一つである国際復興開発銀行〔世界銀行〕の略称。

9 **解答：④**

アデナウアーは，アメリカのマーシャル＝プランなどの経済援助によって西ドイツ経済を復興させた。

①：ソ連の最高指導者。
②：ユーゴスラヴィアの抵抗運動の指導者で，首相，大統領となる。
③：「鉄のカーテン」演説を行ったイギリス前首相。

10 **解答：②**

第二次世界大戦末期，ドイツ降伏に伴って解放されたオーストリアは，アメリカ・イギリス・フランス・ソ連の４カ国に分割管理されていた。

①：分割管理されていない。
③：分割管理されていない。
④：分割管理されていない。

第12講　PART4　確認問題 解答

1 解答：②　毛沢東・周恩来とも共産党に属していた。

①：蔣介石は中国国民党の指導者で，内戦で共産党に敗れて台湾に撤退した。
③：周恩来は首相。蔣介石は中国国民党の指導者で，内戦で共産党に敗れて台湾に撤退した。
④：周恩来は首相，毛沢東は主席。

2 解答：③　蔣介石は 1950 年に台湾総統となった。

①：中華民国の臨時大総統となった後，1919 年に中国国民党を創設した。
②：共産党指導者で，中華人民共和国の初代主席。
④：共産党指導者で，中華人民共和国の初代首相。

3 解答：①　カイロ会談にはフランクリン＝ローズヴェルト（米），チャーチル（英），蔣介石（中）が参加し，カイロ宣言を採択した。

②：1943 年，北フランス上陸作戦などについて協議した会談。
③：1945 年，戦後処理について協議した会談。
④：1943 年，連合軍の枢軸国への無条件降伏要求方針の確認。

4 解答：②　大韓民国〔韓国〕はアメリカの影響下で自由主義・資本主義を採用した。

①：中華人民共和国の初代首相。
③：1392 年に李氏朝鮮を建てた。
④：朝鮮民主主義人民共和国〔北朝鮮〕の初代首相。

5 解答：①　1945 年，スカルノを指導者にインドネシア共和国の成立が宣言された。

②：フランスから独立した。
③：アメリカから独立した。
④：フランスから独立した。

6 解答：①　1945 年，ベトナム民主共和国の独立を宣言したが，フランスは独立を認めず，インドシナ戦争が続いた。

②：カンボジアを独立に導いたのち，中立政策を進めた国王。
③：インドネシアの独立運動を指導した。
④：ベトナムの阮朝最後の王であったが，フランスによりベトナム国の元首とされた。

7 解答：②　タイは立憲君主制国家である。

①：イギリスの植民地だった。
③：アメリカの植民地だった。
④：フランスの植民地だった。

8 解答：①　ジンナーはパキスタンの分離・独立を求め，統一インドを主張するガンディーらと対立した。

②：カンボジアを独立に導いたのち，中立政策を進めた国王。
③：インド独立運動の指導者で，統一インドを主張した。
④：アメリカが南ベトナムに成立させたベトナム共和国の大統領。

9 **解答：④**　ネルーはガンディーの後継者として活躍した。

①：インド独立運動の指導者で，統一インドを主張した。
②：ベトナムの阮朝最後の王であったが，フランスによりベトナム国の元首とされた。
③：イラン首相で，国王パフレヴィー２世により追放された。

10 **解答：②**　アラブ連盟を結成したのは，エジプト・シリア・イラク・レバノン・トランスヨルダン・イエメン・サウジアラビアの７カ国。

①：アラブ連盟に属している。
③：アラブ連盟に属している。
④：アラブ連盟に属している。

第 13 講　PART1　確認問題　解答

1　解答：①　北朝鮮が北緯 38 度線を越えて韓国に侵入したため，アメリカ軍を中心とする国連軍が韓国を支援した。

②：人民義勇軍は北朝鮮を支援した中華人民共和国が派遣した軍。
③：中華人民共和国は北朝鮮を支援し，人民義勇軍を派遣した。
④：中華人民共和国は北朝鮮を支援した。

2　解答：④　板門店は北緯 38 度線近くの休戦ライン上にあり，現在も南北朝鮮分断の象徴的な場所となっている。

3　解答：②　経済安定九原則は，予算の均衡，物価統制，徴税強化などからなる。

①：税制改革に関する勧告で，1949 年に出された。
③：経済安定九原則を具体化するための財政・金融・通貨にわたる経済引き締め政策で，1949 年に出された。
④：共産主義者を追放する指令で，1950 年に出された。

4　解答：②　警察予備隊は GHQ 総司令官マッカーサーの指示で設置された。

①：1954 年，保安隊を改組してつくられた。
③：1952 年に設置された。
④：1952 年，警察予備隊を改組してつくられた。

5 解答：① サンフランシスコ講和会議は日本とアメリカなど連合国との第二次世界大戦の講和会議で，サンフランシスコ平和条約が締結された。

②：1960 年，日米安全保障条約改定時の首相。
③：1972 年，日中共同声明発表時の首相。
④：1956 年，日ソ共同宣言発表時の首相。

6 解答：④ 駐留軍の日本防衛義務欠如，期限不明確，内乱条項などの問題が残る。

①：1952 年に締結された日米安全保障条約の細目協定で，日本が米軍に基地を無償提供し，駐留費用も分担することになった。
②：1951 年に締結された連合国との講和条約で，日本が主権を回復した。
③：1960 年に締結された新日米安全保障条約の細目協定。

7 解答：③ 奄美群島，小笠原諸島，沖縄はアメリカの施政権下に置かれていた。

①：1968 年に返還された。
②：日本固有の領土であるが，沖縄とともにアメリカの施政権下に置かれ，1972 年に返還された。
④：1972 年に返還された。

8 解答：③ ソ連による初の原爆実験は 1949 年に行われた。

①：1953 年のできごと。
②：1945 年のできごと。
④：1952 年のできごと。

9 解答：②　パグウォッシュ会議は，ラッセル＝アインシュタイン宣言に基づき開催された。

①：1954 年にスイスのジュネーヴで開催された，朝鮮問題・インドシナ問題をめぐる会議。
③：1955 年にインドネシアのバンドンで開催された，第二次世界大戦後に独立したアジア・アフリカの諸国代表による会議。
④：1975 年にフィンランドのヘルシンキで開催された，アルバニアを除く全ヨーロッパ諸国とアメリカなどによる会議。

10 解答：①　アイゼンハワー大統領は核開発でも水爆実験を推進し，ビキニ水爆実験などを行った。

②：世界恐慌に対処するため，ニューディール政策を実施したアメリカ大統領。
③：第二次世界大戦後のフランスの外相。
④：ソ連などに対する「封じ込み政策」を進めたアメリカ大統領。

第 13 講　PART2　確認問題　解答

1 解答：④　労働者に大きな保護を与えていたワグナー法を改正し，労働運動を制限した。

①：1994 年に施行された銃を規制する法律。
②：1914 年に制定された反トラスト法（独占禁止法）の一つ。
③：1935 年に制定された，労働者の団結権・団体交渉権を明確に認めた法律。

2 解答：①　左翼運動や共産主義者を攻撃し，「マッカーシズム」と呼ばれた。

②：GHQ の総司令官。
③：トルーマン = ドクトリンと呼ばれる「封じ込め政策」を提唱した大統領。
④：マーシャル = プランと呼ばれる西欧諸国の復興支援計画を推進した国務長官。

3 解答：②　固定為替相場制のもと，日本では 1 ドル＝ 360 円と定められた。

①：ユーロ導入前のフランスなどの通貨。
③：ユーロ導入前のドイツの通貨。
④：イギリスの通貨。

4 解答：①　公民権運動は，アフリカ系住民を中心に始まった。

②：産業革命期にイギリスで起こった，熟練工による機械打ちこわし運動。
③：19 世紀後半に中国で漢人官僚が進めた西欧化政策。
④：19 世紀にイギリスで盛んになった，選挙権要求などの都市労働者による運動。

5 解答：④　ヨーロッパ共同体〔ＥＣ〕はＥＣＳＣ，ＥＥＣ，ＥＵＲＡＴＯＭの３者を統合して結成。

①：1958 年に設立されたヨーロッパ原子力共同体の略称。
②：1958 年に設立されたヨーロッパ経済共同体の略称。
③：1952 年に設立されたヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の略称。

6 解答：④　大統領に就任し，第五共和政を敷いた。

①：パリ協定で主権を回復した時の西ドイツ〔ドイツ連邦共和国〕の首相。
②：「赤狩り」を開始したアメリカの上院議員。
③：シューマン = プランを提唱したフランスの外相。

7 解答：③　フランス大統領ド = ゴールは，アメリカ主導に反発し，NATO 軍事機構を脱退した。

①：1949 年の発足当初に NATO に加盟し，脱退していない。
②：1955 年に NATO に加盟した。
④：1949 年の発足当初に NATO に加盟し，脱退していない。

8 解答：③　イギリスはデンマークなどとともに EFTA を離脱し，EC に加盟した。

①：EFTA に加盟していない。
②：1960 年に EFTA に加盟し，離脱していない。
④：EFTA に加盟していない。

9 解答：①　神武景気では，三種の神器（冷蔵庫・洗濯機・白黒テレビ）などの耐久消費財ブームが成長の原動力となった。

②：1966 年に始まった。
③：1958 年に始まった。
④：1963 年に始まった。

10 解答：④　いざなぎ景気は，1966 年に始まった 57 カ月にわたる大型景気である。

①：「投資が投資を呼ぶ」波及効果が生じ，好景気となった。
②：耐久消費財ブームが成長の原動力となった。
③：朝鮮戦争開戦が契機となった。

第 13 講　PART3　確認問題　解答

1 解答：①

ＷＴＯはワルシャワ条約機構の略称で，西ドイツのＮＡＴＯ加盟に対抗して結成された。

②：1964 年に南北問題の是正を目指して結成された国連貿易開発会議の略称。
③：アメリカ・西欧諸国が結成した北大西洋条約機構の略称。
④：1963 年に結成されたアフリカ統一機構の略称。

2 解答：①

フルシチョフはスターリン批判を行った。

②：フルシチョフに代わり第一書記となった。
③：エジプト革命後，エジプトの大統領となった。
④：フルシチョフの前のソ連の最高指導者。

3 解答：④

ポズナニ暴動は反政府反ソ暴動である。

①：ベルリンの壁が構築された。
②：反ソ暴動であるハンガリー事件が起こった。
③：ハンガリー事件に対し軍事介入した。

4 **解答：②**

キューバ危機は，ソ連の支援によるキューバでのミサイル基地建設が発覚したことから，ケネディ大統領が海上封鎖で対抗し，東西の緊張が一気に高まった事件。

①：ゴルバチョフは 1985 年に書記長となりペレストロイカなどの改革を推進した。
③：ジョンソンはケネディに代わって大統領となった。ゴルバチョフは 1985 年に書記長となりペレストロイカなどの改革を推進した。
④：ジョンソンはケネディに代わって大統領となった。

5 **解答：③**

平和五原則は，ネルー首相と中国の周恩来首相が発表した。

①：エジプト革命後，エジプトの大統領となった。
②：第一次世界大戦後のインド独立運動の指導者。
④：キューバ革命の指導者。

6 **解答：②**

第二次中東戦争〔スエズ戦争〕では，イギリス・フランス・イスラエルがエジプトに軍事行動を起こしたが，撤退した。

①：パレスチナ戦争と呼ばれる。
③：6 日戦争と呼ばれる。
④：第一次石油危機勃発のきっかけとなった。

7 **解答：②**　部分的核実験禁止条約〔ＰＴＢＴ〕は，大気圏，宇宙空間，水中における核実権を禁止した条約。

①：1968 年に結ばれた，核保有国の非保有国への核兵器引渡しなどを禁止した条約。
③：1996 年に採択された，地下核実験を含むすべての核実験を禁止した条約。
④：1969 年から米・ソ間で行われた核兵器の数を制限するための交渉。

8 **解答：④**　公民権法は，キング牧師らの活動によって制定された。

①：第四次中東戦争（1973 年）が起こったときのエジプトの大統領。
②：キューバ革命（1959 年）が起こったときの大統領。
③：キューバ危機（1962 年）が起こったときの大統領。

9 **解答：①**　ＮＰＴは，核保有国の非保有国への核兵器引渡しなどを禁止した条約。

②：部分的核実験禁止条約の略称。
③：第一次戦略兵器制限交渉の略称。
④：包括的核実験禁止条約の略称。

10 **解答：③**　ブラント首相は，ソ連・東欧との関係改善を図った。

①：公民権法を成立させたアメリカ大統領。
②：チェコスロヴァキアの民主化を進めた第一書記。
④：第四次中東戦争勃発時のエジプト大統領。

第 13 講　PART4　確認問題　解答

1 解答：③　　劉少奇は毛沢東に代わり国家主席となった。

①：第二次世界大戦後，台湾の総統となった。
②：中華人民共和国の初代主席で，社会主義完成を目指して大躍進運動を行ったが失敗した。
④：1980 年代に「四つの近代化」を推進した。

2 解答：③　　ジョンソン大統領は北爆を開始してベトナム戦争を本格化させた。

①：1971 年にドルの金兌換停止を発表した大統領。
②：1978 年に中東和平合意の成立を調停した大統領。
④：1971 年に訪中した大統領補佐官。

3 解答：④　　マルコス大統領は，開発独裁の政治を進めた独裁者。

①：キューバ革命の指導者。
②：シンガポールの初代首相。
③：1965 年の九・三〇事件で失脚したインドネシアの大統領。

4 解答：④　　プロレタリア文化大革命では，毛沢東・林彪らが劉少奇・鄧小平らを修正主義者だと非難した。

①：毛沢東が提唱した，人民公社を中心として共産社会を実現しようとする運動であるが，失敗に終わった。
②：鄧小平ら新指導部が推進した，「農業，工業，国防，科学技術」を近代化させようとするもの。
③：19 世紀後半に中国で漢人官僚が進めた西欧化政策。

5 解答：① スハルトは，スカルノに代わって実権を握り大統領となった。

②：1965 年の九・三〇事件で失脚したインドネシアの大統領。
③：1970 年に親米右派勢力によって追放されたカンボジアの元首。
④：カンボジアの解放勢力の指導者。

6 解答：② ニクソン大統領は，毛沢東と会談した。

①：1979 年に米中国交正常化を実現させた大統領。
③：北爆を開始してベトナム戦争を本格化させた大統領。
④：1971 年に訪中した大統領補佐官。

7 解答：④ 佐藤 = ニクソン会談の結果，日米共同声明が発表され，これに基づき 1971 年に沖縄返還協定が調印された。

①：1953 年に返還された。
②：1968 年に返還された。
③：北方領土の一つで，アメリカの施政権下には置かれなかった。

8 解答：③ 日本の外国為替相場は 1 ドル =360 円から 308 円に変更された。

①：固定為替相場制から変動為替相場制に移行したことで成立した体制。
②：第一次世界大戦後，パリ講和会議で成立したヴェルサイユ条約のもとでの国際体制。
④：第二次世界大戦後に成立した，アメリカのドルを基軸通貨とする体制。

9 **解答：②**　OAPEC はアラブ石油輸出国機構の略称である。

①：石油輸出国機構の略称で，第四次中東戦争勃発の際には，原油価格の大幅引き上げを決定した。
③：東南アジア諸国連合の略称。
④：アフリカ連合の略称。

10 **解答：②**　イラン＝イスラーム共和国の政治・宗教上の最高指導者となった。

①：カンボジアの解放勢力の指導者。
③：シンガポールの初代首相。
④：親米右派勢力によって追放されたカンボジアの元首。

第14講 PART1　確認問題 解答

1 解答：③　トルーマン大統領は，東西冷戦が開始されたときの大統領でもある。

①：ベトナム戦争を本格化させた大統領。
②：アポロ計画を中心とする宇宙開発競争を展開した大統領。
④：ソ連との「雪どけ」を現出した大統領。

2 解答：①　ケネディ大統領は，アポロ計画を中心とする宇宙開発競争を展開した。

②：アイゼンハワー大統領などと関連がある。
③：ニクソン大統領と関連がある。
④：ジョンソン大統領と関連がある。

3 解答：②　ジョンソン大統領は，トンキン湾事件を口実にベトナム戦争を本格化させた。

①：ドル＝ショックを招いた大統領。
③：ソ連との「雪どけ」を現出した大統領。
④：アポロ計画を中心とする宇宙開発競争を展開した大統領。

4 解答：③　トルーマン→アイゼンハワー（→ケネディ）→ジョンソン→ニクソンの順。

5 **解答：②**　アデナウアー首相は，フランスとの関係修復にも尽力した。

①：ドル＝ショックが起こった際のアメリカ大統領補佐官。
③：対米独自外交を展開したフランス大統領。
④：「東方外交」を展開し，「緊張緩和〔デタント〕」を導いた西ドイツの首相。

6 **解答：④**　ブラント首相は「東方外交」を展開し,「緊張緩和〔デタント〕」を導いた。

①：アメリカ合衆国のケネディ大統領と関連がある。
②：アメリカ合衆国のニクソン大統領と関連がある。
③：アメリカ合衆国のアイゼンハワー大統領と関連がある。

7 **解答：③**　日本では，終身雇用制・年功序列型賃金・企業別労働組合による労資協調という日本的経営が確立された。

③：企業別労働組合が正しい。

8 **解答：①**　石油輸出国機構〔ＯＰＥＣ〕は1973年の第四次中東戦争の際には，原油価格の大幅引き上げを行い，第一次オイル＝ショック〔石油危機〕をもたらした。

②：アラブ石油輸出国機構の略称。
③：新国際経済秩序の略称。
④：国連開発計画の略称。

9 **解答：②**

国連貿易開発会議〔UNCTAD〕は途上国側の要求により 1964 年に設立された。

①：国連開発計画の略称。
③：アラブ石油輸出国機構の略称。
④：新国際経済秩序の略称。

10 **解答：①**

アジア NIES〔新興工業経済地域〕は，韓国・台湾・香港・シンガポールの４カ国・地域。

第14講　PART2　確認問題 解答

1 解答：②

日韓基本条約で，日本は韓国を「朝鮮半島唯一の合法政府」と確認した。

①：日中平和友好条約を締結した内閣。
③：ロッキード事件が問題化した際の内閣。
④：日中共同声明を発表した内閣。

2 解答：①

日中共同声明で日本は中華人民共和国が「中国唯一の合法政府」と確認し，台湾の中華民国と断交した。

3 解答：③

田中角栄内閣は，第一次オイル＝ショック〔石油危機〕後，狂乱物価の最中に金脈問題で失脚した。

①：竹下登内閣のときに起こった。
②：三木武夫内閣のときに問題化した。
④：大平正芳内閣のときに起こった。

4 解答：④

中曽根康弘内閣は，「戦後政治の総決算」を掲げ，「新保守主義」「新冷戦」の中で存在感を見せた。

①：海部俊樹内閣と関連がある。
②：鈴木善幸内閣と関連がある。
③：田中角栄内閣と関連がある。

5 解答：③　竹下登内閣のときに，平成時代がスタートした。

①：第二次オイル＝ショック〔石油危機〕勃発時の内閣。
②：東西冷戦終結時の内閣。
④：ロッキード事件が問題化したときの内閣。

6 解答：②　1970 ～ 1990 年代の佐藤栄作のあとの歴代内閣は，（田中角栄→）三木武夫→福田赳夫（→大平正芳→鈴木善幸）→中曽根康弘→竹下登（→宇野宗佑→海部俊樹）の順である。

7 解答：①　新自由主義的な政策とは民営化・規制緩和・社会保障費の削減で，中曽根康弘内閣も実施した。

②：ブレア首相はサッチャー，メージャーの次に首相となった。
③：カーター大統領はレーガンの前任の大統領。
④：カーター大統領はレーガンの前任の大統領で，ブレア首相はサッチャー，メージャーの次に首相となった。

8 解答：③　プラザ合意は，アメリカ合衆国のドル高を是正するため，G５〔先進５カ国蔵相・中央銀行総裁会議〕によって合意された。

①：ルーブル合意により，日本の円高不況が終わり，バブル景気へ突入した。
②：戦後初のマイナス成長を招いた。
④：高付加価値産業へ移行を進めていた日本への影響は少なかった。

9 **解答：③**

プラザ合意→円高不況→ルーブル合意→バブル崩壊の順。

①：1991 年のできごと。
②：プラザ合意（1985 年）以降のできごと。
④：1985 年のできごと。

10 **解答：①**

消費税の税率は 1989 年の導入当時は３％であったが，1997 年に５％，2014 年に８％，2019 年に 10%へと引き上げられた。

第 14 講　PART3　確認問題　解答

1 解答：①

国連人間環境会議は，「かけがえのない地球」をスローガンとして開催された。

②：1992 年にブラジルのリオデジャネイロで開催された。
③：1975 年にフランスのランブイエで開催された。
④：1994 年にエジプトのカイロで開催された。

2 解答：③

ベトナム（パリ）和平協定は 1973 年に結ばれた。

①：1972 年のできごと。
②：1979 年のできごと。
④：1979 年のできごと。

3 解答：④

ソ連がアフガニスタンに軍事介入したのは 1979 年である。

④：1981 年のできごと。

4 解答：①

サッチャー首相は，イギリス経済再建を目指して新自由主義経済政策を推進した。

②：保守党である。
③：カーターはアメリカの民主党の大統領。
④：カーターはアメリカ大統領。また，サッチャーの所属政党は保守党。

5 解答：②　サダム＝フセイン大統領は独裁政治を行った。

①：1981 年に就任したアメリカの大統領。
③：1982 年に就任した西ドイツの首相。
④：1979 年にアフガニスタンに軍事介入したソ連の書記長。

6 解答：①　ドル＝ショック（1971 年）→国連人間環境会議（1972 年）→ベトナム（パリ）和平協定（1973 年）→スリーマイル島原発事故（1979 年）の順。

7 解答：④　レーガン大統領は，小さな政府を目指し，新自由主義経済政策を推進した。

①：1977 年に就任したアメリカの大統領。
②：1969 年に就任したアメリカの大統領。
③：1963 年に就任したアメリカの大統領。

8 解答：②　中曽根康弘内閣は「戦後政治の総決算」を掲げ，新自由主義経済政策を推進した。

①：1987 年に成立した。
③：1980 年に成立した。
④：1978 年に成立した。

9 **解答：④**　イラン = イラク戦争（1980 年）→フォークランド戦争（1982 年）→チェルノブイリ原発事故（1986 年）→第二次天安門事件（1989 年）の順。

10 **解答：①**　スリーマイル島原発事故（1979 年）→イラン = イラク戦争（1980 年）→フォークランド戦争（1982 年）→チェルノブイリ原発事故（1986 年）の順。

第 14 講　PART4　確認問題 解答

1 解答：③　ブレジネフ書記長は 1979 年にアフガニスタンに軍事介入した。

①：在任 1953 ～ 64 年。
②：在任 1984 ～ 85 年。
④：在任 1985 ～ 91 年。

2 解答：①　レーガン大統領はレーガノミクスを展開した。

②：マルタ会談で東西冷戦を終結させた。
③：西側諸国がモスクワ五輪をボイコットしたときの大統領。
④：ドル = ショックを招いた大統領。

3 解答：④　カーター大統領は人権外交を行った。

①：レーガン大統領は東側諸国がロサンゼルス五輪をボイコットしたときの大統領。またカーター大統領は民主党に属する。
②：レーガン大統領は共和党に属する。
③：民主党に属する。

4 解答：④　ゴルバチョフ書記長（在任 1985 ～ 91 年）は，グラスノスチ〔情報公開〕とともにペレストロイカ〔改革〕を行った。

①：在任 1953 ～ 64 年。
②：在任 1964 ～ 82 年。
③：在任 1982 ～ 84 年。

5 **解答：①**

中距離核戦力〔ＩＮＦ〕とは，距離 500km ～ 5500km の間で使用されるミサイルなどの核兵器のこと。

②：1972 年に結ばれた。
③：1963 年に結ばれた。
④：1979 年に結ばれた。

6 **解答：②**

プラザ合意により，日本では円高不況となった。

①：1993 年に合意された，イスラエルとＰＬＯ〔パレスチナ解放機構〕による初の和平交渉合意。
③：2014 年に始まったウクライナ東部紛争を巡る和平合意。
④：1987 年に合意された，Ｇ７による為替レートの水準に関する合意。

7 **解答：③**

マルタ会談は，ブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長による会談。

①：1945 年に開催されたアメリカ・イギリス・ソ連による戦後処理に関する首脳会談。
②：1943 年 11 月に開催されたアメリカ・イギリス・中国による戦後処理構想に関する首脳会談。
④：1943 年 1 月に開催されたアメリカ・イギリスの首脳会談。

8 **解答：④**

ブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長はマルタ会談で冷戦終結を宣言した。

9 **解答：④**　トルーマン（→アイゼンハワー）→ケネディ（→ジョンソン）→ニクソン（→フォード→カーター→レーガン）→ブッシュの順。

10 **解答：③**　スターリン→フルシチョフ→ブレジネフ→アンドロポフ→チェルネンコ→ゴルバチョフの順。

第 15 講　PART1　確認問題　解答

1 解答：②　ワレサは, 自主管理労働組合「連帯」を中心とする連立政権を発足させた。

①：ルーマニアの大統領。
③：統一ドイツ〔ドイツ連邦共和国〕の初代大統領。
④：東ドイツ〔ドイツ民主共和国〕の書記長。

2 解答：③　ホネカーは，東ドイツ国民の西側への脱出が急増したため，解任された。

①：統一ドイツ〔ドイツ連邦共和国〕の初代大統領。
②：ロシア連邦の大統領。
④：ポーランドの指導者。

3 解答：④　ボスニア・ヘルツェゴヴィナは，第二次世界大戦後に成立したユーゴスラヴィア連邦を構成する一共和国であった。

①：1990 年に独立を宣言した。
②：1991 年に独立を宣言した。
③：1991 年に独立を宣言した。

4 解答：④　ゴルバチョフは，計画経済から市場経済への移行をさらに進めた。

①：1991 年に大統領に就任した。
②：2008 年に大統領に就任した。
③：2000 年に大統領に就任した。

5 解答：③　1991 年に独立を宣言した。

①：1991 年にエストニア・ラトヴィアとともに独立した。
②：1991 年にエストニア・リトアニアとともに独立した。
④：1991 年にラトヴィア・リトアニアとともに独立した。

6 解答：①　プーチンは，2012 年に大統領に復帰した。

②：1991 年に大統領に就任した。
③：1990 年にソ連の大統領に就任した。
④：2008 年に大統領に就任した。

7 解答：①　鄧小平政権は，周恩来首相が提起した「四つの近代化（農業・工業・国防・科学技術)」を継承した。

②：2002 年に最高指導者となった。
③：2012 年に最高指導者となった。
④：1997 年に最高指導者となった。

8 解答：②　イギリスから返還された香港は一国二制度の特別行政区となった。

①：香港はイギリスから返還された。
③：マカオはポルトガルから返還された。
④：マカオはポルトガルから返還された。

9 **解答：①**　習近平は 2012 年に最高指導者となった。

②：2002 年に最高指導者となり，急速な経済成長を実現させた。
③：1997 年に最高指導者となった。
④：1983 年に最高指導者となり，社会主義市場経済化を推進した。

10 **解答：②**　ベトナムでは，ドイモイ〔刷新〕政策のもとに社会主義市場経済への移行が進んだ。

①：1839 年から始まったオスマン帝国の近代化政策。
③：漢字をもとにつくられたベトナム独自の文字。
④：インド国民会議派の四大綱領の一つで，自治獲得を意味する。

第15講 PART2　確認問題 解答

1 解答：③　アジア通貨危機は，タイのバーツ暴落をきっかけとして発生した。

①：タイのバーツ暴落をきっかけとして発生した。フィリピンの通貨はペソ。
②：タイのバーツ暴落をきっかけとして発生した。フィリピンの通貨はペソで，ウォンは韓国の通貨。
④：タイの通貨はバーツ。ウォンは韓国の通貨。

2 解答：①　フォークランド紛争は 1982 年に起こった。

②：1958 年に民政に移行した。
③：1988 年に民政への移行が決定した。
④：1985 年に軍政から民政への移行が決定した。

3 解答：①　金大中の在任は 1998 ～ 2003 年。

②：在任 1993 ～ 98 年。
③：在任 2008 ～ 13 年。
④：在任 2017 ～ 22 年。

4 解答：②　李登輝→陳水扁→馬英九→蔡英文の順。

5 解答：①　インドネシアでは 1998 年にスハルト政権が崩壊し民政に移行した。

②：チリの大統領で，1988 年に国民投票で不信任とされた。
③：開発独裁を行ったフィリピン大統領。
④：ミャンマーの民主化を達成させた中心人物。

6 解答：③　関税と貿易に関する一般協定〔ＧＡＴＴ〕が 1995 年に世界貿易機関〔ＷＴＯ〕へと発展した。

①：政府開発援助の略称。
②：関税と貿易に関する一般協定の略称。
④：世界保健機関の略称。

7 解答：④　イギリスは，ＥＵ加盟後もユーロを導入せず，ポンドを維持していた。

①：ユーロ導入前のドイツの通貨。
②：ＥＵの共通通貨。
③：ユーロ導入前のフランスなどの通貨。

8 解答：③　北米自由貿易協定〔ＮＡＦＴＡ〕は，2020 年以降はアメリカ合衆国・メキシコ・カナダ協定〔ＵＳＭＣＡ〕へと移行した。

①：地域的な包括的経済連携の略称。
②：北米自由貿易協定の略称。
④：欧州自由貿易連合の略称。

9 **解答：②**

環太平洋パートナーシップ協定〔ＴＰＰ〕は 2018 年に発効し，日本も参加している。

①：ＲＣＥＰの正式名称。
③：ＡＳＥＡＮの正式名称。
④：ＡＰＥＣの正式名称。

10 **解答：②**

アジア通貨危機の発生（1997 年）→世界金融危機の発生（2008 年）→ G20 初開催（2008 年）→環太平洋パートナーシップ協定締結〔ＴＰＰ〕（2016 年）の順。

第15講 PART3　確認問題 解答

1 解答：②　アパルトヘイト政策は，極端な人種隔離政策。

①：かつてオーストラリアでとられていた白人優遇政策。
③：パレスチナ人民衆のイスラエル政府に対する抵抗運動。
④：ベトナムでとられた刷新政策。

2 解答：①　マンデラは黒人解放運動の指導者として活躍した。

②：パレスチナ解放機構〔ＰＬＯ〕の議長。
③：アパルトヘイト政策を撤回した南アフリカ共和国の大統領。
④：イスラエルの首相。

3 解答：①　ソマリア内戦は 1988 年に発生した。

②：1990 年代前半。
③：2009 年。
④：2002 年。

4 解答：③　南スーダン共和国は，最新の国際連合加盟国。

①：1960 年に独立した。
②：1957 年に独立した。
④：1960 年に独立した。

5 解答：②　パレスチナ暫定自治協定を結んだ翌年から，ガザ地区とイェリコの自治が始まった。

①：パレスチナ暫定自治協定を仲介したアメリカ大統領。
③：アパルトヘイト政策を撤回した南アフリカ共和国の大統領。
④：パレスチナ暫定自治協定を締結したイスラエルの首相。

6 解答：④　国連平和維持活動〔ＰＫＯ〕は，国連平和維持軍〔ＰＫＦ〕などが紛争地域で行う，停戦監視・兵力引き離し・選挙監視・人道支援などのこと。

①：非政府組織の略称。
②：地雷禁止国際キャンペーンの略称。
③：パレスチナ解放機構の略称。

7 解答：④　オバマ大統領が行った核兵器廃絶を目指す演説をプラハ演説といい，これによりオバマ大統領はノーベル平和賞を受賞した。

①：パレスチナ暫定自治協定の締結を仲介したアメリカ大統領。
②：現在のバイデン大統領の前任のアメリカ大統領。
③：アメリカ同時多発テロ事件発生時のアメリカ大統領。

8 解答：②　アフガニスタン戦争は2001年10月に起こった。

①：1991年に起こった。
③：2003年に起こった。
④：1980年に起こった。

9 **解答：③**　アメリカはサダム＝フセイン大統領の政権が大量破壊兵器を保有しているとの理由で，イギリスとともにイラクを攻撃した。

①：パレスチナ解放機構〔ＰＬＯ〕の議長。
②：フィリピンの大統領。
④：イスラエルの首相。

10 **解答：①**　アメリカ同時多発テロ事件（2001年）→イラク戦争（2003年）→アラブの春（2010～12年）の順。

第 15 講　PART4　確認問題 解答

1 解答：③

1990 年代にアメリカ合衆国発のインターネットが普及し，情報通信技術〔ＩＣＴ〕革命が急速に進行した。

①：「モノのインターネット」の略称。
②：パーソナル＝コンピュータの略称。
④：人工知能の略称。

2 解答：④

遺伝子組み換え技術は 1973 年に開発された。

①：2003 年のできごと。
②：1996 年のできごと。
③：1953 年のできごと。

3 解答：④

レイチェル＝カーソンは，農薬に使用される殺虫剤ＤＤＴや化学薬品などの乱用による生態系の破壊と，人間を含む全生物の死滅を警告した。

①：「宇宙船地球号」という比喩を経済学に取り入れた。
②：女子教育の重要性を主張し，2014 年にノーベル平和賞を受賞した。
③：『奪われし未来』を著し，環境ホルモン〔内分泌かく乱物質〕の危険性を指摘した。

4 解答：①

ローマクラブは報告書『成長の限界』で，このまま地球上の開発が進めば，天然資源は枯渇，環境汚染が進行して限界が訪れると警告した。

②：レイチェル＝カーソンの著書。
③：コルボーンの著書。
④：ボールディングが提唱した言葉。

5 解答：③　国連人間環境会議では，「かけがえのない地球」がスローガンとされた。

①：1992 年にブラジルのリオデジャネイロで開催された。
②：2002 年に南アフリカ共和国のヨハネスブルグで開催された。
④：2012 年にブラジルのリオデジャネイロで開催された。

6 解答：①　地球サミットは国連環境開発会議のこと。

②：1972 年開催の国連人間環境会議のスローガン。
③：ボールディングが提唱した言葉。
④：コルボーンの著書名。

7 解答：①　国連環境計画〔ＵＮＥＰ〕は，1972 年開催の国連人間環境会議に基づき同年の国連総会で設立された。

8 解答：②　パリ協定は，ＣＯＰ 21・パリ会議で採択された，京都議定書に代わる新たな枠組みである。

①：1992 年開催の国連環境開発会議で採択された。
③：1997 年開催の気候変動枠組み条約第３回締約国会議〔ＣＯＰ 3・京都会議〕で採択された。
④：1992 年開催の国連環境開発会議で採択された。

9 解答：④　京都議定書採択（1997 年）→環境開発サミット開催（2002 年）→パリ協定採択（2015 年）の順。

10 **解答：②**　パンデミック〔世界的大流行〕は，長距離輸送・移動手段が発達した近現代に特有の現象。

①：感染症が人や物の移動で数カ国規模に拡大し流行する現象。
③：限定地域内で患者が発生する現象で，「風土病」とも呼ばれる。
④：通常発生しているレベル以上に感染症が増加すること。

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。